

次世代育成支援に関するニーズ等調査 報告書

平成 26 年 3 月

池 田 市

目 次

I. 調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査内容	1
3. 調査設計	2
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	2

II. 回答世帯の基本属性

1. 居住地域	3
2. 調査票回答者	3
3. 子どもの年齢（子どもの学年）	4
4. 子どもの人数と末子の年齢	4
5. 同居家族や主な子育て者の状況	5

III. 調査結果

III-1. 就学前児童の調査結果

1. 子どもと家族の状況について	9
2. 両親の就労状況、今後の就労意向について	19
3. 教育・保育サービスの定期的な利用状況・利用意向について	28
4. 病児・病後児保育について	41
5. 小学校就学後の放課後の過ごし方について	49
6. 一時預かりの利用について	55
7. 地域の子育て支援サービスの利用について	62
8. 仕事と子育ての両立について	70
9. 行政等への要望	83
10. 子どもの生活習慣について	85
11. 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全確保について	86
12. 子育てに対する意識について	91

Ⅲ－２．就学児童の調査結果

1. 子どもと家族の状況について	99
2. 両親の就労状況、今後の就労意向について	105
3. 留守家庭児童会の利用について	115
4. 子どものふだんの過ごし方について	132
5. 地域での自然体験などへの参加について	133
6. 病児・病後児保育について	140
7. 一時預かりの利用について	144
8. 仕事と子育ての両立について	146
9. 行政等への要望	149
10. 子どもの生活習慣について	150
11. 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全確保について	151
12. 子育てに対する意識について	154

Ⅳ．自由意見

【1】子育てを支援する施設・機会の提供について	161
【2】子どもの教育や保育支援について	163
【3】環境について	169
【4】保健・福祉について	171
【5】行政への要望・感想など	173

資料（調査票）

就学前児童用調査票	175
就学児童用調査票	189

I . 調査の概要

I . 調査の概要

1. 調査目的

「池田市子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎となる「幼児教育・保育・地域の子育て支援」の「量の見込み」設定に必要な「今後の利用希望」を把握するため、就学前の児童を養育する保護者を対象に「ニーズ調査」を実施した。

2. 調査内容

〔1〕 就学前児童対象の調査

- 子どもと家族の状況について
- 両親の就労状況、今後の就労意向について
- 教育・保育サービスの定期的な利用状況・利用意向について
- 病児・病後児保育について
- 小学校就学後の放課後の過ごし方について
- 一時預かりの利用について
- 地域の子育て支援サービスの利用について
- 仕事と子育ての両立について
- 子育て支援サービスについて
- 子どもの生活習慣について
- 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全確保について
- 子育てに対する意識について
- 行政への意見

〔2〕 小学校児童対象の調査

- 子どもと家族の状況について
- 両親の就労状況、今後の就労意向について
- 留守家庭児童会の利用について
- 病児・病後児保育や一時預かりの利用について
- 仕事と子育ての両立について
- 子育て支援サービスについて
- 子どもの生活習慣について
- 子どもの平日の放課後、休日の過ごし方について
- 地域での自然体験等への参加について
- 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全確保について
- 子育てに対する意識について
- 行政への意見

3. 調査設計

- (1) 調査地域 : 池田市全域
(2) 調査対象および調査対象数 :

調査種別	調査対象	調査対象数
①就学前児童	0～5歳までの就学前の児童をもつ保護者	2,163世帯
②小学校児童	小学校1～6年生までの児童をもつ保護者	2,046世帯

- (2) 調査方法 : 郵送で調査票を配付し、郵送(無記名)で回収した。
また、調査実施期間中に、お礼状を兼ねた督促状(はがき)を送付した。

- (3) 調査期間 : 平成25年11月21日(木)～12月25日(金)

4. 回収結果

調査種別	配布数	有効回答数	有効回答率
①就学前児童	2,163	1,150	53.2%
②小学校児童	2,046	1,124	54.9%
合計	4,209	2,274	54.0%

5. 報告書の見方

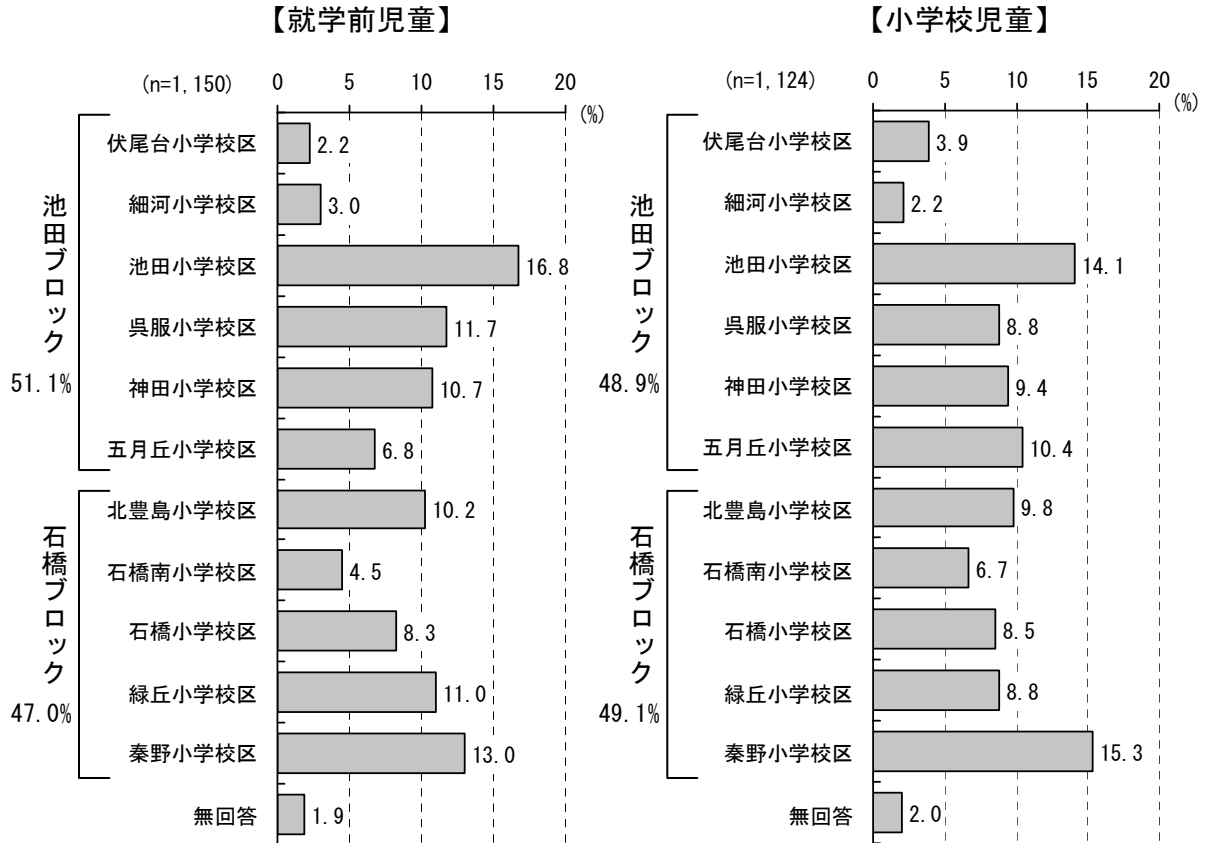
- (1) 集計は、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。したがって、比率の数値の合計が100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答の比率は、その設問の回答者数(n)を基数として算出した。複数回答の設問は、全ての比率を合計すると、100.0%を超えることがある。
- (3) 各設問の図表上の「MA%」「2LA%」等との表記は、回答選択肢の中からあてはまるものを複数選択する場合(すべてに○、2つまで○等)を示している。これ以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答(回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する)形式の設問である。
- (4) 一部の質問について、平成20年度に実施した「池田市次世代育成支援に関するニーズ調査」の単純集計結果と比較を行っている。

Ⅱ. 回答世帯の基本属性

II. 回答世帯の基本属性

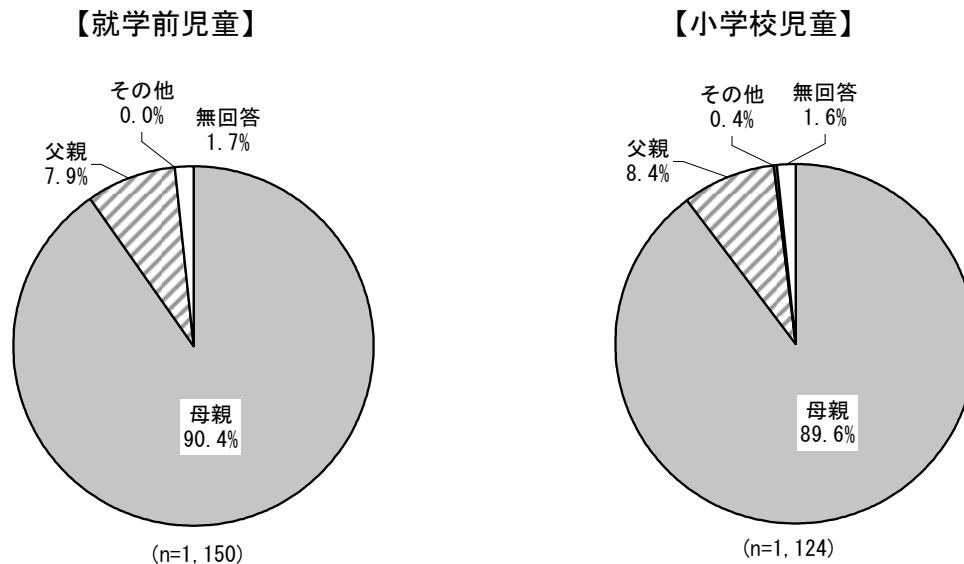
1. 居住地域

問1 お住まいの地域の小学校区名を（ ）内に記入してください。



2. 調査票回答者

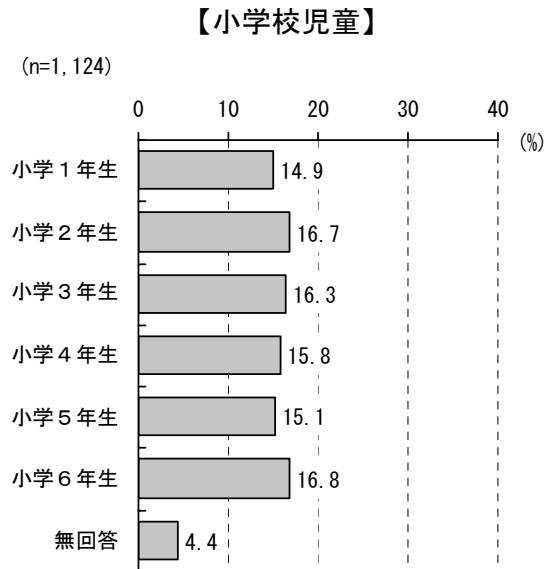
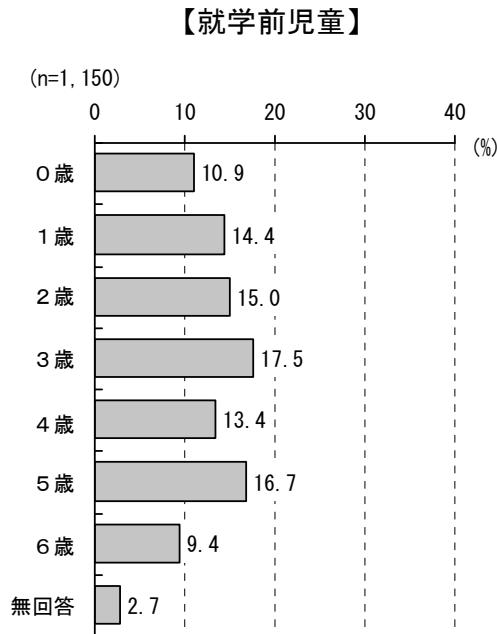
問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。



3. 子どもの年齢（子どもの学年）

問3 封筒のあて名のお子さんの生年月について、「平成」か「西暦」に○をつけ、()内に数字を入れてください。

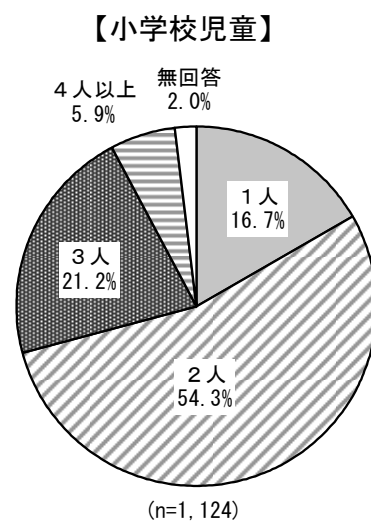
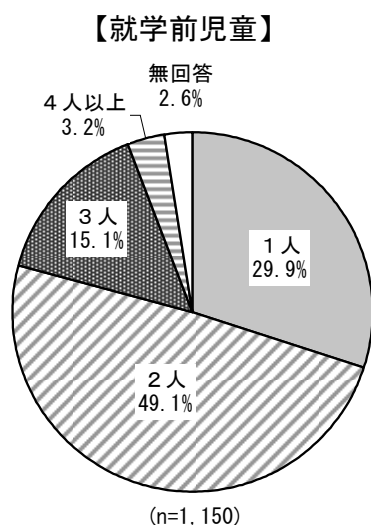
※生年月から変換



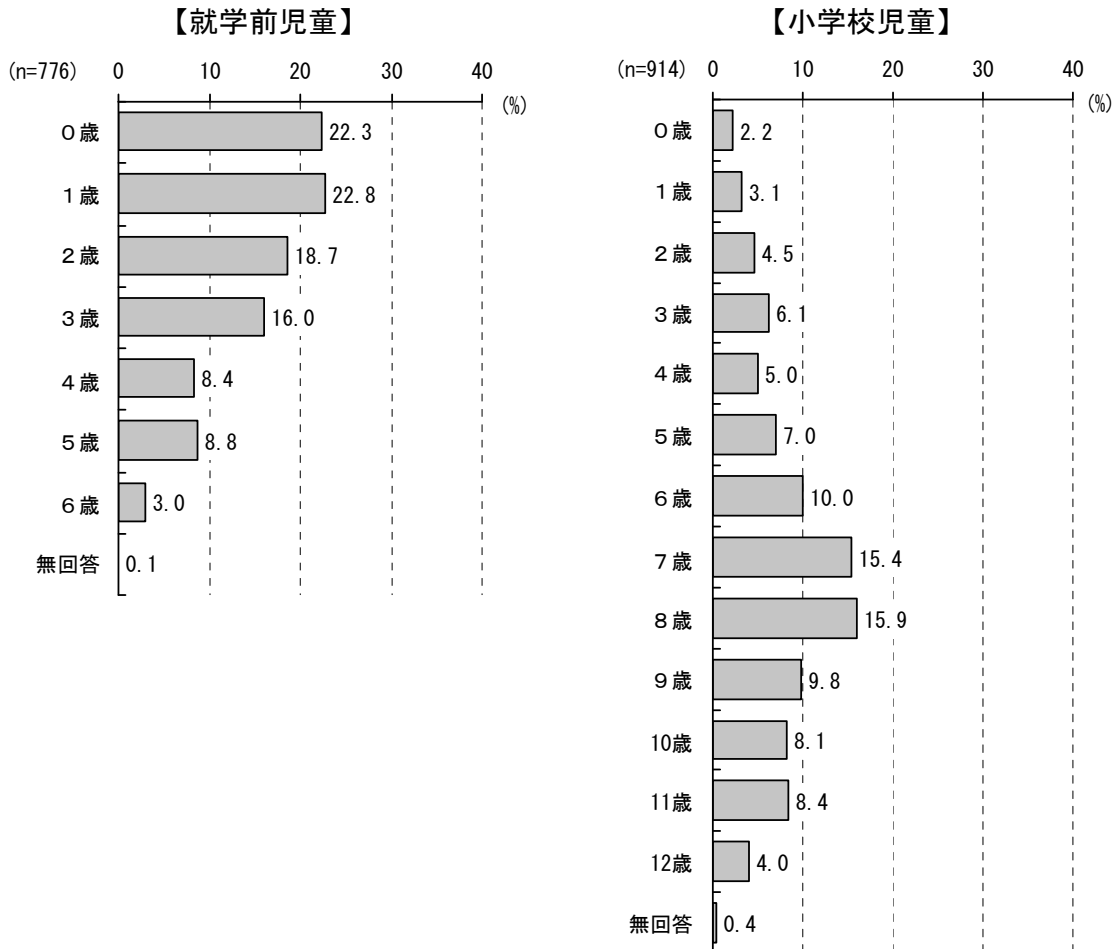
4. 子どもの人数と末子の年齢

問4 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成25年4月1日現在の年齢）を記入してください。

〔1〕子どもの人数



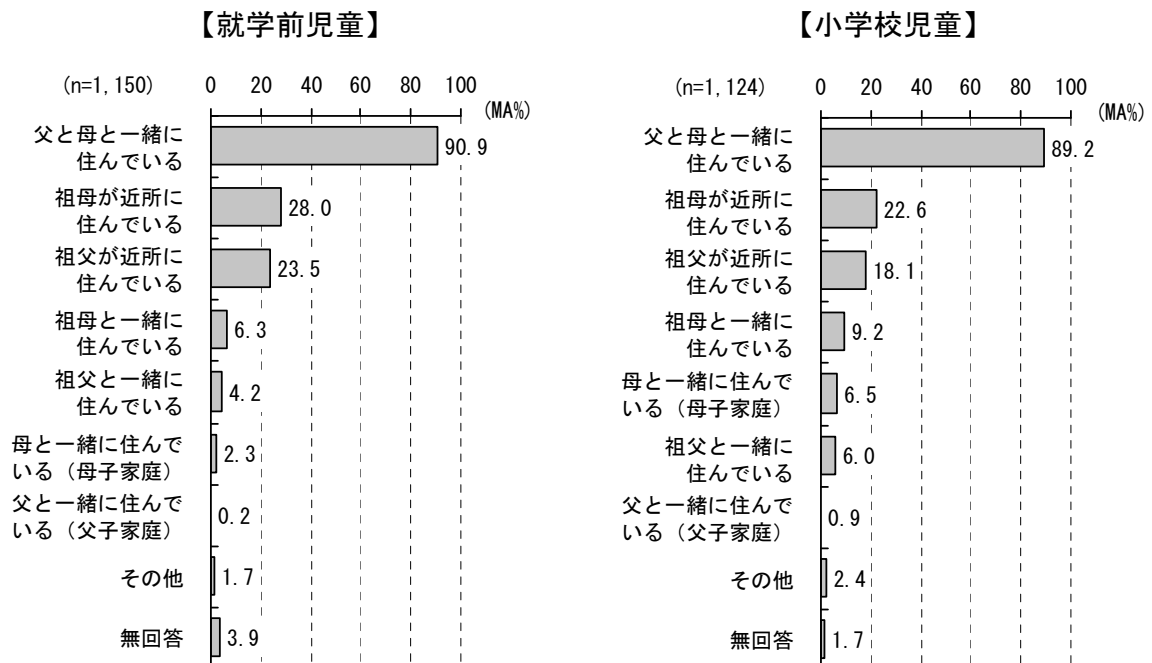
〔2〕末子の年齢



5. 同居家族や主な子育て者の状況

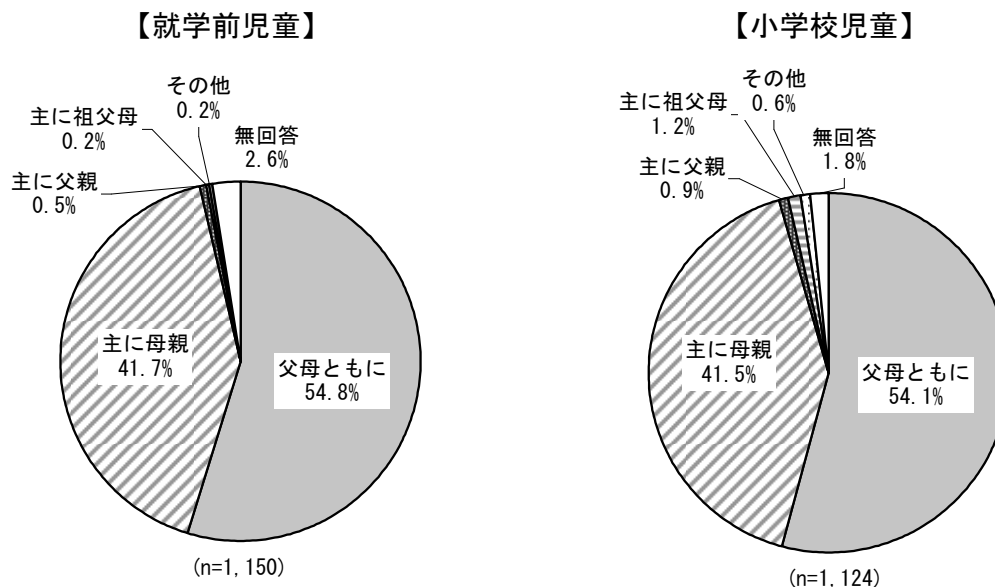
〔1〕同居・近居の親族等

問7(問5) 封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。



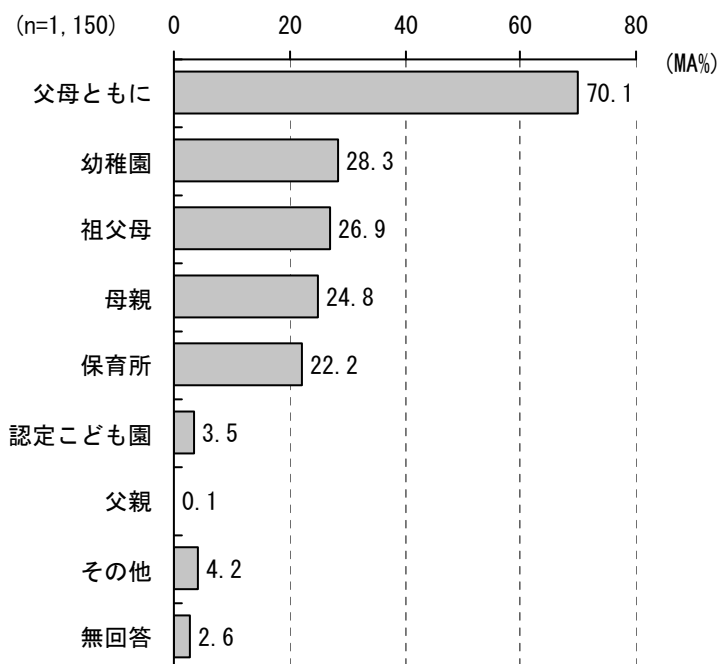
〔2〕子どもの子育て・教育を主に行っている人

問8(問6) 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。



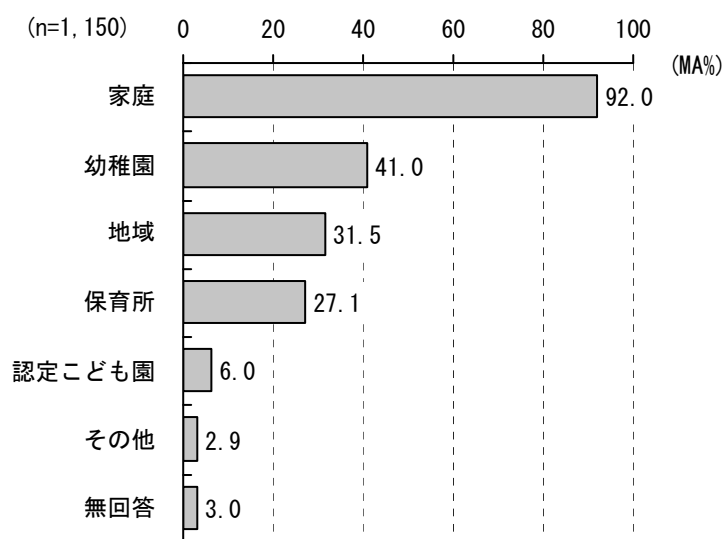
〔3〕子どもの子育て・教育に日常的に関わっている人や施設（就学前児童のみ）

問9 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育に日常的に関わっている人や施設として、あてはまる番号すべてに○をつけてください。人についての選択肢はお子さんからみた関係です。



〔4〕子どもの子育て・教育にもっとも影響すると思われるもの（就学前児童のみ）

問10 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育にもっとも影響すると思われるものとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。



〔5〕家族類型

(上段：人、下段：%)

	n	ひとり親家庭	フルタイム共働き家庭	フルタイムとパート共働き家庭	専業主婦（夫）	パート共働き家庭	両親とも無職	無回答
就学前児童	1,150	29	259	186	627	2	12	35
	100.0	2.5	22.5	16.2	54.5	0.2	1.0	3.0
小学校児童	1,124	83	170	363	439	7	7	55
	100.0	7.4	15.1	32.3	39.1	0.6	0.6	4.9

Ⅲ. 調查結果

Ⅲ－１．就学前児童の調査結果

Ⅲ. 調査結果

Ⅲ-1. 就学前児童の調査結果

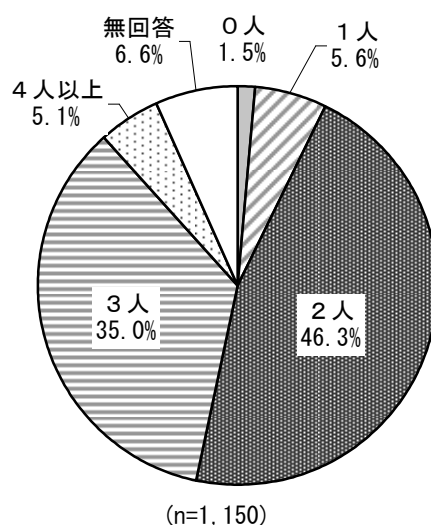
1. 子どもと家族の状況について

〔1〕希望する子どもの人数（就学前児童のみ）

問5 希望として、子どもが何人ほしいですか。

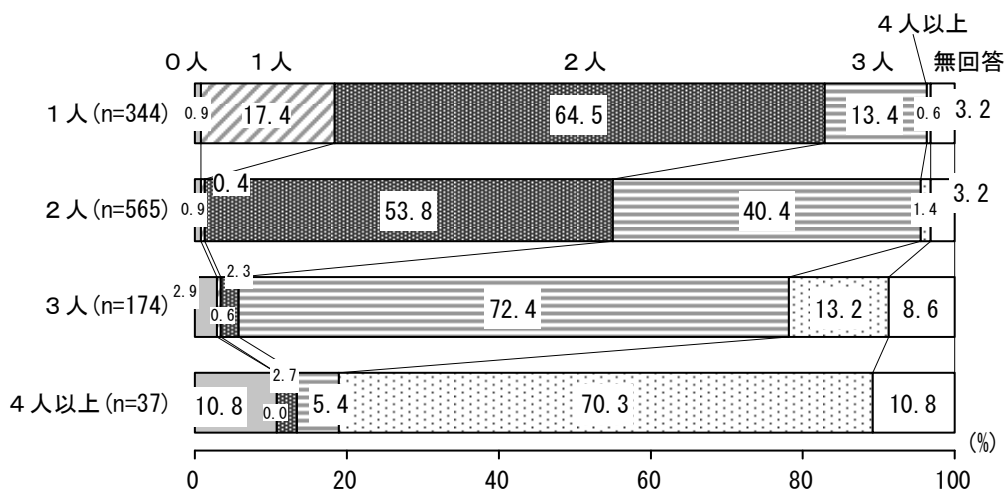
希望する子どもの人数は「2人」が46.3%と最も多く、次いで「3人」が35.0%となっている。

【希望する子どもの人数（全体）】



現在いる子どもの人数別でみると、子どもが1人もしくは2人いる世帯では、希望する子どもの数は「2人」が多い。子どもが2人いる世帯では「3人」を希望する世帯も少なくない。3人では「3人」が、4人以上では「4人」がそれぞれ多くなっている。

【希望する子どもの人数（子どもの人数別）】



【就学前児童】

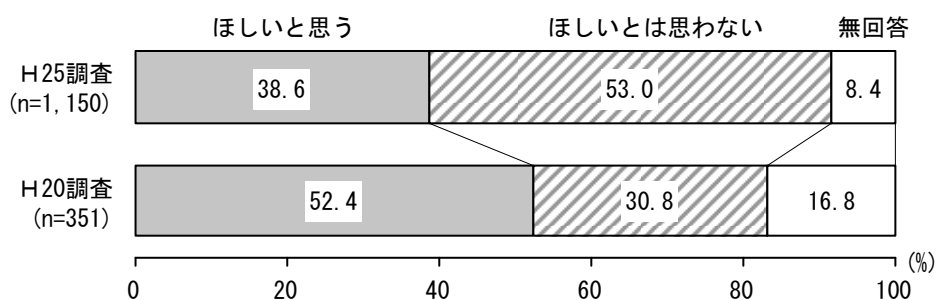
〔2〕 もう一人以上子どもを生み育てたい意向（就学前児童のみ）

問6 もう1人以上の子どもをほしいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

もう一人以上子どもを希望する割合は 38.6%に対し、「ほしいとは思わないが」が 53.0%で「ほしいと思う」の割合を大きく上回っている。

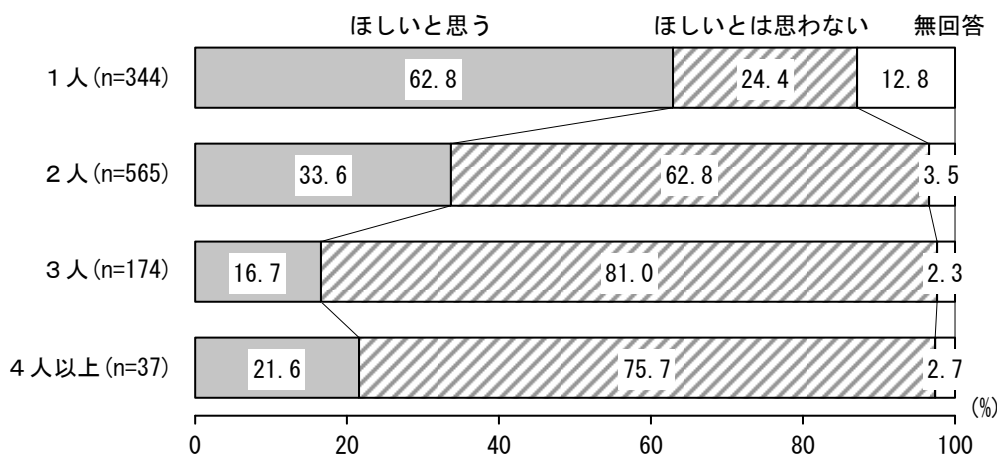
また、平成 20 年度の調査結果に比べ、「ほしいと思う」の割合は 52.4%から 38.6%へと 13.8 ポイント低下し、出産意欲は低下している。

【もう一人以上子どもを生み育てたい意向（全体）】



現在いる子どもの人数別にみると、子どもが少ない世帯ほど「ほしいと思う」の割合が高く、子どもが1人いる世帯では62.8%を占める。逆に子どもの人数が3人以上の世帯では、「ほしいとは思わない」の割合が8割前後を占めている。

【もう一人子どもを生み育てたい意向（子どもの人数別）】



■もう一人の子どもを生み育てたいと思える環境

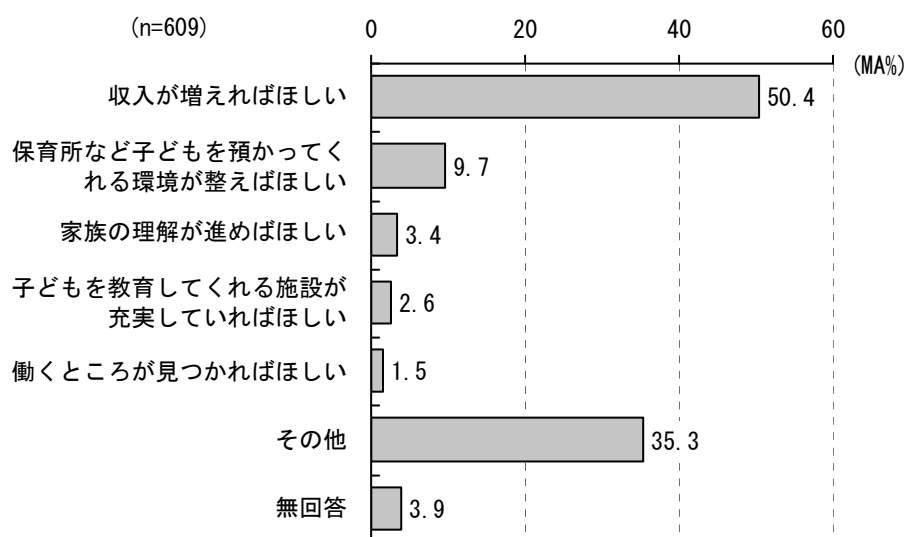
問6-1 問6で「2. ほしいとは思わない」を選ばれた方におうかがいします。どのような環境を整えればもう1人以上の子どもをほしいと思いますか。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

もう一人の子どもを生み育てたいとは思わないと回答した人に、もう一人の子どもを生み育てたいと思える環境の条件についてたずねると、「収入が増えればほしい」が50.4%で他の項目を大きく引き離して最も多い。

平成20年度の調査結果では、「経済的な環境を整えれば生み育てたい」が64.8%で最も多く、次いで「保育環境を整えれば生み育てたい」と「労働環境を整えれば生み育てたい」などで、経済的な問題は依然上位となっている。

「その他」の具体的な記述内容は、「今の人数で十分」「年齢や体力的に難しい」「金銭的に難しい」「他に家事や子守をしてくれる人、子育てに協力してくれる人がいれば」などが多くなっている。

【もう一人の子どもを生み育てたいと思える環境（全体）】



【「その他」記述内容】

記述内容	件数
今の人数で十分	66
年齢や体力的に難しい	65
金銭的に難しい	5
他に家事や子守をしてくれる人、子育てに協力してくれる人がいれば	5
一人親家庭には難しい	4
今で精一杯	4
体調が良ければ	4
健康面や身体的な理由	4
働く母親への会社や社会の理解、特に会社の労働環境	3
良い医者と最新医療の整った病院	2
市の教育費・医療費の補助が少ない点が改善されたら	2
母体のリスク	2
大学まで学費が無料等、成長してからのお金がかからなければ	2
つわりがなければ	2
その他	15

【就学前児童】

希望する子どもの人数別でみると、2人もしくは3人希望では「収入が増えればほしい」が5割と高くなっている。

【もう一人の子どもを生み育てたい環境（希望する子どもの人数別）】

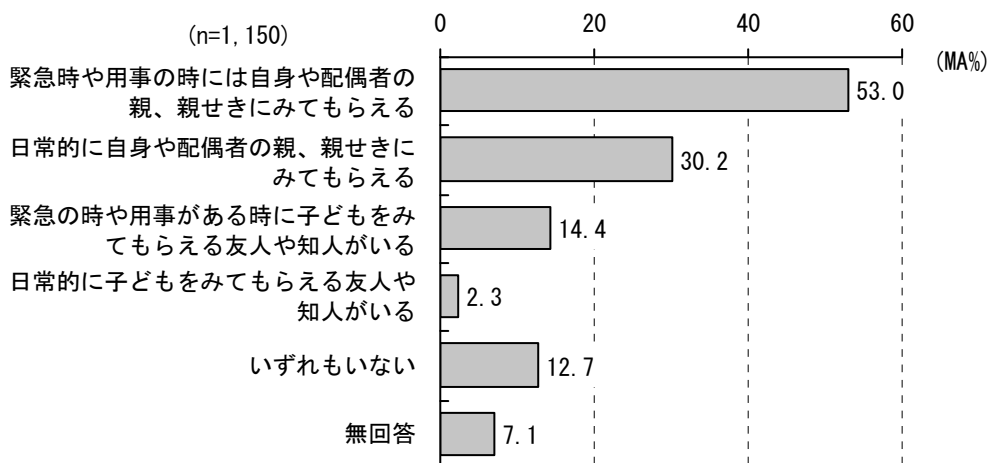
	n	が預保 整か育 えつ所 ばてな ほくど しれ子 いるど 環も 境を	い収 入が 増え れば ほし	れ働 入が ほと しこ ろが 見 つか	いれ子 れば施 ほ設を しが教 育充 実して てく	ほ家 族の 理 解が 進 めば	そ の 他	無 回 答
0人	15	26.7	20.0	6.7	-	6.7	46.7	-
1人	58	12.1	37.9	-	1.7	5.2	46.6	3.4
2人	306	8.8	53.9	2.3	2.3	1.3	32.7	4.6
3人	168	8.3	55.4	0.6	3.0	6.0	32.7	1.8
4人以上	27	11.1	40.7	-	3.7	7.4	40.7	7.4

〔3〕子どもの面倒をみてもらえる人の有無

問11 日頃、封筒のあて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもを預かってもらえる人の有無については、「緊急時や用事的时候には自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が53.0%で最も多く、次いで「日常的に自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が30.2%となっている。

【子どもの面倒をみてもらえる人の有無】



家族構成別でみると、夫婦と子ども世帯では「緊急時や用事的时候には自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」、夫婦と子どもと祖父母世帯では「日常的に自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」の割合が高くなっている。また、ひとり親家庭では、これらに加え、「緊急の時や用事がある時に子どもをみてもらえる友人や知人がいる」が高くなっている。

【子どもの面倒をみてもらえる人の有無（家族構成別）】

	n	(MA%)					無回答
		日常的に自身や配偶者の親、親せきにみても	緊急時や用事の時に自身や配偶者の親、親せきにみても	緊急時や用事の時に自身や配偶者の親、親せきにみても	日常的に友人や知人からみても	緊急時や用事の時に友人や知人からみても	
ひとり親家庭	29	34.5	48.3	3.4	20.7	6.9	17.2
夫婦と子ども	986	27.7	56.6	2.1	15.2	13.6	4.3
夫婦と子どもと祖父母	59	74.6	30.5	3.4	5.1	3.4	6.8
その他	31	41.9	45.2	6.5	6.5	16.1	9.7

家庭類型別でみると、類型に関係なく「緊急時や用事の際には自身や配偶者の親、親せきにみても」が半数前後を占めている。両親とも無職の世帯については、「日常的に自身や配偶者の親、親せきにみても」の割合も高い。

【子どもの面倒をみてもらえる人の有無（家庭類型別）】

	n	(MA%)					無回答
		日常的に自身や配偶者の親、親せきにみても	緊急時や用事の時に自身や配偶者の親、親せきにみても	緊急時や用事の時に自身や配偶者の親、親せきにみても	日常的に友人や知人からみても	緊急時や用事の時に友人や知人からみても	
ひとり親家庭	29	34.5	48.3	3.4	20.7	6.9	17.2
フルタイム共働き家庭	259	29.3	49.4	1.2	8.1	14.7	8.5
フルタイムとパート共働き家庭	186	31.2	55.9	4.3	12.4	12.4	6.5
専業主婦（夫）	627	28.9	53.7	2.1	16.9	12.8	6.2
パート共働き家庭	2	-	50.0	-	-	50.0	-
両親とも無職	12	66.7	50.0	8.3	8.3	-	16.7

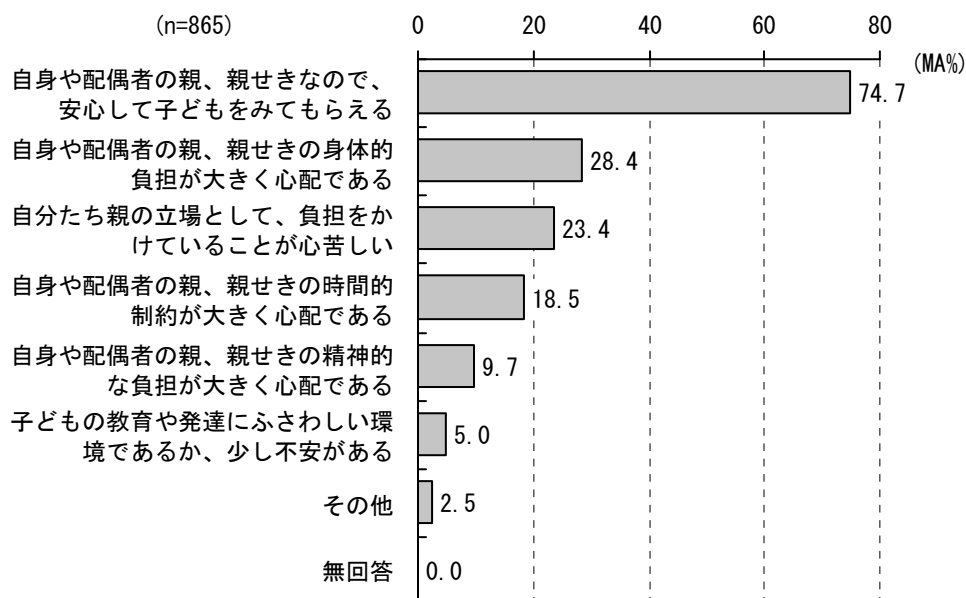
【就学前児童】

■親や親せきに子どもをみてもらうことに対する気持ち

問11-1 問11で「1. 日常的に自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」を選ばれた方におうかがいします。お子さんをご自身や配偶者の親、親せきにみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらうことに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

自分や配偶者の親、親せきに子どもをみてもらえると回答した人に、その気持ちについてたずねると、「自身や配偶者の親、親せきなので安心して子どもをみてもらえる」が74.7%で最も多い。これに次いで「自身や配偶者の親、親せきの身体的負担が大きく心配である」が続いている。

【親や親せきに子どもをみてもらうことに対する気持ち】

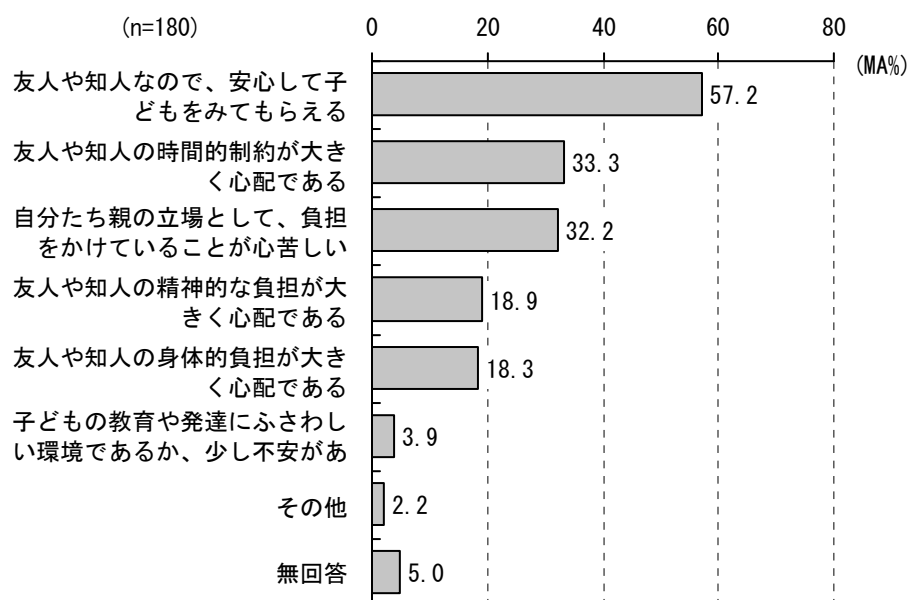


■友人・知人に子どもをみてもらうことに対する気持ち

問11-2 問11で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる」または「4. 緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」を選ばれた方におうかがいします。お子さんを友人や知人にみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもを預けられる友人・知人がいると回答した人に、友人・知人に子どもをみてもらうことに対する気持ちについてたずねたところ、「友人や知人なので、安心して子どもをみてもらえる」が57.2%で最も多く、次いで「友人や知人の時間的制約が大きく心配である」が33.3%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が32.2%となっている。

【友人・知人に子どもをみてもらうことに対する気持ち】



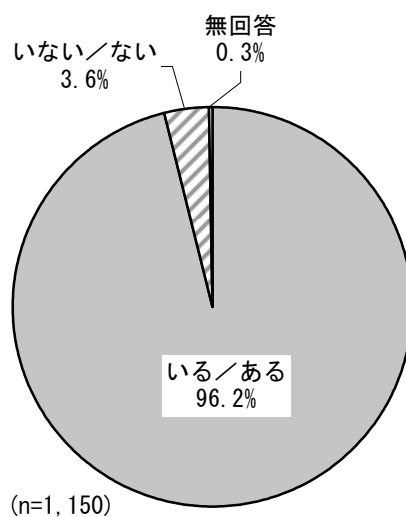
【就学前児童】

〔4〕子育てや教育についての相談相手・場所の有無

問12 あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子育てや教育についての相談相手が「いる／ある」が96.2%で大部分を占める。

【子育てや教育についての相談相手・場所の有無】

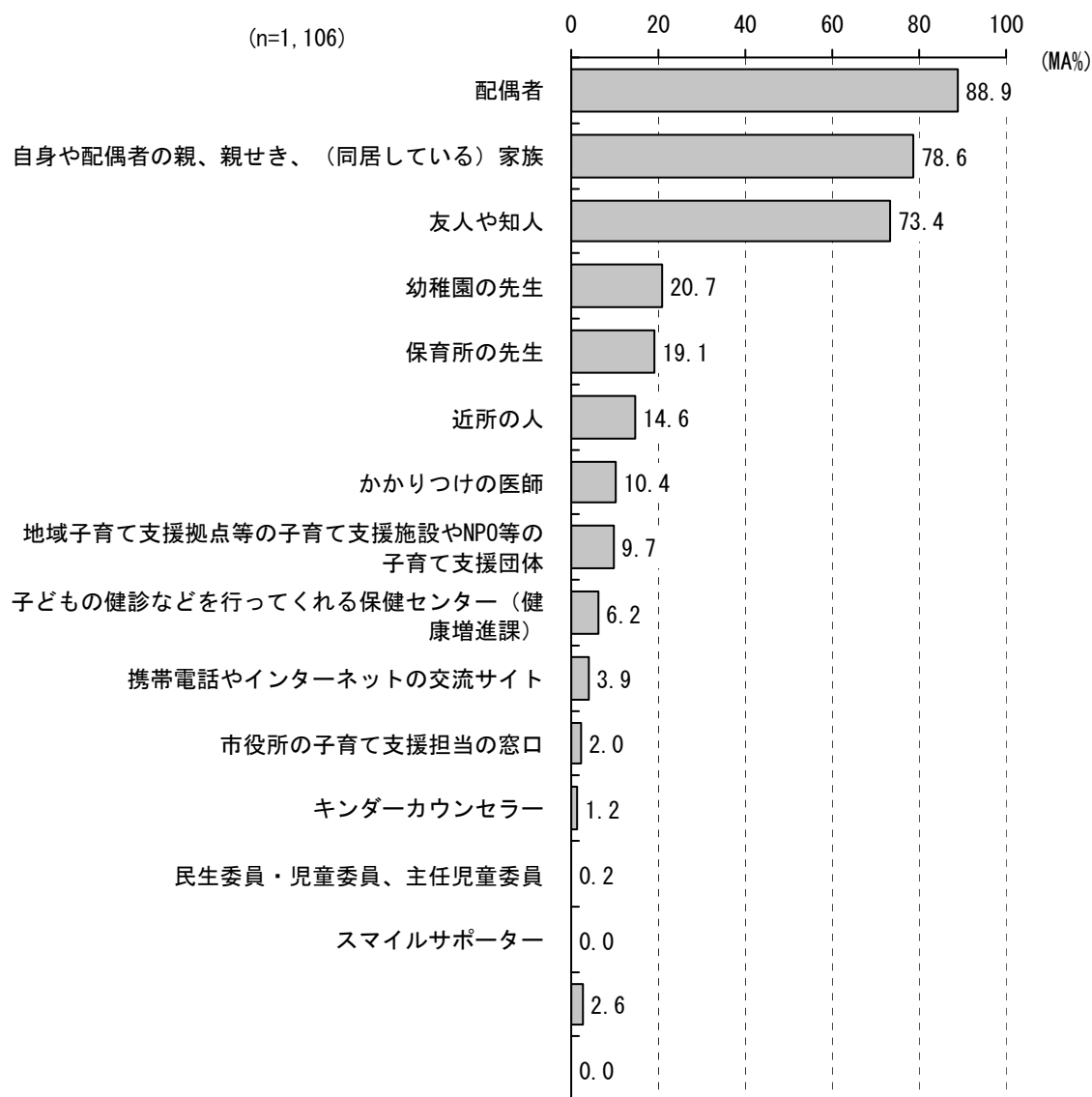


■具体的な相談先

問12-1 問12で「1. いる／ある」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てや教育に関する具体的な相談先は、「配偶者」が88.9%で最も多く、次いで「自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族」が78.6%、「友人や知人」が73.4%となっている。

【具体的な相談先】



【就学前児童】

家族類型別でみると、ひとり親家庭は「友人や知人」が86.2%で最も多く、次いで「自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族」の72.4%である。共働き世帯と専業主婦(夫)では「配偶者」が最も多く、また「友人や知人」「自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族」も少なくない。フルタイム共働き世帯では「保育所の先生」が50.8%と半数を占め、最も高くなっている。

【具体的な相談先(家族類型別)】

	n	配偶者	自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族	友人や知人	近所の人	地域子育て支援施設やNPO等の子育て支援団体	子どもの健康などを行う(健康増進課)センター	幼稚園の先生	保育所の先生	民生委員・児童委員、主任児童委員
ひとり親家庭	29	17.2	72.4	86.2	17.2	3.4	3.4	17.2	34.5	-
フルタイム共働き家庭	244	90.6	78.7	66.4	9.0	4.9	2.5	5.3	50.8	0.4
フルタイムとパート共働き家庭	179	88.8	76.0	72.6	14.0	3.4	5.0	26.3	31.8	0.6
専業主婦(夫)	607	91.9	79.7	75.5	16.6	14.0	8.4	25.7	2.3	-
パート共働き家庭	2	100.0	50.0	100.0	-	-	-	50.0	-	-
両親とも無職	12	66.7	91.7	58.3	8.3	8.3	-	25.0	8.3	-

	民生委員・児童委員、主任児童委員	かかりつけの医師	市役所の子育て支援担当の窓口	携帯電話やインターネットの交流サイト	キンダーカウンセラー	スマイルサポーター	その他	無回答
ひとり親家庭	-	20.7	6.9	6.9	3.4	-	-	-
フルタイム共働き家庭	0.4	9.4	2.9	3.7	0.8	-	2.0	-
フルタイムとパート共働き家庭	0.6	7.3	1.7	2.2	1.1	-	3.9	-
専業主婦(夫)	-	11.7	1.5	4.3	1.2	-	2.8	-
パート共働き家庭	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-
両親とも無職	-	-	-	-	-	-	-	-

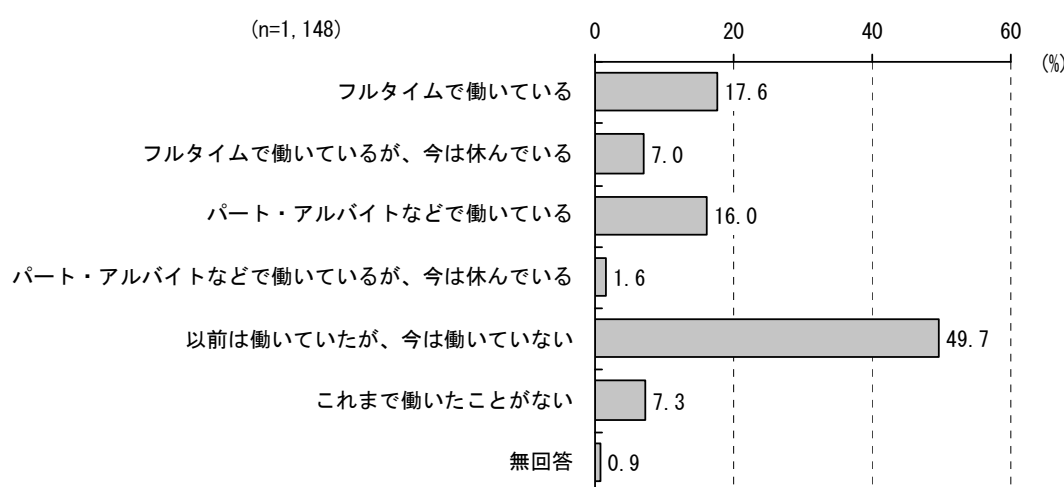
2. 両親の就労状況、今後の就労意向について

〔1〕母親の就労状況

問14 封筒のあて名のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

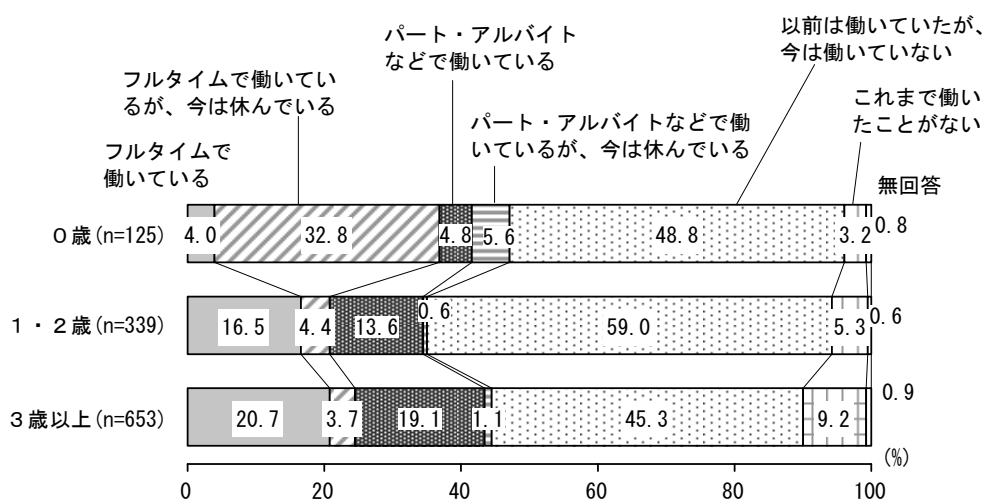
母親の就労状況は、「以前は働いていたが、今は働いていない」が49.7%を占め最も多い。これに対し、「フルタイムで働いている」（育休・介護休業等で休んでいる人を含む）が24.6%、「パート、アルバイトなどで働いている」（育休・介護休業等で休んでいる人を含む）が17.6%となっている。

【母親の就労状況】



子どもの年齢別で母親の就労状況をみると、どの年齢も「以前は働いていたが、今は働いていない」が半数前後を占め最も多い。就労者をみると、0歳児の母親は「フルタイムで働いているが、今は休んでいる」が32.8%となっているが、1歳以上の母親になると、「フルタイムで働いている」の割合が上昇している。

【母親の就労状況（子どもの年齢別）】



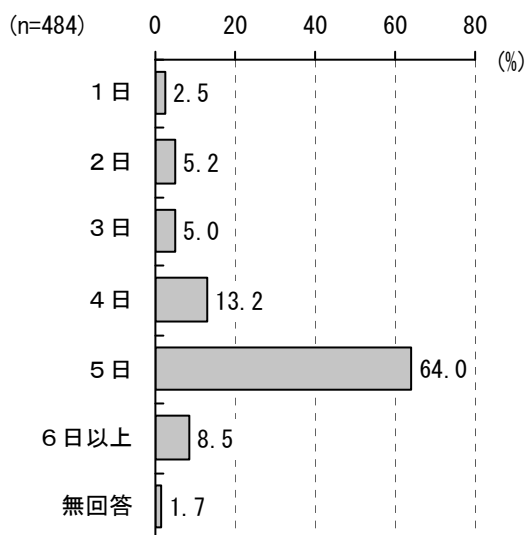
【就学前児童】

■就労する母親の就労日数・就労時間

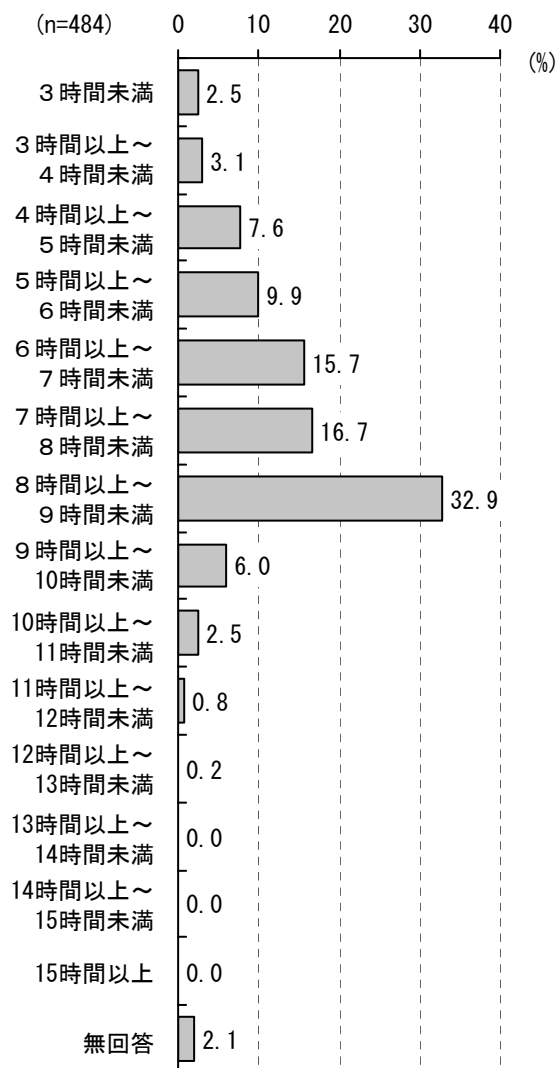
問14-1 問14で「1. フルタイムで働いている」から「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。（ ）内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

就労している（フルタイム、パート・アルバイトなど）と回答した母親の1週間の就労日数は、「5日」が64.0%で最も多い。また、1日あたりの就労時間は「8時間以上～9時間未満」が32.9%で最も多く、次いで「7時間以上～8時間未満」が16.7%、「6時間以上～7時間未満」が15.7%となっている。

【母親の就労日数／週】



【母親の就労時間／日】

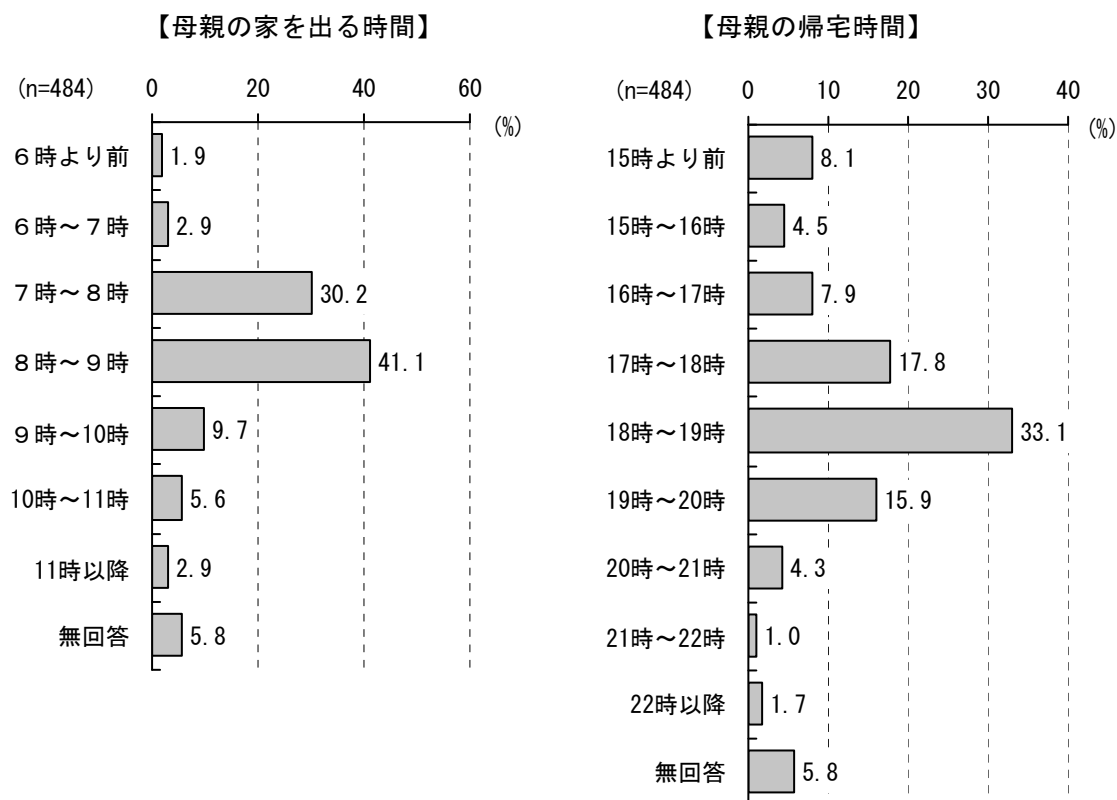


■就労する母親の家を出る時間・帰宅時間

問14-2 問14で「1. フルタイムで働いている」から「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、24時間制でお答えください。

就労している（フルタイム、パート・アルバイトなど）と回答した母親の家を出る時間は「8時～9時」が41.1%で最も多く、次いで「7時～8時」の30.2%である。

また、帰宅時間は「18時～19時」が33.1%で最も多く、次いで「17時～18時」が17.8%、「19時～20時」が15.9%となっている。



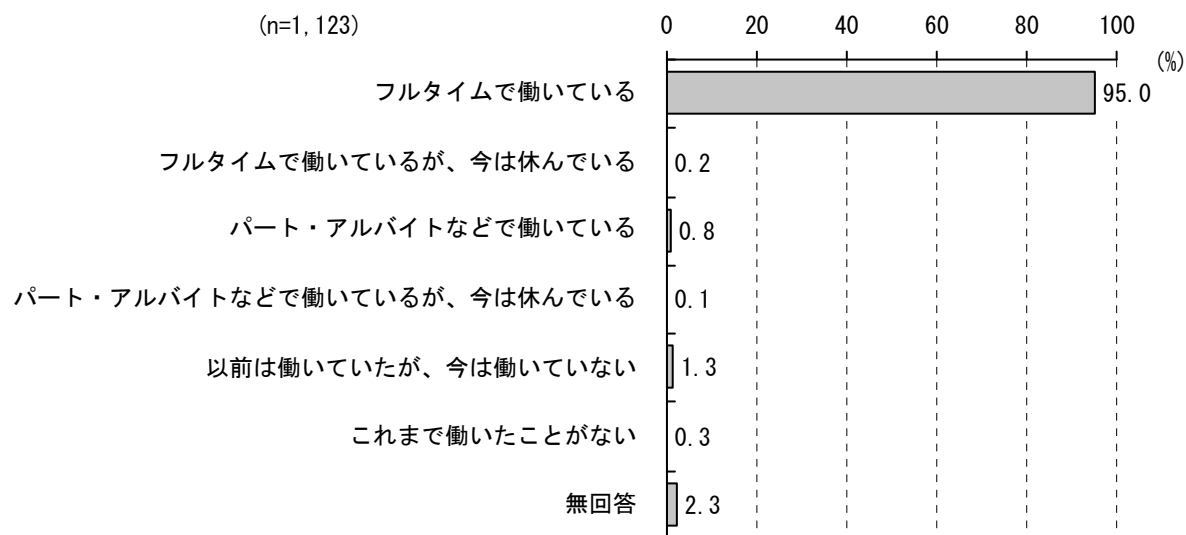
【就学前児童】

〔2〕父親の就労状況

問15 封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

父親の就労状況は、「フルタイムで働いている」（育休・介護休業等で休んでいる人を含む）が95.2%で大部分を占める。

【父親の就労状況】



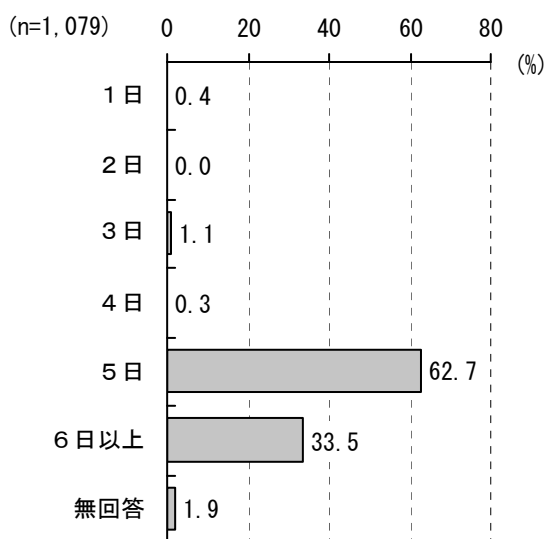
■就労する父親の就労日数・就労時間

問15-1 問15で「1. フルタイムで働いている」から「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。（ ）内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

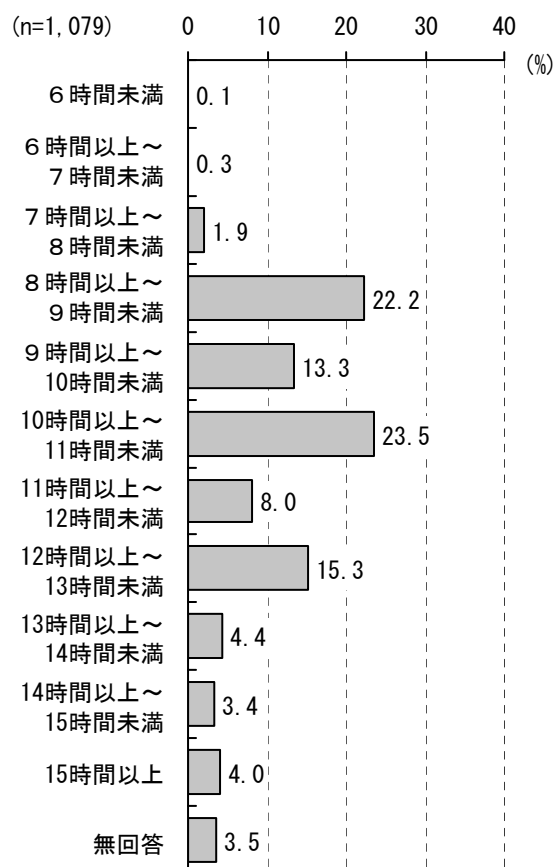
就労している（フルタイム、パート・アルバイトなど）と回答した父親の1週間の就労日数は、「5日」が62.7%で最も多く、次いで「6日以上」が33.5%である。

また、1日あたりの就労時間は「8時間以上～9時間未満」が22.2%、「10時間以上～11時間未満」が23.5%、「12時間以上～13時間未満」が15.3%と、母親と異なり、就労時間にばらつきがみられる。

【父親の就労日数／週】



【父親の就労時間／日】



【就学前児童】

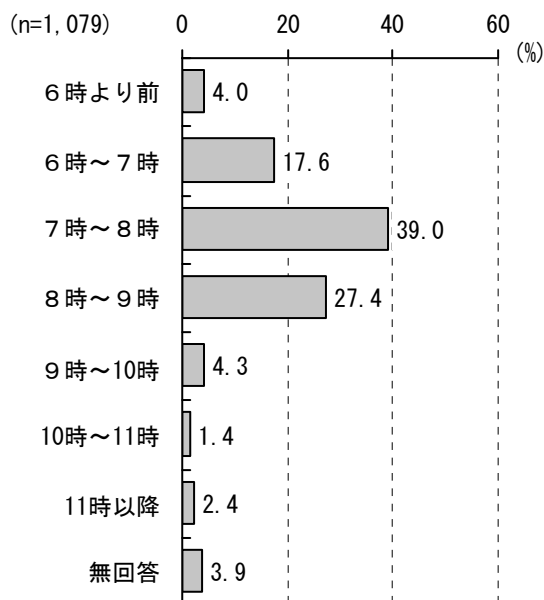
■就労する父親の家を出る時間・帰宅時間

問15-2 問15で「1. フルタイムで働いている」から「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、24時間制でお答えください。

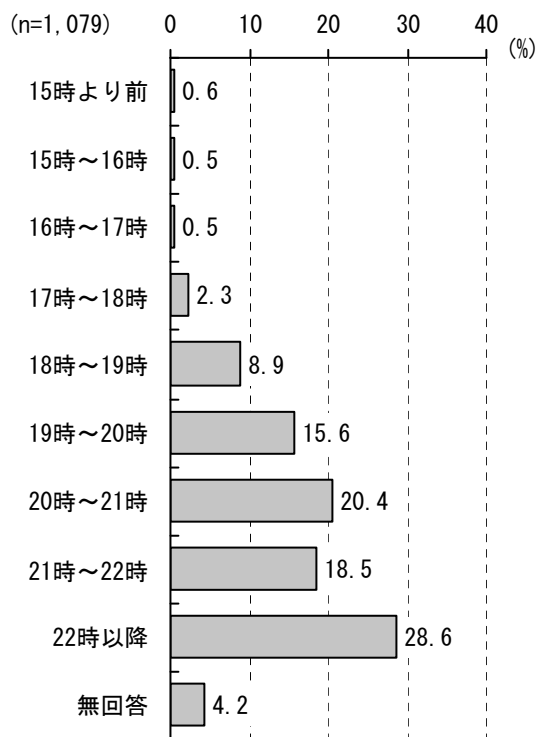
就労している（フルタイム、パート・アルバイトなど）と回答した父親の家を出る時間は「7時～8時」が39.0%で最も多く、次いで「8時～9時」の27.4%である。

また、帰宅時間は「22時以降」が28.6%で最も多く、次いで「20時～21時」が20.4%、「21時～22時」が18.5%となっている。回答世帯の父親の67.5%は、20時以降に帰宅している。

【父親の家を出る時間】



【父親の帰宅時間】



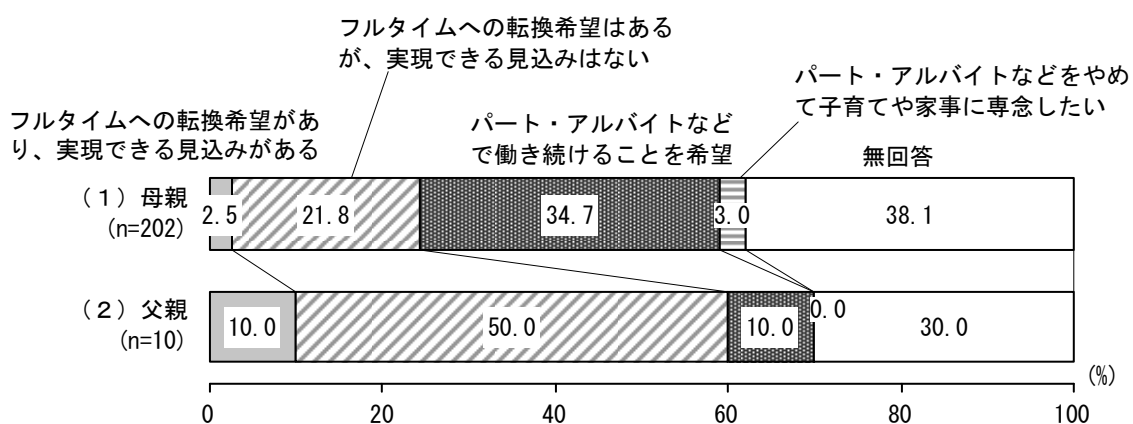
〔3〕今後の就労希望

(1) パート・アルバイトからフルタイムへの転換意向

問16 問14または問15で、「3. パート・アルバイトなどで働いている」または「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

現在、パート・アルバイトで就労する母親で、今後フルタイムに転換希望がある割合は24.3%で、そのうち「実現できる見込みがある」は2.5%と低い。これに対し、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が34.7%で多くなっている。

【パート・アルバイトからフルタイムへの転換意向】

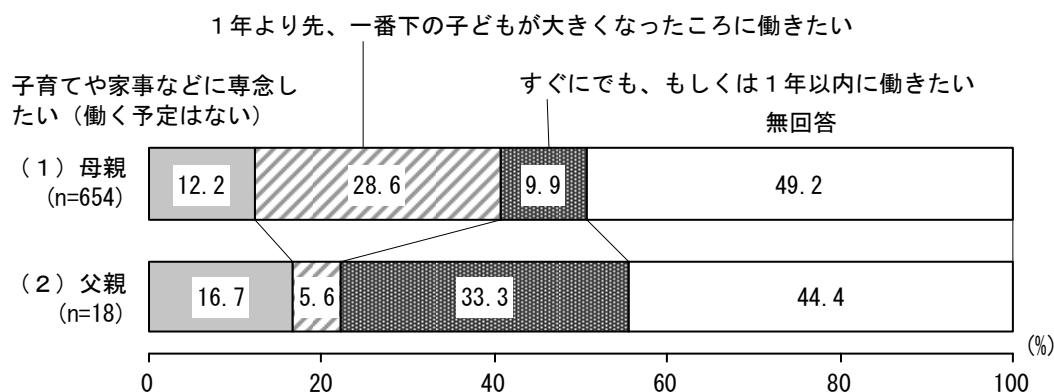


(2) 現在無職者の就労意向

問17 問14または問15で「5. 以前は働いていたが、今は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」を選ばれた、仕事をお持ちでない方におうかがいします。働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、() 内に具体的な数字を入れてください。

現在、無職の母親の就労意向をみると、「1年より先、一番下の子どもが大きくなったころに働きたい」が28.6%と最も多く、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」は9.9%と少なくなっている。

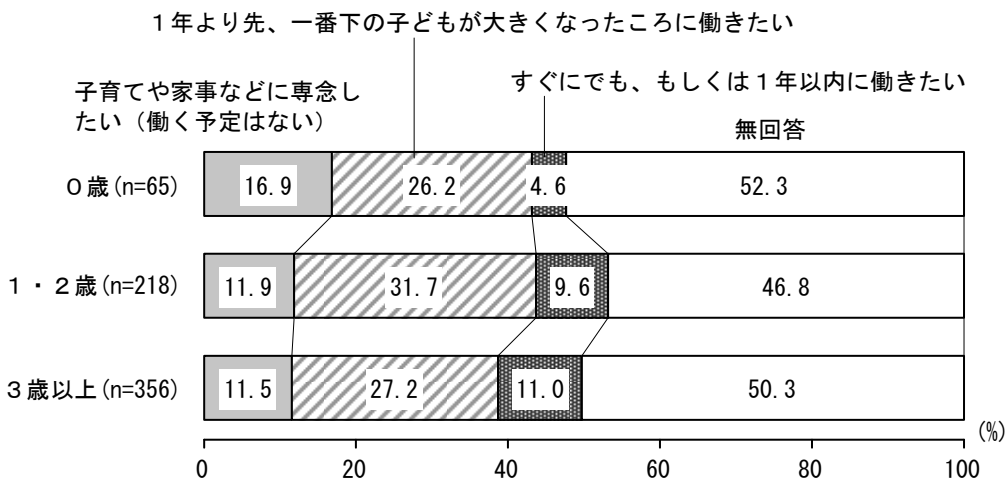
【現在無職者の就労意向】



【就学前児童】

子どもの年齢別で見ると、いずれも「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに働きたい」の割合が高くなっている。0歳児の保護者では「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」の割合がやや高いのに対し、1歳以上の子どもの母親では「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」の割合がやや高くなっている。

【現在就労していない母親の就労希望（子どもの年齢別）】



■ 1年より先で、働きたい時期の末子の年齢

	n	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上	無回答
(1) 母親	187	4.8	2.7	15.0	17.1	9.1	45.5	5.9
(2) 父親	1	-	-	-	-	-	100.0	-

■ すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい場合の就労希望条件

① 希望する働き方

	n	フルタイム	パート バイト など	無回答
(1) 母親	65	9.2	86.2	4.6
(2) 父親	6	33.3	16.7	50.0

② 1週当たりの就労希望日数

(%)

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答
(1) 母親	65	-	4.6	24.6	38.5	26.2	-	6.2
(2) 父親	6	-	-	-	-	33.3	-	66.7

③ 1日当たりの就労希望時間

(%)

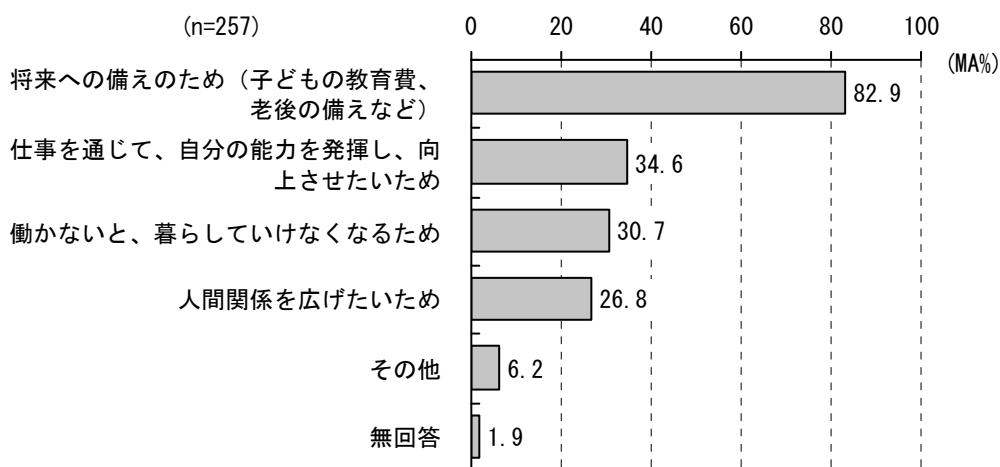
	n	3時間未満	4時間未満以上	5時間未満以上	6時間未満以上	7時間未満以上	8時間未満以上	9時間未満以上	10時間未満以上	11時間以上	1時間以上	無回答
(1) 母親	65	-	9.2	38.5	23.1	10.8	6.2	6.2	-	-	-	6.2
(2) 父親	6	-	-	-	-	16.7	-	16.7	-	-	-	66.7

■働きたい理由

問17-1 問17の(1)または(2)で「2. 1年より先、一番下の子どもが大きくなったころに働きたい」「3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」を選ばれた、今後働きたいと考えておられる方におうかがいします。働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

今後、働きたいと考えている理由は、「将来への備えのため」が82.9%と最も多い。

【働きたい理由】



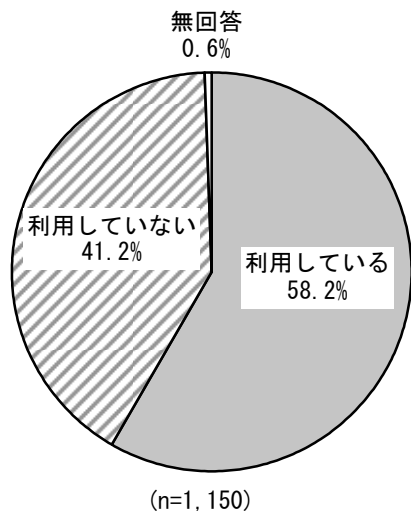
【就学前児童】

3. 教育・保育サービスの定期的な利用状況・利用意向について

〔1〕平日における教育・保育施設・サービスの利用の有無

問18 平日（月曜日から金曜日）に、幼稚園や保育所などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的に」利用されていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

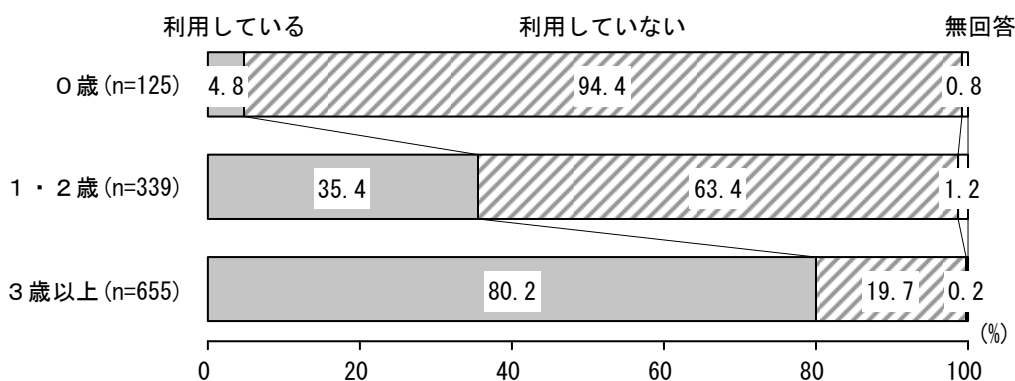
【平日における教育・保育サービスの利用の有無】



教育・保育施設・サービスを「利用している」が58.2%に対し、「利用していない」は41.2%である。

子どもの年齢別で教育・保育施設・サービスの利用割合をみると、0歳児は4.8%で、年齢の上昇とともに割合も増加し、3歳以上では80.2%となっている。

【平日における教育・保育サービスの利用の有無（子どもの年齢別）】

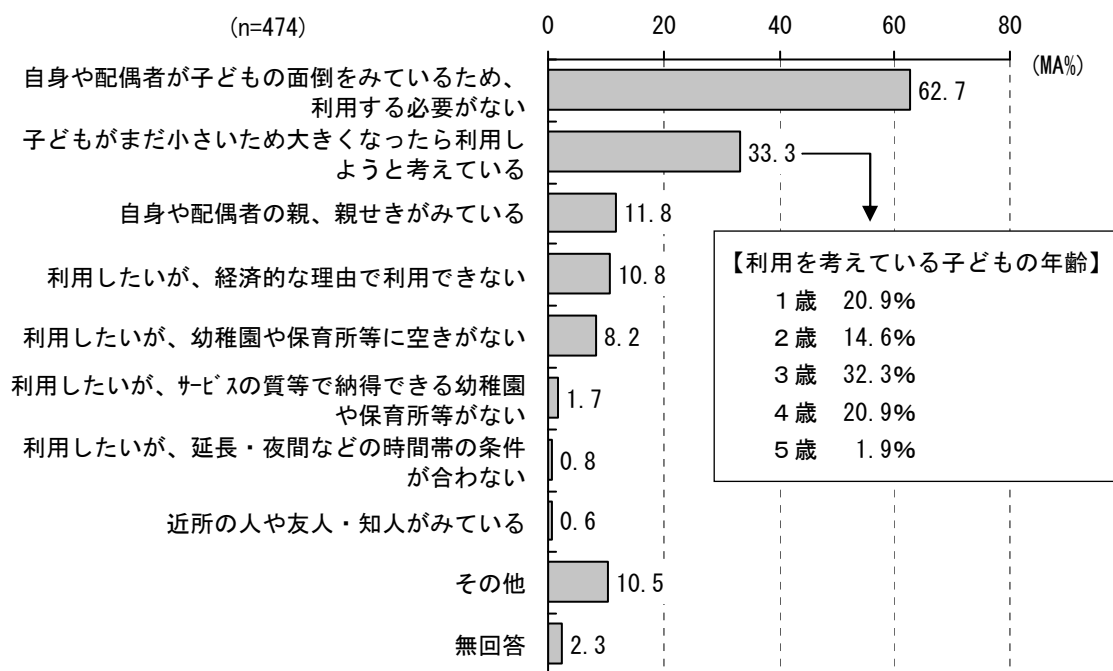


■教育・保育施設・サービスを利用していない理由

問18-1 問18で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

教育・保育サービスを利用していない理由は、「自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が62.7%で最も多い。

【教育・保育施設・サービスを利用していない理由】



子どもの年齢別では、0歳児は「子どもがまだ小さいため大きくなったら利用しようと考えている」が48.3%で最も多く、次いで「自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が46.6%となっている。1歳以上の子どもの場合は、「自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が最も多い。

【教育・保育施設・サービスを利用していない理由（子どもの年齢別）】

	n	(MA%)									
		用面 す倒 る必 要が ない ため の利 用	自 身 や 配 偶 者 が 子 ど も の 利 用	自 身 や 配 偶 者 の 親、 親 せ が み て い る	近 所 の 人 や 友 人 ・ 知 人 が み て い る	保 育 所 等 に 空 き が な い 幼 稚 園 や	理 由 で 利 用 し て い な い が、 経 済 的 な	合 間 な ど の 時 間 帯 の 延 長 条 件 が 夜	園 の 質 等 で 納 得 が な い 幼 稚 園 や	大 き く な ら な い 利 用 し よ う と 考 え て い る	子 ど も が ま だ 小 さい た め
0歳	118	46.6	11.0	-	14.4	7.6	1.7	0.8	48.3	11.0	0.8
1・2歳	215	64.7	11.2	0.5	8.4	12.6	0.5	1.9	37.7	7.0	2.3
3歳以上	129	72.9	14.7	1.6	2.3	10.9	0.8	1.6	12.4	17.1	3.9

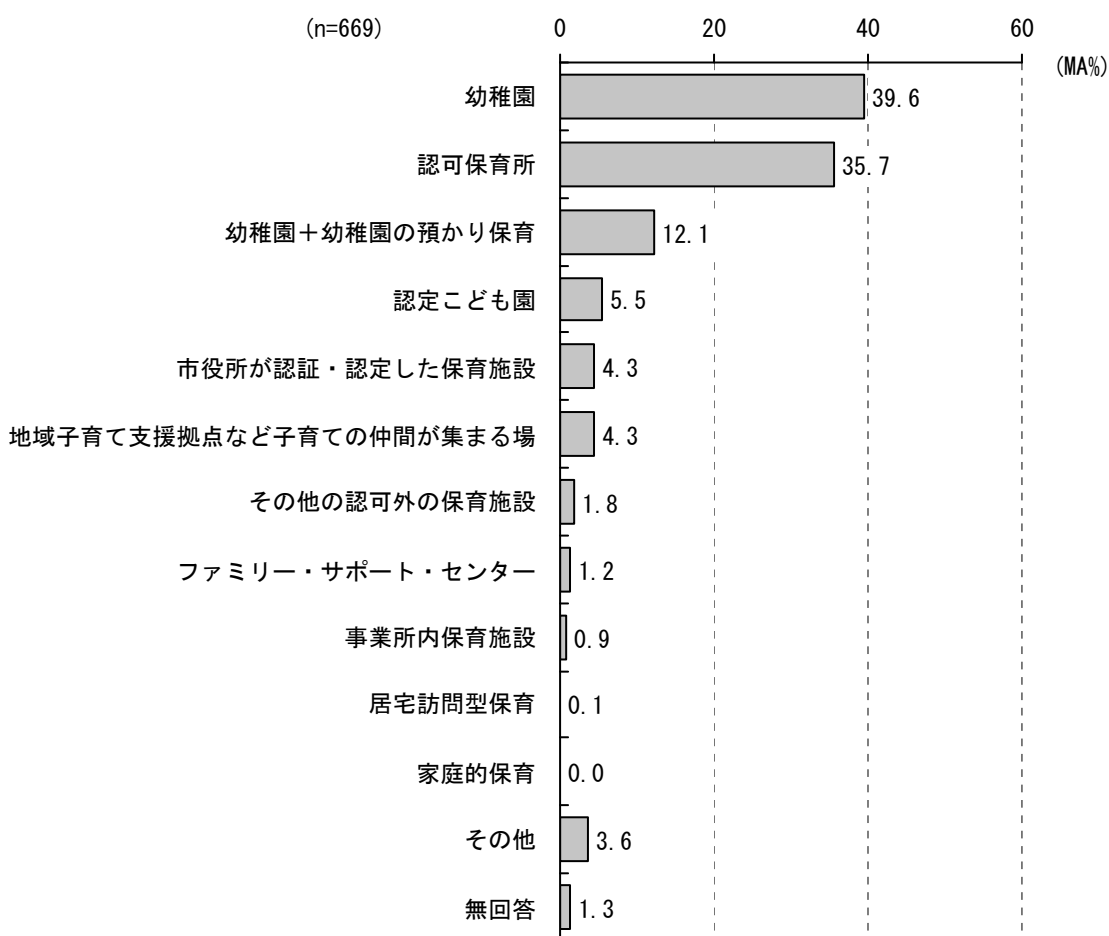
【就学前児童】

〔2〕利用している教育・保育施設・サービス

問18-2 問18で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的にご利用されている施設やサービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

教育・保育施設・サービスを利用していると回答した人に、利用している施設・サービスをたずねた。「幼稚園」が39.6%、「認可保育所」が35.7%で、これら2施設が上位を占める。これらに次いで「幼稚園+幼稚園の預かり保育」(12.1%)、「認定こども園」(5.5%) などとなっている。

【利用している教育・保育施設・サービス】



【就学前児童】

子どもの年齢別に利用している施設・サービスをみると、0歳児は「地域子育て支援拠点など子育て仲間が集まる場」が33.3%で最も多い。1・2歳児は、「認可保育所」が58.3%、3歳以上の子どもは「幼稚園」が47.4%でそれぞれ最も多くなっている。また、3歳以上の子どもでは、「認可保育所」の割合も3割となっており利用は少なくない。

【利用している教育・保育施設・サービス（子どもの年齢別）】

														(MA%)
	n	幼稚園	育 幼稚園 幼稚園 幼稚園の預かり保	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	市役所が認証・認定した保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
0歳	6	16.7	-	16.7	16.7	-	-	16.7	33.3	16.7	33.3	-	16.7	-
1・2歳	120	10.8	2.5	58.3	8.3	-	2.5	6.7	3.3	-	10.8	3.3	5.0	0.8
3歳以上	525	47.4	14.3	30.7	4.2	-	0.6	3.4	1.0	-	2.7	0.8	3.2	1.3

家庭類型別で利用している施設・サービスをみると、ひとり親家庭とフルタイム共働き家庭、フルタイムとパート共働き家庭では「認可保育所」の利用が最も多く、特にフルタイム共働き家庭では7割を占めている。専業主婦（夫）では「幼稚園」が多く、フルタイムとパート共働き家庭でも利用割合が高くなっている。

【利用している教育・保育施設・サービス（家庭類型別）】

														(MA%)
	n	幼稚園	育 幼稚園 幼稚園 幼稚園の預かり保	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	市役所が認証・認定した保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
ひとり親家庭	23	13.0	13.0	65.2	13.0	-	-	4.3	-	-	-	4.3	4.3	-
フルタイム共働き家庭	207	1.9	6.8	70.0	9.7	-	1.0	5.8	3.4	-	1.9	1.9	2.9	1.4
フルタイムとパート共働き家庭	148	25.7	24.3	43.9	3.4	-	2.0	6.1	1.4	0.7	2.0	-	0.7	1.4
専業主婦（夫）	264	78.8	9.1	2.7	2.7	-	0.4	1.5	0.8	-	8.0	1.1	5.7	1.5
パート共働き家庭	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
両親とも無職	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【就学前児童】

■施設・サービスの利用日数・時間

問18-3 問18で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在利用している幼稚園や保育所などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日あたり何時間（何時から何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように24時間制で記入してください。

教育・保育施設・サービスを利用していると回答した人の施設・サービスの利用状況と今後の希望をみると、1週間あたりの利用日数は、「5日」が79.7%で最も多くなっている。今後の利用希望日数も「5日」が60.7%で最も多く、「6日以上」の割合が現在に比べ希望でやや上昇している。

① 1週間当たりの利用日数と今後の希望

(%)

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答
(1) 現在	669	3.0	6.6	1.3	2.5	79.7	4.0	2.8
(2) 希望	669	0.6	2.5	1.8	2.2	60.7	8.1	24.1

施設・サービスの1日あたりの利用時間は、「5時間以上～6時間未満」が26.5%で最も多くなっている。今後の利用希望時間は「6時間以上～7時間未満」が13.9%で最も多く、次いで「9時間以上～10時間未満」が10.3%となっている。また、「7時間以上～8時間未満」の割合が現在に比べ希望でやや上昇している。

② 1日当たりの利用時間と今後の希望

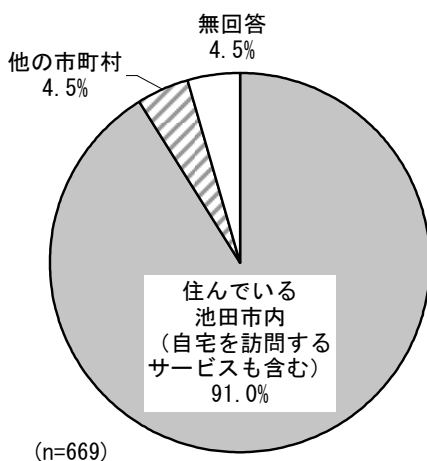
(%)

	n	3時間未満	3時間以上～4時間未満	4時間以上～5時間未満	5時間以上～6時間未満	6時間以上～7時間未満	7時間以上～8時間未満	8時間以上～9時間未満	9時間以上～10時間未満	10時間以上～11時間未満	11時間以上～12時間未満	12時間以上～13時間未満	13時間以上～14時間未満	14時間以上～15時間未満	15時間以上	無回答
(1) 現在	669	7.5	2.5	2.4	26.5	9.6	3.3	11.2	13.6	12.4	5.4	0.4	-	-	0.1	5.1
(2) 希望	669	1.0	1.8	2.2	7.5	13.9	9.7	9.1	10.3	7.9	6.7	2.5	0.4	-	-	26.8

■施設・サービスの利用場所

問18-4 問18で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在、利用されている施設などはどこにありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。「2. 他の市町村」を選択された方は、その市町村名についても（ ）内に記入してください。

【施設・サービスの利用場所】



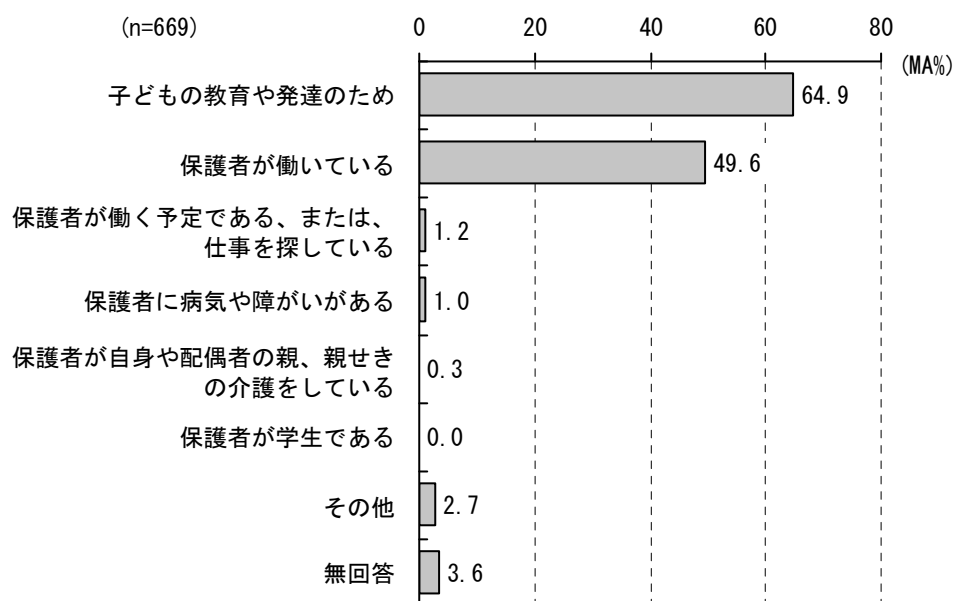
教育・保育施設・サービスの利用場所は、「住んでいる池田市内」が91.0%で大部分を占める。

■施設・サービスの利用理由

問18-5 問18で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用されている理由について、もっともあてはまる番号すべてに○をつけてください。

教育・保育施設・サービスの利用理由は、「子どもの教育や発達のため」が64.9%で最も多く、次いで「保護者が働いている」が49.6%である。

【施設・サービスの利用理由】



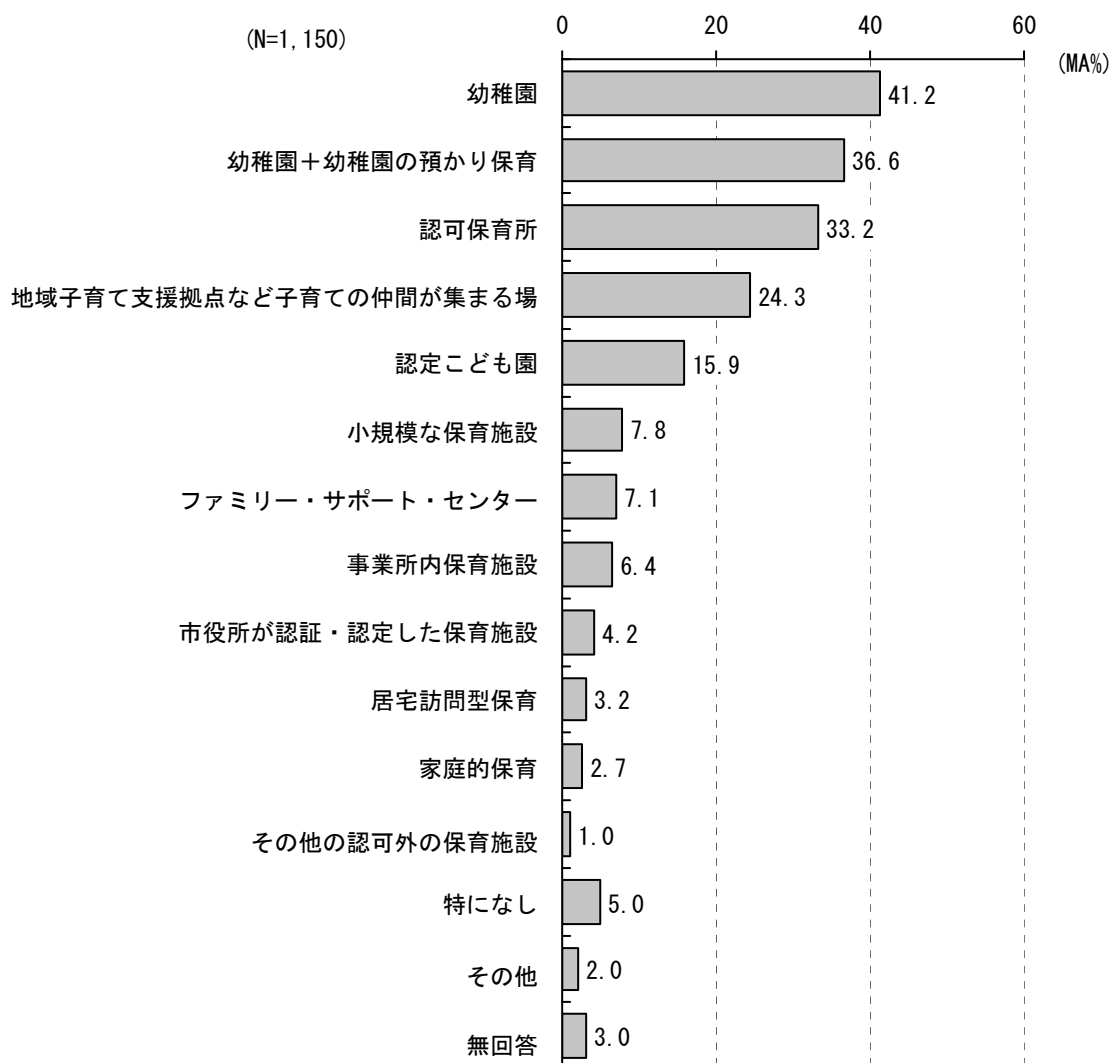
【就学前児童】

〔3〕平日の教育・保育施設・サービスの定期的な利用意向

問20 幼稚園や保育所などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日（月曜日から金曜日）に封筒のあて名のお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの施設やサービスを利用するためには、一定の利用料を支払う必要があります。

今後の施設・サービスの利用希望をみると、回答者全体の92.0%に利用希望がある。利用希望がある施設・サービスは、「幼稚園」が41.2%で最も多く、これに次いで「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が36.6%となっている。以下、「認可保育所」(33.2%)、「地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場」(24.3%)、「認定こども園」(15.9%)などとなっている。

【平日の教育・保育施設・サービスの定期的な利用意向】



【就学前児童】

子どもの年齢別で見ると、0歳児の保護者は「認可保育所」が58.4%で最も多く、次いで「地域子育て支援拠点など子育て仲間が集まる場」が47.2%となっている。1・2歳児では、「認可保育所」(37.2%)とともに「幼稚園」(37.5%)も多く、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」を含めると延べで6割の希望率となっている。3歳以上の子どもの保護者でも幼稚園の利用希望率がさらに高くなっている。

【平日の教育・保育施設・サービスの定期的な利用意向（子どもの年齢別）】

	n	(MA%)														
		幼稚園	幼稚園+幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	市役所が認証・認定した保育施設	施設	その他の認可外の保育	居宅訪問型保育	地域子育て支援拠点など子育て仲間が集まる場	ファミリー・サポート・センター	特になし	その他
0歳	125	28.8	32.8	58.4	25.6	18.4	5.6	12.8	8.8	2.4	0.8	47.2	14.4	2.4	-	4.8
1・2歳	339	37.5	29.2	37.2	17.4	10.6	3.8	7.4	6.5	0.9	5.0	31.9	6.8	8.0	1.8	2.4
3歳以上	655	45.8	40.6	26.6	13.3	4.3	1.5	4.9	2.1	0.9	2.7	15.9	6.1	4.0	2.6	2.7

家庭類型別で見ると、ひとり親家庭は「認可保育所」が55.2%で最も多く、次いで「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が44.8%となっているフルタイム共働き家庭でも「認可保育所」が72.6%と高くなっているが、フルタイムとパート共働き家庭は、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が47.3%で最も多く、次いで「認可保育所」が39.8%となっている。一方、「幼稚園」が28.0%となっており、預り保育希望を合わせると、延べの幼稚園希望率は7割を超えている。専業主婦(夫)は「幼稚園」の希望が多い。

【平日の教育・保育施設・サービスの定期的な利用意向（家庭類型別）】

	n	(MA%)														
		幼稚園	幼稚園+幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	市役所が認証・認定した保育施設	施設	その他の認可外の保育	居宅訪問型保育	地域子育て支援拠点など子育て仲間が集まる場	ファミリー・サポート・センター	特になし	その他
ひとり親家庭	29	20.7	44.8	55.2	31.0	17.2	6.9	10.3	-	-	-	3.4	3.4	6.9	-	3.4
フルタイム共働き家庭	259	7.7	26.6	72.6	24.7	3.9	1.9	7.3	5.8	1.9	3.1	15.4	8.5	2.3	2.3	1.5
フルタイムとパート共働き家庭	186	28.0	47.3	39.8	14.5	9.1	2.7	7.0	2.2	0.5	3.8	16.1	8.1	3.8	0.5	3.2
専業主婦(夫)	627	59.8	38.3	14.8	11.8	8.8	2.7	5.9	4.1	0.6	3.5	31.6	6.7	6.1	2.4	3.5
パート共働き家庭	2	-	50.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
両親とも無職	12	33.3	16.7	16.7	8.3	16.7	8.3	8.3	16.7	8.3	-	16.7	-	25.0	-	8.3

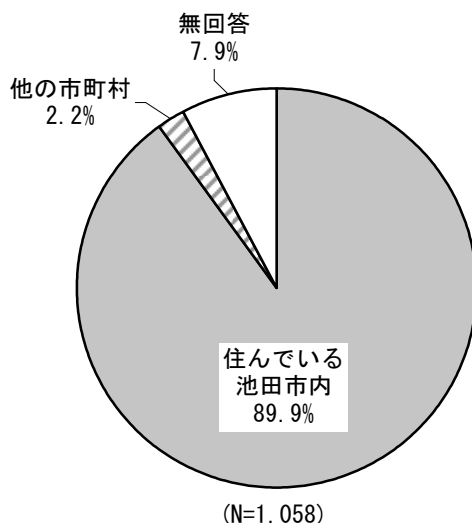
【就学前児童】

■利用希望のある施設・サービスの提供場所

問20-1 利用を希望している施設やサービスはどこにありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。「2.」を選択された方は、その市町村名についても（ ）内に記入してください。

今後、希望する施設・サービスの提供場所は、「住んでいる池田市内」が89.9%と大部分を占める。

【利用希望のある施設・サービスの提供場所】

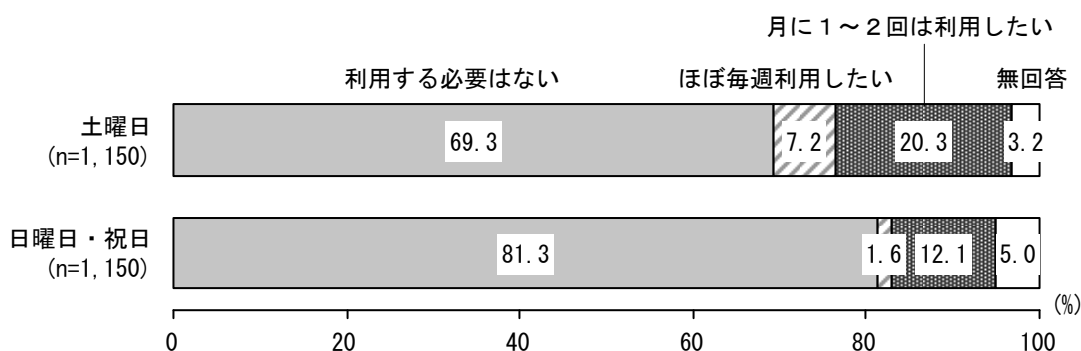


〔4〕土曜日、日曜日・祝日の教育・保育施設・サービスの定期的な利用意向

問21 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所などの利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。希望がある場合は、（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように24時間制でご記入ください。なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。

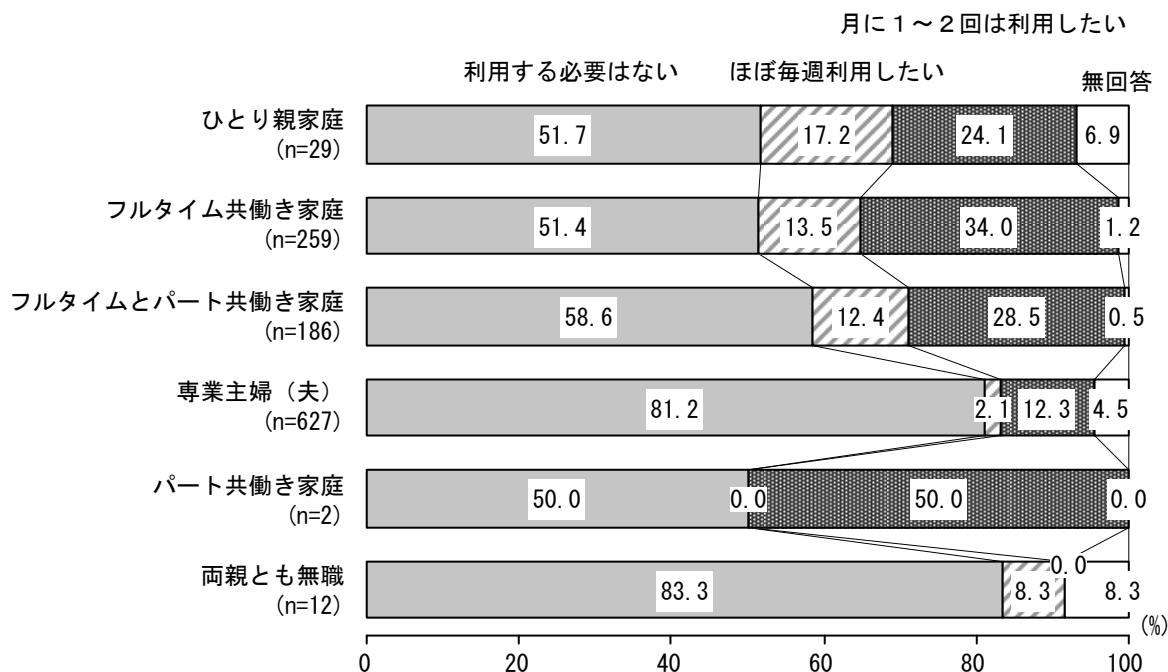
土曜日、日曜日・祝日の施設・サービスの利用については、「利用する必要はない」が多くなっている。「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」の割合は、日曜日・祝日に比べ土曜日のほうが高く、利用ニーズがある。

【土曜日、日曜日・祝日の施設・サービスの利用意向】



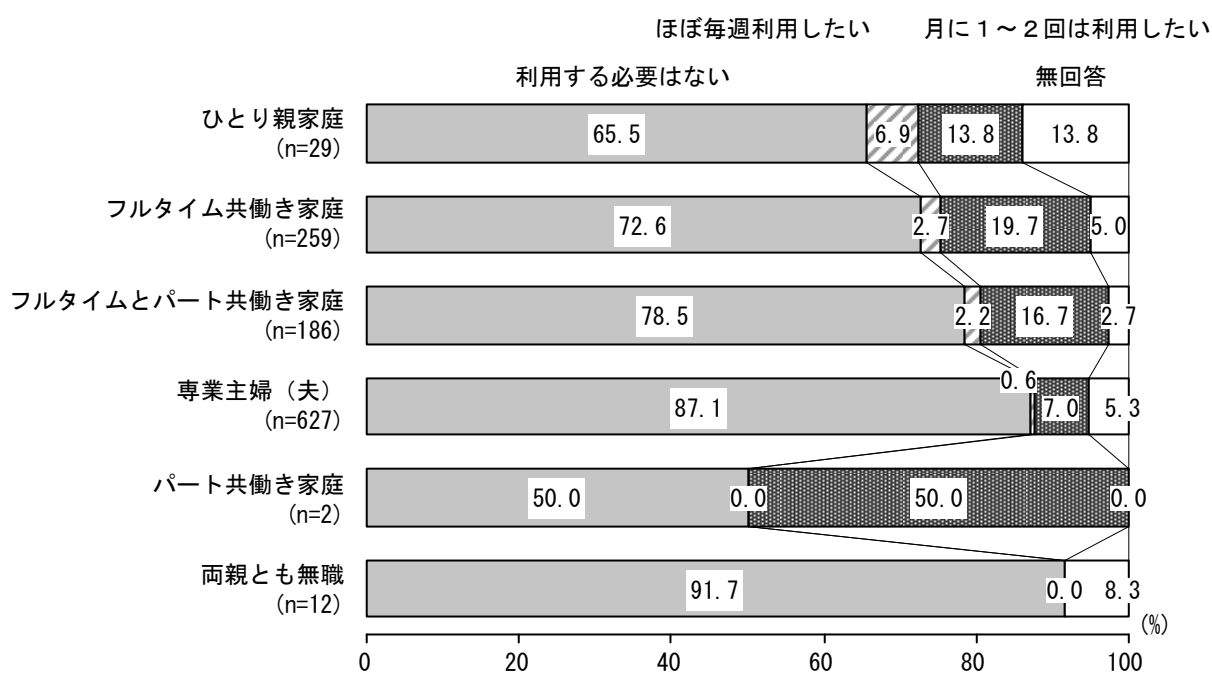
土曜日の施設・サービス利用意向について家庭類型別で見ると、ひとり親家庭、共働き家庭で利用希望の割合（「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた割合）が高い。

【土曜日の施設・サービスの利用意向（家庭類型別）】



日曜日・祝日の施設・サービス利用意向について家庭類型別で見ると、土曜日同様、ひとり親家庭や共働き家庭で利用希望の割合（「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた割合）が高いが、土曜日に比べ割合は低くなっている。

【日曜日・祝日の施設・サービスの利用意向（家庭類型別）】



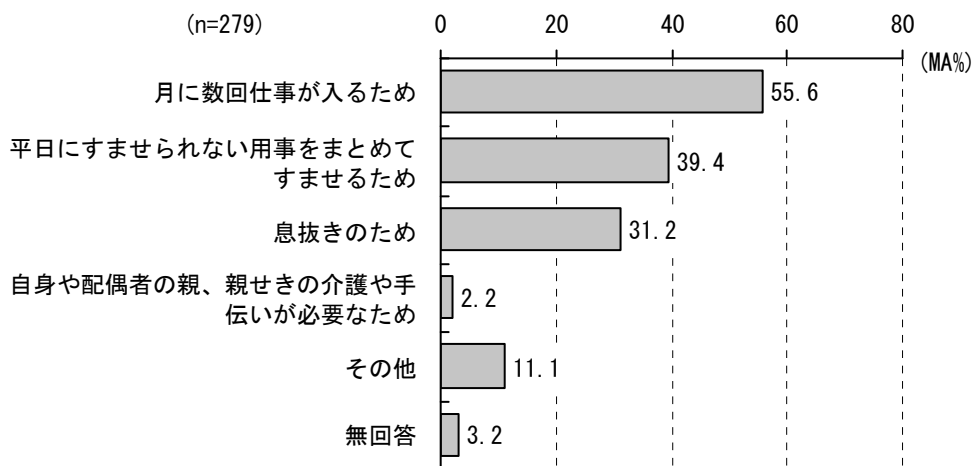
【就学前児童】

■月に1～2回程度利用したい理由

問21-1 問21の(1)または(2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。それ以外の方は問22へお進みください。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

たまに土曜日、日曜日・祝日に施設・サービスを利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が55.6%で最も多い。

【月に1～2回程度利用したい理由】

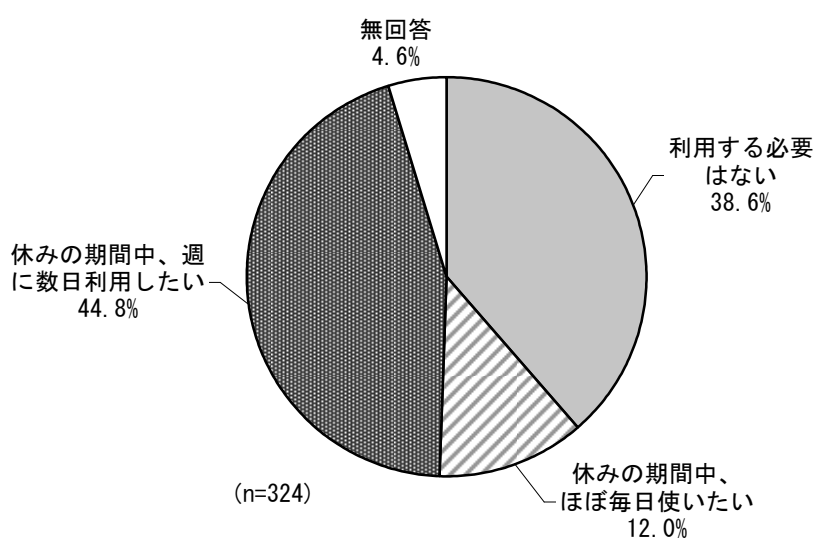


〔5〕 幼稚園が長期休暇中のサービスの利用意向

問22 封筒のあて名のお子さんが「幼稚園」を利用されている方におうかがいします。利用していない方は問23へお進みください。夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。希望がある場合は、() 内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず(9:00～18:00)のように24時間制で記入してください。なお、これらの施設などを利用するためには、一定の利用料が必要です。

幼稚園の長期休暇中における施設・サービスの利用については、「利用する必要はない」が38.6%となっている。一方、「休みの期間中、ほぼ毎週利用したい」(12.0%)と「休みの期間中、週に数日利用したい」(44.8%)を合わせると利用希望率は56.8%となっている。

【幼稚園が長期休暇中のサービスの利用意向】



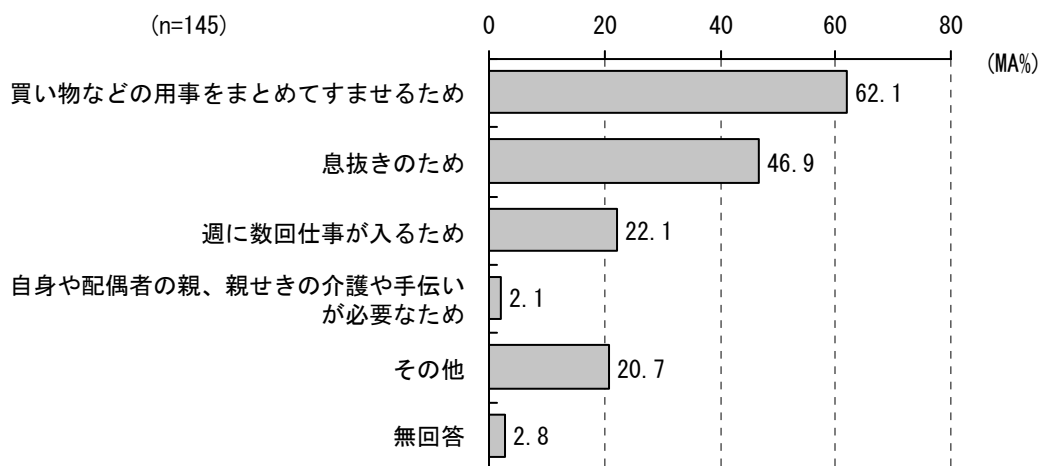
【就学前児童】

■週に数日利用したい理由

問22-1 問22で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方におうかがいします。それ以外の方は問23へお進みください。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

長期休暇中に、たまに施設・サービスを利用したい理由は、「買い物などの用事をまとめて済ませるため」が62.1%で最も多く、次いで「息抜きのため」が46.9%となっている。

【休みの期間中、週に数日利用したい理由】



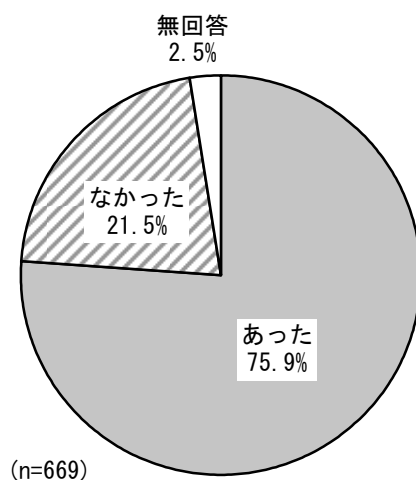
4. 病児・病後児保育について

〔1〕子どもが病気等で教育・保育施設・サービスを利用できなかった経験

問19 平日に定期的に幼稚園や保育所などを利用していると答えた保護者の方（問18で1に○をつけた方）に、封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用できなかったことはありますか。

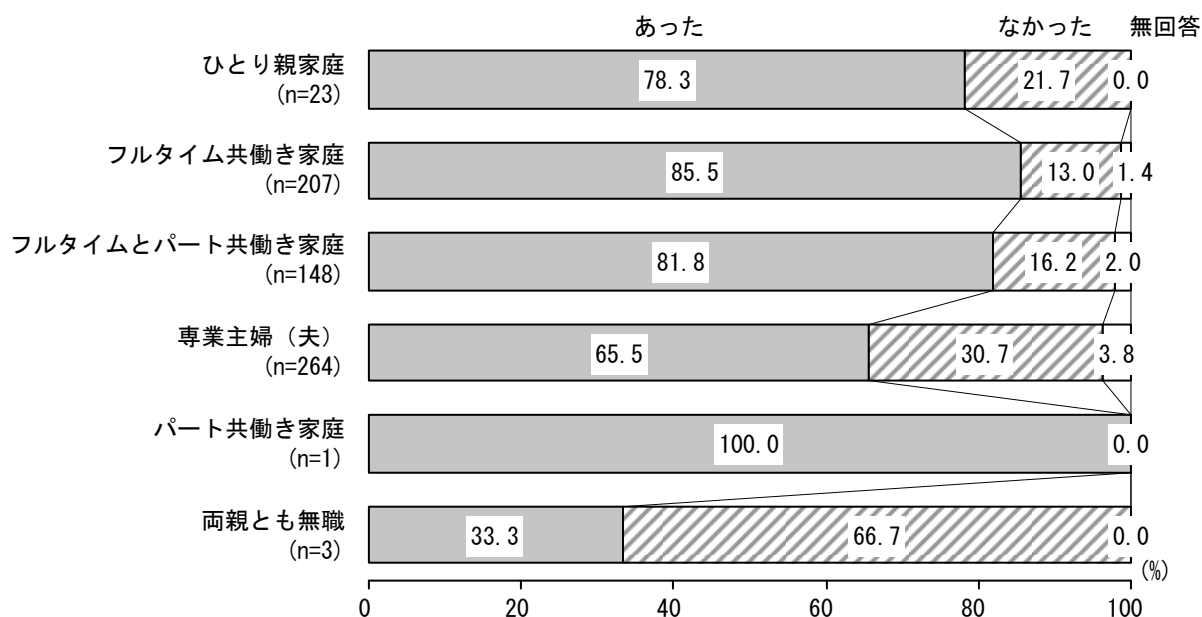
子どもが病気等で教育・保育施設・サービスを利用できなかった経験が「あった」が75.9%に対し、「なかった」は21.5%となっている。

【子どもが病気等で教育・保育施設・サービスを利用できなかった経験】



家庭類型別でみると、両親とも無職を除く各類型で「あった」が多くなっている。

【子どもが病気等で教育・保育施設・サービスを利用できなかった経験（家庭類型別）】



【就学前児童】

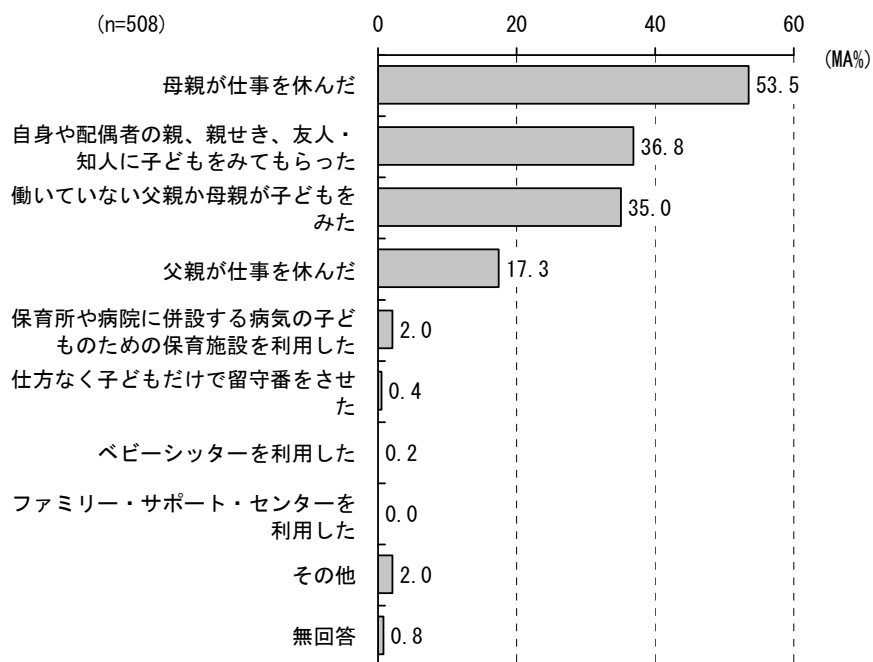
〔2〕施設・保育サービスを利用できなかった時の対処方法

問19-1 問19で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について（ ）内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

子どもが病気等で施設・保育サービスを利用できなかった経験があったと回答した保護者に、利用できなかった時の対処方法をたずねると、「母親が休んだ」が53.5%で最も多く、次いで「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人に子どもをみてもらった」(36.8%)、「働いていない父親か母親が子どもをみた」(35.0%)が多くなっている。

対処方法別の年間平均日数は、「母親が休んだ」場合が7.1日、「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人に子どもをみてもらった」場合が5.7日、「働いていない父親か母親が子どもをみた」場合が6.1日となっている。

【施設・保育サービスを利用できなかった時の対処方法】



【対処方法別平均日数（年間）】

対処方法	n	平均年間日数 (日)
父親が仕事を休んだ	85	3.2
母親が仕事を休んだ	263	7.1
自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	180	5.7
働いていない父親か母親が子どもをみた	166	6.1
保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用し	10	5.3
ベビーシッターを利用した	1	1.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	6.0
その他	9	5.1

【就学前児童】

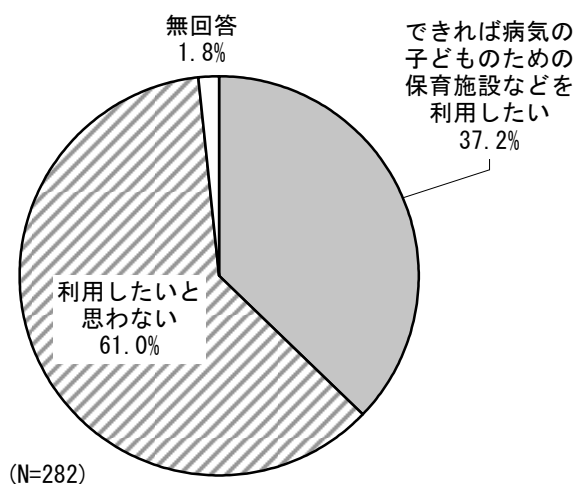
〔3〕 保護者が仕事を休んで対処した場合の病児・病後児保育施設の利用意向

問19-2 問19-1で「1. 父親が仕事を休んだ」「2. 母親が仕事を休んだ」を選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は（ ）内に具体的な数字を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

施設・保育サービスを利用できなかった時の対処方法で、父親もしくは母親が仕事を休んで対処した保護者の病児・病後児保育施設の利用意向をたずねたところ、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」が 37.2%に対し、「利用したいと思わない」が 61.0%となっている。

なお、病児・病後児保育施設を利用したいと回答した保護者の年間平均利用希望日数は 6.5 日となっている。

【保護者が仕事を休んで対処した場合の病児・病後児保育施設の利用意向】

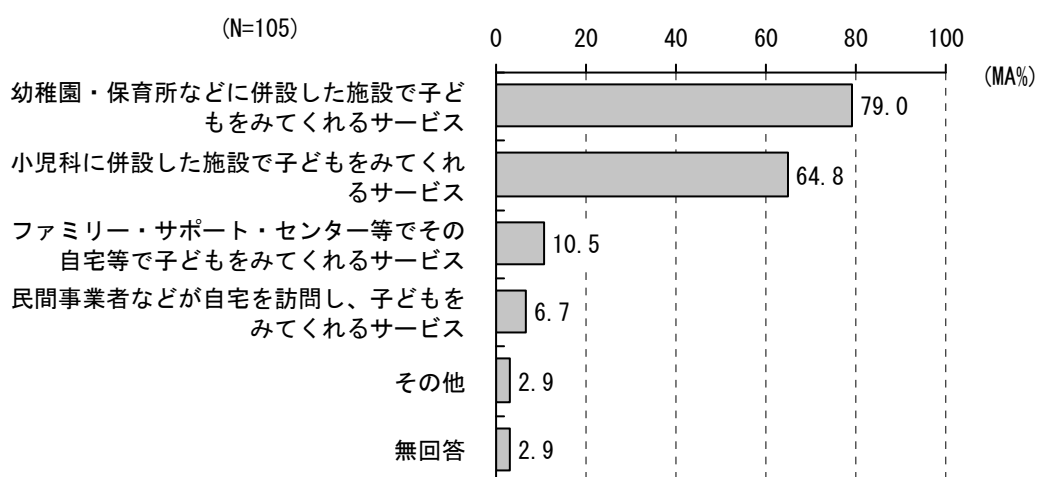


■病児・病後児保育施設を利用する場合の望ましいサービス形態

問19-3 問19-2で「1. 利用したい」を選ばれた方におうかがいします。利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設の利用意向がある場合の望ましいサービス形態は、「幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてるサービス」が79.0%で最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもをみてるサービス」が64.8%となっている。これらに比べ、ファミリー・サポート・センターや民間事業者等によるサービスの希望割合は低い。

【病児・病後児保育施設を利用する場合の望ましいサービス形態】



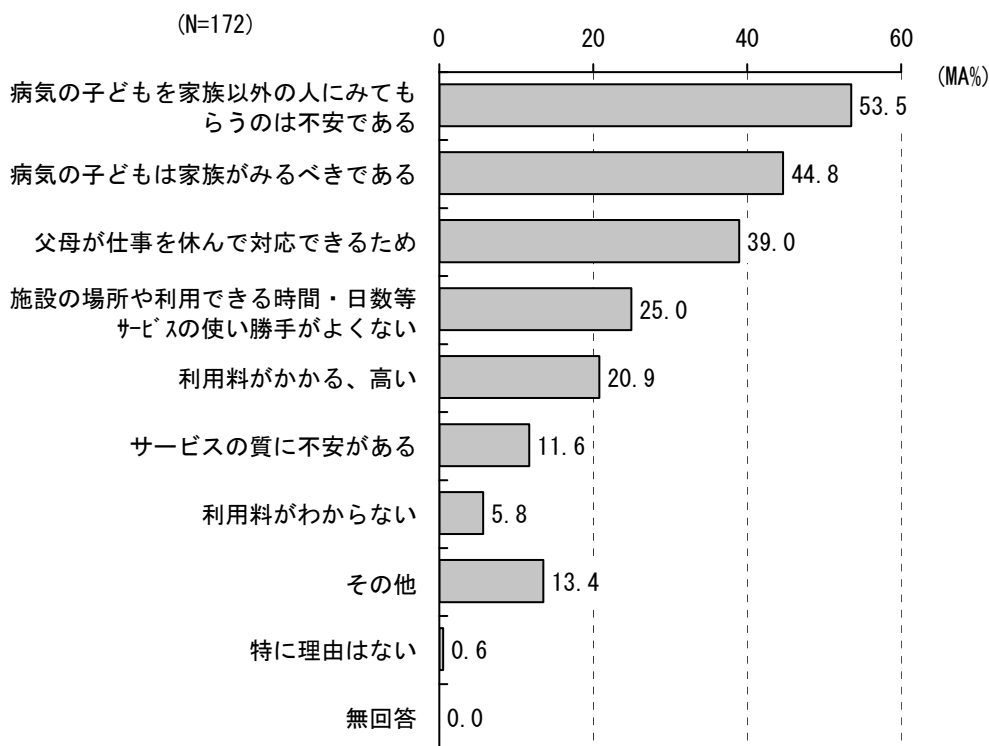
【就学前児童】

■病児・病後児保育施設の利用を望まない理由

問19-4 問19-2で「2. 利用したいと思わない」を選ばれた方におうかがいします。その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

病児・病後児保育施設の利用を望まない理由は、「病気の子どもを家族以外の人にみてもらうのは不安である」が53.5%で最も多い。これに次いで「病気の子どもは家族がみるべきである」（44.8%）、「父母が仕事を休んで対応できるため」（39.0%）など、サービスに関する理由よりも子どもをみる保護者・家族に関する理由が上位を占めている。

【病児・病後児保育施設の利用を望まない理由】



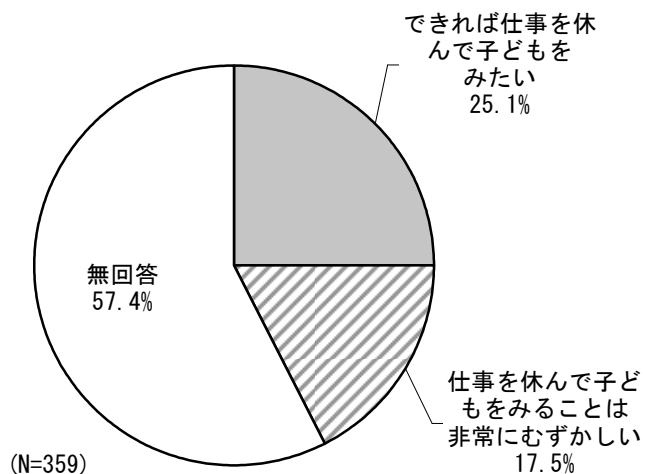
〔4〕保護者が仕事を休まず対処した場合の子どもの看護休暇の取得意向

問19-5 問19-1で「3. 自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」から「9. その他」を選ばれた、仕事を休まずに対応された方におうかがいします。「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい。」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、選ばれた「3.」から「9.」でご記入された日数のうち、仕事を休んでお子さんの看病をしたいと思われた日数について、() 内に具体的な数字を入れてください。

施設・保育サービスを利用できなかった時の対処方法で、父親もしくは母親が仕事を休まず対処した場合の子どもの看護休暇の取得意向をたずねたところ、「できれば仕事を休んで子どもをみたい」が25.1%に対し、「仕事を休んで子どもをみることは非常にむずかしい」が17.5%となっている。

なお、できれば仕事を休んで子どもをみたいと回答した保護者の年間の平均休暇取得希望日数は5.7日となっている。

【保護者が仕事を休まず対処した場合の子どもの看護休暇の取得意向】



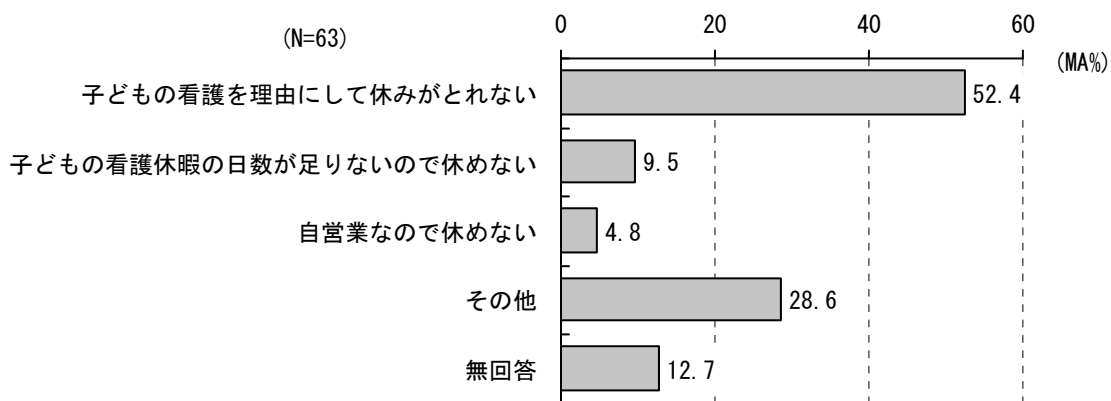
【就学前児童】

■子どもの看護休暇の取得が困難な理由

問19-6 問19-5で「2. 仕事を休んで子どもをみることは非常にむずかしい」を選ばれた、仕事を休まないで対応される方におうかがいします。そう思われる理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの看護休暇を取得することが困難な理由は、「子どもの看護を理由にして休みがとれない」が52.4%で最も多い。

【子どもの看護休暇の取得が困難な理由】



5. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

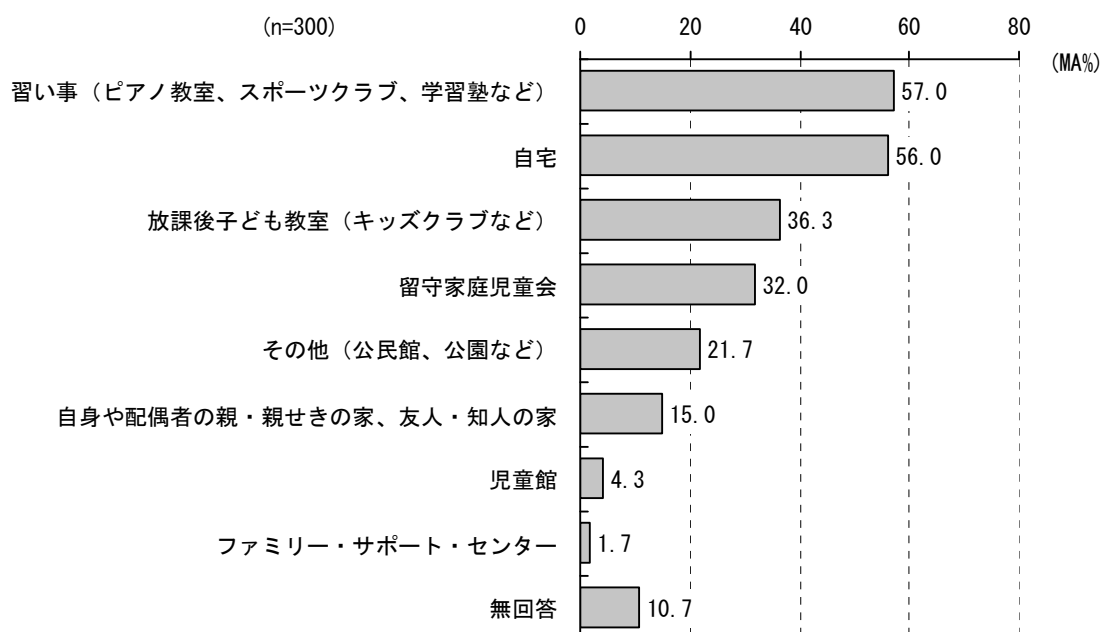
〔1〕小学校低学年時の放課後の過ごし方

問27 小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、（ ）内に具体的な数字を入れてください。「留守家庭児童会」を選択された場合には、利用を希望する時間についても（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。

小学校低学年時に希望する放課後の過ごし方は、「習い事」が57.0%、「自宅」が56.0%で多くなっている。「留守家庭児童会」の希望は32.0%である。

週当たりの平均利用希望日数は、「習い事」が2.0日、「自宅」が3.1日、「留守家庭児童会」が4.3日となっている。

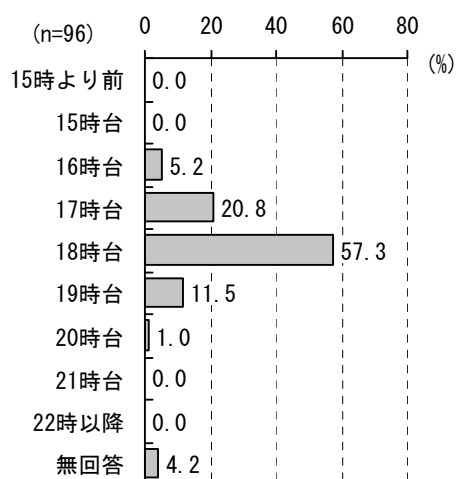
【小学校低学年時の放課後の過ごし方】



【過ごさせたい場所別平均利用希望日数（週当たり）】

	n	平均利用希望日数 (日)
自宅	156	3.1
自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	41	1.9
留守家庭児童会	95	4.3
放課後子ども教室（キッズクラブなど）	103	2.1
児童館	10	2.3
習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	165	2.0
ファミリー・サポート・センター	5	3.2
その他（公民館、公園など）	60	1.8

【留守家庭児童会の利用希望時間】



【就学前児童】

小学校低学年時に希望する放課後の過ごし方について家庭類型別でみると、「留守家庭児童会」の利用希望は、フルタイム共働き家庭が76.0%と7割を超えている。

【小学校低学年時の放課後の過ごし方（家族類型別）】

(MA%)										
	n	自宅	自身や配偶者の親・親せき の家、友人・知人の家	留守家庭児童会	放課後子ども教室（キッズ クラブなど）	児童館	習い事（ピアノ教室、ス ポーツクラブ、学習塾な ど）	ファミリー・サポート・セ ンター	その他（公民館、公園な ど）	無回答
ひとり親家庭	8	37.5	12.5	25.0	12.5	-	12.5	-	12.5	25.0
フルタイム共働き家庭	75	25.3	6.7	76.0	36.0	5.3	38.7	4.0	5.3	4.0
フルタイムとパート共働き家庭	57	49.1	12.3	35.1	43.9	1.8	47.4	1.8	14.0	8.8
専業主婦（夫）	146	78.1	20.5	8.9	35.6	4.1	72.6	0.7	34.9	12.3
パート共働き家庭	1	100.0	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-
両親とも無職	4	25.0	25.0	-	-	25.0	50.0	-	-	50.0

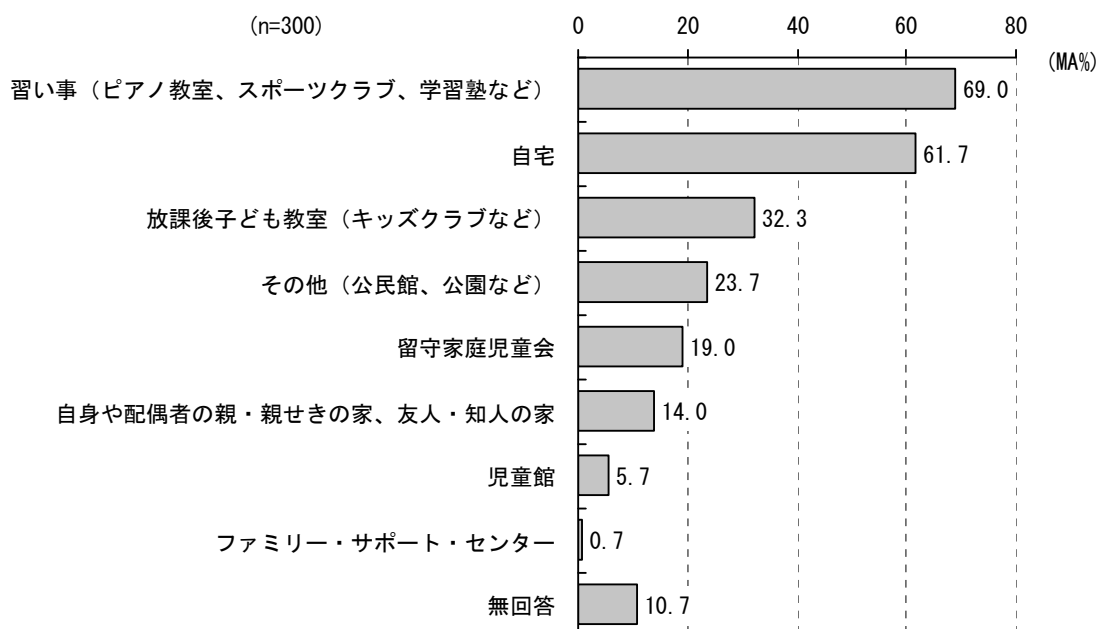
〔2〕 小学校高学年時の放課後の過ごし方

問28 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、（ ）内に具体的な数字を入れてください。「留守家庭児童会」を選択された場合には、利用を希望する時間についても（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

小学校高学年時に希望する放課後の過ごし方は、「習い事」が69.0%、「自宅」が61.7%で多くなっている。「留守家庭児童会」の希望は19.0%である。

週当たりの平均利用希望日数は、「習い事」が2.4日、「自宅」が2.9日、「留守家庭児童会」が4.0日となっている。

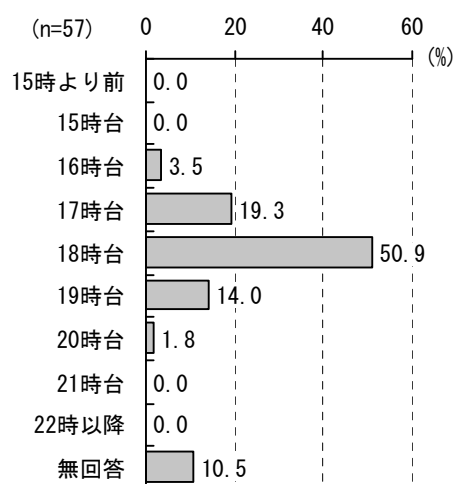
【小学校低学年時の放課後の過ごし方】



【過ごさせたい場所別平均利用希望日数 (週当たり)】

場所	n	平均利用希望日数 (日)
自宅	170	2.9
自身や配偶者の親・親せきの家、友人・知人の家	40	1.8
留守家庭児童会	55	4.0
放課後子ども教室 (キッズクラブなど)	91	2.0
児童館	13	3.0
習い事 (ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	199	2.4
ファミリー・サポート・センター	2	2.0
その他 (公民館、公園など)	65	2.0

【留守家庭児童会の利用希望時間】



【就学前児童】

小学校高学年時に希望する放課後の過ごし方について家庭類型別でみると、「留守家庭児童会」の利用希望は、フルタイム共働き家庭が 48.0%と最も高くなっているが、低学年時の割合に比べると低くなっている。

【小学校低学年時の放課後の過ごし方（家庭類型別）】

	n	自宅	自身や友人・知人の家・親せき	留守家庭児童会	放課後子ども教室（キッズクラブなど）	児童館	習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	ファミリー・サポート・センター	その他（公民館、公園など）	無回答
ひとり親家庭	8	62.5	12.5	-	12.5	-	25.0	-	25.0	25.0
フルタイム共働き家庭	75	44.0	8.0	48.0	38.7	5.3	62.7	1.3	12.0	4.0
フルタイムとパート共働き家庭	57	57.9	12.3	14.0	35.1	5.3	64.9	1.8	19.3	8.8
専業主婦（夫）	146	75.3	17.8	6.8	30.1	5.5	77.4	-	32.2	12.3
パート共働き家庭	1	100.0	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-
両親とも無職	4	25.0	25.0	-	-	25.0	50.0	-	-	50.0

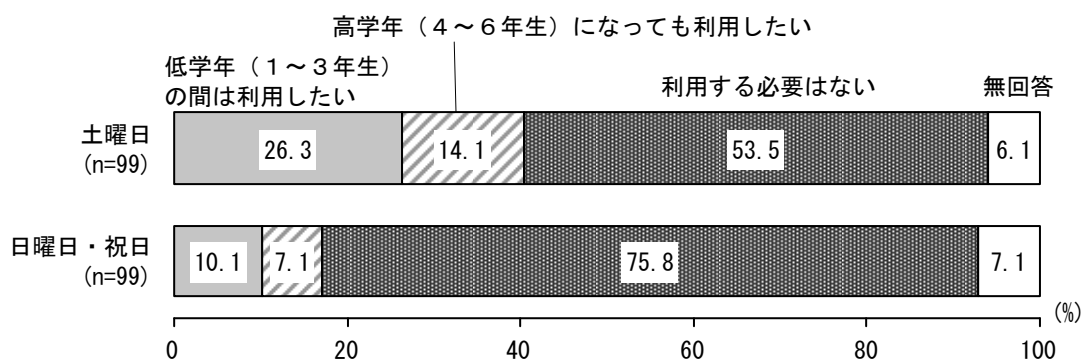
〔3〕土曜日、日曜日・祝日の留守家庭児童会の利用意向

問29 問27または問28で「3. 留守家庭児童会」を選ばれた方におうかがいします。土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童会の利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、()内に(9:00~18:00)のように24時間制に入れてください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

土曜日、日曜日・祝日の留守家庭児童会の利用意向については、土曜日は、「低学年の間は利用したい」が26.3%、「高学年になっても利用したい」は14.1%で、利用希望率は40.4%となっている。一方、日曜日・祝日は、「低学年の間は利用したい」が10.1%、「高学年になっても利用したい」は7.1%で、利用意向率は17.2%となっており、土曜日に比べ利用意向率は低い。

利用希望の時間帯については、開始時間は「9~10時」、終了時間は「18~19時」が多くなっている。

【土曜日、日曜日・祝日の留守家庭児童会の利用意向】



【利用希望開始・終了時間】

		利用希望開始時間(%)						利用希望終了時間(%)						
		n	8時より前	8時59時	9時0時	10時01時	11時以降	無回答	15時より前	15時59時	16時00時	16時01時	17時以降	無回答
低学年時	土曜日	26	3.8	30.8	57.7	3.8	0.0	3.8	3.8	7.7	15.4	23.1	46.2	3.8
	日曜日・祝日	10	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	60.0	0.0
高学年時	土曜日	14	0.0	42.9	50.0	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	35.7	50.0	7.1
	日曜日・祝日	7	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	71.4	14.3

【就学前児童】

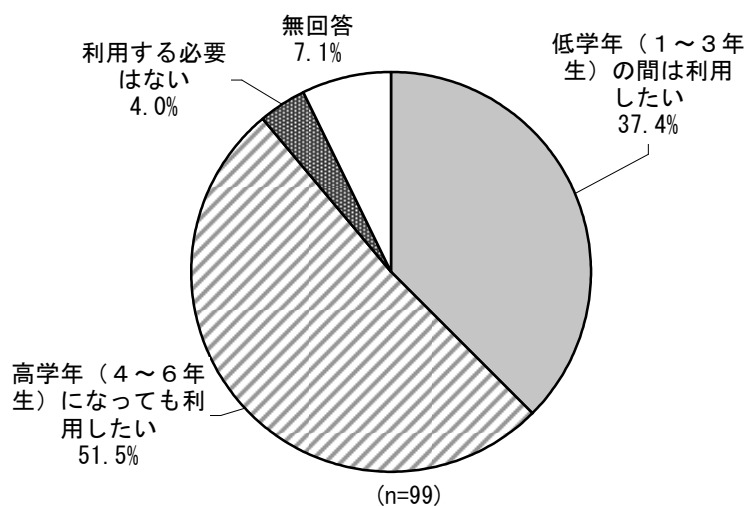
〔4〕長期休暇期間中の留守家庭児童会の利用意向

問30 問27または問28で「3. 留守家庭児童会」を選ばれた方におうかがいします。お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の留守家庭児童会の利用希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、() 内に(9:00~18:00)のように24時間制に入れてください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

長期休暇中の留守家庭児童会の利用意向については、「利用する必要はない」は4.0%に対し、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が37.4%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」は51.5%で、利用希望率は88.9%となっておりニーズは高い。

利用希望の時間帯については、開始時間は、低学年時は「9~10時」、高学年時は「8~9時」が多く、終了時間は、低学年時、高学年時とも「18~19時」が多い。

【長期休暇期間中の留守家庭児童会の利用意向】



【利用希望開始・終了時間】

	n	利用希望開始時間(%)						利用希望終了時間(%)						
		8時より前	8時~9時	9時~10時	10時~11時	11時以降	無回答	15時より前	15時~16時	16時~17時	17時~18時	18時~19時	19時以降	無回答
低学年時	37	10.8	29.7	59.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	2.7	29.7	59.5	5.4	0.0
高学年時	51	5.9	56.9	31.4	2.0	0.0	3.9	2.0	3.9	3.9	27.5	49.0	9.8	3.9

6. 一時預かりの利用について

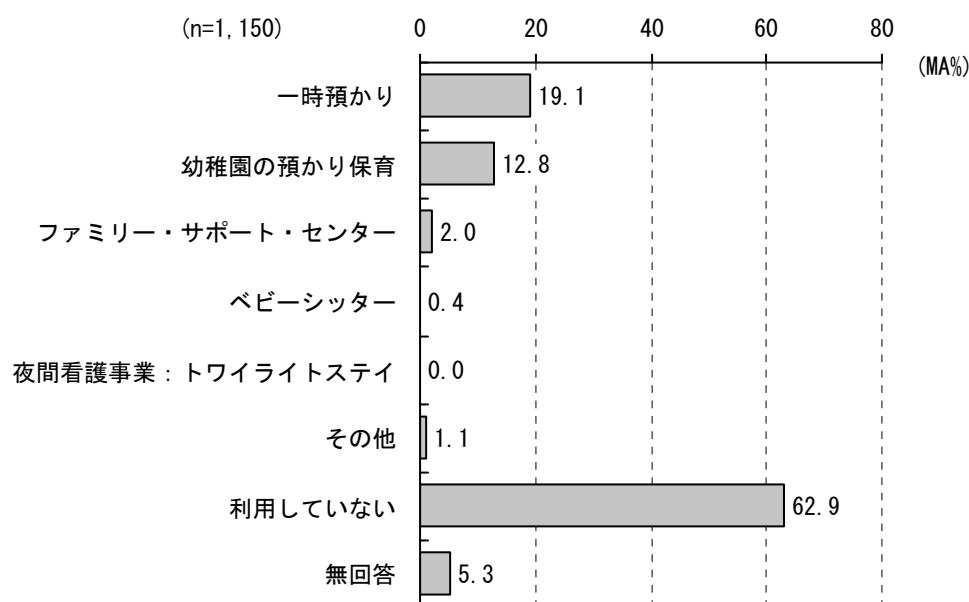
〔1〕保護者の私用や不定期の就労等を理由とした一時預かり等の利用状況

問31 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。（幼稚園や保育所などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。）あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について（ ）内に具体的な数字を入れてください。

私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、何らかの子どもを預かるサービスを「不定期に」利用した保護者は 31.8%に対し、「利用していない」は 62.9%となっている。具体的に利用したサービスは、「一時預かり」が 19.1%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が 12.8%となっている。

預けた年間平均日数は、一時預かりが 7.8 日、幼稚園の預かり保育が 25.1 日となっている。

【保護者の私用や不定期の就労等を理由とした一時預かり等の利用状況】



【サービス別預けた平均日数（年間）】

	n	預けた日数 (日)
一時預かり	209	7.8
幼稚園の預かり保育	144	25.1
ファミリー・サポート・センター	22	7.0
夜間看護事業：トワイライトステイ	-	-
ベビーシッター	5	13.4
その他	10	56.7

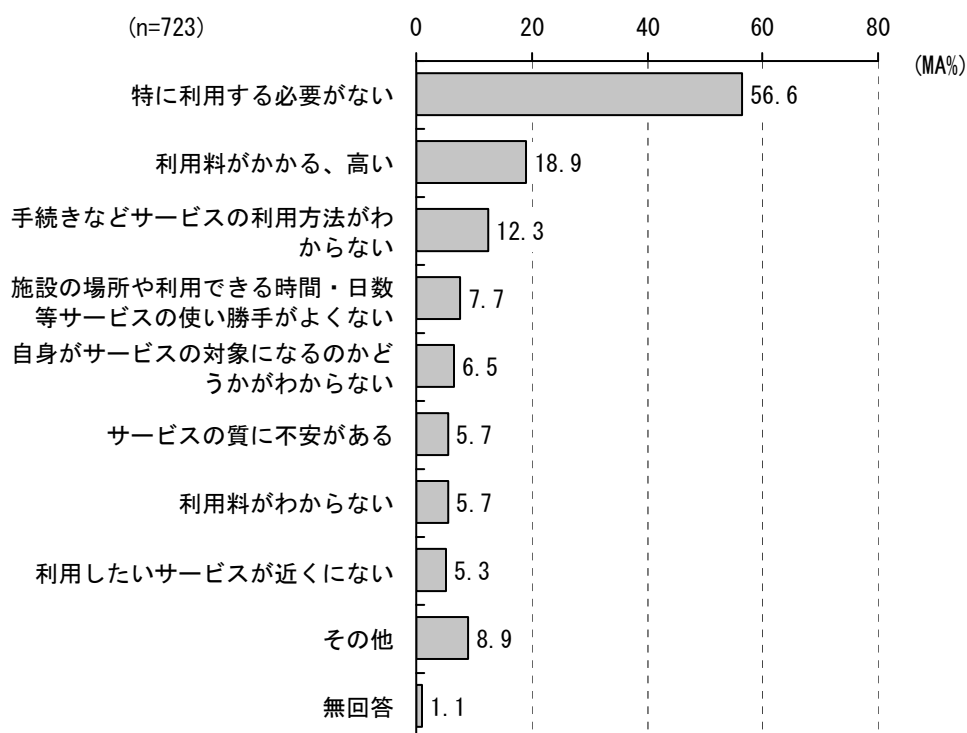
【就学前児童】

■一時預かり等の不定期なサービスを利用しない理由

問31-1 問31で「7. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

一時預かり等の不定期なサービスを利用しない理由は、「特に利用する必要がない」が56.6%で最も多い。これに次いで「利用料がかかる、高い」（18.9%）、「手続きなどサービスの利用方法がわからない」（12.3%）などである。

【一時預かり等の不定期なサービスを利用しない理由】



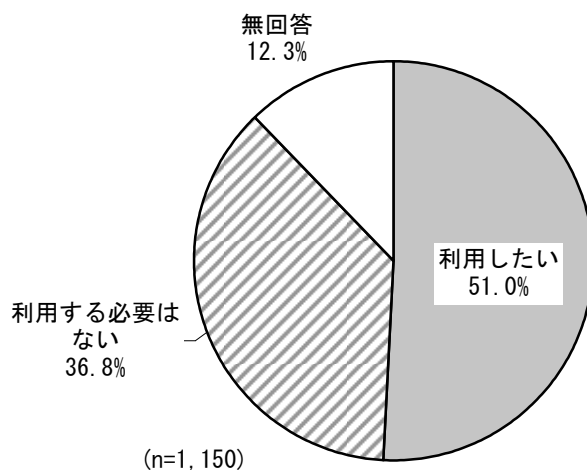
〔2〕一時預かりの利用意向

問32 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、1年間に何日くらい保育所などで実施されている「一時預かり」を利用したいと思いますか。利用したいか、する必要がないかについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。利用したい場合、利用したい目的ごとに（ ）内に日数を記入し、合計の枠内についても記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

私用、自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、今後、一時預かりを利用したいと思っている保護者は51.0%に対し、「利用する必要はない」は36.8%で、利用希望の割合のほうが高い。

一時預かりの利用意向がある保護者の預けたい年間平均日数は、「不規則な仕事」が27.5日で最も長く、次いで「買物、子どもたちや自身の習い事、リフレッシュ」が12.8日となっている。

【一時預かりの利用意向】



【目的別一時預かりの平均利用希望日数（年間）】

	n	利用希望日数 (日)
買物、子どもたちや自身の習い事、リフレッシュ	402	12.8
冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	295	7.7
不規則な仕事	125	27.5
その他	41	10.0

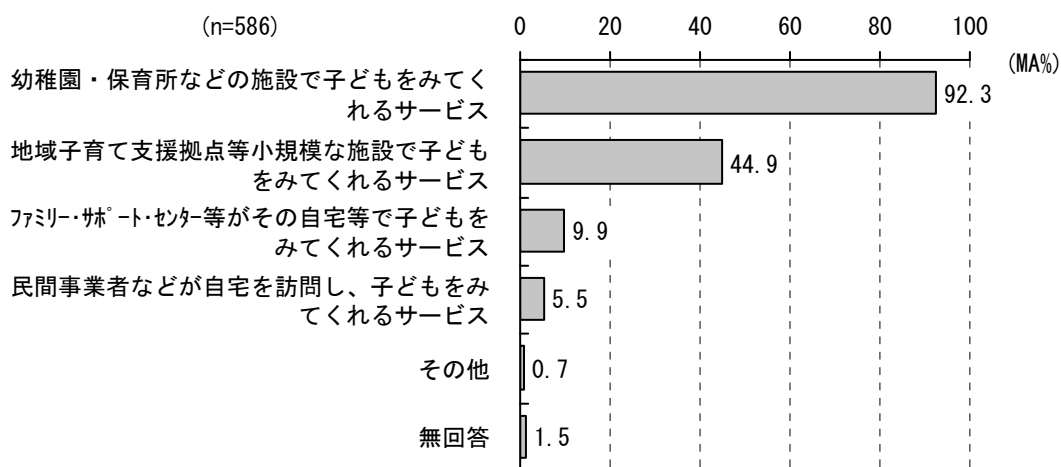
【就学前児童】

■一時預かりを利用する場合の望ましいサービス形態

問32-1 問32で「1. 利用したい」を選ばれた方におうかがいします。問32の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

一時預かりの利用意向がある場合の希望するサービス形態は、「幼稚園・保育所などの併設で子どもをみてるサービス」が92.3%で最も多く、次いで「地域子育て支援拠点等小規模な施設で子どもをみてるサービス」が44.9%となっている。

【一時預かりを利用する場合の望ましいサービス形態】

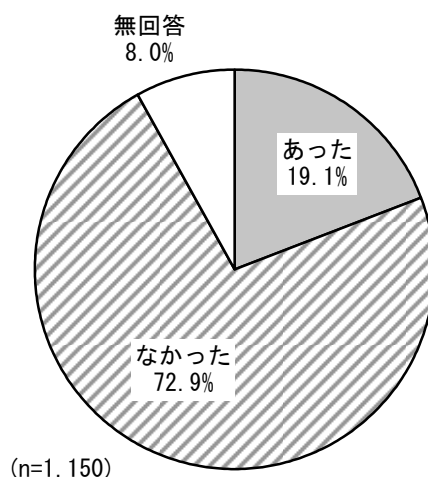


〔3〕子どもを泊まりがけで家族以外に預けた経験

問33 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけで」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）あったか、なかったかについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。あった場合、その対処方法ごとに枠内に日数を記入し、合計の枠内についても記入してください。

子どもを泊まりがけで家族以外に預けた経験については、「あった」が19.1%で、一方、「なかった」（72.9%）が7割以上を占めている。

【子どもを泊まりがけで家族以外に預けた経験】



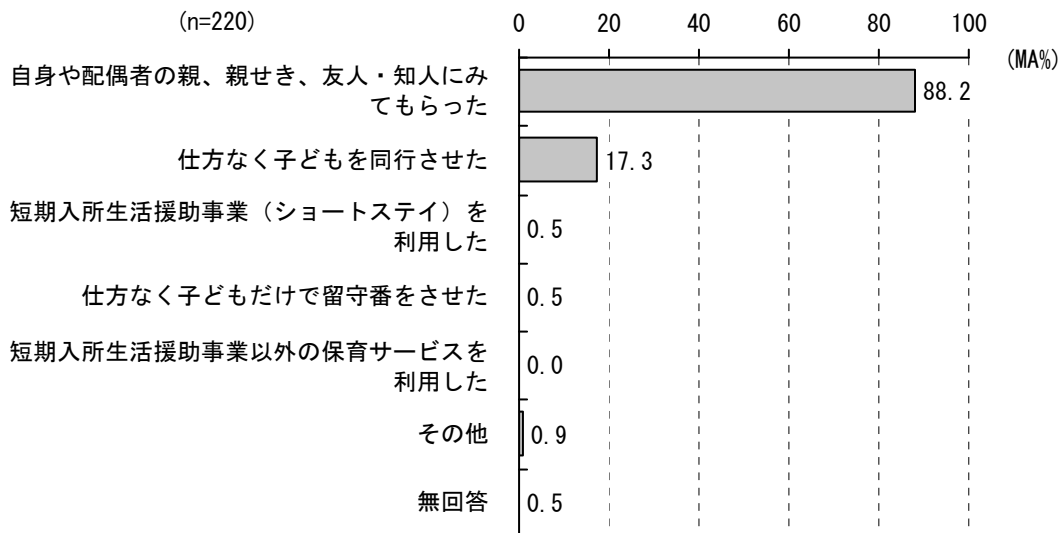
【就学前児童】

■子どもを泊まりがけで預けたときの対処方法と泊数

子どもを泊まりがけで家族以外に預けた経験があったと回答した人に対処方法についてたずねると、「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が88.2%で大半を占めている。

対処方法別の年間の平均泊数をみると、「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」は7.3泊となっている。

【子どもを泊まりがけで預けたときの対処方法】



【対処方法別平均日数（年間）】

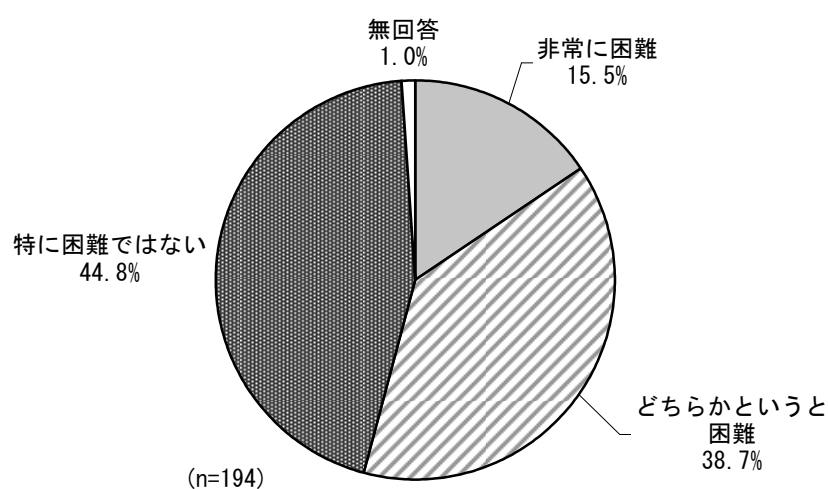
対処方法	n	平均泊数（泊）
自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	170	7.3
短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	1	20.0
短期入所生活援助事業以外の保育サービスを利用した	-	-
仕方なく子どもを同行させた	29	3.1
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	1.0
その他	1	13.0

■親族・知人に預けることの困難度

問33-1 問33で「1. あった」で「ア. 自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」を選ばれた、ご自身や配偶者の親などにみてもらった方におうかがいします。その場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらうことの困難度をたずねると、「特に困難ではない」が44.8%となっている。これに対し、「どちらかという困難」(38.7%)と「非常に困難」(15.5%)をあわせた『困難』の割合は54.2%を占め、半数以上の保護者は泊まりがけで預けることに困難を感じている。

【親族・知人に預けることの困難度】



7. 地域の子育て支援サービスの利用について

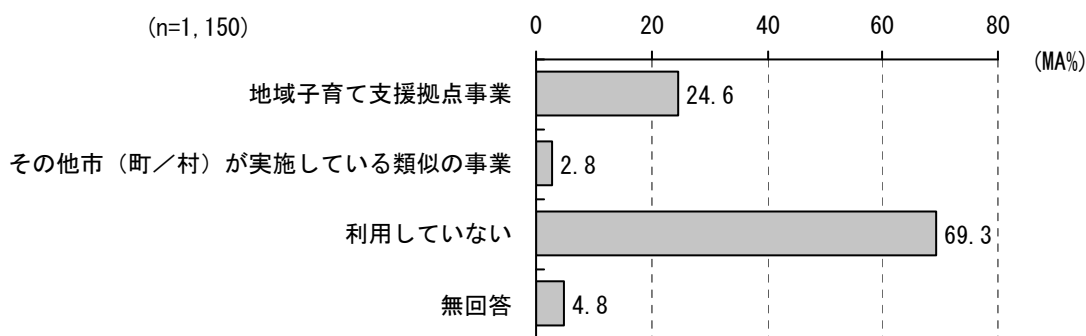
〔1〕地域子育て支援拠点事業の利用状況

問34 地域子育て支援拠点事業についておうかがいします。現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数について、() 内に具体的な数字を入れてください。

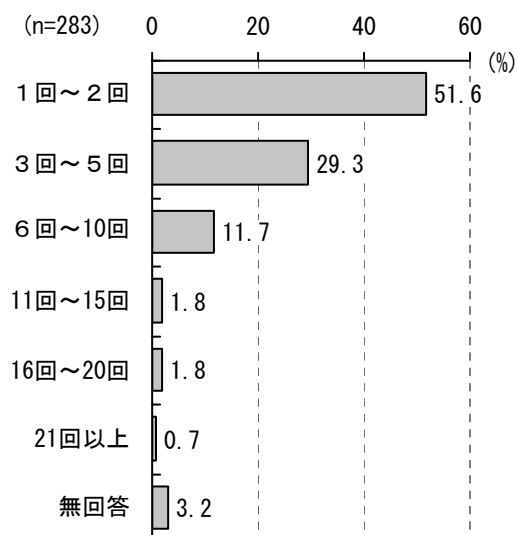
地域子育て支援拠点事業の利用状況を見ると、「利用していない」が 69.3%となっている。一方、本市の「地域子育て支援拠点事業」を利用している割合は 24.6%、「その他市が実施している類似の事業」が 2.8%となっている。

市の地域子育て支援拠点事業もしくは他市の類似事業の月当りの利用回数は、いずれも「1～2回」が半数を占め、次いで「3～5回」となっている。月当りの平均利用回数は、市の事業が 3.6回、他市の事業が 3.3回である。

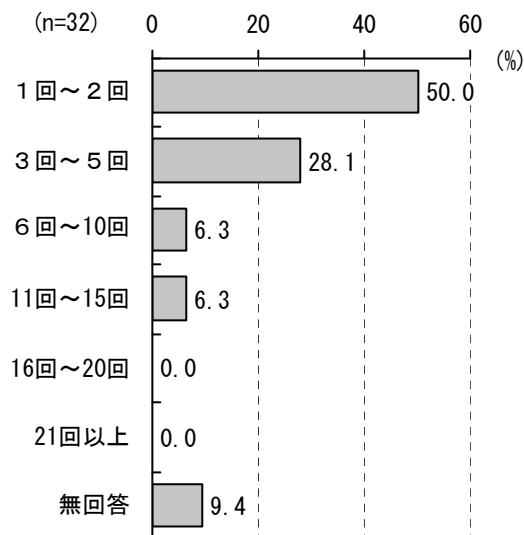
【地域子育て支援拠点事業の利用状況】



【地域子育て支援拠点事業の月当りの利用回数】



【他市の類似事業の月当りの利用回数】



【就学前児童】

子どもの年齢別で見ると、0歳児及び1・2歳児の保護者では、「利用していない」が5割を占めるのに対し、「地域子育て支援拠点事業」の利用割合が4割台となっている。3歳以上の保護者の場合は、「利用していない」が8割を超え、「地域子育て支援拠点事業」の利用割合は13.0%と少なくなっている。

【地域子育て支援拠点事業の利用状況（子どもの年齢別）】

	n	業地 域子 育て 支 援 拠 点 事 業	業実 施の し他 して る市 （町 類／ 村） の事 が	利 用 し て い な い	無 回 答
0歳	125	41.6	5.6	54.4	1.6
1・2歳	339	41.6	5.0	51.3	4.7
3歳以上	655	13.0	0.9	81.4	5.0

【就学前児童】

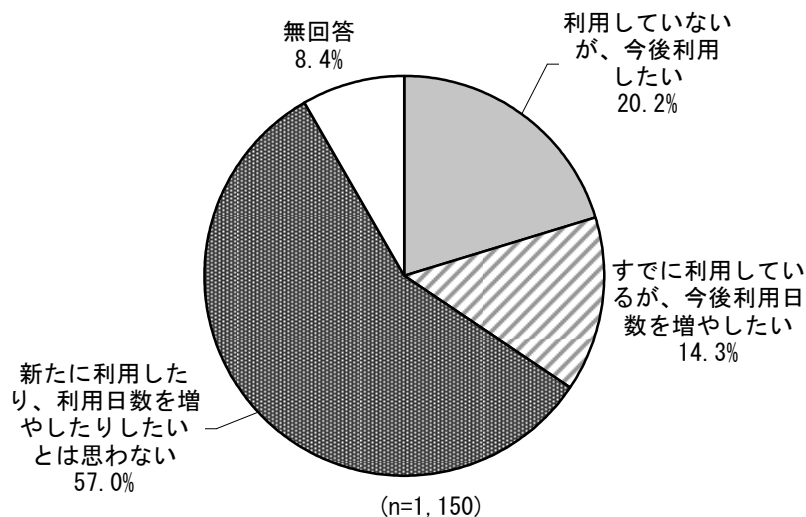
〔2〕地域子育て支援拠点事業の利用意向

問35 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は()内に具体的な数字を入れてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

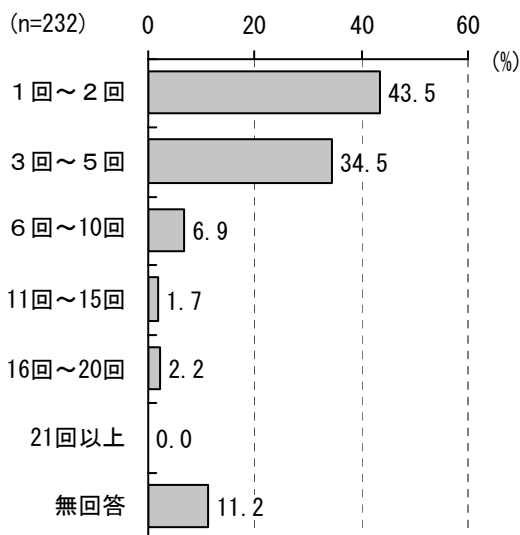
地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望をみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」が 57.0%となっている。これに対し、「利用していないが、今後利用したい」が 20.2%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 14.3%で、利用希望としては継続利用を含め 34.5%となっている。

地域子育て支援拠点事業に利用希望がある保護者の月あたりの利用希望回数は、利用していないが、今後利用したい保護者では「1～2回」が 43.5%で最も多く、平均利用希望回数は 3.5 回となっている。また、すでに利用し利用回数を増やしたい保護者では「3～5回」が 35.2%で最も多く、平均利用希望回数は 4.8 回となっている。

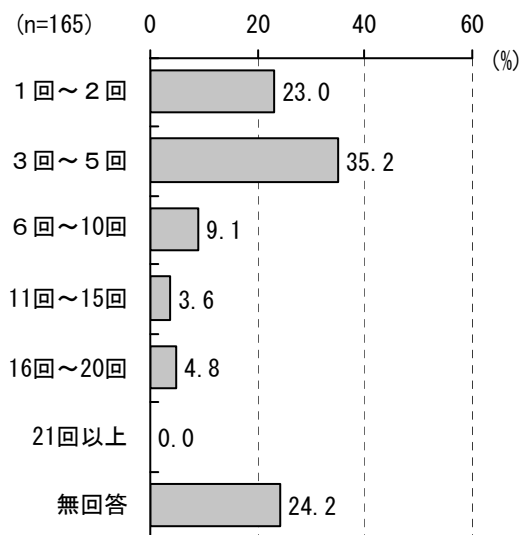
【地域子育て支援拠点事業の利用意向】



【事業未利用者の月あたりの利用希望回数】



【事業利用者の月あたりの利用を増やしたい回数】



【就学前児童】

子どもの年齢別で見ると、0歳児の保護者では「地域子育て支援拠点事業」の利用希望の割合（「利用していないが、今後利用したい」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を合わせた割合）が6割を超え、他の年代に比べると利用希望率は高い。一方、3歳以上の子どもの保護者では「新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない」が71.6%で、利用希望率は20.6%と低い。

【地域子育て支援拠点事業の利用意向（子どもの年齢別）】

(%)

	n	後利用して いないが、 今	やが、す し、で た今に い後利 利用し て日 数を 増	た用新 い日た と数に はを利 思増用 わやし ないたり し利	無 回 答
0歳	125	38.4	27.2	26.4	8.0
1・2歳	339	26.3	24.2	41.3	8.3
3歳以上	655	13.6	7.0	71.6	7.8

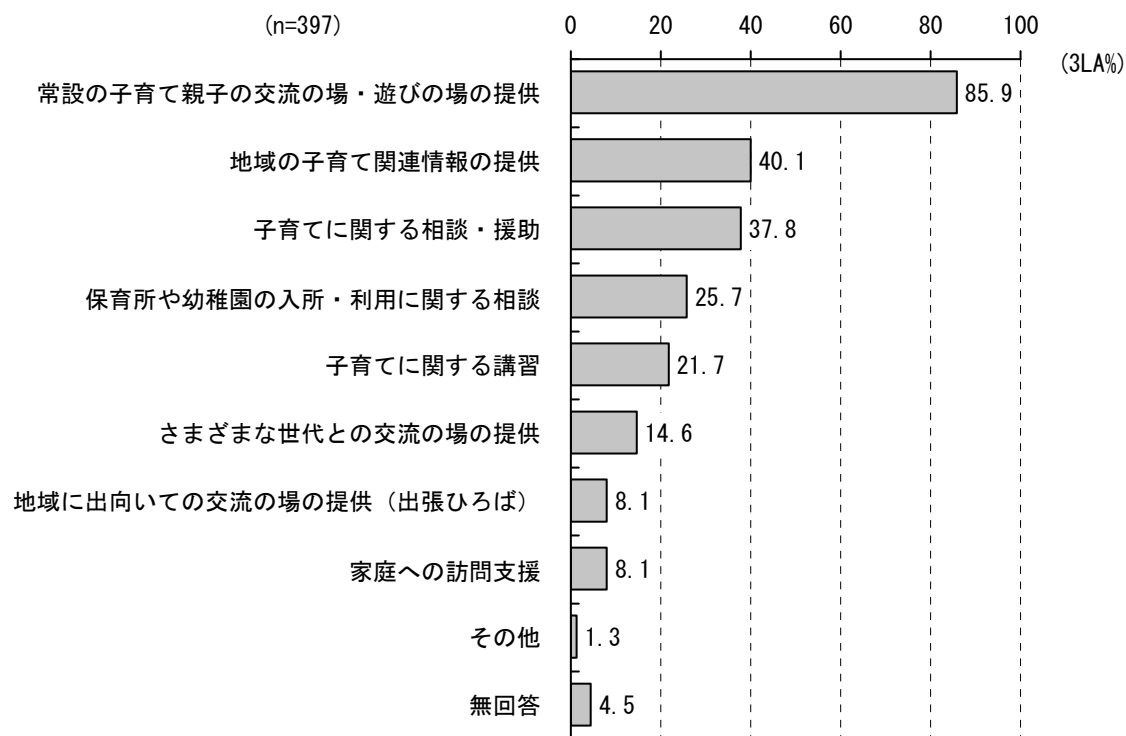
【就学前児童】

■地域子育て支援拠点事業で利用したいサービス

問35-1 問35で「1. 利用していないが、今後利用したい」、「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選ばれた、地域子育て支援拠点事業を利用している方におうかがいします。地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。利用したいサービスを3つまで○をつけてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

地域子育て支援拠点事業に対し利用意向がある保護者が、本事業で利用したいと考えているサービスは、「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」が85.9%で最も多い。これに次いで「地域の子育て関連情報の提供」（40.1%）、「子育てに関する相談・援助」（37.8%）が続いている。

【地域子育て支援拠点事業で利用したいサービス】



〔3〕子育て支援サービスの認知・利用状況

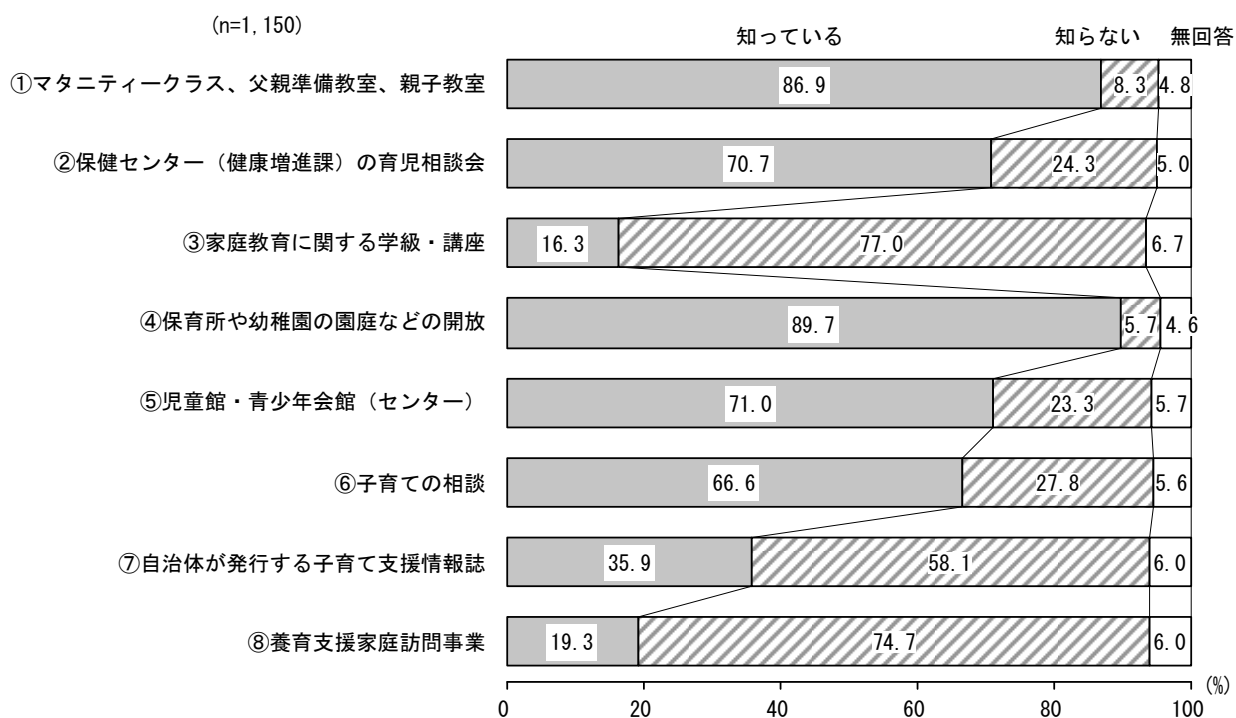
問36 子育て支援サービスの認知度・利用度についておうかがいします。下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがあるものはありますか。また、今後、利用したいと思うものはありますか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

(1) 子育て支援サービスの認知状況

「知っている」割合は、「④保育所や幼稚園の園庭などの開放」が89.7%で最も高く、これに次いで「①マタニティークラス、父親準備教室、親子教室」が86.9%となっている。以下、「⑤児童館・青少年会館（センター）」(71.0%)、「②保健センター（健康増進課）の育児相談会」(70.7%)、「⑥子育ての相談」(66.6%)などが続く。

一方、「知らない」割合は、「③家庭教育に関する学級・講座」が77.0%で最も高く、次いで「⑧養育支援家庭訪問事業」(74.7%)、「⑦自治体が発行する子育て支援情報誌」(58.1%)で半数を超えている。

【子育て支援サービスの認知状況】



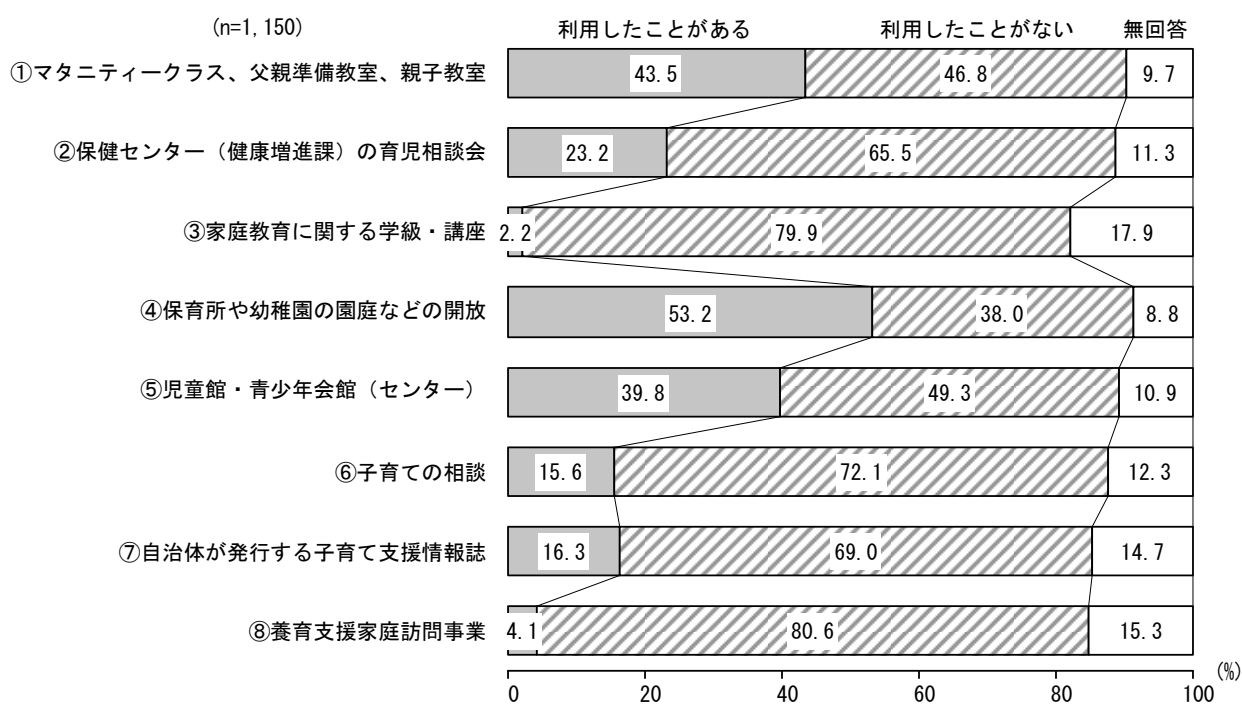
【就学前児童】

(2) 子育て支援サービスの利用状況

「利用したことがある」割合は、「④保育所や幼稚園の園庭などの開放」が53.2%で最も高くなっている。これに次いで「①マタニティークラス、父親準備教室、親子教室」が43.5%、「⑤児童館・青少年会館（センター）」が39.8%が続いているが、いずれも5割を下回っている。

一方、「利用したことがない」割合は、「⑧養育支援家庭訪問事業」が80.6%で最も高く、次いで「③家庭教育に関する学級・講座」が79.9%となっている。以下、「⑥子育ての相談」（72.1%）、「自治体が発行する子育て支援情報誌」（69.0%）、「②保健センター（健康増進課）の育児相談会」（65.5%）が続いている。

【子育て支援サービスの利用状況】

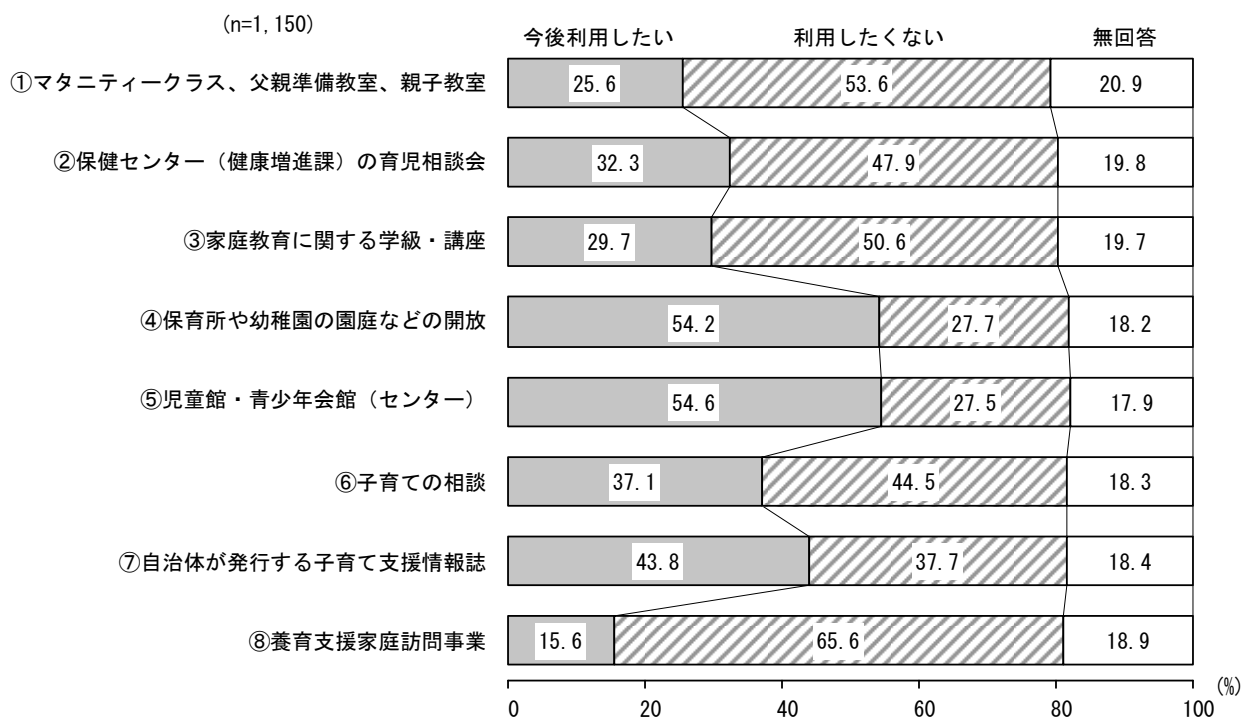


(3) 子育て支援サービスの利用意向

「利用したい」割合は、「⑤児童館・青少年会館（センター）」が54.6%、「④保育所や幼稚園の園庭などの開放」が54.2%で高くなっている。これらに次いで「⑦自治体が発行する子育て支援情報誌」が43.8%となっている。

一方、「利用したくない」割合は、「⑧養育支援家庭訪問事業」が65.6%で最も高く、次いで「①マタニティークラス、父親準備教室、親子教室」が53.6%、「③家庭教育に関する学級・講座」が50.6%となっている。

【子育て支援サービスの利用意向】



【就学前児童】

8. 仕事と子育ての両立について

〔1〕育児休業の取得状況

問23 封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。父親について、「2. 育児休業を取った、あるいは、今取っている」を選ばれた場合は、育児休暇を取得された、あるいは、取得予定の日数について（ ）内に数字を入れてください。また、「3. 育児休業を取らずに働いた」「4. 育児休業を取らずに離職した」選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

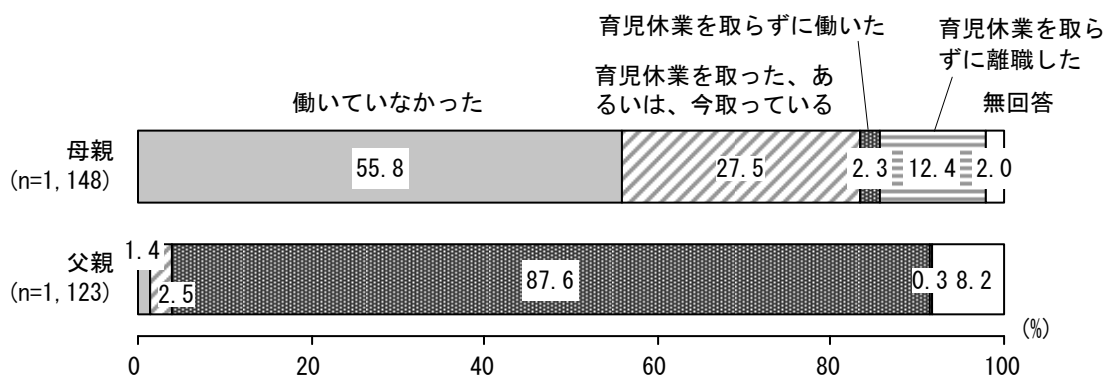
育児休業制度の利用について、母親は、「働いていなかった」が55.8%で最も多く、次いで「育児休業を取った、あるいは、今取っている」が27.5%、「育児休業を取らずに離職した」が12.4%となっている。父親は、「育児休業を取らずに働いた」が87.6%で最も多くなっている。

「育児休業を取らずに働いた」と回答した人に、その理由についてたずねると、母親は、「仕事が忙しかった」が23.1%で最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が19.2%となっている。父親は、「仕事が忙しかった」が36.4%で最も多く、次いで「配偶者が無職、親にみてもらうなど制度を利用する必要がなかった」が35.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が31.5%となっている。

「育児休業を取らずに離職した」と回答した人に、その理由についてたずねると、母親は、「子育てや家事に専念するため」が38.7%で最も多く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」が23.2%となっている。

父親が「育児休業を取った、あるいは、今取っている」と回答した人に、取得日数（予定を含む）についてたずねると、「6日以上」が21.4%で最も多く、次いで「3日」と「5日」が14.3%となっている。

【育児休業の取得状況】



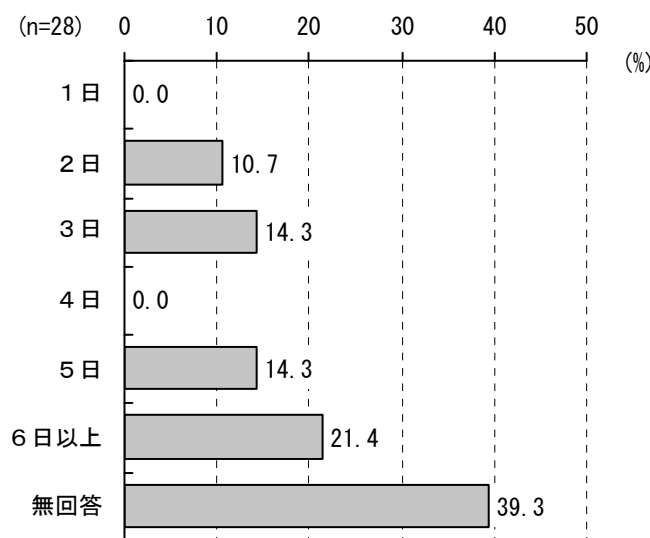
■育児休業を取得せず働いた理由

		(MA%)																	
	n	仕事が忙しかった	職場に育児休業の制度がなかった	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	収入減となり、経済的に苦しくなる	出産後すぐに仕事に復帰したかった	保育所などに預けることができた	仕事に戻るのが難しかった	収入減となり、経済的に苦しくなる	配偶者が無職、親にみる必要がなかった	配偶者が無職、親にみる必要がなかった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	昇給・昇格などが遅れそうだった	配偶者が育児休業制度を利用した	子育てや家事に専念するため	育児休業を取れることを知らなかった	産前産後の休暇を取得できなかった	その他	無回答
(1) 母親	26	23.1	19.2	15.4	15.4	11.5	7.7	3.8	3.8	3.8	3.8	-	-	-	-	-	-	23.1	15.4
(2) 父親	984	36.4	11.0	31.5	24.0	0.5	0.6	4.2	35.9	0.3	7.3	18.3	0.1	0.7	0.6	4.5	7.7		

■育児休業を取得せず離職した理由

		(MA%)																
	n	子育てや家事に専念するため	仕事に戻るのが難しかった	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	職場に育児休業の制度がなかった	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	仕事が忙しかった	出産後すぐに仕事に復帰したかった	収入減となり、経済的に苦しくなる	産前産後の休暇を取得できなかった	昇給・昇格などが遅れそうだった	保育所などに預けることができた	配偶者が育児休業制度を利用した	もらうなど制度を利用する必要がなかった	配偶者が無職、親にみる必要がなかった	育児休業を取れることを知らなかった	その他	無回答
(1) 母親	142	38.7	23.2	19.7	19.0	11.3	8.5	1.4	0.7	0.7	-	-	-	-	-	-	16.2	7.7
(2) 父親	3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3	

■父親が育児休業取得あるいは取得中の日数



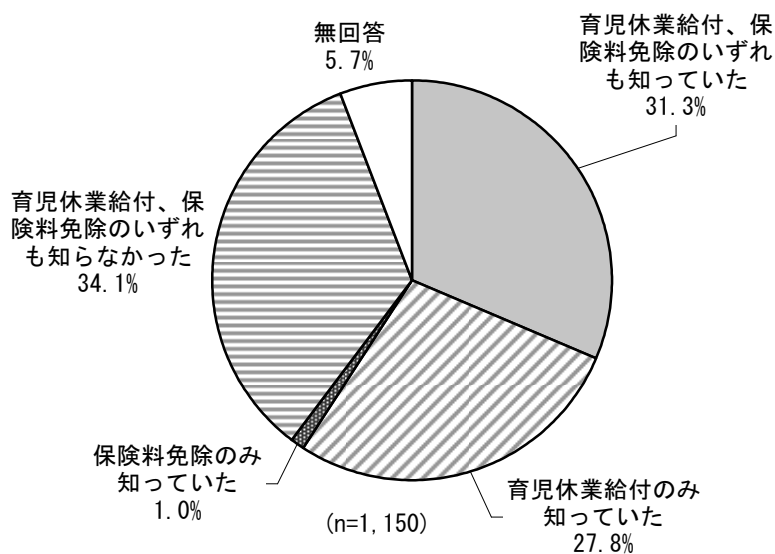
【就学前児童】

〔2〕 育児休業給付及び社会保険料免除制度の認知状況

問23-1 子どもが1歳（一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが3歳になるまでの育児休業などの期間について健康保険や厚生年金の保険料が免除になる仕組みがありますが、知っていましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

育児休業給付及び社会保険料免除制度の認知状況については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が34.1%で最も多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が31.3%、「育児休業給付のみ知っていた」が27.8%となっている。

【育児休業給付及び社会保険料免除制度の認知状況】

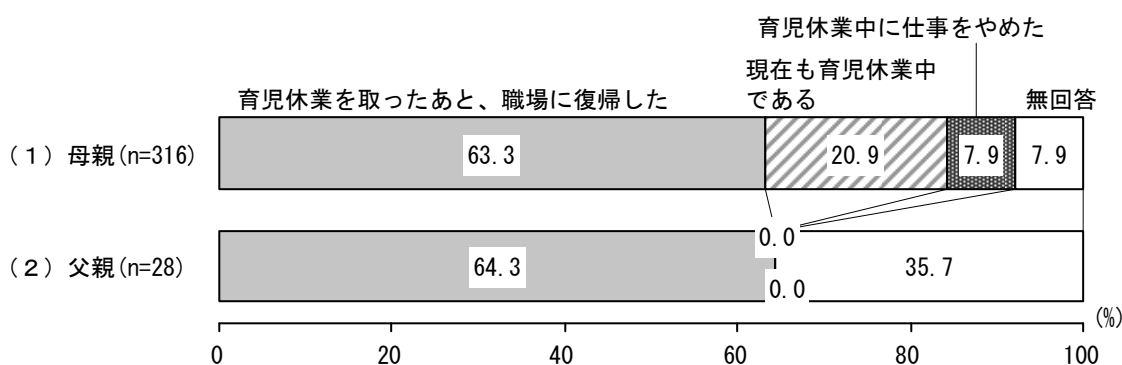


■育児休業後の職場復帰の有無

問23-2 問23の(1)、(2)で1つでも「2. 育児休業を取った、あるいは、今取っている」を選ばれた、育児休業を取られた方におうかがいします。育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号1つだけを選び、その番号を記入してください。

育児休業を取得した、または取得中と回答した人に、育児休業後の職場復帰についてはたずねると、母親、父親とも「育児休業を取ったあと、職場に復帰した」(母親：63.3%、父親：64.3%)が6割強を占めている。

【育児休業後の職場復帰の有無】

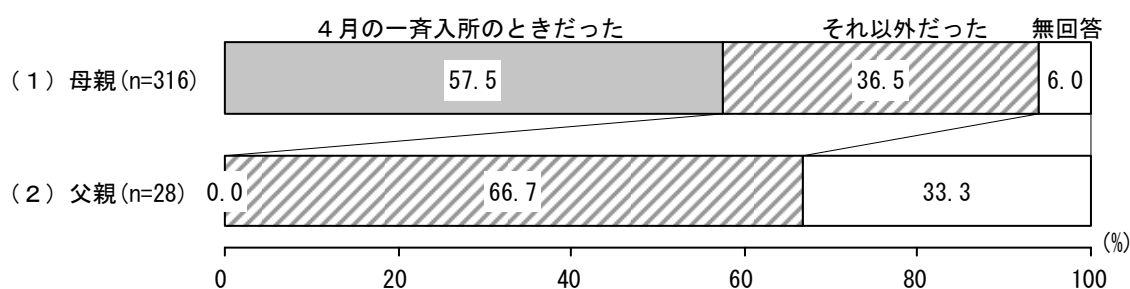


■職場復帰時期

問23-3 問23-2の(1)、(2)で1つでも「1. 育児休業を取ったあと、職場に復帰した」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。育児休業から職場に復帰されたのは、4月の保育所の一斉入所のときでしたか。あるいはそれ以外のときでしたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号1つだけを選び、その番号を記入してください。4月からの保育所入所の申し込みをしたうえで、1月～2月ごろに職場に復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合は「1.」を選択してください。また、この場合で、実際には保育所に入れなかったという場合も「1.」を選択してください。

育児休業を取得後、職場復帰したと回答した人に、復帰した時期についてたずねると、母親は「4月の一斉入所のときだった」が57.5%で最も多く、「それ以外だった」は36.5%となっている。父親は「それ以外だった」が66.7%となっている。

【職場復帰時期】



【就学前児童】

■育児休業の実際の取得期間

問23-4 問23-2の(1)、(2)で1つでも「1. 育児休業を取ったあと、職場に復帰した」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内でのこととなりますが、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。()内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

育児休業を取得後、職場復帰したと回答した人に、育児休業の実際の取得期間についてたずねると、母親は「1歳0ヶ月超から1歳6ヶ月以内」が29.5%で最も多く、次いで「0歳9ヶ月超から1歳0ヶ月未満」が16.0%となっている。父親は「0歳3ヶ月以内」が50.0%となっている。

希望の取得期間について、母親は、「1歳0ヶ月超から1歳6ヶ月以内」が24.5%で最も多く、次いで「1歳0ヶ月」が22.5%となっており、「出生後2度目の4月の一斉入所時」が26.0%で最も多い。父親は「0歳3ヶ月以内」が27.8%で最も多く、次いで「2歳0ヶ月超から3歳0ヶ月以内」が16.7%となっており、「満1歳まで」が22.2%で最も多い。

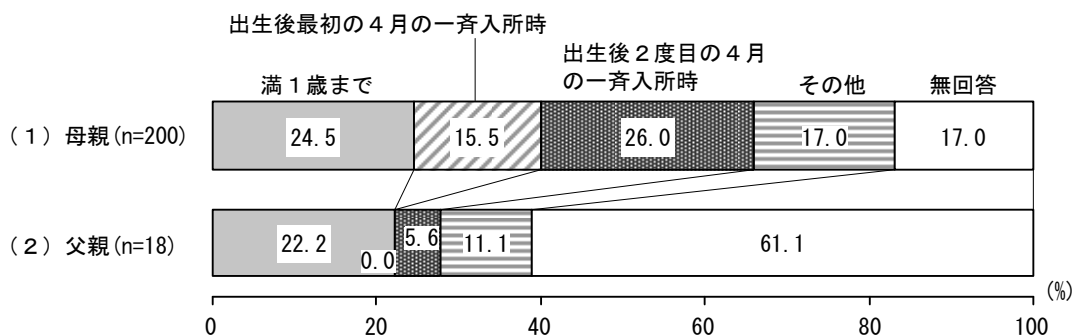
【育児休業の実際の取得期間】

	n	0歳3ヶ月以内	0歳6ヶ月超から0歳9ヶ月以内	0歳9ヶ月超から1歳0ヶ月未満	1歳0ヶ月	1歳6ヶ月超から1歳9ヶ月以内	2歳0ヶ月超から2歳6ヶ月以内	3歳0ヶ月超から3歳6ヶ月以内	3歳6ヶ月超	無回答	
(1) 母親	200	3.5	10.0	14.0	16.0	10.5	29.5	6.0	2.5	2.0	6.0
(2) 父親	18	50.0	-	5.6	-	5.6	-	-	-	-	38.9

【育児休業の希望の取得期間】

	n	0歳3ヶ月以内	0歳6ヶ月超から0歳9ヶ月以内	0歳9ヶ月超から1歳0ヶ月未満	1歳0ヶ月	1歳6ヶ月超から1歳9ヶ月以内	2歳0ヶ月超から2歳6ヶ月以内	3歳0ヶ月超から3歳6ヶ月以内	3歳6ヶ月超	無回答	
(1) 母親	200	0.5	4.5	3.0	4.0	22.5	24.5	8.0	11.5	3.5	18.0
(2) 父親	18	27.8	-	-	-	11.1	-	-	16.7	-	44.4

【育児休業の実際の取得期間】



■ 3歳までの育児休暇の希望

問23-5 問23-2の(1)、(2)で1つでも「1. 育児休業を取ったあと、職場に復帰した」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に具体的な数字を入れてください。

育児休業を取得後、職場復帰したと回答した人に、3歳まで育児休暇が取得できる制度があった場合の希望取得期間についてたずねると、母親は「2歳0ヶ月超から3歳0ヶ月以内」が33.5%で最も多く、次いで「1歳0ヶ月」が20.0%となっている。父親は「0歳3ヶ月以内」が33.3%で最も多く、次いで「2歳0ヶ月超から3歳0ヶ月以内」が27.8%となっている。

【3歳までの育児休暇の希望】

		(%)									
	n	0歳3ヶ月以内	0歳6ヶ月以内	0歳9ヶ月以内	1歳0ヶ月未満	1歳0ヶ月	1歳6ヶ月以内	2歳0ヶ月以内	3歳0ヶ月以内	3歳0ヶ月超	無回答
(1) 母親	200	0.5	3.0	1.0	2.5	20.0	17.5	12.0	33.5	2.0	8.0
(2) 父親	18	33.3	5.6	-	-	-	-	5.6	27.8	-	27.8

【就学前児童】

■希望の時期に職場復帰しなかった理由

問23-6 問23-4で実際の復帰と希望が異なる方におうかがいします。希望の時期に職場復帰しなかった理由について、枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

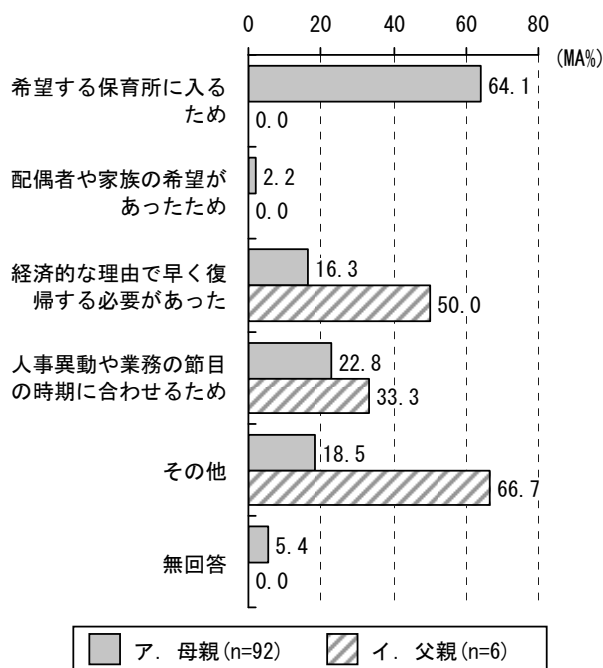
実際の復帰と希望が異なる場合の、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてたずねた。

「希望」より早く復帰した母親は、「希望する保育所に入るため」が64.1%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が22.8%となっている。父親は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が50.0%で最も多くなっている。

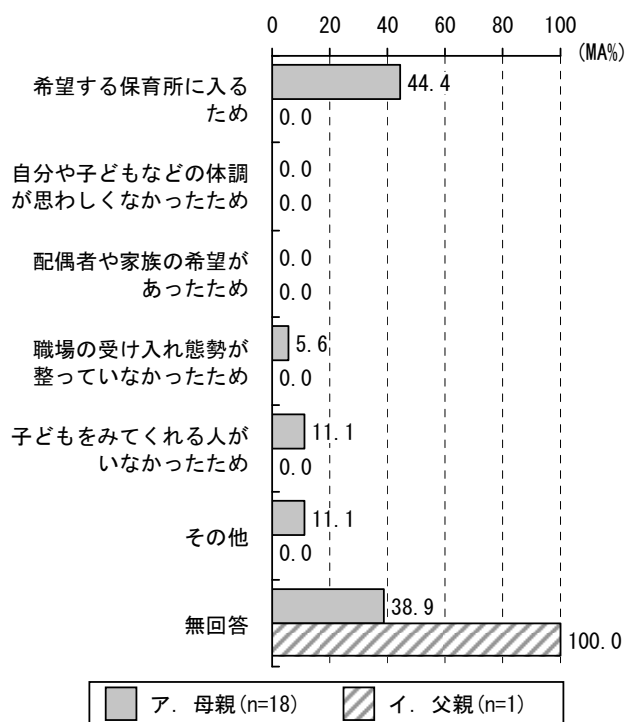
「希望」より遅く復帰した母親は、「希望する保育所に入るため」が44.4%で最も多くなっている。

【希望の時期に職場復帰しなかった理由】

(1) 「希望」より早く復帰した方



(2) 「希望」より遅く復帰した方

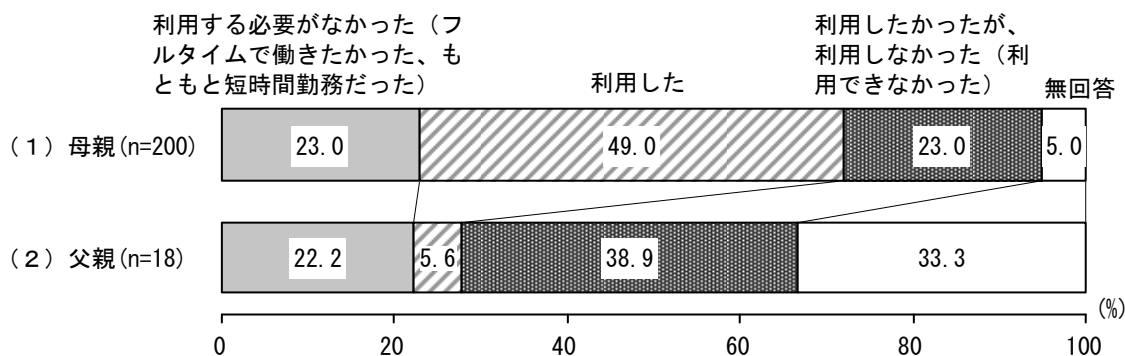


■短時間勤務制度の利用有無

問23-7 問23-2の(1)、(2)で1つでも「1. 育児休業を取ったあと、職場に復帰した」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。育児休業を終え、職場復帰するときに、短時間勤務制度を利用しましたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号1つだけを選び、その番号を記入してください。

育児休業を取得後、職場復帰したと回答した人に、短時間勤務制度の利用有無についてたずねると、母親は、「利用した」が49.0%で最も多く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」と「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」がともに23.0%となっている。父親は、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が38.9%で最も多く、次いで「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が22.2%となっている。

【短時間勤務制度の利用有無】



【就学前児童】

■短時間勤務制度を利用しなかった理由

問23-8 問23-7の(1)、(2)で1つでも「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」を選ばれた方におうかがいします。利用しなかった理由について、枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を()内に記入してください。

育児休業を取得後、職場復帰したと回答した人に、短時間勤務制度の利用有無についてたずねると、母親は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が58.7%で最も多く、「仕事が忙しかった」が41.3%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が32.6%となっている。父親は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が100.0%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が85.7%となっている。

【短時間勤務制度を利用しなかった理由】

		(MA%)									
	n	た取職 り場に く短時 間勤務 制度を あつを	仕 事 が 忙 し か っ た	が短 減時 間勤 務に する と給 与	が所短 下の時 が入間 る所勤 務に申 請のす る優先 順位	た短配 時偶 間者 勤が 務育 制児 度休 を業 利用 度し や	てみ配 くても れら る人 が等 職、 い子 たど も祖 父母 をみ に	た子 め育 てや 職し た家 事に 専念 する	な職 場か つた 短時 間勤 務制 度が	き短 時間 勤務 制 度 を 知 ら な か つ た で	そ の 他
(1) 母親	46	58.7	41.3	32.6	6.5	-	-	-	23.9	-	4.3
(2) 父親	7	100.0	85.7	57.1	-	-	28.6	-	42.9	42.9	14.3

■保育所に必ず預けられる場合の育児休業取得意向

問23-9 問23-2の(1)、(2)で1つでも「2. 現在も育児休業中である」を選ばれた方におうかがいします。それ以外の方は問24へお進みください。封筒のあて名のお子さんが1歳になったときに必ず保育所などに預けることができれば、1歳になるまで育児休業を取りますか。または、保育所などに預けられたとしても1歳になる前に復帰しますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

現在、育児休業を取得中と回答した人に、子どもが1歳になったときに保育所に必ず預けられる場合の育児休業取得意向についてたずねると、母親は、「1歳になるまで育児休業を取りたい」が75.8%、「1歳になる前に復帰したい」が10.6%となっている。

【保育所に必ず預けられる場合の育児休業取得意向】

	n	休1歳を 取り たい まで 育児	し1歳 い なる 前 に 復 帰	(%) 無 回 答
(1) 母親	66	75.8	10.6	13.6
(2) 父親	-	-	-	-

【就学前児童】

〔3〕子どもと一緒に過ごす時間

問24 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を1つだけ記入してください。

1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間についてたずねた。

平日については、母親は、「12時間以上」が53.7%で最も多く、次いで「4時間以上～5時間未満」が7.5%となっている。父親は、「1時間以上～2時間未満」が21.6%で最も多く、次いで「1時間未満」が19.1%となっており、3時間未満（57.4%）の父親が約6割となっている。

休日については、母親、父親とも「12時間以上」が過半数となっており、母親は82.8%、父親が60.3%となっている。

平日に子どもと一緒に過ごす時間の調整については、母親は「十分だと思う」（61.8%）と「まあまあ十分だと思う」（16.3%）をあわせた『十分である』の回答が78.1%で約8割を占めている。一方、父親は『十分である』は28.7%と低く、「あまり十分だと思わない」（23.7%）と「不十分だと思う」（41.4%）をあわせた『不十分である』（65.1%）の回答が過半数となっている。

休日に子どもと一緒に過ごす時間の調整については、母親は『十分である』は93.5%と高く、父親も『十分である』（80.2%）が約8割を占めている。

【平日に子どもと一緒に過ごす時間/日】

(%)

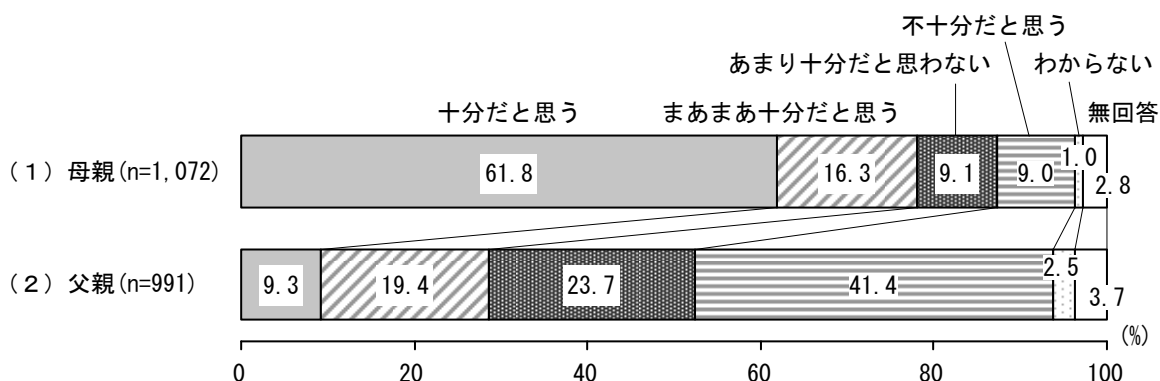
	n	1時間未満	2時間未満以上	3時間未満以上	4時間未満以上	5時間未満以上	6時間未満以上	7時間未満以上	8時間未満以上	9時間未満以上	10時間未満以上	11時間未満以上	12時間以上	無回答	
(1) 母親	1,148	0.3	0.3	1.4	4.5	7.5	7.2	4.4	3.9	5.3	1.8	2.4	0.6	53.7	6.6
(2) 父親	1,123	19.1	21.6	16.7	11.7	4.7	3.8	0.7	0.8	0.6	0.7	2.5	0.4	4.8	11.8

【休日に子どもと一緒に過ごす時間/日】

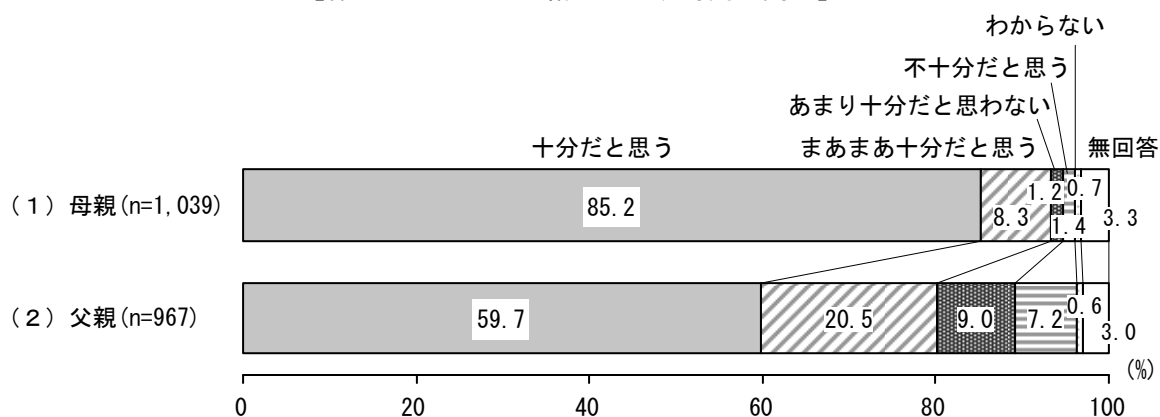
(%)

	n	1時間未満	2時間未満以上	3時間未満以上	4時間未満以上	5時間未満以上	6時間未満以上	7時間未満以上	8時間未満以上	9時間未満以上	10時間未満以上	11時間未満以上	12時間以上	無回答	
(1) 母親	1,148	0.1	-	0.3	0.3	0.7	0.7	0.4	0.3	1.4	0.7	2.4	0.5	82.8	9.5
(2) 父親	1,123	1.2	0.5	1.8	1.2	1.9	3.6	2.8	0.6	3.5	0.8	7.3	0.6	60.3	13.9

【平日に子どもと一緒に過ごす時間の調整】



【休日に子どもと一緒に過ごす時間の調整】



〔4〕 家事をする程度

問25 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を()内に記入してください。

1日当たりの家事をする時間については、母親は、「3時間以上～4時間未満」が17.8%で最も多く、次いで「4時間以上～5時間未満」が17.0%となっている。父親は、「1時間未満」が55.5%で最も多く、次いで「1時間以上～2時間未満」が21.0%となっている。

【家事をする時間/日】

	n	1時間未満	2時間未満	3時間未満	4時間未満	5時間未満	6時間未満	7時間未満	8時間未満	9時間未満	10時間未満	11時間未満	12時間以上	無回答	平均時間(時間)
(1) 母親	1,148	0.2	2.6	10.2	17.8	17.0	15.7	7.8	4.2	4.2	0.5	2.5	0.3	10.6	6.4
(2) 父親	1,123	55.5	21.0	6.5	1.6	1.3	1.1	0.1	0.3	0.2	-	0.5	-	0.4	11.6

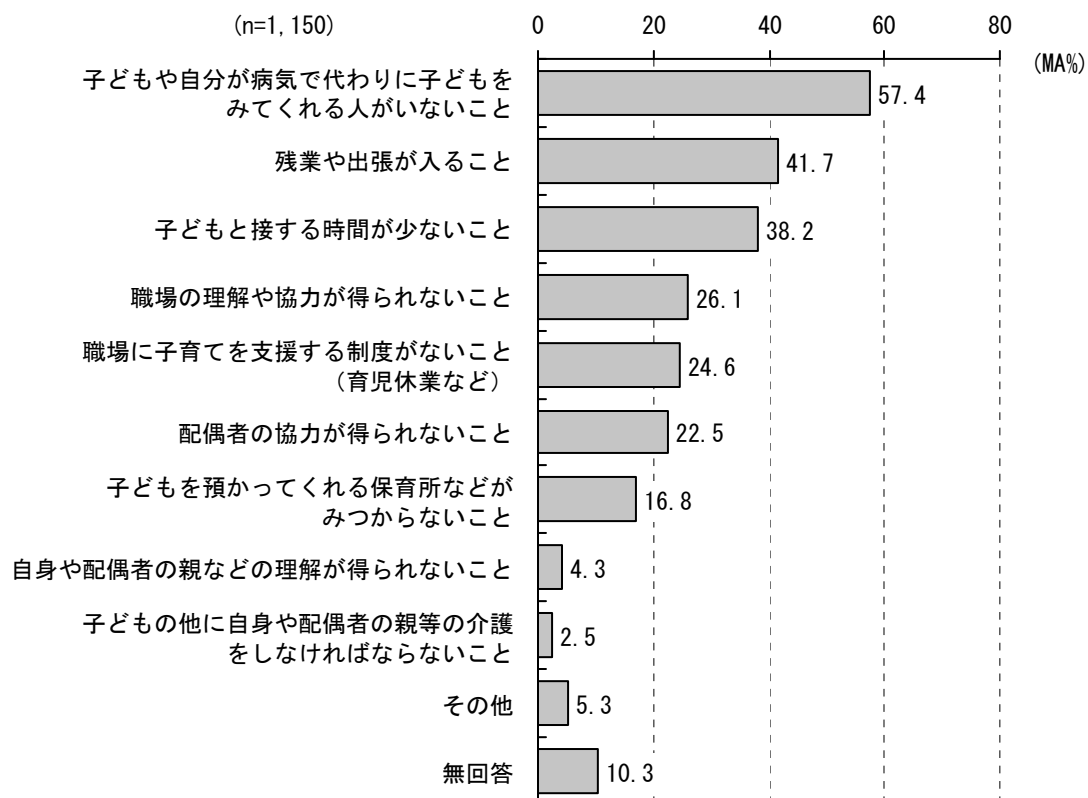
【就学前児童】

〔5〕仕事と子育てを両立させるための課題

問26 仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

仕事と子育てを両立させるための課題については、「子どもや自分が病気で代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が57.4%で最も多く、次いで「残業や出張が入ること」が41.7%、「子どもと接する時間が少ないこと」が38.2%となっている。

【仕事と子育てを両立させるための課題】



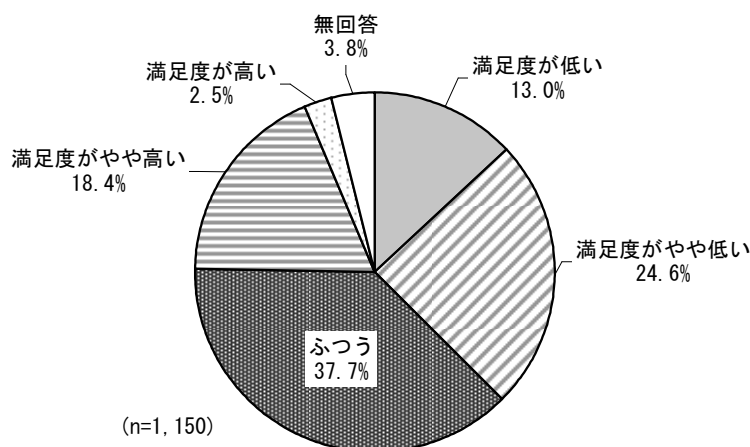
9. 行政等への要望

〔1〕池田市の子育て環境や子育て支援への満足度

問37 池田市における子育て環境や子育て支援への満足度について当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

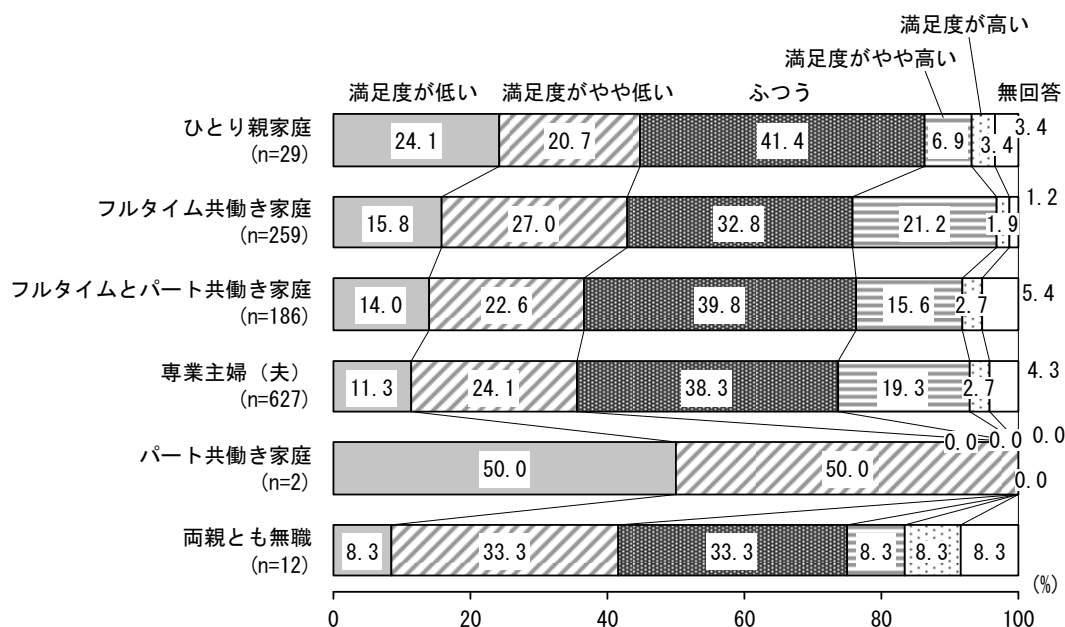
池田市の子育て環境や子育て支援への満足度については、「ふつう」が37.7%で最も多く、「満足度が低い」(13.0%)と「満足度がやや低い」(24.6%)をあわせた『満足度が低い』が37.6%、「満足度がやや高い」(18.4%)と「満足度が高い」(2.5%)をあわせた『満足度が高い』は20.9%となっている。

【池田市の子育て環境や子育て支援への満足度】



家庭類型別で子育て環境や子育て支援への満足度をみると、類型に関係なく、「ふつう」の占める割合が高いが、『満足度が低い』の割合は、ひとり親家庭 (44.8%)、フルタイム共働き家庭 (42.8%)、フルタイムとパート共働き家庭 (36.6%) の順で高くなっている。

【池田市の子育て環境や子育て支援への満足度 (家庭類型別)】



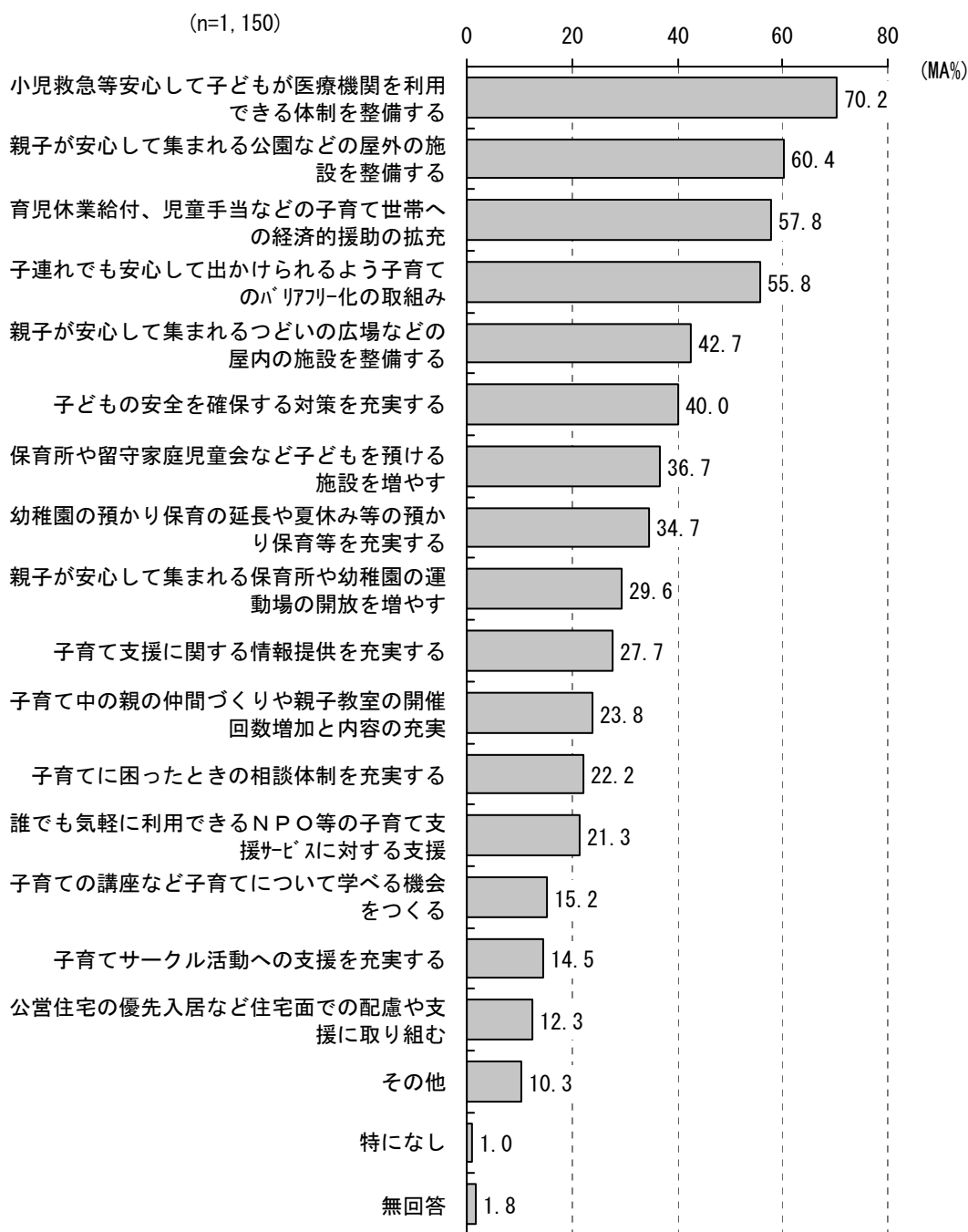
【就学前児童】

〔2〕充実してほしい子育て支援サービス

問38 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

充実してほしい子育て支援サービスについては、「小児救急等安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が70.2%で最も多く、次いで「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が60.4%、「育児休業給付、児童手当などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が57.8%、「子連れでも安心して出かけられるよう子育てのバリアフリー化の取組み」が55.8%となっている。

【充実してほしい子育て支援サービス】



10. 子どもの生活習慣について

〔1〕子どもの生活習慣

問39 お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子どもの生活習慣についてたずねた。

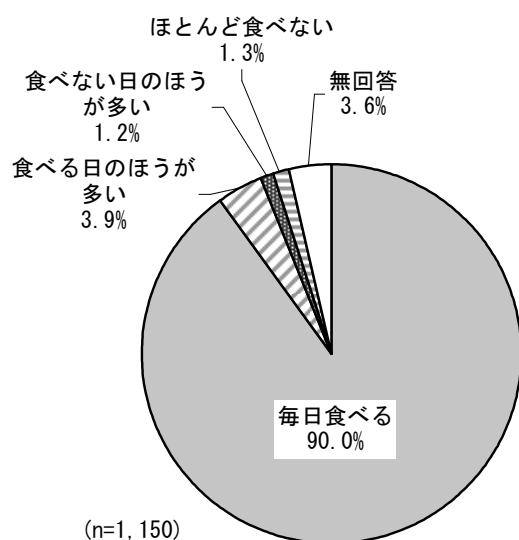
朝食の摂取については、「毎日食べる」が90.0%で最も多い。

1日1回は家族と一緒に食事をするかについては、「する」が93.6%となっている。

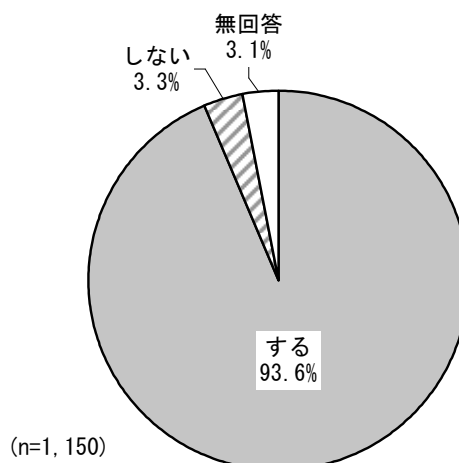
平日のテレビ・ビデオの1日あたりの平均視聴時間については、「2時間以内」が25.9%で最も多く、次いで「2時間以上」が24.3%、「1時間以内」が19.0%となっている。

就寝時刻については、「21時～21時半」が29.7%で最も多く、次いで「20時半～21時」が24.1%であり、22時以降に寝ている子ども（9.9%）は約1割を占める。

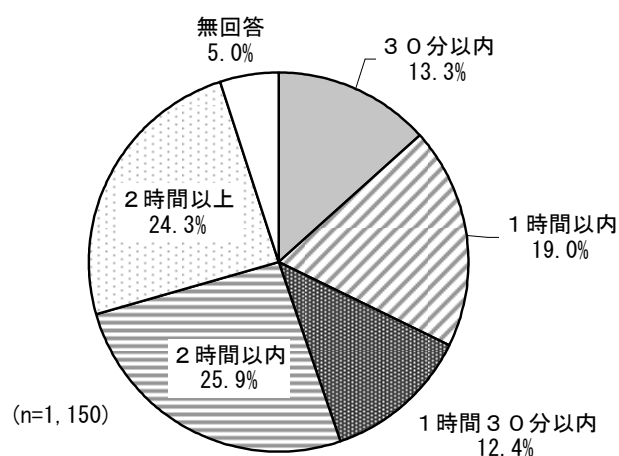
【朝食の摂取状況】



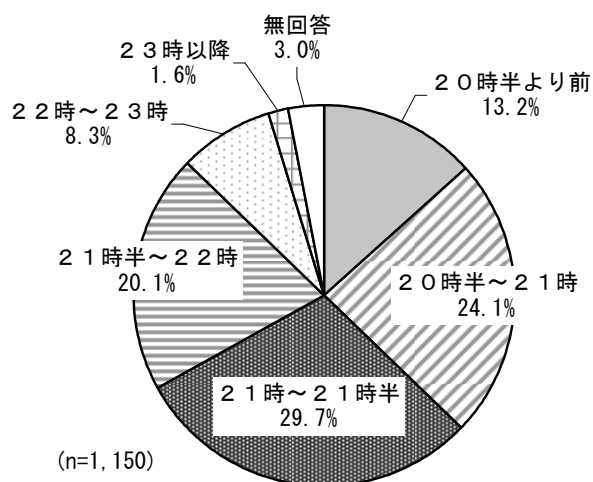
【1日1回以上の家族と一緒にの食事】



【平日のテレビ・ビデオの1日あたりの平均視聴時間】



【就寝時刻】



【就学前児童】

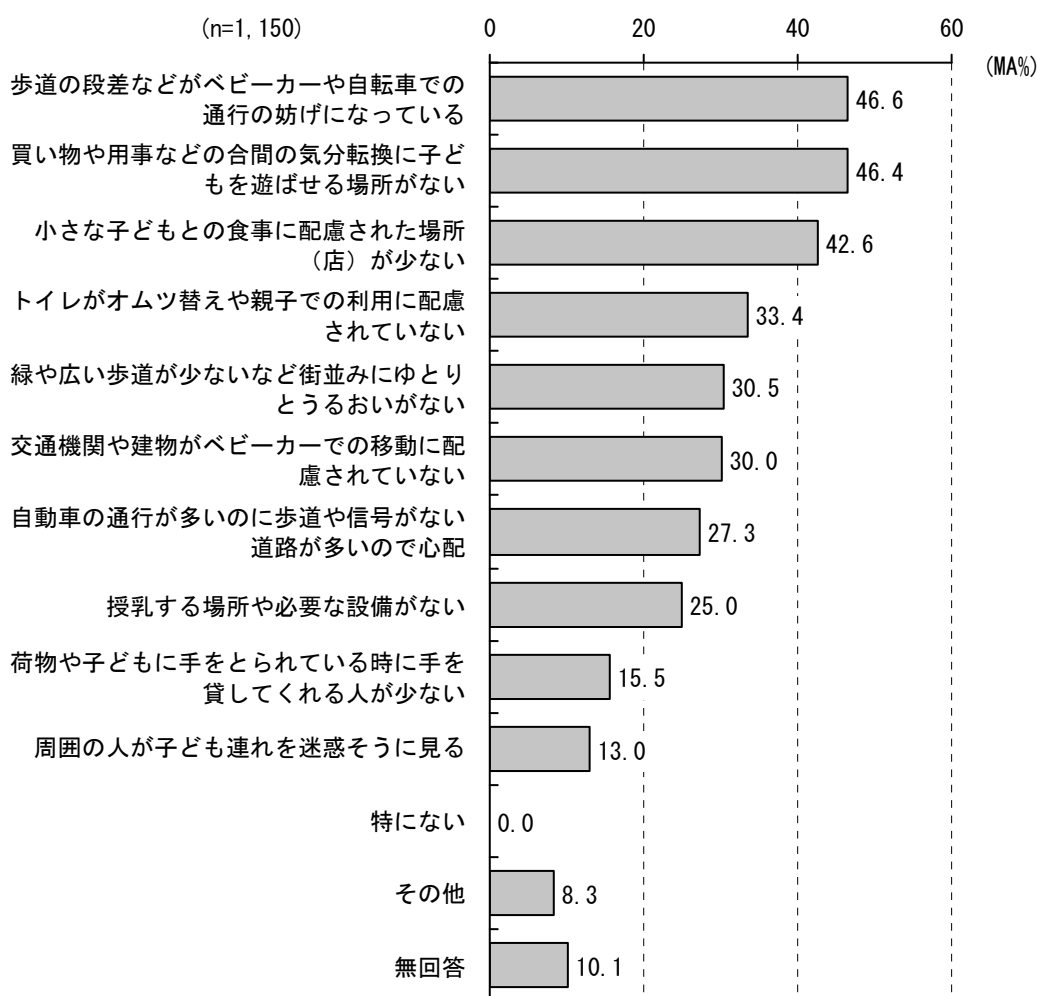
11. 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全確保について

〔1〕子どもとの外出に困っていること

問40 封筒のあて名のお子さんとお出されるときに、困ること、困ったことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもとの外出するときに困っていることについては、「歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている」が46.6%で最も多く、次いで「買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」が46.4%、「小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない」が42.6%となっている。

【子どもとの外出に困っていること】

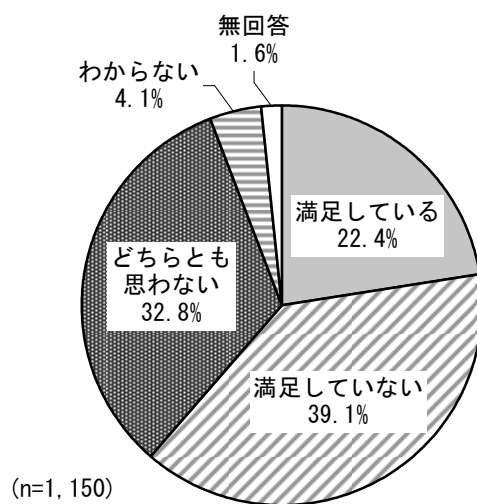


〔2〕子どもの遊び場の満足度

問41 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子どもの遊び場の満足度については、「満足していない」が39.1%で最も多く、次いで「どちらとも思わない」が32.8%、「満足している」が22.4%となっている。

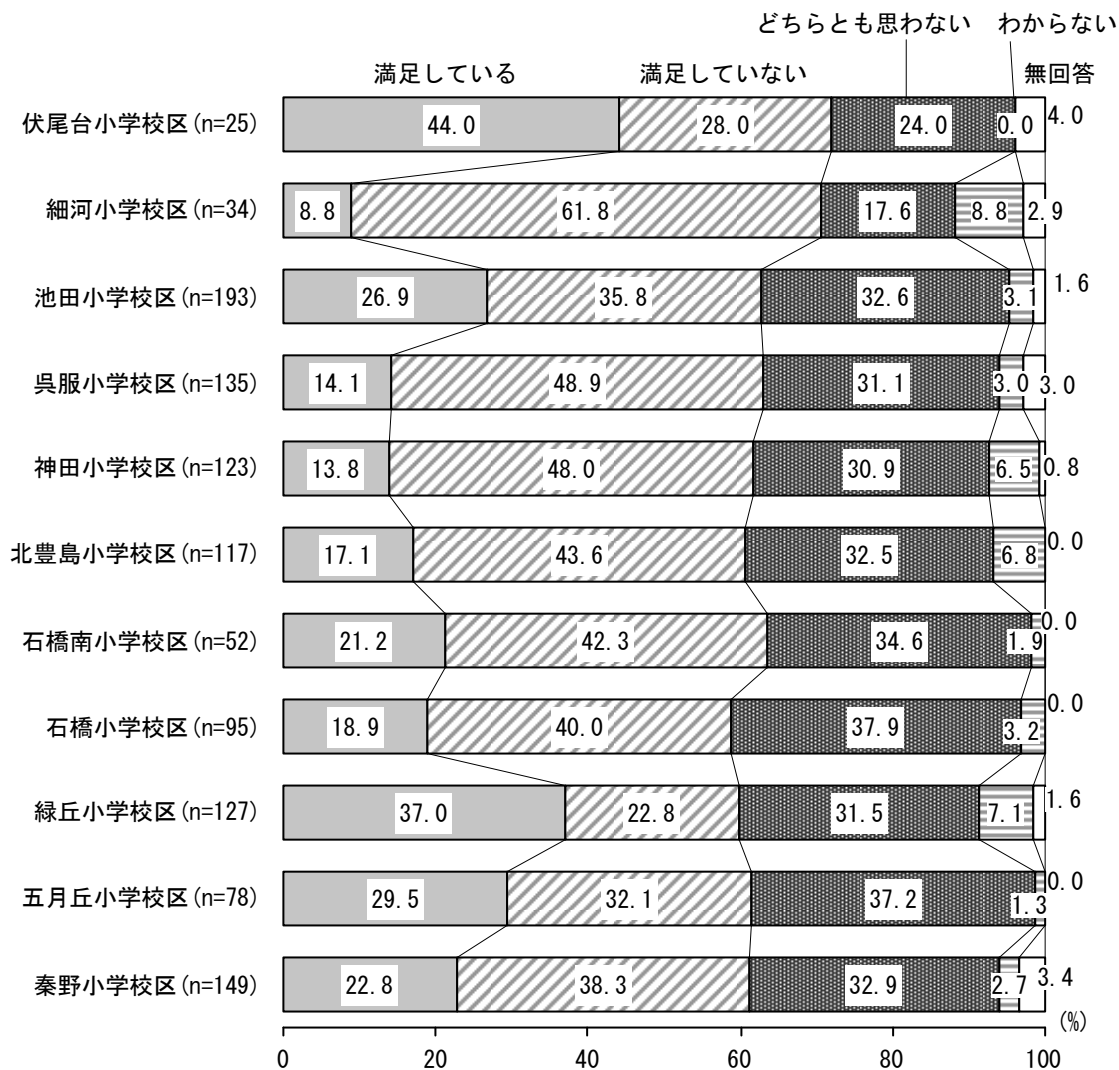
【子どもの遊び場の満足度】



【就学前児童】

子どもの遊び場の満足度について居住地域別でみると、「満足していない」割合は、細河小学校区が61.8%で最も高い。これに次いで、呉服、神田、北豊島の各校区ではほぼ5割となっている。これに対し「満足している」割合は、伏尾台小学校区が44.0%で最も高く、次いで緑丘小学校区の37.0%である。

【子どもの遊び場の満足度（居住地域別）】

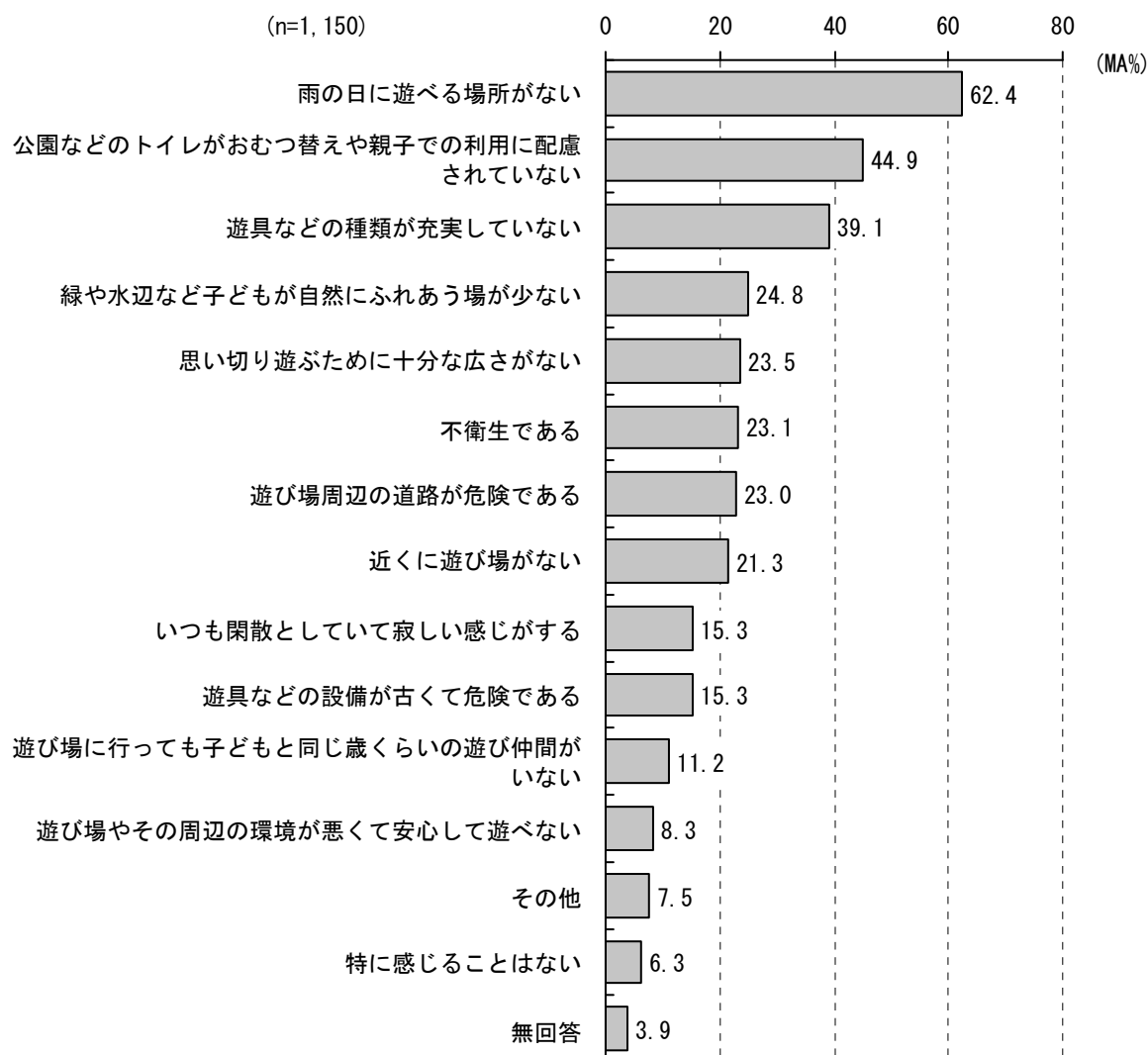


〔3〕子どもの遊び場で日ごろ感じること

問42 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの遊び場で日ごろ感じることについては、「雨の日に遊べる場所がない」が62.4%で最も多く、次いで「公園などのトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」が44.9%、「遊具などの種類が充実していない」が39.1%となっている。

【子どもの遊び場で日ごろ感じること】



【就学前児童】

子どもの遊び場で日ごろ感じることについて居住地別でみると、「雨の日に遊べる場所がない」は、いずれの地域とも最も多く、北豊島小学校区が70.1%で最も高くなっている。全体で2番目に多かった「公園などのトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」については、特に石橋南（61.5%）、神田（59.3%）の両校区の割合が高くなっている。「遊具などの種類が充実していない」は、細河小学校区の割合が55.9%で最も高くなっている。

【子どもの遊び場で日ごろ感じること（居住地別）】

														(MA%)				
	n	近くに遊び場がない	雨の日に遊べる場所がない	思い切り遊ぶために十分な広さがない	遊具などの種類が充実していない	不衛生である	寂しい感じがする	いつも閑散としている	遊具などの設備が古く危険である	自然にふれあう場が少ない	緑や水辺など子どもが遊べる環境が悪い	遊び場やその周辺の遊環境が悪い	公園などのトイレやおむつ替えや親子での利用に配慮されていない	遊び場周辺の道路が危険である	遊び場に行っても子どもと仲間がいらない	その他	特に感じることはない	無回答
伏尾台小学校区	25	12.0	68.0	16.0	44.0	32.0	52.0	16.0	16.0	20.0	8.0	32.0	-	32.0	16.0	4.0	8.0	
細河小学校区	34	29.4	64.7	44.1	55.9	38.2	20.6	29.4	11.8	11.8	11.8	32.4	26.5	29.4	2.9	2.9	2.9	
池田小学校区	193	11.9	54.4	22.3	34.7	18.1	5.7	15.5	19.2	5.7	42.0	24.4	5.2	7.3	8.8	4.1		
呉服小学校区	135	36.3	63.0	31.9	40.0	28.9	14.8	14.1	27.4	8.9	45.9	23.7	9.6	4.4	5.9	4.4		
神田小学校区	123	30.1	67.5	25.2	39.0	24.4	20.3	12.2	28.5	11.4	59.3	22.0	13.0	6.5	4.1	1.6		
北豊島小学校区	117	29.9	70.1	25.6	40.2	24.8	18.8	15.4	35.0	12.0	48.7	29.1	14.5	6.0	5.1	1.7		
石橋南小学校区	52	17.3	69.2	26.9	42.3	46.2	17.3	26.9	44.2	21.2	61.5	21.2	13.5	13.5	1.9	5.8		
石橋小学校区	95	20.0	66.3	21.1	43.2	28.4	15.8	16.8	36.8	10.5	50.5	33.7	6.3	10.5	7.4	2.1		
緑丘小学校区	127	11.0	58.3	17.3	29.9	12.6	11.0	10.2	17.3	3.9	35.4	22.0	7.9	7.1	7.1	4.7		
五月丘小学校区	78	10.3	60.3	9.0	34.6	20.5	12.8	6.4	9.0	2.6	35.9	19.2	10.3	11.5	7.7	2.6		
秦野小学校区	149	21.5	59.1	24.8	45.0	16.8	18.8	20.1	20.8	7.4	38.3	18.8	13.4	7.4	6.7	6.0		

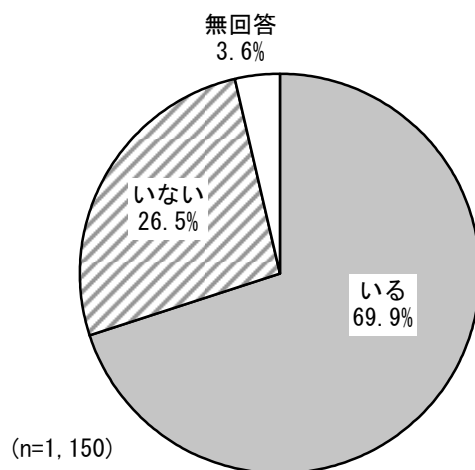
12. 子育てに対する意識について

〔1〕近所で日常的に子どもの話をする人の有無

問43 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

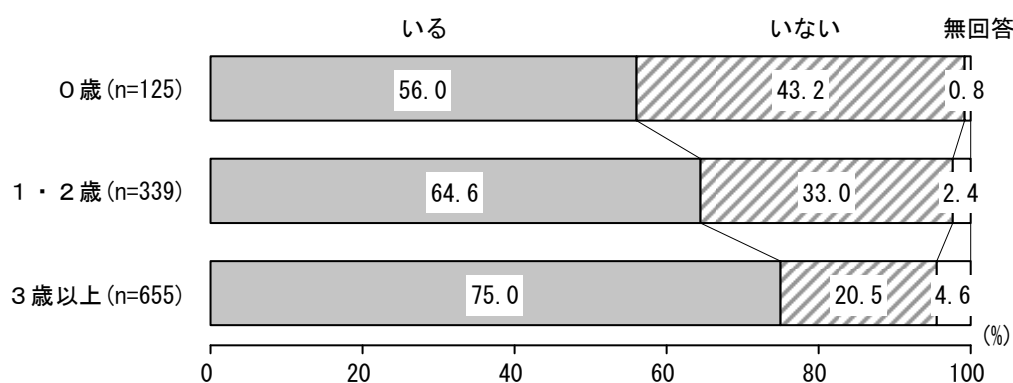
近所で日常的に子どもの話をする人の有無については、「いる」が69.9%に対し、「いない」が26.5%となっている。

【近所で日常的に子どもの話をする人の有無】



子どもの年齢別で見ると、近所で日常的に子どもの話をする人がいる割合は、各年代とも半数を超えるが、0歳児は56.0%と低く、「いない」が43.2%で高い。一方、3歳以上の子どもの保護者では「いる」が75.0%を占めている。

【近所で日常的に子どもの話をする人の有無（子どもの年齢別）】



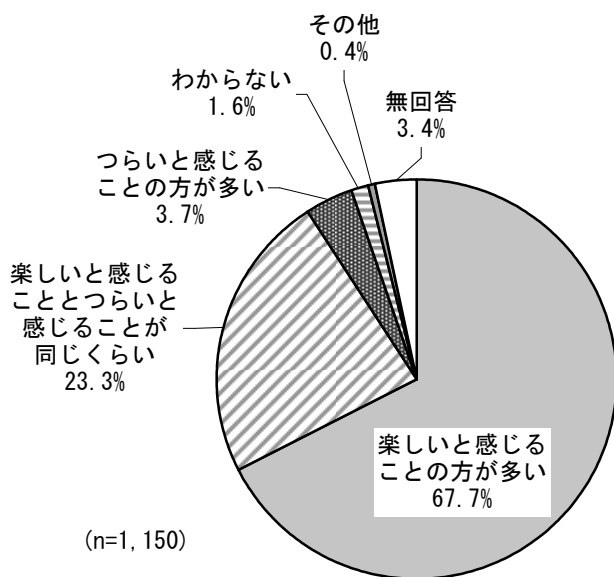
【就学前児童】

〔2〕子育てを楽しんでいること

問44 ご自身にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

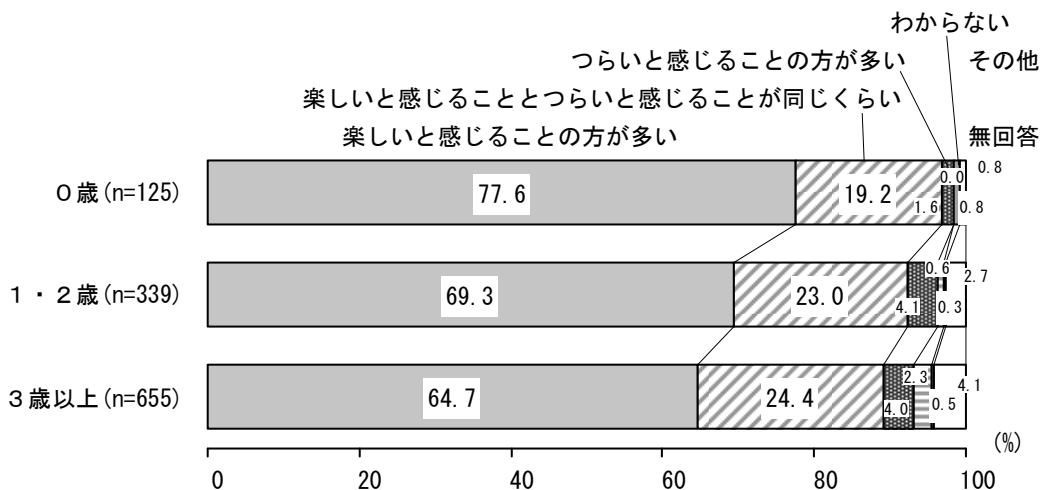
子育てを楽しんでいると感じることについては、「楽しいと感じることが多い」が67.7%で最も多く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が23.3%となっている。

【子育てを楽しんでいること】



子育てを楽しんでいると感じることについて子どもの年齢別で見ると、「楽しいと感じることが多い」の割合は、各年代とも半数以上を占め、0歳児の保護者が77.6%で最も高くなっている。年齢が上がるとともに、「楽しいと感じることが多い」の割合は低下している。

【子育てを楽しんでいること（子どもの年齢別）】

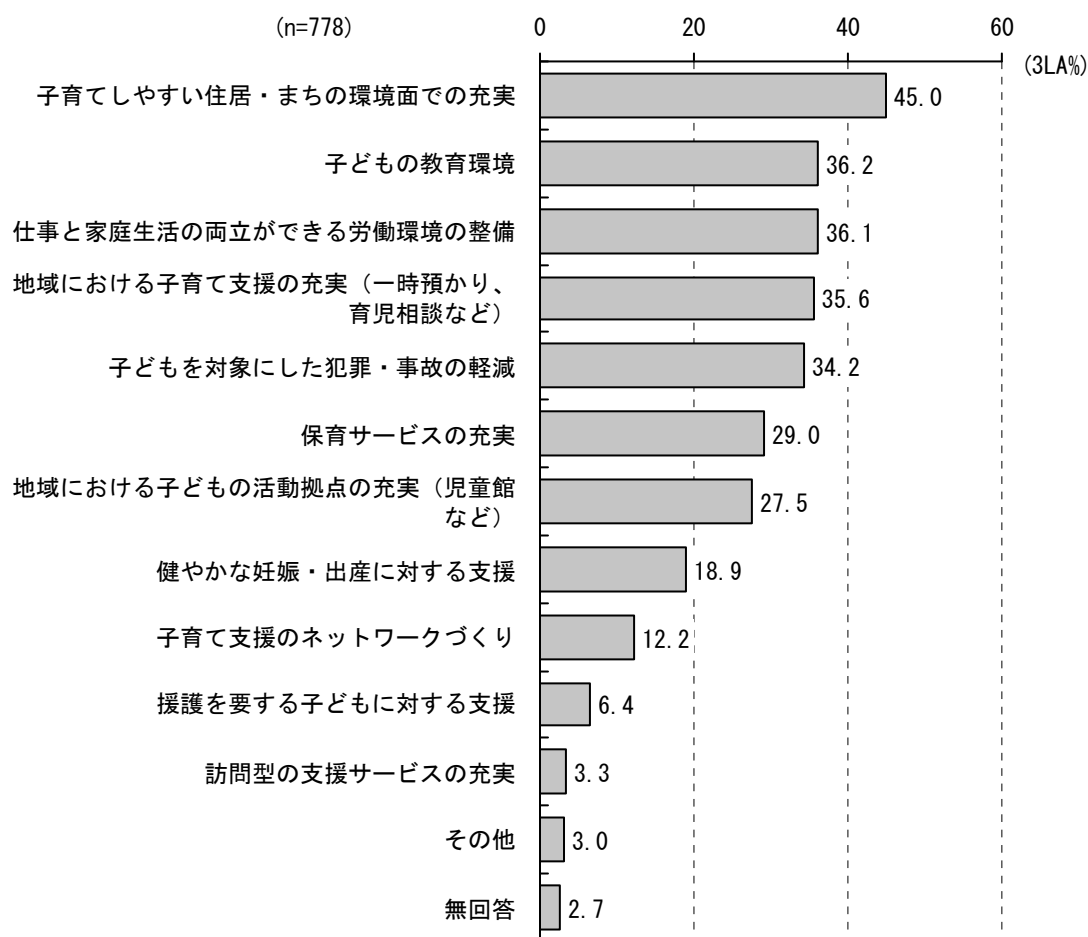


■子育ての中で有効な支援・対策

問44-1 問44で「1. 楽しいと感じることの方が多い」を選ばれた、子育てを楽しいと感じる方におうかがいします。子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

子育てが楽しいと感じることの方が多いと回答した人に、子育ての中で有効な支援・対策についてたずねると、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が45.0%で最も多く、次いで「子どもの教育環境」が36.2%、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が36.1%、「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」が35.6%となっている。

【子育ての中で有効な支援・対策】



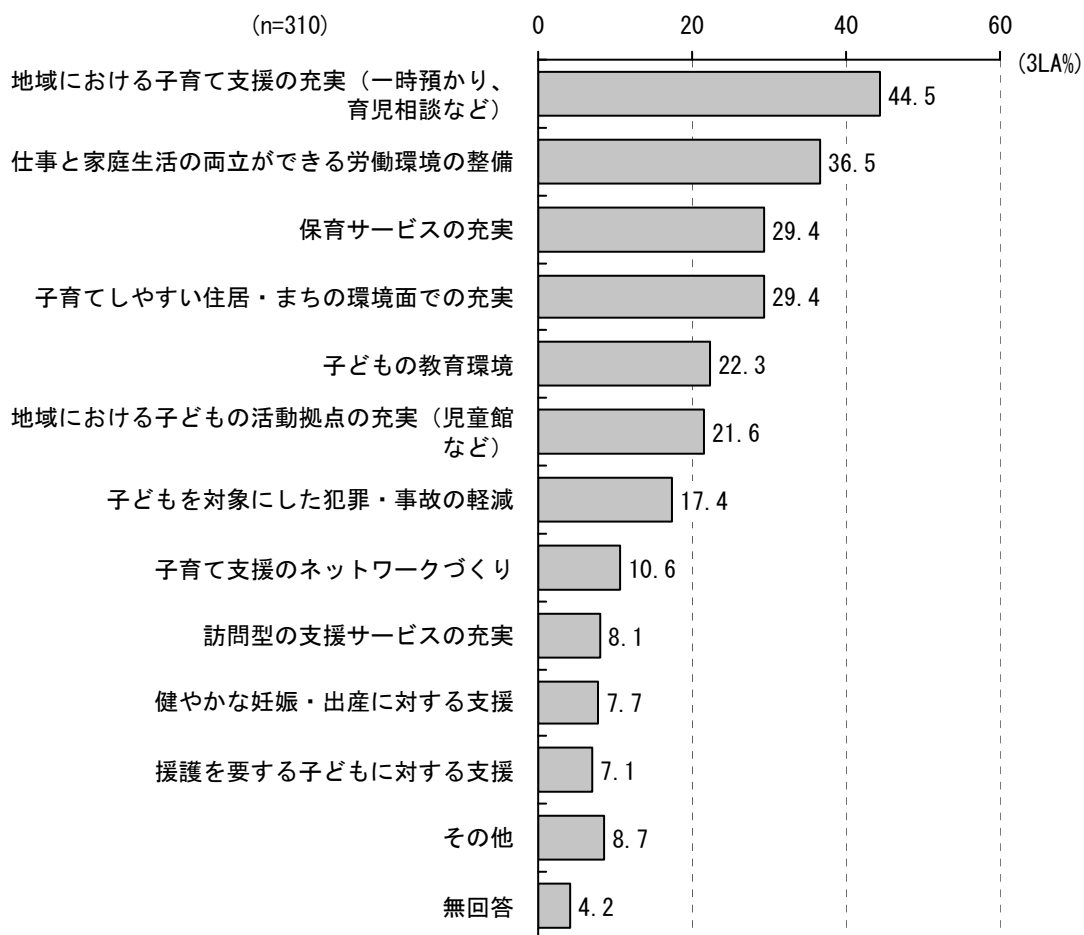
【就学前児童】

■子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策

問44-2 問44で「2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」「3. つらいと感じることの方が多し」を選ばれた方におうかがいします。あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

子育てが楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい、もしくは、つらいと感じることの方が多しと回答した人に、子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策についてたずねると、「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」が44.5%で最も多く、次いで「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が36.5%、「保育サービスの充実」と「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」がともに29.4%となっている。

【子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策】



〔3〕子育てに関して、日常悩んでいること、気になること

問45 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

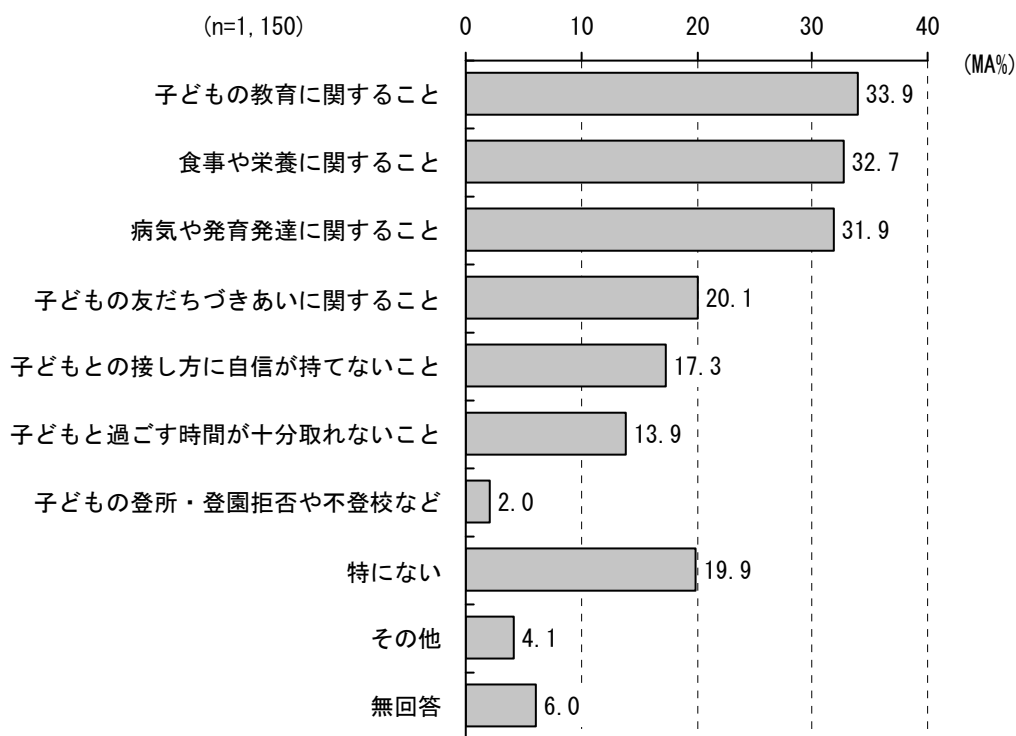
子育てに関して、日常悩んでいること、気になることについてたずねた。

子どもに関することでは、「子どもの教育に関すること」が33.9%で最も多く、次いで「食事や栄養に関すること」が32.7%、「病気や発育発達に関すること」が31.9%となっている。

自身に関することについては、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が41.6%で最も多く、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」が35.4%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が30.3%となっている。

【子育てに関して、日常悩んでいること、気になること】

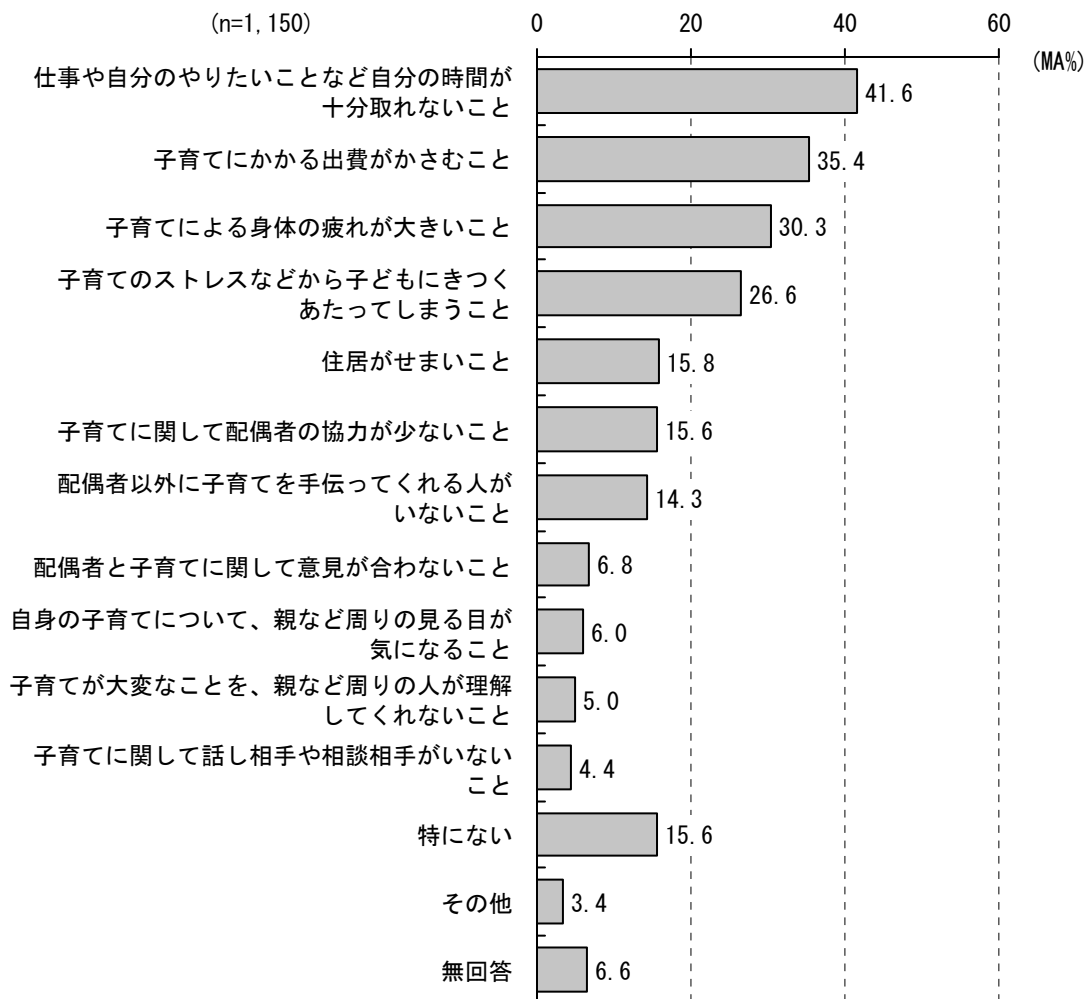
(1) 子どもに関すること



【就学前児童】

【子育てに関して、日常悩んでいること、気になること】

(2) 自身に関すること



〔4〕 地域の人に支えられている感の有無

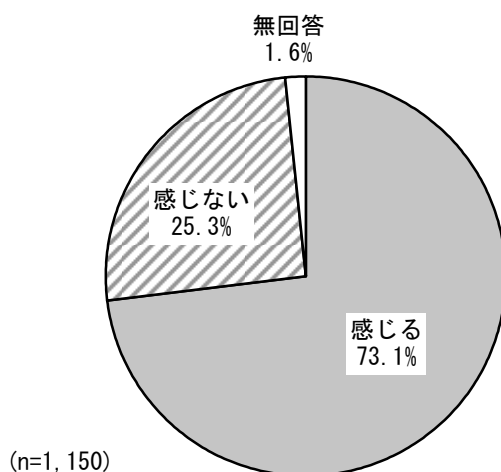
問46 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。枠内の選択肢の中からあてはまるものをすべて選び、その番号を記入してください。

地域の人に支えられていると「感じる」が73.1%に対し、「感じない」が25.3%となっている。

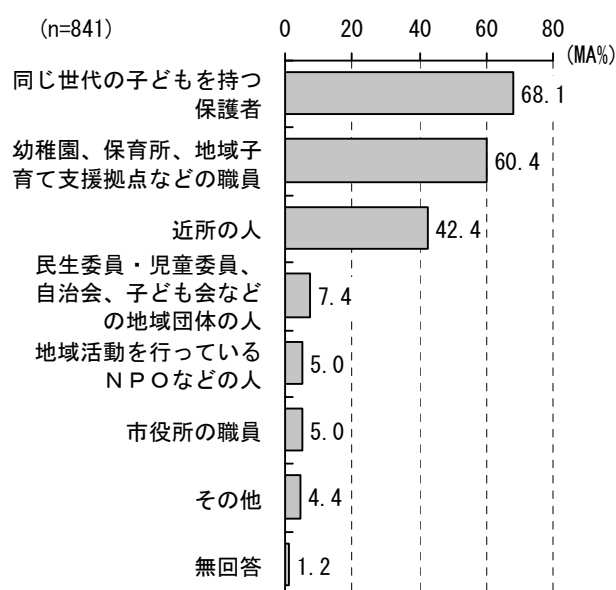
地域の人に支えられていると感じると回答した人に、誰から支えられているかについては、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が68.1%で最も多く、次いで「幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員」が60.4%、「近所の人」が42.4%となっている。

地域の人に支えられていると感じないと回答した人に、誰から支えてほしいかについては、「幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点などの職員」が30.9%で最も多く、次いで「同じ世代の子どもを持つ保護者」が28.2%、「近所の人」が26.5%となっている。

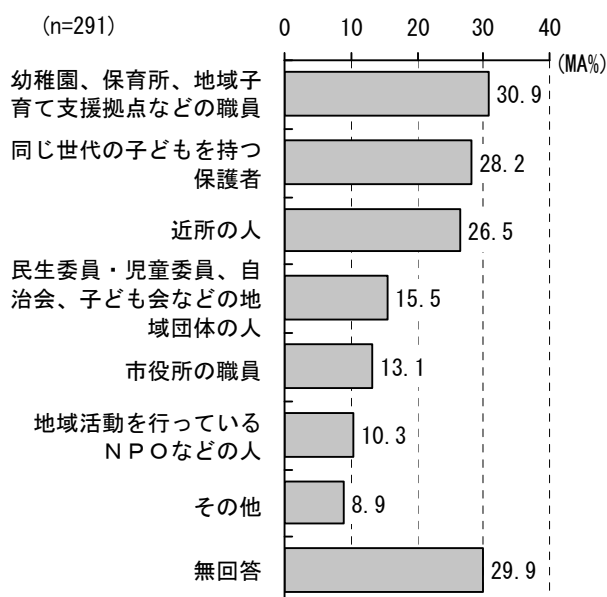
【地域の人に支えられている感の有無】



【支えられている対象】



【支えほしい対象】



Ⅲ－２．就学児童の調査結果

Ⅲ－２．就学児童の調査結果

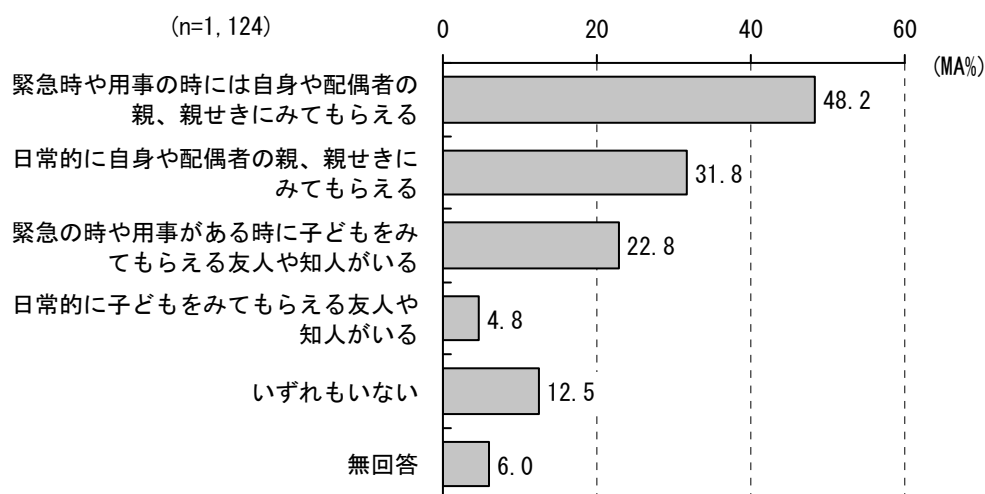
1. 子どもと家族の状況について

〔1〕子どもの面倒をみてもらえる人の有無

問7 日頃、お子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの面倒をみてもらえる人の有無については、「緊急時や用事の際には自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が48.2%で最も多く、次いで「日常的に自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」が31.8%、「緊急の時や用事がある時に子どもをみてもらえる友人や知人がいる」が22.8%となっている。

【子どもの面倒をみてもらえる人の有無】



家族構成別では、「日常的に自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」割合は、夫婦と子どもと祖父母の家庭が79.5%で最も高く、「緊急時や用事の際には自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」は夫婦と子どもの家庭が52.1%で最も高い。

【子どもの面倒をみてもらえる人の有無（家族構成別）】

	n	緊急時や用事の際には自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる	日常的に自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる	緊急の時や用事がある時に子どもをみてもらえる友人や知人がいる	日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる	いずれもない	無回答
ひとり親家庭	83	49.4	37.3	9.6	18.1	7.2	6.0
夫婦と子ども	925	26.9	52.1	4.1	24.4	13.9	4.5
夫婦と子どもと祖父母	78	79.5	26.9	7.7	12.8	-	3.8
その他	19	21.1	26.3	5.3	15.8	26.3	10.5

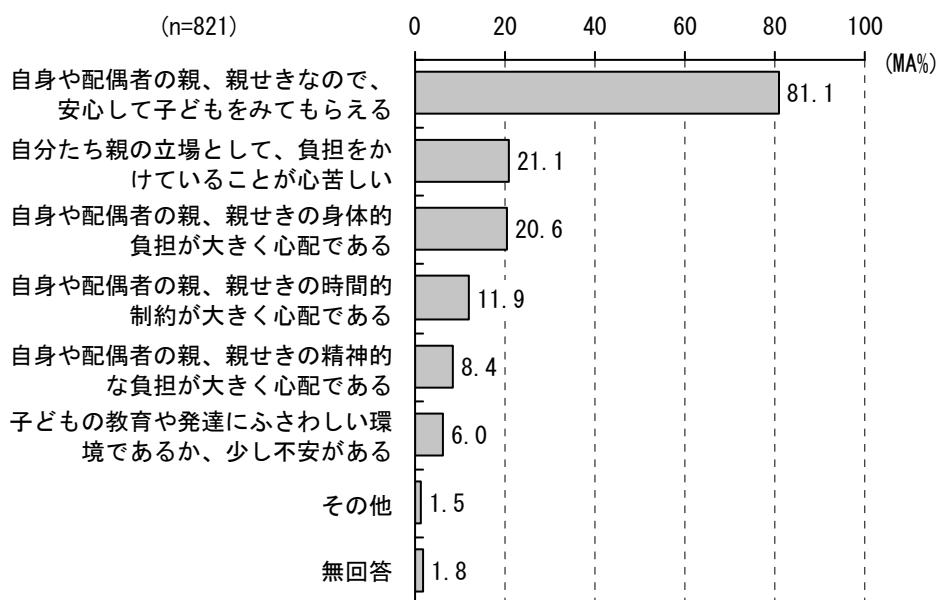
【就学児童】

■親や親せきに子どもをみてもらうことに対する気持ち

問7-1 問7で「1. 日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事のあるときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる」を選ばれた、お子さんをご自身や配偶者の親、親せきにみてもらっている方におうかがいします。
子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

日常的に自身や配偶者の親、親せきにみてもらえると回答した人に、子どもをみてもらうことに対する気持ちについてたずねると、「自身や配偶者の親、親せきなので、安心して子どもをみてもらえる」が81.1%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が21.1%、「自身や配偶者の親、親せきの身体的負担が大きく心配である」が20.6%となっている。

【親や親せきに子どもをみてもらうことに対する気持ち】

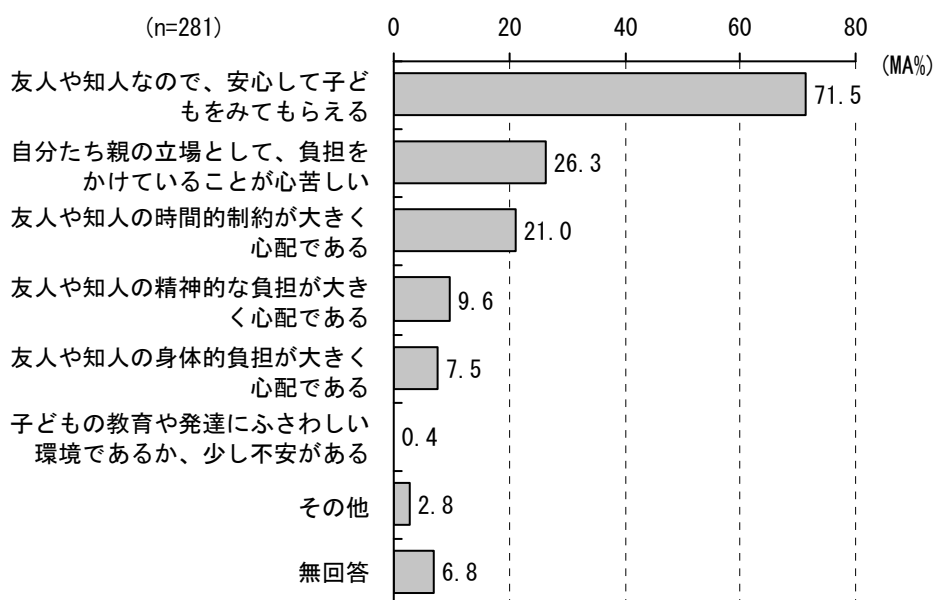


■友人・知人に子どもをみてもらうことに対する気持ち

問7-2 問7で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる」または「4. 緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる」を選ばれた、お子さんを友人や知人にみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもをみてもらえる友人・知人がいると回答した人に、友人・知人に子どもをみてもらうことに対する気持ちについてたずねると、「友人や知人なので、安心して子どもをみてもらえる」が71.5%で最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が26.3%、「友人や知人の時間的制約が大きく心配である」が21.0%となっている。

【友人・知人に子どもをみてもらうことに対する気持ち】



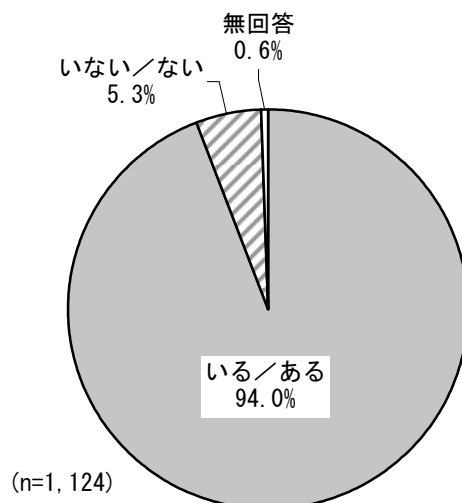
【就学児童】

〔2〕子育てや教育についての相談相手・場所の有無

問8 あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子育てや教育についての相談相手・場所が「いる／ある」が94.0%で大部分を占める。

【子育てや教育についての相談相手・場所の有無】

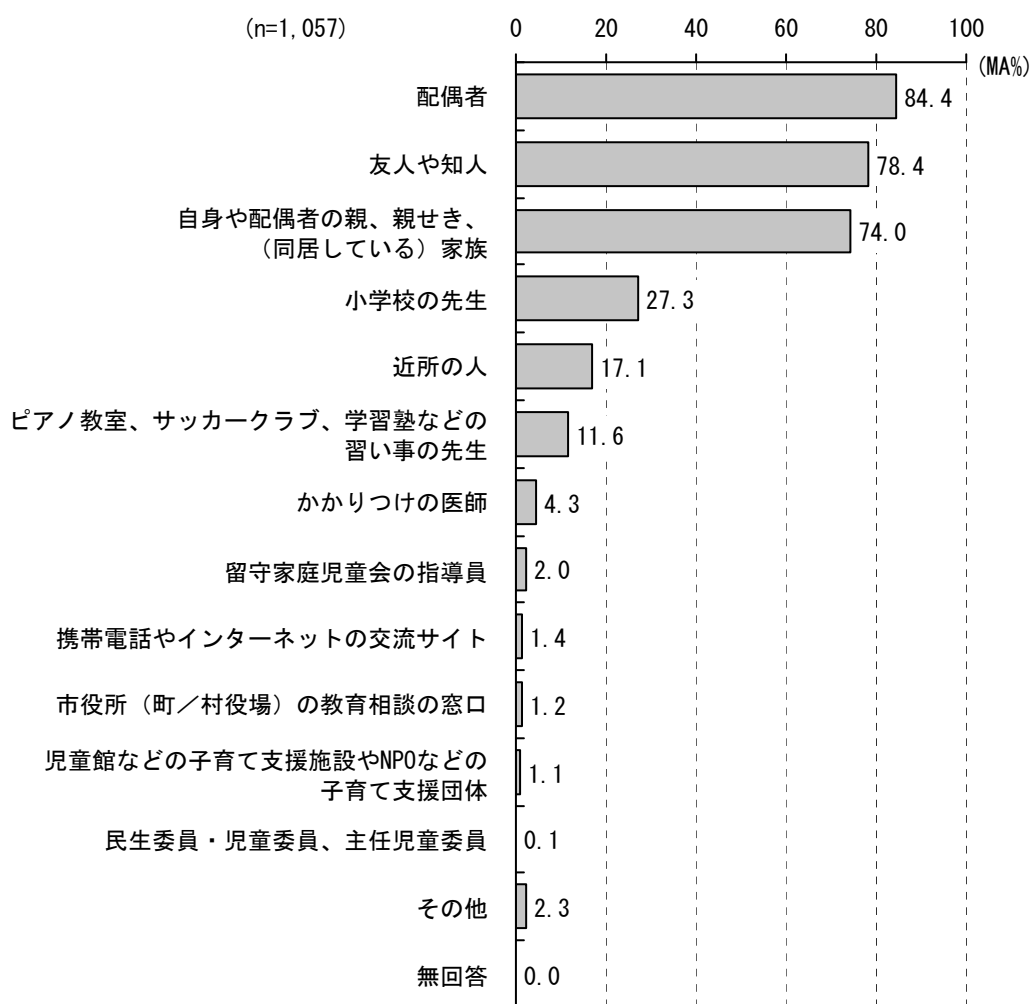


■具体的な相談先

問8-1 問8で「1. いる／ある」を選ばれた方におうかがいします。
 気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てや教育に関する具体的な相談先は、「配偶者」が84.4%で最も多く、次いで「友人や知人」が78.4%、「自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族」が74.0%となっている。

【具体的な相談先】



【就学児童】

ひとり親家庭と両親とも無職を除く家庭では、子育てや教育に関する具体的な相談先は、「配偶者」がいずれも最も多い。ひとり親家庭は「友人や知人」「自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族」の割合が高い。

【具体的な相談先（家庭類型別）】

	n	配偶者	自身や配偶者の親、 （同居している）家族、 親せき、	友人や知人	近所の人	小学校の先生	留守家庭児童会の指導員	NPOなどの子育て支援施設や	児童館などの子育て支援団体	学習塾などの習い事の先生	ピアノ教室、サツカークラブ、	民生委員・児童委員、主任児童委員	かかりつけの医師	市役所（町／村役場）の教育相談の窓口	流サイト	携帯電話やインターネットの交	その他
ひとり親家庭	70	7.1	75.7	78.6	14.3	22.9	7.1	-	-	5.7	-	-	5.7	2.9	1.4	1.4	1.4
フルタイム共働き家庭	159	88.1	76.1	73.6	11.9	25.8	4.4	-	-	15.1	-	-	5.7	-	1.9	1.9	1.9
フルタイムとパート共働き家庭	344	91.0	74.1	82.3	18.9	32.8	2.3	1.7	12.2	0.3	3.8	1.2	1.7	0.5	1.7	3.5	3.5
専業主婦（夫）	422	91.5	73.7	77.0	19.0	24.6	-	1.2	10.4	-	-	-	3.6	1.7	0.5	1.7	1.7
パート共働き家庭	7	85.7	85.7	42.9	14.3	71.4	-	-	-	-	-	-	28.6	-	-	-	-
両親とも無職	6	33.3	100.0	66.7	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-

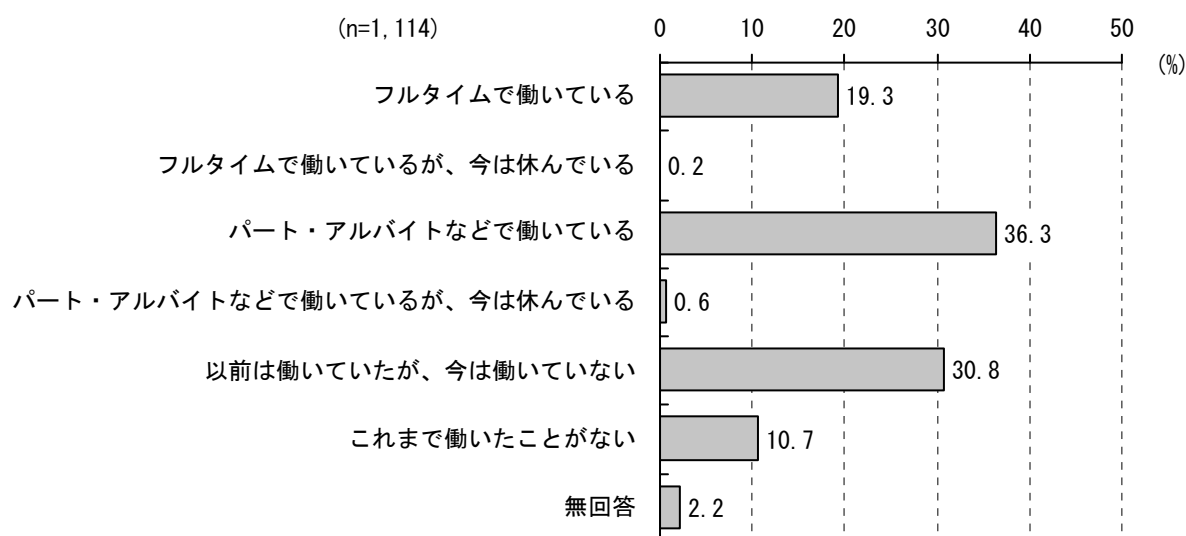
2. 両親の就労状況、今後の就労意向について

〔1〕母親の就労状況

問9 封筒のあて名のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

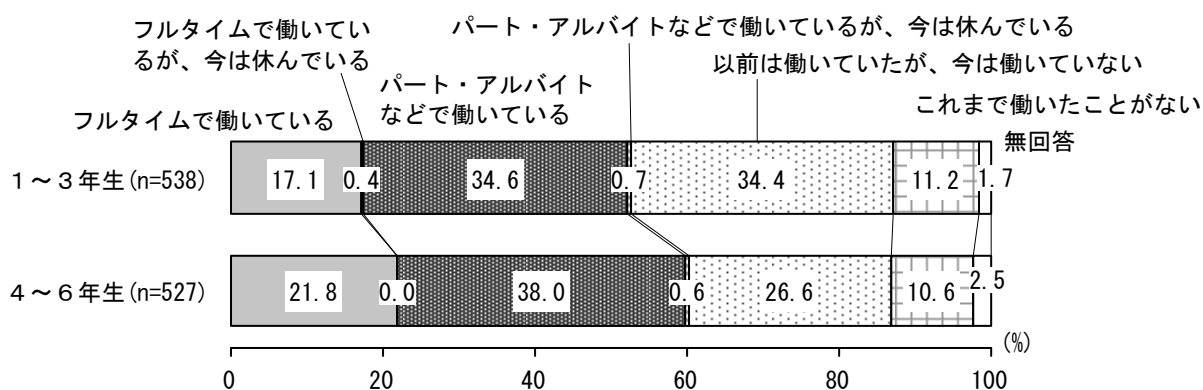
母親の就労状態は、「パート・アルバイトなどで働いている」が36.3%で最も多く、「以前は就労していたが、今は働いていない」が30.8%、「フルタイムで働いている」が19.3%となっている。

【母親の就労状態】



子どもの学年別では、1～3年生は、「パート・アルバイトなどで働いている」と「以前は就労していたが、今は働いていない」がほぼ同割合となっている。4～6年生になると、「以前は就労していたが、今は働いていない」の割合は低下し、「フルタイムで働いている」「パート・アルバイトなどで働いている」の各割合が上昇している。

【母親の就労状態（子どもの学年別）】



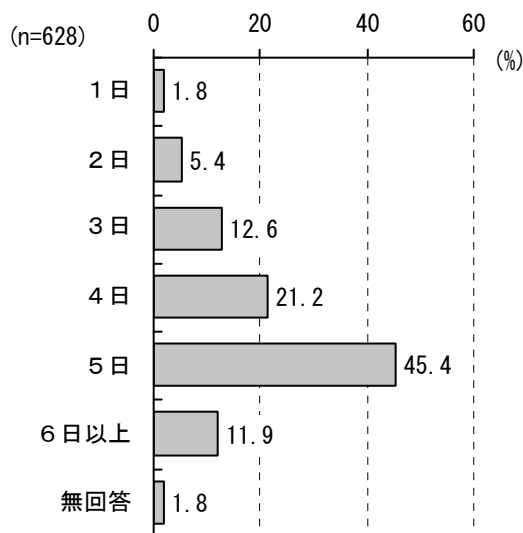
【就学児童】

■就労する母親の就労日数・就労時間

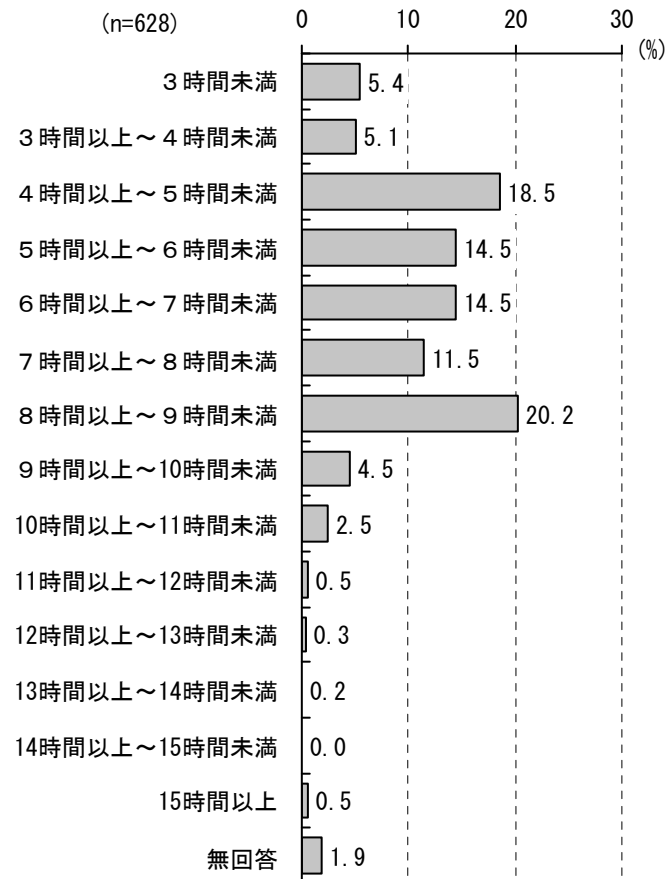
問9-1 問9で「1. フルタイムで働いている」から「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。（ ）内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

就労している（フルタイム、パート・アルバイトなど）と回答した母親の1週間の就労日数は、「5日」が45.4%で最も多い。また、1日あたりの就労時間は「8時間以上9時間未満」が20.2%で最も多く、次いで「4時間以上5時間未満」が18.5%、「5時間以上～6時間未満」と「6時間以上～7時間未満」がともに14.5%となっている。

【母親の就労日数／週】



【母親の就労時間／日】



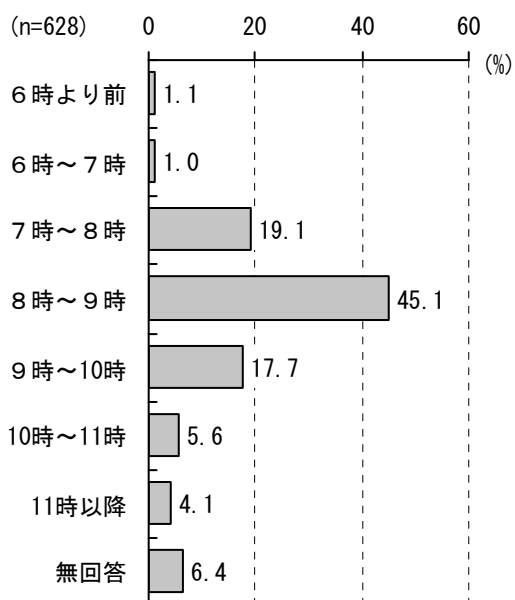
■就労する母親の家を出る時間・帰宅時間

問9-2 問9で「1. フルタイムで働いている」から「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）に引き続きおうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、24時間制でお答えください。

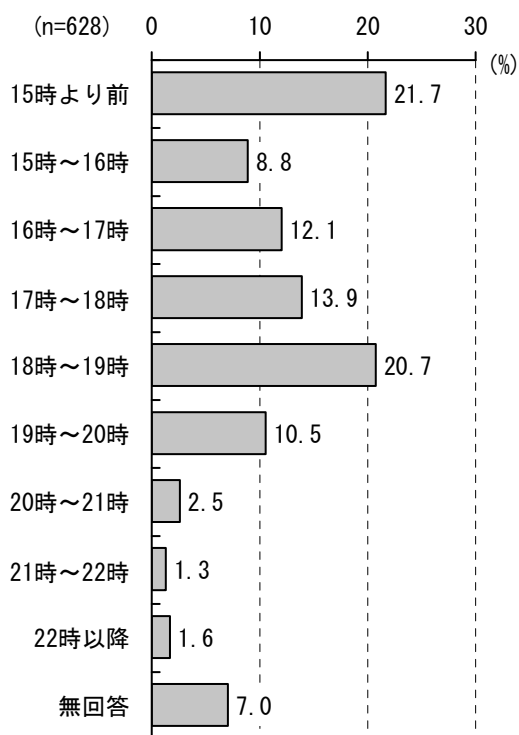
就労している（フルタイム、パート・アルバイトなど）」と回答した母親の家を出る時間は「8時～9時」が45.1%で最も多く、次いで「7時～8時」の19.1%である。

また、帰宅時間は「15時より前」が21.7%で最も多く、次いで「18時～19時」が20.7%、「17時～18時」が13.9%となっている。

【母親の家を出る時間】



【母親の帰宅時間】



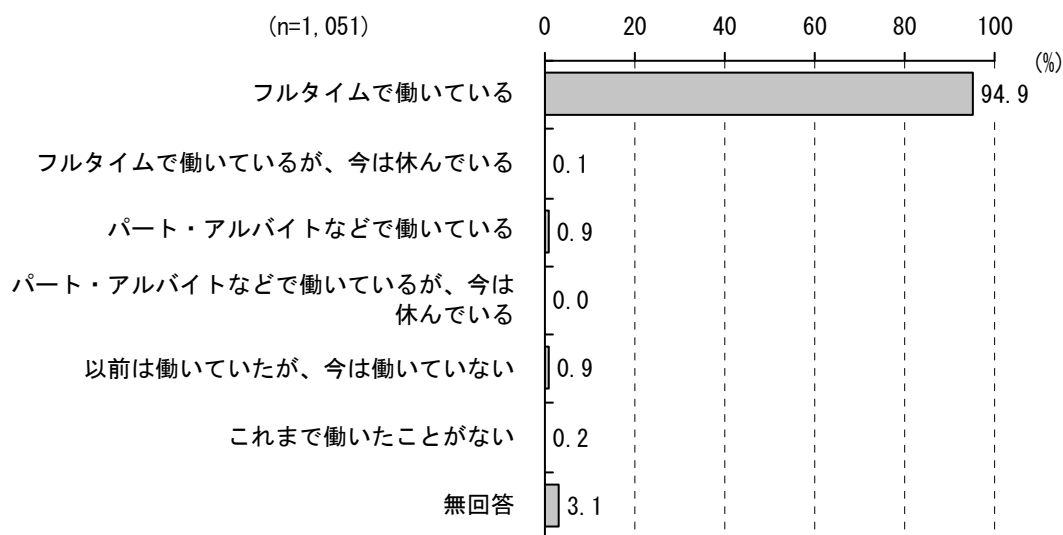
【就学児童】

〔2〕父親の就労状況

問10 封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

父親の就労状況は、「フルタイムで働いている」（育休・介護休業等で休んでいる人を含む）が95.0%で大部分を占める。

【父親の就労状況】



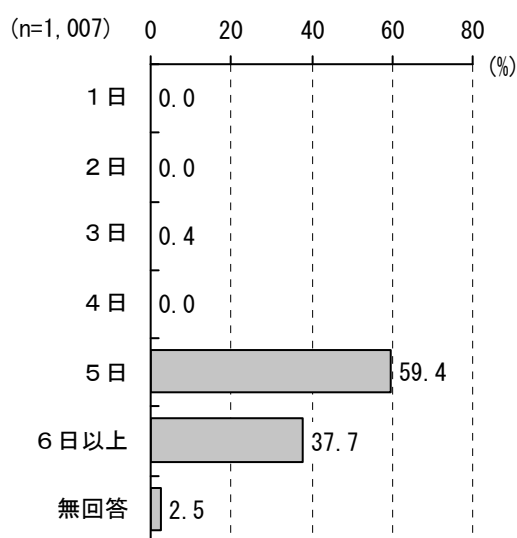
■就労する父親の就労日数・就労時間

問10-1 問10で「1. フルタイムで働いている」から「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。（ ）内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

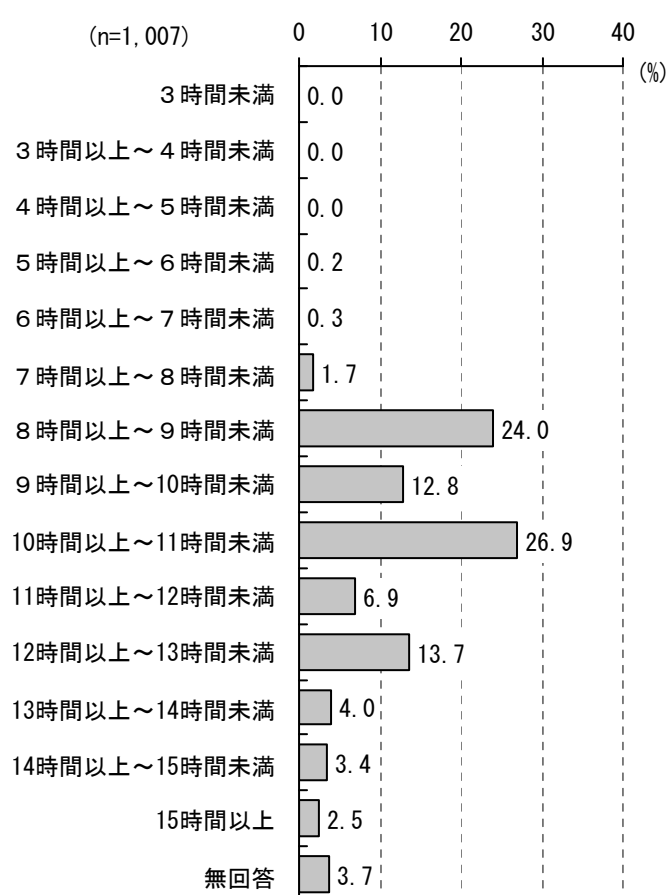
就労している（フルタイム、パート・アルバイトなど）と回答した父親の1週間の就労日数は、「5日」が59.4%で最も多く、次いで「6日以上」が37.7%である。

また、1日あたりの就労時間は「10時間以上～11時間未満」が26.9%、「8時間以上～9時間未満」が24.0%、「12時間以上～13時間未満」が13.7%と、母親と異なり、就労時間にばらつきがみられる。

【父親の就労日数／週】



【父親の就労時間／日】



【就学児童】

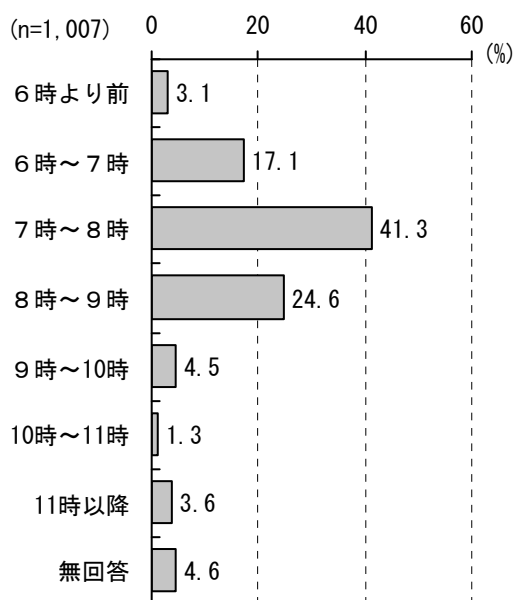
■就労する父親の家を出る時間・帰宅時間

問10-2 問10で「1. フルタイムで働いている」から「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）に引き続きおうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、24時間制でお答えください。

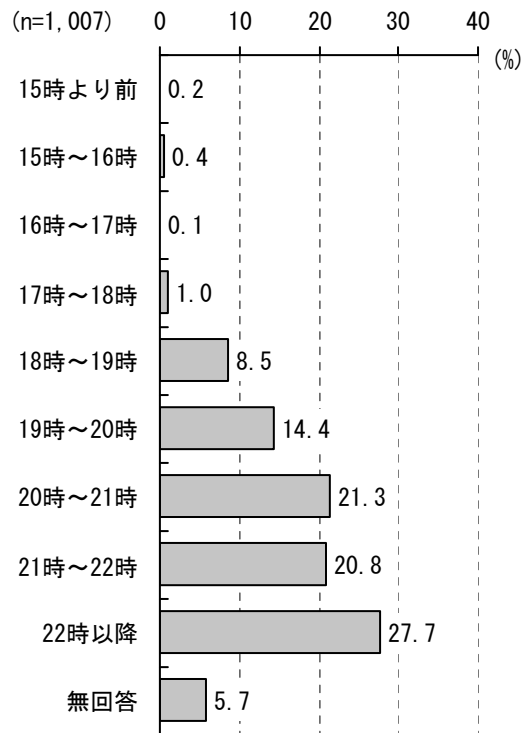
就労している（フルタイム、パート・アルバイトなど）と回答した父親の家を出る時間は「7時～8時」が41.3%で最も多く、次いで「8時～9時」の24.6%である。

また、帰宅時間は「22時以降」が27.7%で最も多く、次いで「20時～21時」が21.3%、「21時～22時」が20.8%となっている。回答世帯の父親の69.8%は、20時以降に帰宅している。

【父親の家を出る時間】



【父親の帰宅時間】



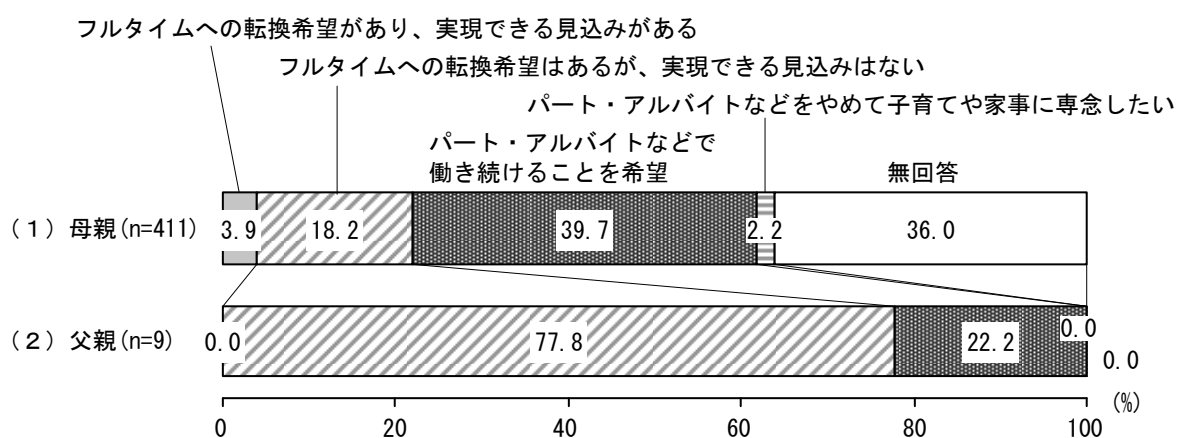
〔3〕今後の就労希望

(1) パート・アルバイトからフルタイムへの転換意向

問11 問9または問10で、「3. パート・アルバイトなどで働いている」または「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

現在、パート・アルバイトで就労する母親で、今後フルタイムに転換希望がある割合は22.1%で、そのうち「実現できる見込みがある」は3.9%と低い。これに対し、「パート・アルバイトなどで働き続けることを希望」が39.7%で多くなっている。

【パート・アルバイトからフルタイムへの転換意向】



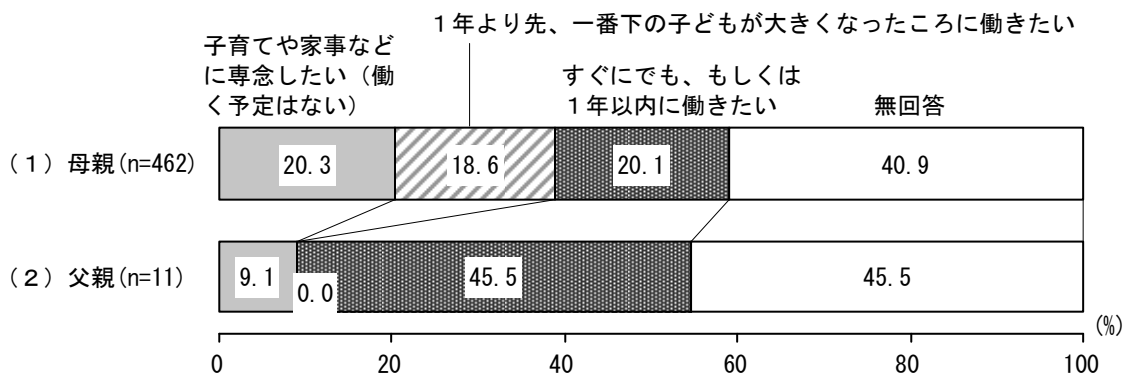
【就学児童】

(2) 現在無職者の就労意向

問12 問9または問10で「5. 以前は働いていたが、今は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」を選ばれた、仕事をお持ちでない方におうかがいします。働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、() 内に具体的な数字を入れてください。

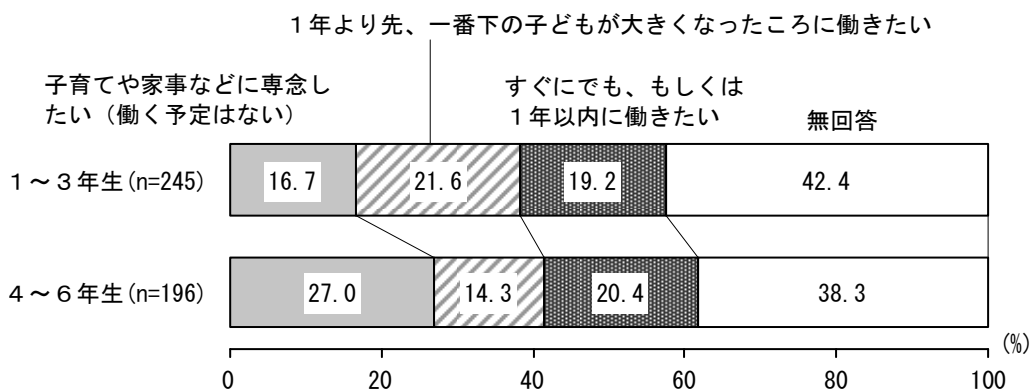
現在、無職の母親の就労意向をみると、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が20.3%で最も多く、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」は20.1%となっている。

【現在無職者の就労意向】



子どもの学年別では、1～3年生は、「1年より先、一番下の子どもが大きくなったときに働きたい」が21.6%で最も多い。4～6年生では、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」が27.0%で最も多く、就労意向は低下している。

【現在無職者の就労意向（子どもの学年別）】



■ 1年より先で、働きたい時期の末子の年齢

	n	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上	無回答
(1) 母親	86	-	1.2	1.2	4.7	1.2	47.7	44.2
(2) 父親	-	-	-	-	-	-	-	-

■ すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい場合の就労希望条件

① 希望する働き方

	n	フルタイム	アルバイトなど	無回答
(1) 母親	93	6.5	87.1	6.5
(2) 父親	5	60.0	-	40.0

② 1週当たりの就労希望日数

	n	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答
(1) 母親	93	-	1.1	38.7	29.0	24.7	1.1	5.4
(2) 父親	5	-	-	-	-	20.0	20.0	60.0

③ 1日当たりの就労希望時間

	n	3時間未満	4時間未満	5時間未満	6時間未満	7時間未満	8時間未満	9時間未満	10時間未満	11時間未満	1時間以上	無回答
(1) 母親	93	-	6.5	36.6	33.3	11.8	-	7.5	-	-	-	4.3
(2) 父親	5	20.0	-	-	-	-	-	40.0	-	-	-	40.0

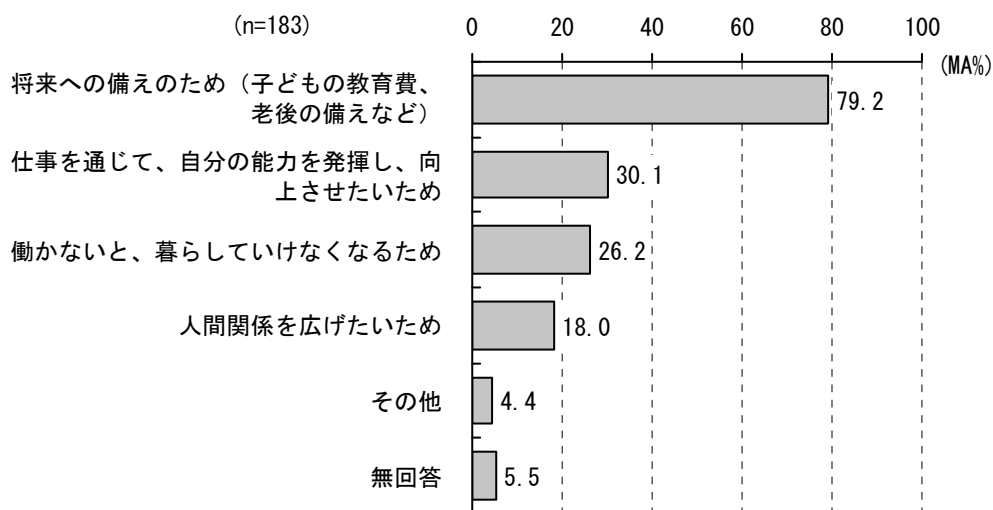
【就学児童】

■働きたい理由

問12-1 問12の(1)または(2)で「2. 1年より先、一番下の子どもが、大きくなったころに働きたい」「3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」を選ばれた、今後働きたいと考えておられる方におうかがいします。働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

今後、働きたいと考えている理由は、「将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）」が79.2%が最も多い。

【働きたい理由】



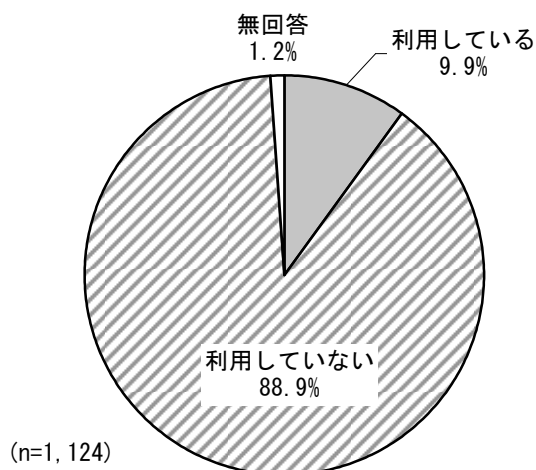
3. 留守家庭児童会の利用について

〔1〕留守家庭児童会の利用の有無

問13 平日（月曜日から金曜日）に、現在、留守家庭児童会を利用されていますか。
あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

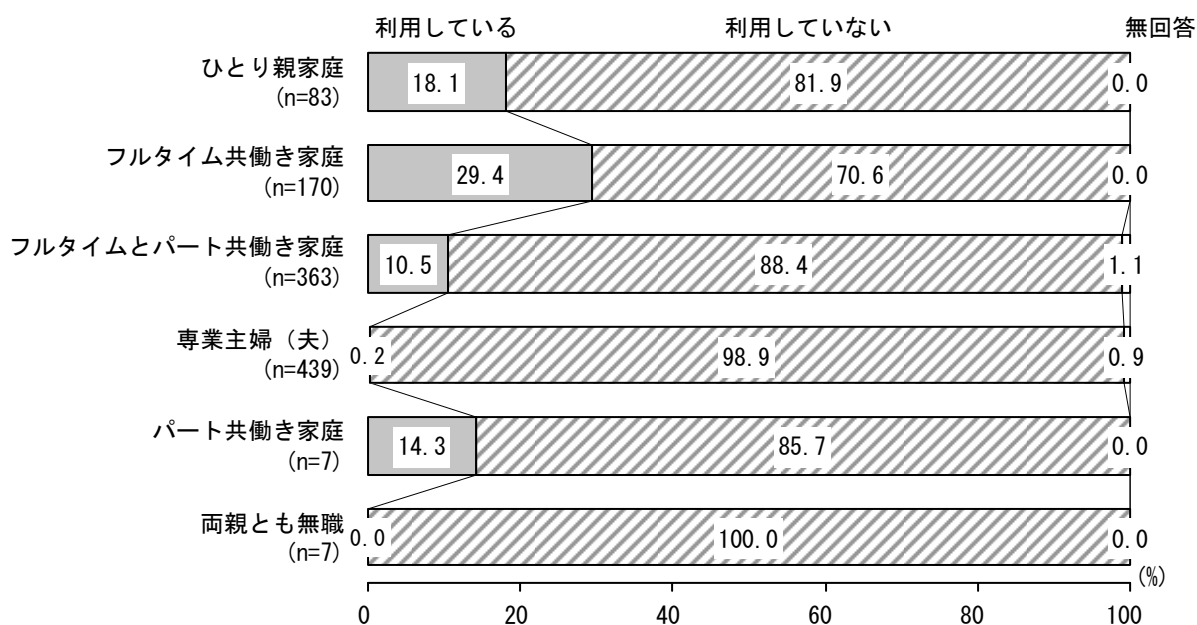
平日に、留守家庭児童会を「利用している」は9.9%で、「利用していない」が88.9%となっている。

【留守家庭児童会の利用の有無】



平日に、留守家庭児童会を「利用している」割合は、フルタイム共働き家庭が29.4%で最も高く、次いでひとり親家庭が18.1%、パート共働き家庭が14.3%となっている。

【留守家庭児童会の利用の有無（家族類型別）】



【就学児童】

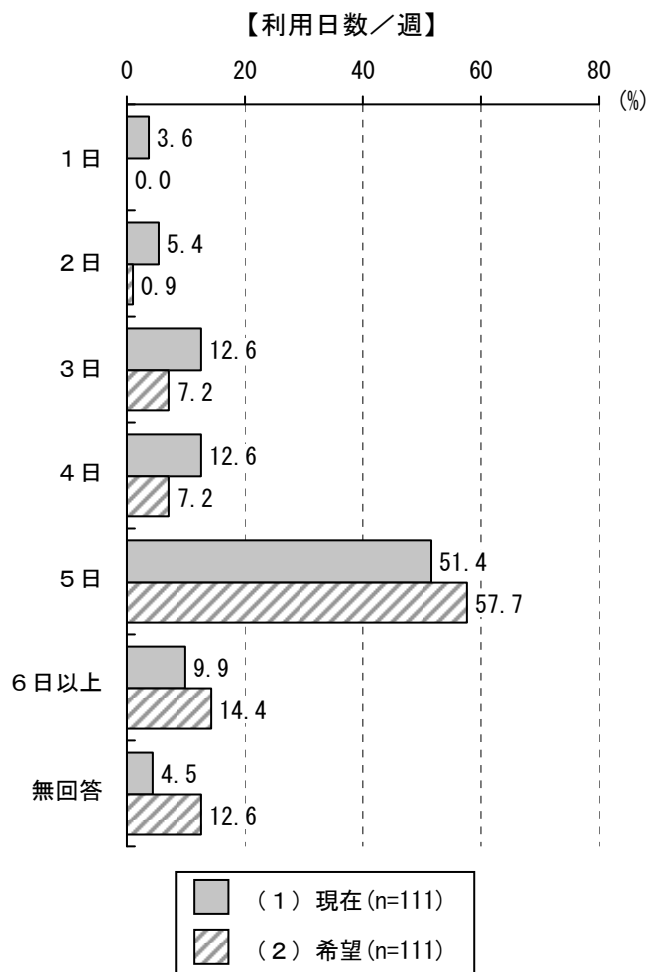
〔2〕留守家庭児童会の利用状況

問14 問13で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在利用している留守家庭児童会について、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日あたり何時間（何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。

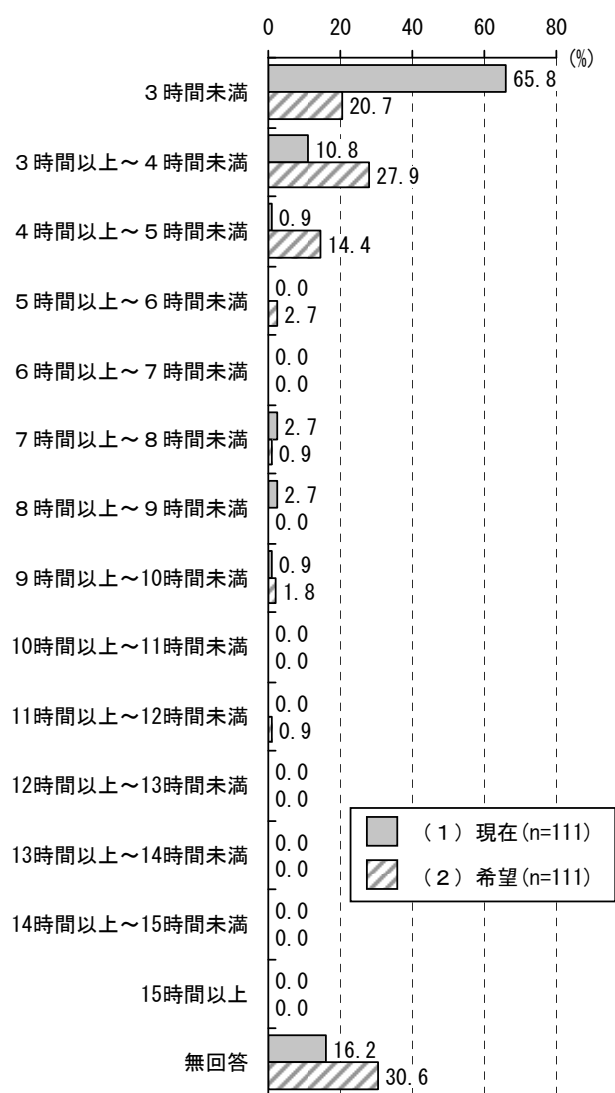
留守家庭児童会を利用していると回答した人に、利用状況をたずねたところ、現在の1週あたりの利用日数は、「5日」が51.4%で最も多く、次いで「3日」と「4日」がともに12.6%となっている。利用希望も「5日」が57.7%で最も多く、次いで「6日以上」が14.4%となっている。

1日あたりの利用時間は、現在、「3時間未満」が65.8%で最も多く、次いで「3時間以上～4時間未満」が10.8%となっている。利用希望は「3時間以上～4時間未満」が27.9%で最も多く、次いで「3時間未満」が20.7%となっている。

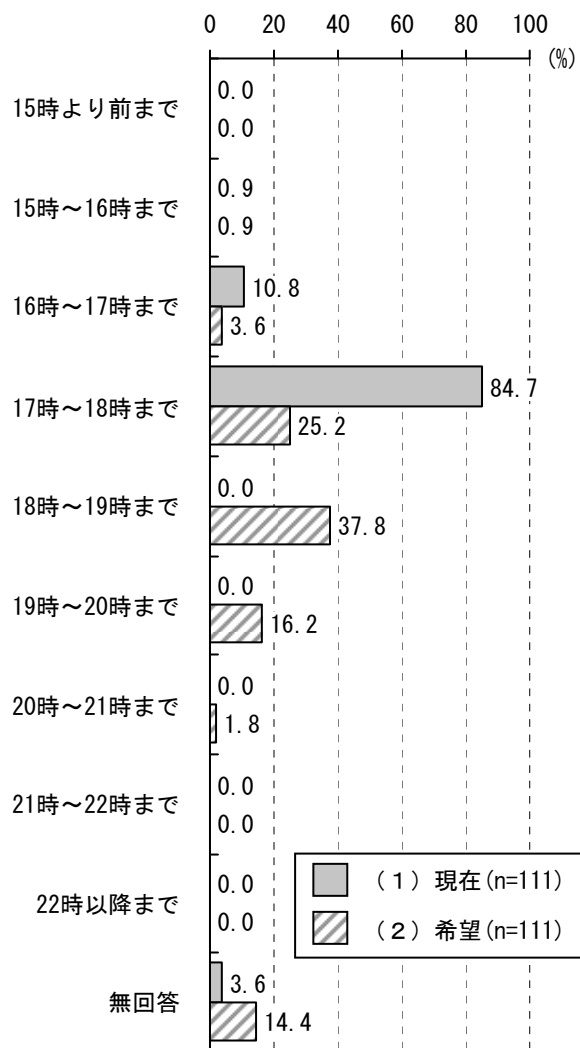
利用終了時間は、「17時～18時まで」が84.7%で最も多くなっている。希望時間は、「18時～19時まで」が37.8%で最も多く、次いで「17時～18時まで」が25.2%、「19時～20時まで」が16.2%となっている。



【利用時間／日】



【利用時間帯】



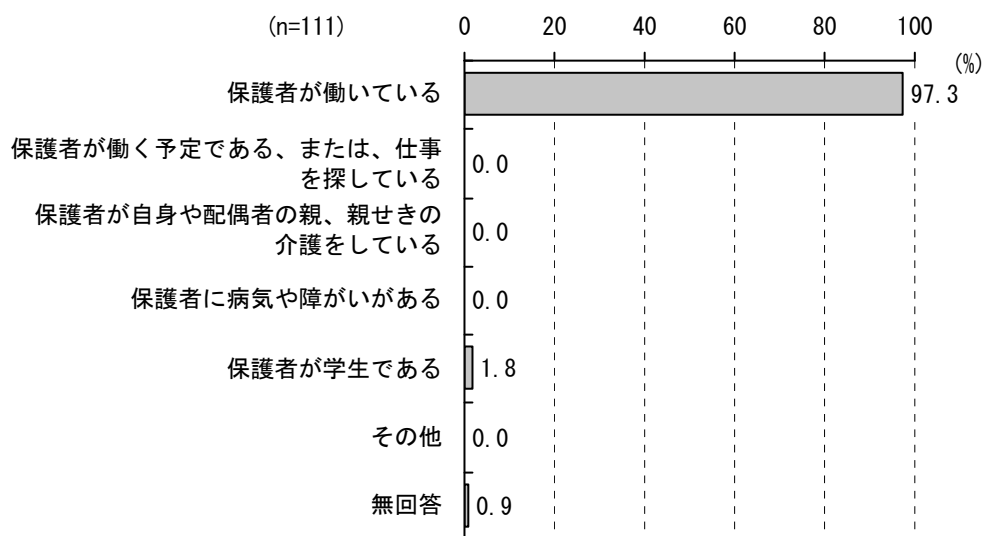
【就学児童】

■留守家庭児童会を利用している理由

問14-1 問13で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。留守家庭児童会を利用されている理由について、もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

留守家庭児童会を利用していると回答した人に、利用している理由についてたずねると、「保護者が働いている」が97.3%で、大半を占めている。

【留守家庭児童会を利用している理由】

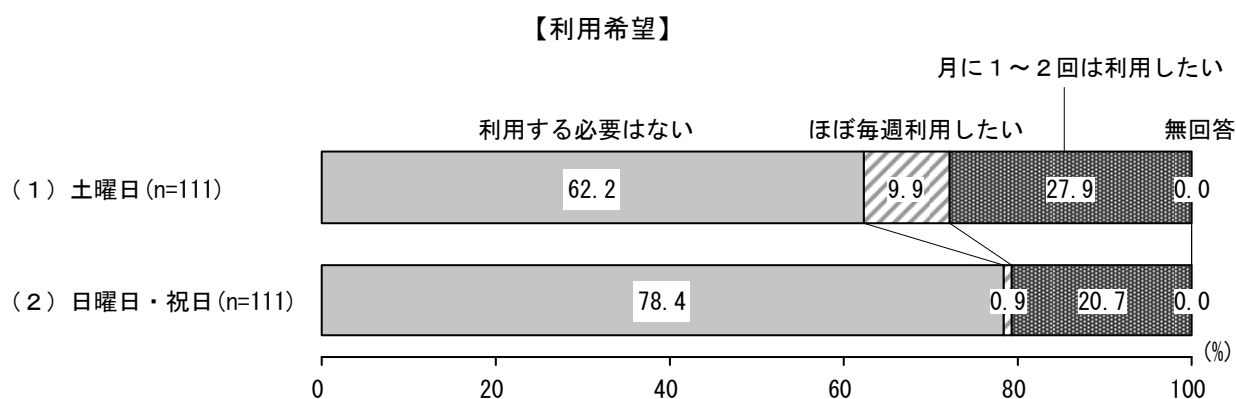


■土曜日、日曜日・祝日の利用希望

問14-2 問13で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童会の利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。希望がある場合は、（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように24時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

留守家庭児童会を利用していると回答した人に、土曜日、日曜日・祝日の利用希望についてたずねると、土曜日は、「利用する必要はない」が62.2%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が27.9%、「ほぼ毎週利用したい」が9.9%となっている。

日曜日・祝日については、「利用する必要はない」が78.4%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が20.7%となっている。



■ほぼ毎週利用したい場合の利用開始時間

	n	開始時間 (%)						
		6時より前	6時57時	7時58時	8時9時	9時10時	10時11時	11時以降
(1) 土曜日	11	-	-	-	72.7	9.1	9.1	9.1
(2) 日曜日・祝日	1	-	-	-	100.0	-	-	-

■ほぼ毎週利用したい場合の利用終了時間

	n	終了時間 (%)								
		15時より前	15時6時	16時7時	17時8時	18時9時	19時0時	20時1時	21時2時	22時以降
(1) 土曜日	11	18.2	9.1	-	27.3	45.5	-	-	-	-
(2) 日曜日・祝日	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-

【就学児童】

■月に1～2回は利用したい場合の利用開始時間

	n	6時より前	6時～7時	7時～8時	8時～9時	9時～10時	10時～11時	11時以降	無回答
(1) 土曜日	31	-	-	3.2	67.7	16.1	-	-	12.9
(2) 日曜日・祝日	23	-	-	-	65.2	21.7	4.3	-	8.7

■月に1～2回は利用したい場合の利用終了時間

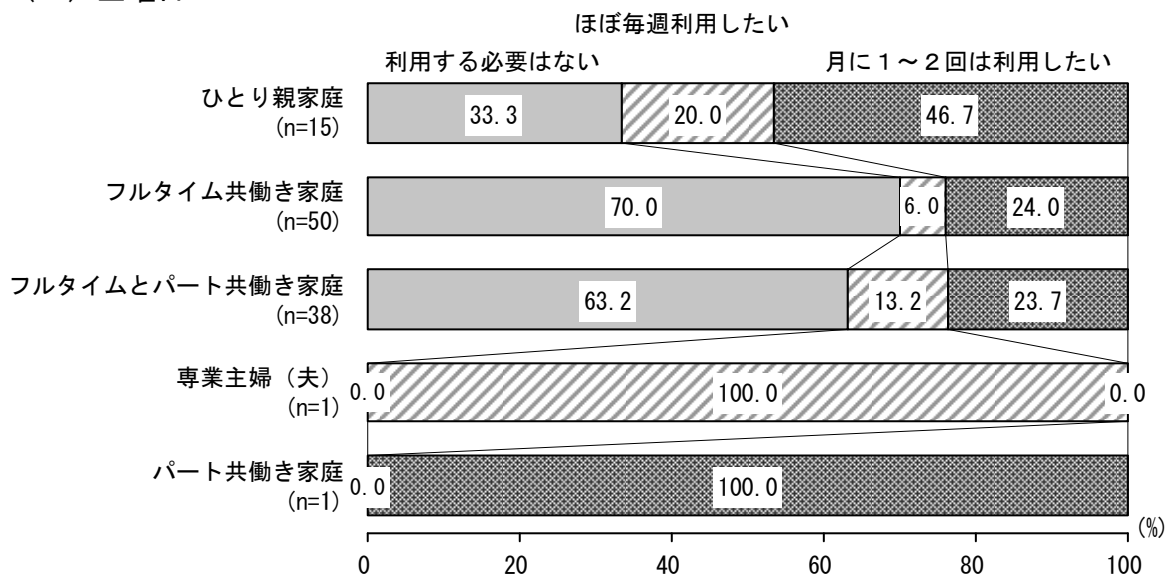
	n	15時より前	15時～16時	16時～17時	17時～18時	18時～19時	19時～20時	20時～21時	21時～22時	22時以降	無回答
(1) 土曜日	31	3.2	6.5	6.5	25.8	29.0	6.5	9.7	-	-	12.9
(2) 日曜日・祝日	23	4.3	4.3	17.4	30.4	21.7	4.3	8.7	-	-	8.7

家庭類型別でみると、土曜日の利用希望率（「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」の合計）は、ひとり親家庭が66.7%となっているが、フルタイム共働き及びフルタイムとパート共働き家庭では「利用する必要はない」が6～7割を占める。

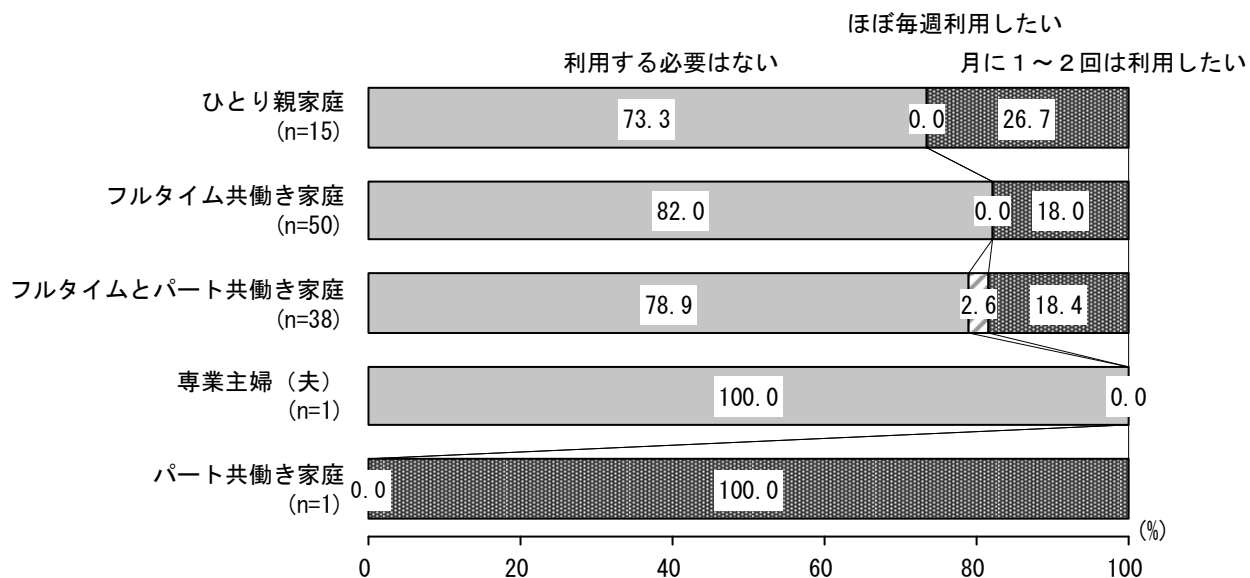
日曜日・祝日の利用意向については、いずれの類型も「利用する必要はない」の割合が7割以上を占め、「月に1～2回は利用したい」がひとり親家庭で26.7%となっている。

【利用希望（家庭類型別）】

(1) 土曜日



(2) 日曜日・祝日

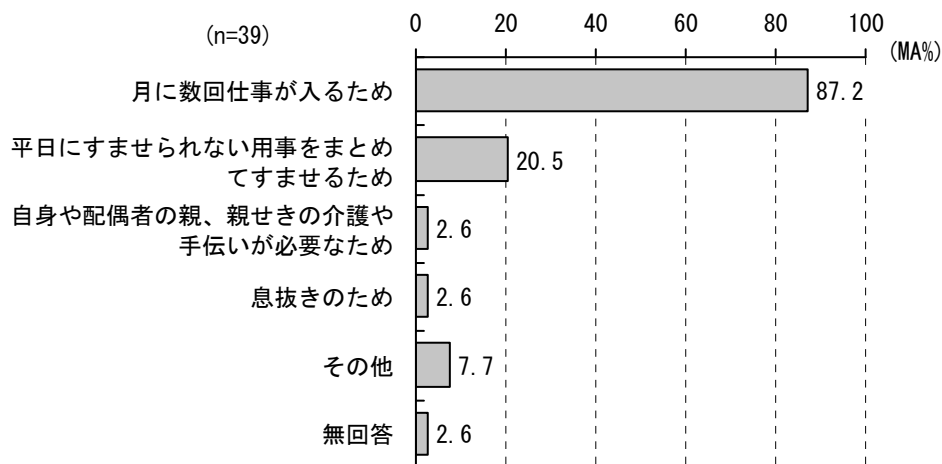


■土曜日、日曜日・祝日にたまに利用したい理由

問14-3 問14-2の(1)または(2)で、「3. 月に1~2回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

留守家庭児童会を土曜日、日曜日・祝日に月に1~2回は利用したいと回答した人に、たまに利用したい理由についてたずねると、「月に数回仕事が入るため」が87.2%で最も多く、次いで「平日にすませられない用事をまとめてすませるため」が20.5%となっている。

【土曜日、日曜日・祝日にたまに利用したい理由】



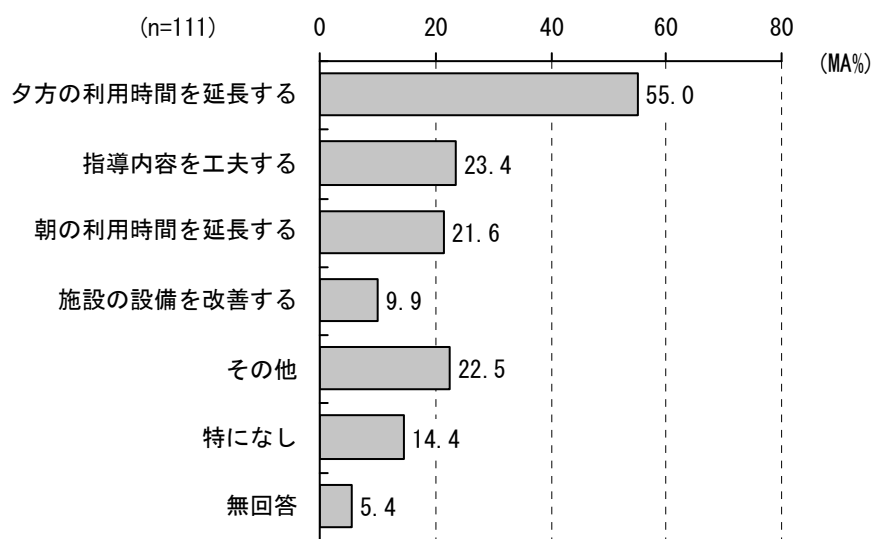
【就学児童】

■現在通っている留守家庭児童会に希望すること

問14-4 問13で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。現在通っている留守家庭児童会にどのようなことを希望しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

留守家庭児童会を利用していると回答した人に、現在通っている留守家庭児童会に希望することについてたずねると、「夕方の利用時間を延長する」が55.0%で最も多く、次いで「指導内容を工夫する」が23.4%、「朝の利用時間を延長する」が21.6%となっている。

【現在通っている留守家庭児童会に希望すること】

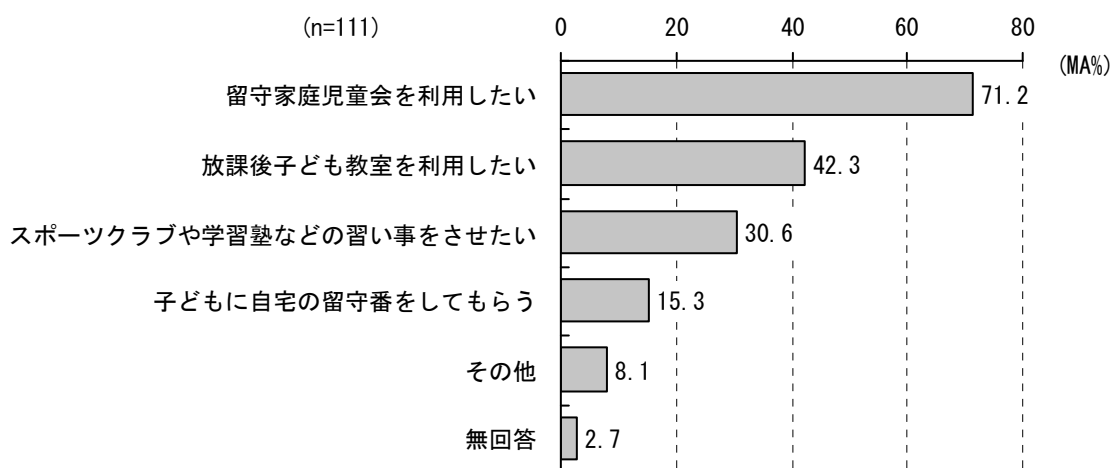


■小学4年生以降の放課後の過ごし方に望むこと

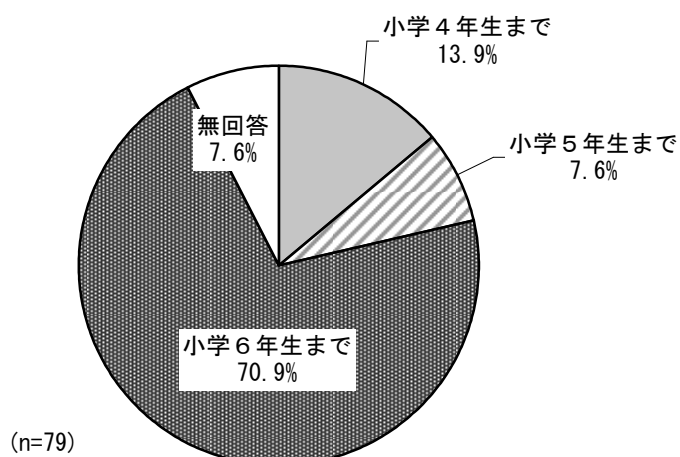
問14-5 問13で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。「1.」を選択した場合は、()内に具体的な数字を入れてください。

留守家庭児童会を利用していると回答した人に、小学4年生以降の放課後の過ごし方に望むことについてたずねると、「留守家庭児童会を利用したい」が71.2%で最も多く、「小学校6年生まで」利用したい割合が70.9%を占めている。次いで「放課後子ども教室を利用したい」が42.3%、「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」が30.6%となっている。

【小学4年生以降の放課後の過ごし方に望むこと】



【留守家庭児童会を利用したい学年の上限】



【就学児童】

子どもの学年別では、小学4年生以降の放課後の過ごし方の希望で「留守家庭児童会を利用したい」の割合は、小学2年生が79.4%で最も高く、小学1年生が61.0%で最も低い。また、「放課後子ども教室を利用したい」の割合は、学年が高くなるほど上昇し小学3年生では51.9%となっている。これに対し、小学1年生は「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」(34.1%)や「子どもに自宅の留守番をしてもらう」(22.0%)の割合が高い。

【小学4年生以降の放課後の過ごし方に望むこと（子どもの学年別）】

		(MA%)					
	n	留守家庭児童会を利用したい	放課後子ども教室を利用したい	スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい	子どもに自宅の留守番をしてもらう	その他	無回答
小学1年生	41	61.0	39.0	34.1	22.0	4.9	4.9
小学2年生	34	79.4	41.2	20.6	17.6	5.9	-
小学3年生	27	70.4	51.9	33.3	7.4	22.2	3.7

家庭類型別では、「留守家庭児童会を利用したい」の割合は、ひとり親家庭とフルタイム共働き家庭が8割程度を占めている。

【小学4年生以降の放課後の過ごし方に望むこと（家庭類型別）】

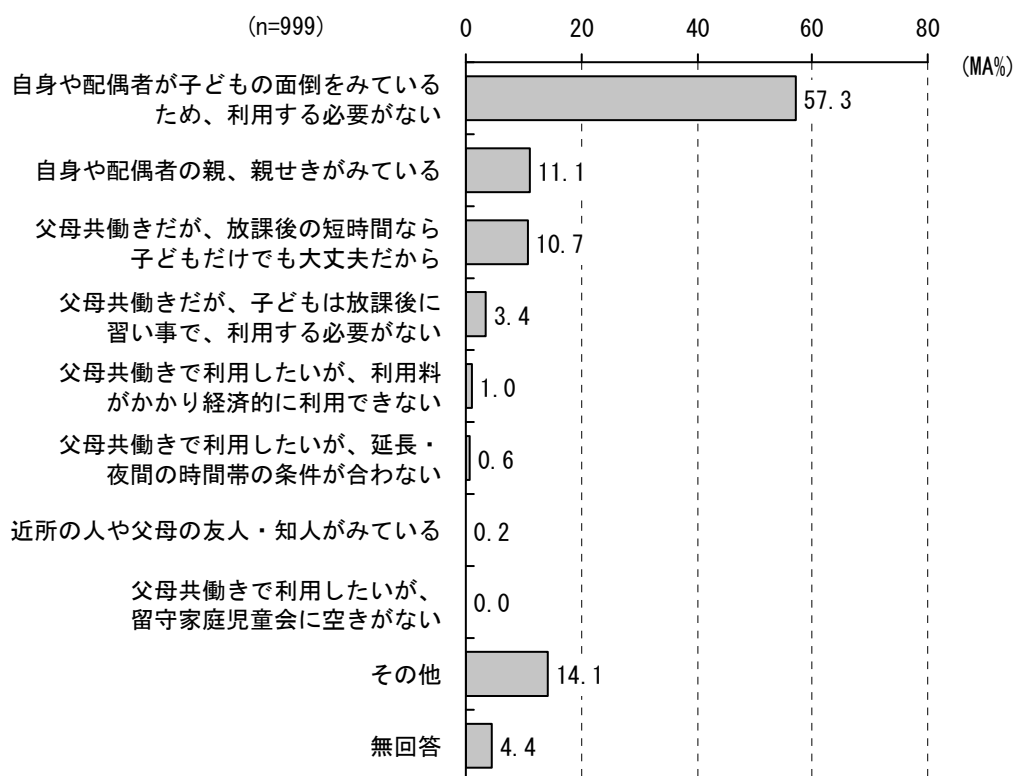
		(MA%)						
	n	留守家庭児童会を利用したい	放課後子ども教室を利用したい	スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい	子どもに自宅の留守番をしてもらう	その他	無回答	
ひとり親家庭	15	80.0	46.7	40.0	13.3	6.7	-	
フルタイム共働き家庭	50	76.0	44.0	30.0	16.0	8.0	4.0	
フルタイムとパート共働き家庭	38	57.9	39.5	28.9	13.2	7.9	2.6	
専業主婦（夫）	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	
パート共働き家庭	1	100.0	-	-	-	-	-	

〔3〕留守家庭児童会を利用していない理由

問15 問13で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。留守家庭児童会を利用していない理由は何ですか。

留守家庭児童会を利用していないと回答した人に、その理由についてたずねると、「自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が57.3%で最も多く、次いで、「自身や配偶者の親、親せきがみている」が11.1%、「父母共働きだが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だから」が10.7%となっている。

【留守家庭児童会を利用していない理由】



【就学児童】

■ 留守家庭児童会の利用意向

問15-1 問13で「2. 利用していない」を選ばれた方に引き続きおうかがいします。封筒のあて名のお子さんについて、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、留守家庭児童会を利用したいとお考えですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。希望がある場合は、()内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず(18:00)のように24時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

(1) 平日の利用意向

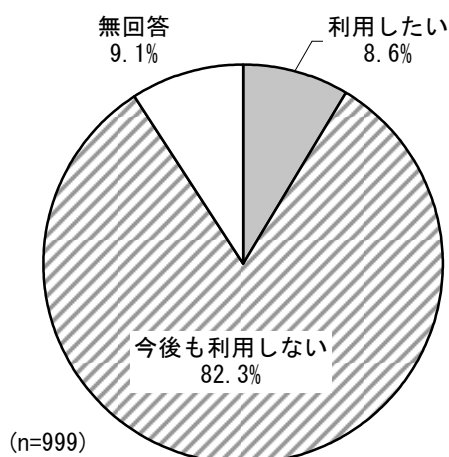
留守家庭児童会を利用していないと回答した人に、今後の利用意向についてたずねると、「利用したい」は8.6%となっている。

留守家庭児童会を利用したいと回答した人の週あたりの利用希望日数は、「5日」が38.4%で最も多い。

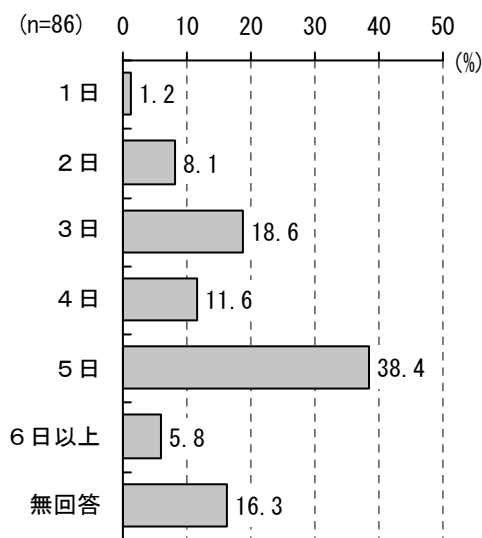
1日あたりの利用希望時間は、「3時間以上～4時間未満」が27.9%で最も多く、次いで「3時間未満」が19.8%となっている。

利用希望終了時間は、「18時～19時まで」が36.0%で最も多く、次いで「19時～20時まで」が19.8%、「17時～18時まで」が18.6%となっている。

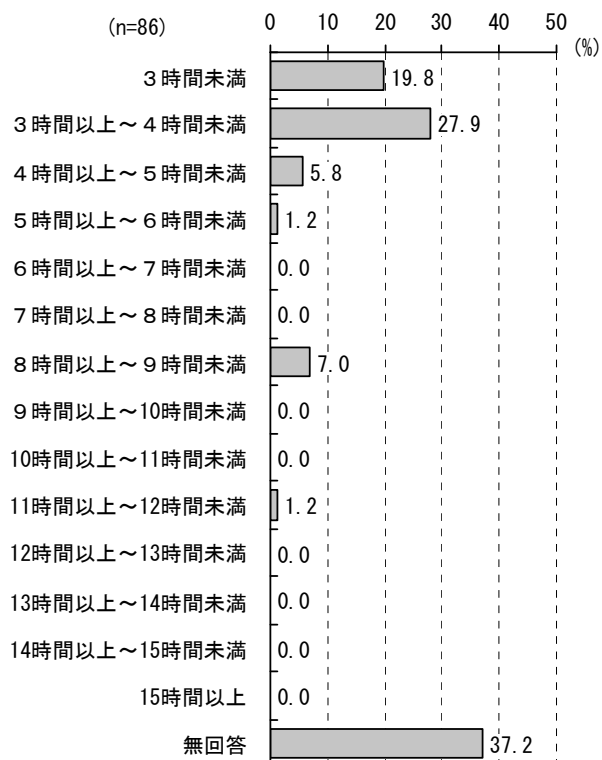
【留守家庭児童会の利用意向】



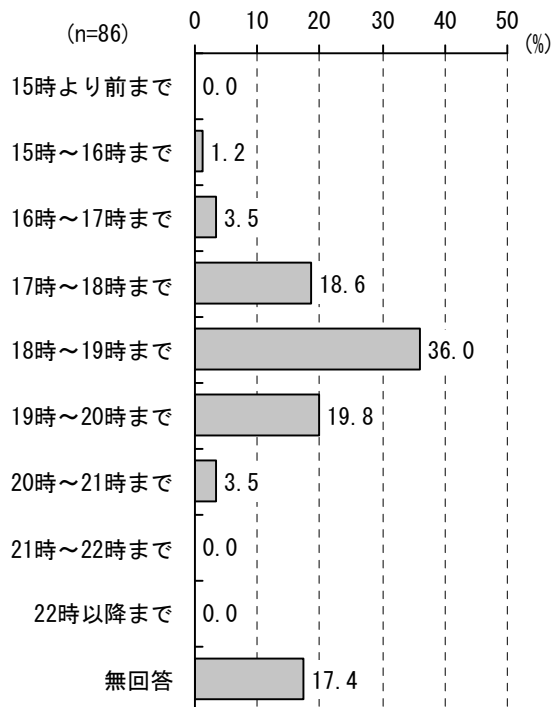
【利用希望日数/週】



【利用希望時間／日】

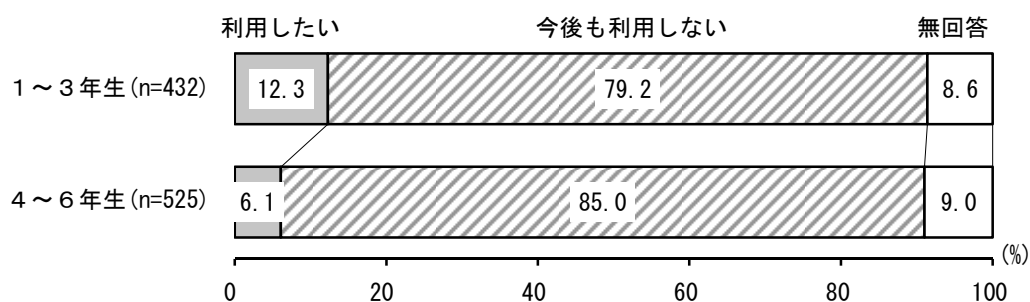


【利用希望終了時間】



学年別の留守家庭児童会の利用意向は、1～3年生で「利用したい」が12.3%、4～6年生は6.1%となっている。

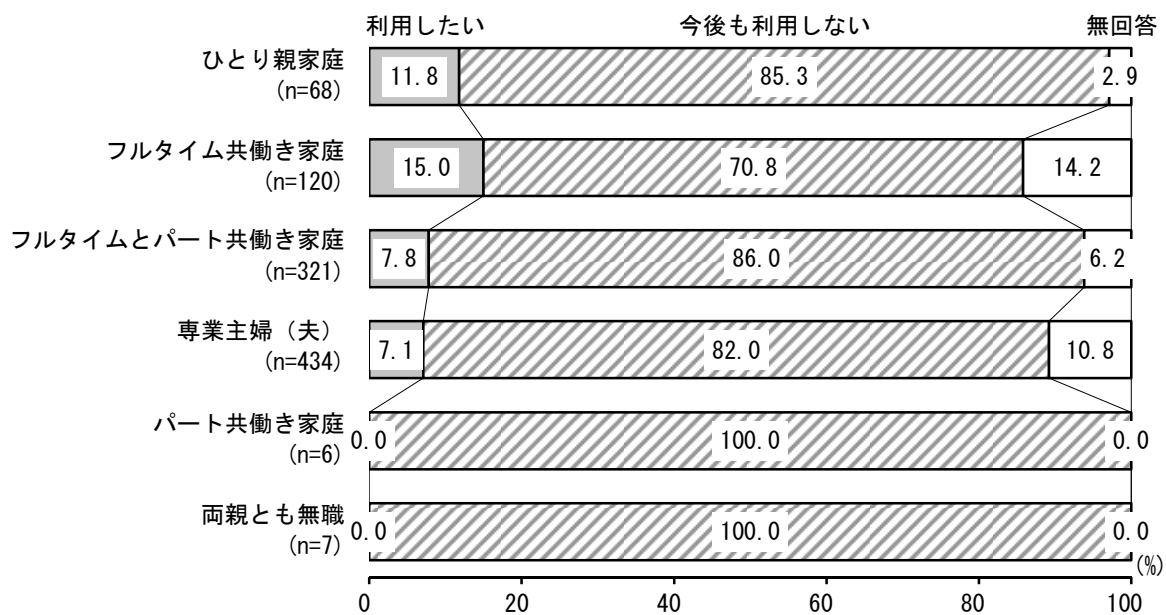
【留守家庭児童会の利用意向（子どもの学年別）】



【就学児童】

家庭類型別では、留守家庭児童会を「利用したい」の割合は、フルタイム共働き家庭が15.0%で最も高く、次いでひとり親家庭の11.8%である。

【留守家庭児童会の利用意向（家庭類型別）】



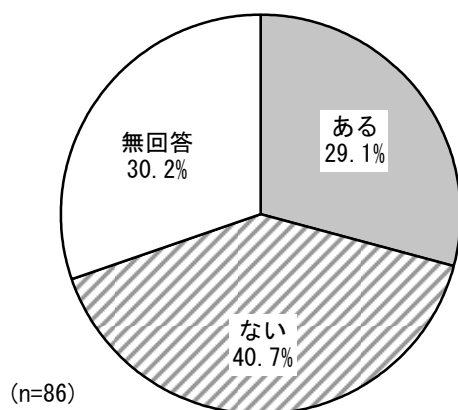
(2) 土曜日、日曜日・祝日の利用意向

留守家庭児童会を利用したい人の土曜日、日曜日・祝日の利用希望については、土曜日は「ある」が29.1%で、「ない」が40.7%となっている。日曜日・祝日は「ある」が14.0%で、「ない」が45.3%となっている。

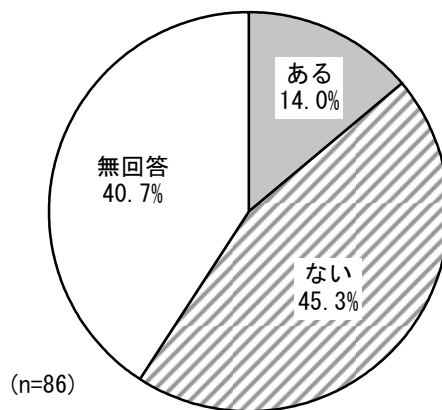
土曜日に利用したい人の1日あたりの利用希望時間は、「9時間以上～10時間未満」が24.0%で最も多く、次いで「8時間以上～9時間未満」が20.0%となっており、利用希望終了時間は「18時～19時まで」が28.0%で最も多く、次いで「17時～18時まで」が20.0%となっている。

日曜日・祝日に利用したい人の1日あたりの利用希望時間は、「9時間以上～10時間未満」が25.0%で最も多く、利用希望終了時間は「17時～18時まで」と「19時～20時まで」がともに25.0%で最も多くなっている。

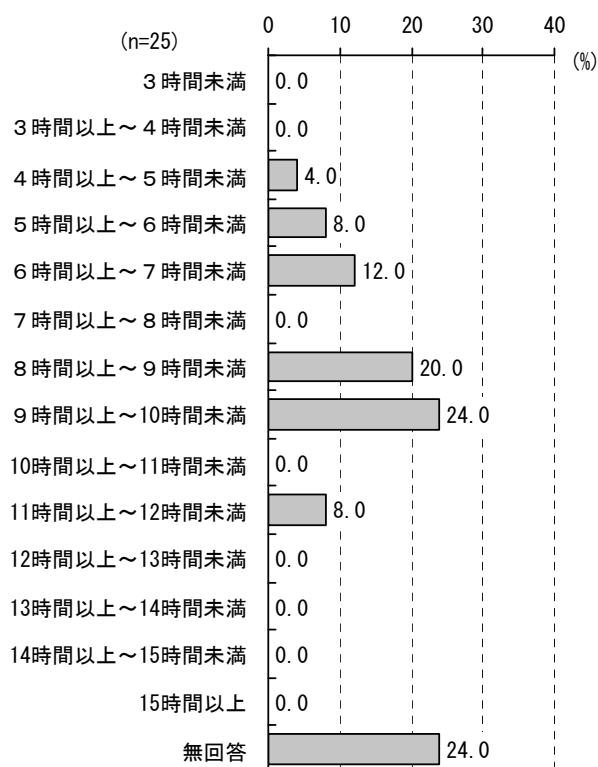
【土曜日の利用希望】



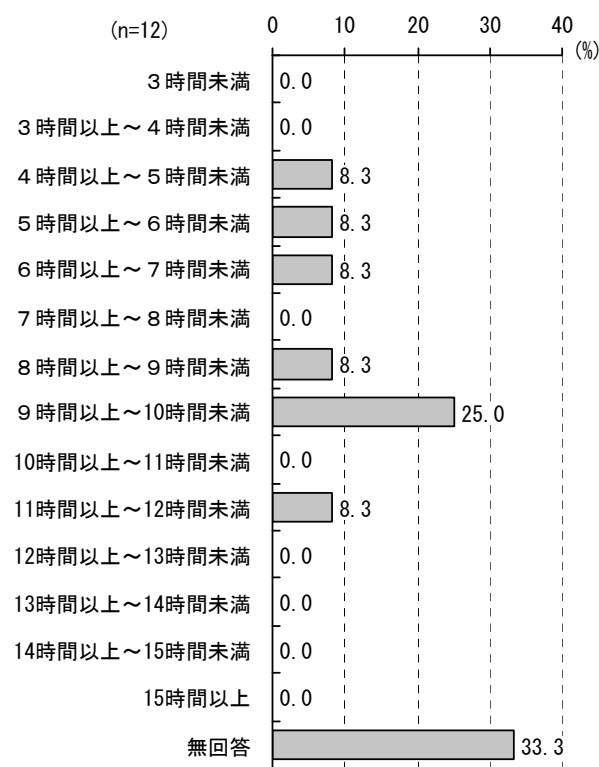
【日曜日・祝日の利用希望】



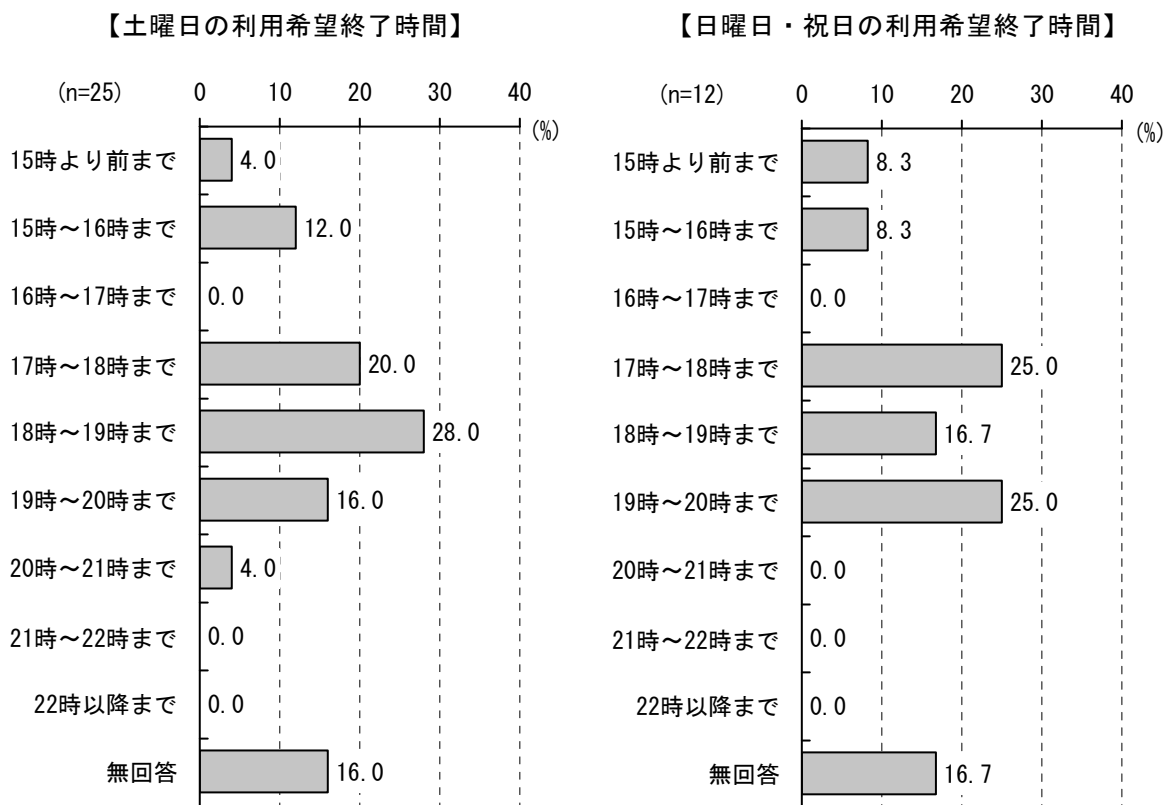
【土曜日の利用希望時間／日】



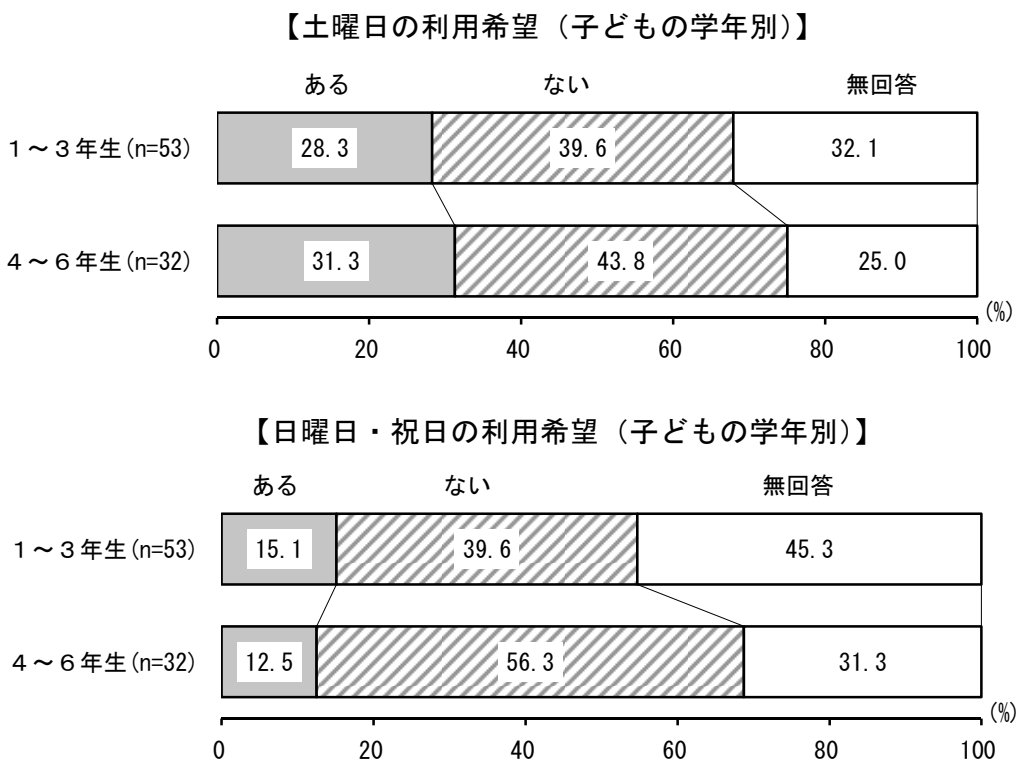
【日曜日・祝日の利用希望時間】



【就学児童】



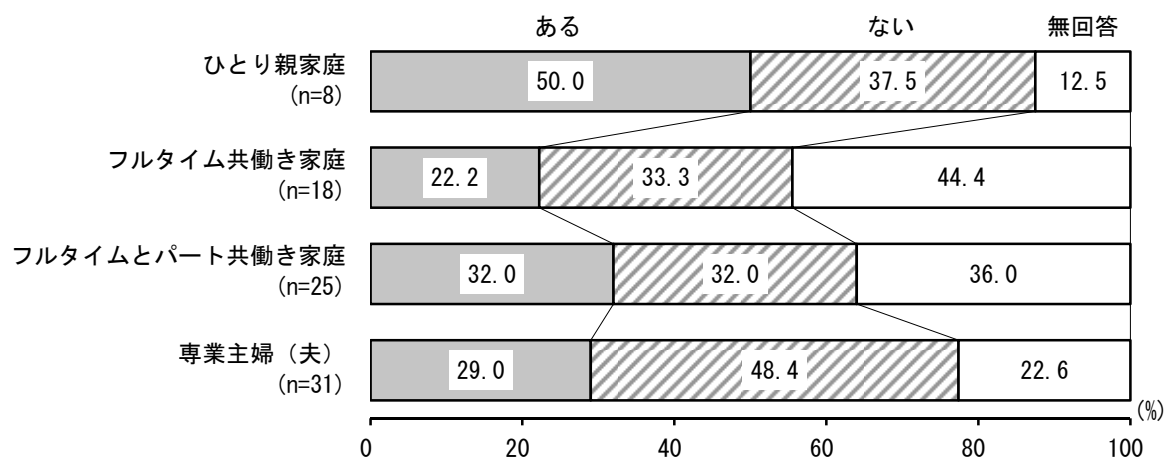
子どもの学年別で土曜日、日曜日・祝日の利用希望をみると、土曜日について「ある」の割合は低学年・高学年とも3割前後となっている。日曜日・祝日について「ある」の割合は10%台となっている。



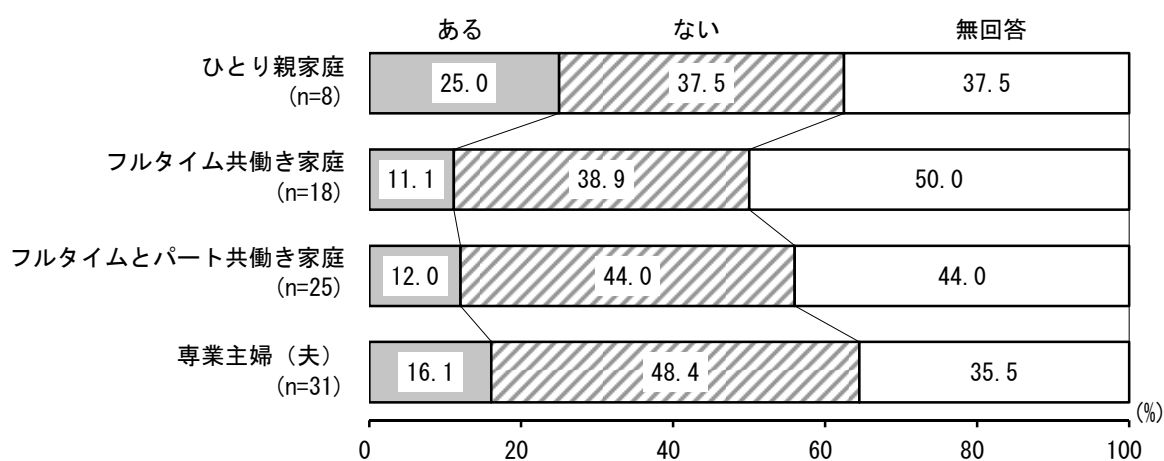
家庭類型別」では、土曜日の利用希望について「ある」の割合は、ひとり親家庭が50.0%で最も高い。

日曜日・祝日の利用希望についても、「ある」の割合は、ひとり親家庭で高い。

【土曜日の利用希望（家庭類型別）】



【日曜日・祝日の利用希望（家庭類型別）】



【就学児童】

4. 子どものふだんの過ごし方について

〔1〕平日の放課後および休日の過ごし方

問24 平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で1番多いものについて、時間帯ごとに、枠内の選択肢の中からあてはまる番号を1つだけ選んで（ ）内に記入してください。

平日の放課後及び休日の子どものふだんの過ごし方については、平日14～16時は「授業などで学校にいる」が79.0%となっている。

平日16～18時は、「家や公園などで友だちと過ごす」が33.1%で最も多く、次いで「学習塾や習い事へ行く」が28.9%となっている。

平日18～20時は、「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」が72.6%で最も多く、次いで「学習塾や習い事へ行く」が13.1%となっている。

平成20時以降は、「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」が82.8%を占めている。

休日は、「保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす」が70.3%で最も多く、次いで「家や公園などで友だちと過ごす」が6.9%となっている。

【平日の放課後および休日の過ごし方】

	n	授業などで学校にいる	留守家庭児童会で過ごす	放課後子どもクラブなどに参加する	保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす	家事育児代行サービスなどを利用する	家や公園などで友だちと過ごす	児童館など公共の施設にいる	地域活動、スポーツ活動（子どもも参加する）	学習塾や習い事へ行く	家で、ひとりで勉強などを	その他	無回答
1. 平日14～16時	1,124	79.0	5.2	0.6	2.7	-	5.3	0.2	0.3	0.7	1.1	0.4	4.4
2. 平日16～18時	1,124	1.3	4.7	1.2	16.4	-	33.1	0.2	0.7	28.9	6.0	1.5	6.0
3. 平日18～20時	1,124	0.1	-	-	72.6	-	0.7	0.1	0.3	13.1	6.5	1.7	5.0
4. 平日20時以降	1,124	0.1	-	-	82.8	-	0.8	-	-	2.6	4.3	3.7	5.7
5. 休日	1,124	0.1	-	-	70.3	-	6.9	0.2	6.1	5.8	0.6	2.6	7.5

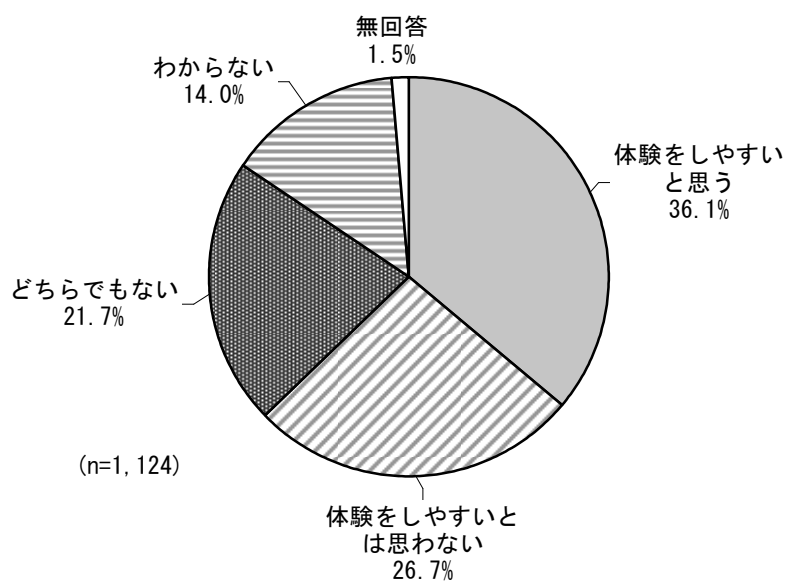
5. 地域での自然体験などへの参加について

〔1〕子どもにとって自然体験などを体験しやすい環境状況

問25 お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子どもにとって自然体験などを体験しやすい環境であるかについては、「体験をしやすいと思う」が36.1%で最も多く、次いで「体験をしやすいとは思わない」が26.7%、「どちらでもない」が21.7%となっている。

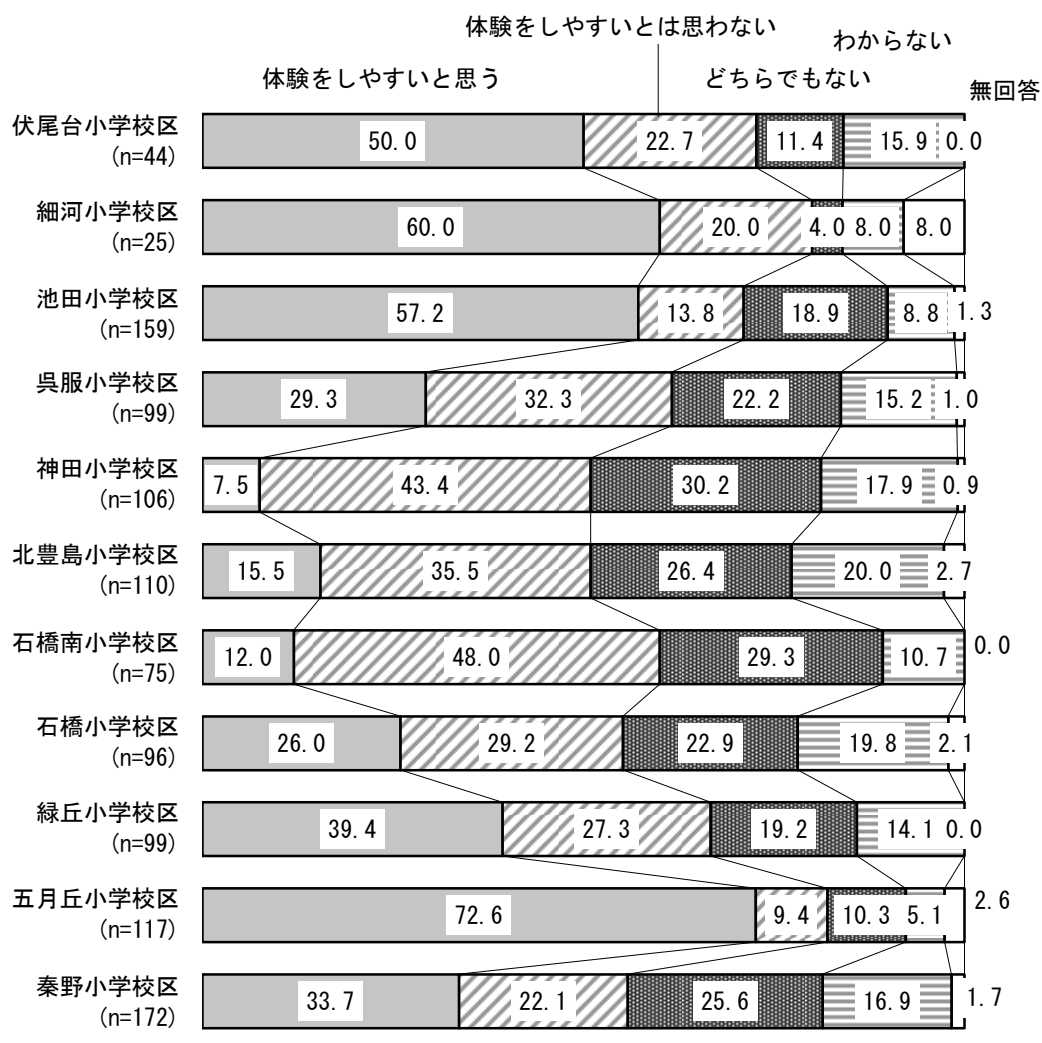
【子どもにとって自然体験などを体験しやすい環境状況】



【就学児童】

居住地域別では、「体験をしやすいと思う」の割合は、五月丘小学校区が72.6%で最も高く、以下高い順に細河小学校区が60.0%、池田小学校区が57.2%、伏尾台小学校区が50.0%となっている。これに対し「体験しやすいとは思わない」の割合は、石橋南小学校区が48.0%で最も高く、次いで神田小学校区が43.4%で、「体験をしやすいと思う」の割合は7.5%と最も低くなっている。「体験しやすいとは思わない」の割合は、北豊島小学校区で35.5%、呉服小学校区で32.3%となっている。

【子どもにとって自然体験などを体験しやすい環境状況（居住地域別）】

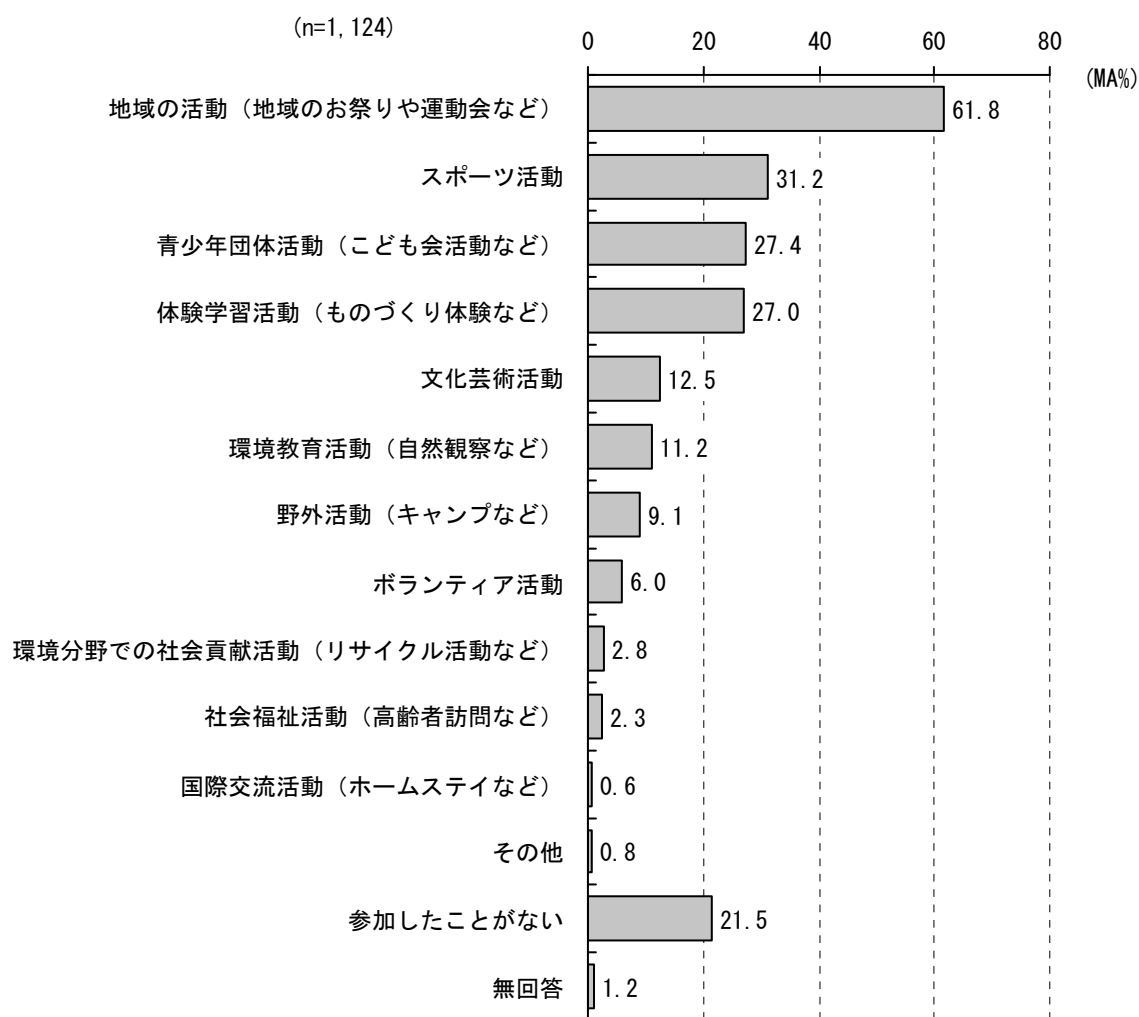


〔2〕 参加したことがある地域の活動

問26 参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

参加したことがある地域の活動については、「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」が61.8%で最も多く、次いで「スポーツ活動」が31.2%、「青少年団体活動（こども会活動など）」が27.4%、「体験学習活動（ものづくり体験など）」が27.0%となっている。

【参加したことがある地域の活動】



【就学児童】

居住地区別では、「地域の活動（地域のお祭りや運動会など）」は、伏尾台小学校区が79.5%で最も高く、次いで五月丘小学校区が71.8%となっている。「スポーツ活動」も伏尾台小学校区が52.3%で最も高くなっている。

【参加したことがある地域の活動（居住地域別）】

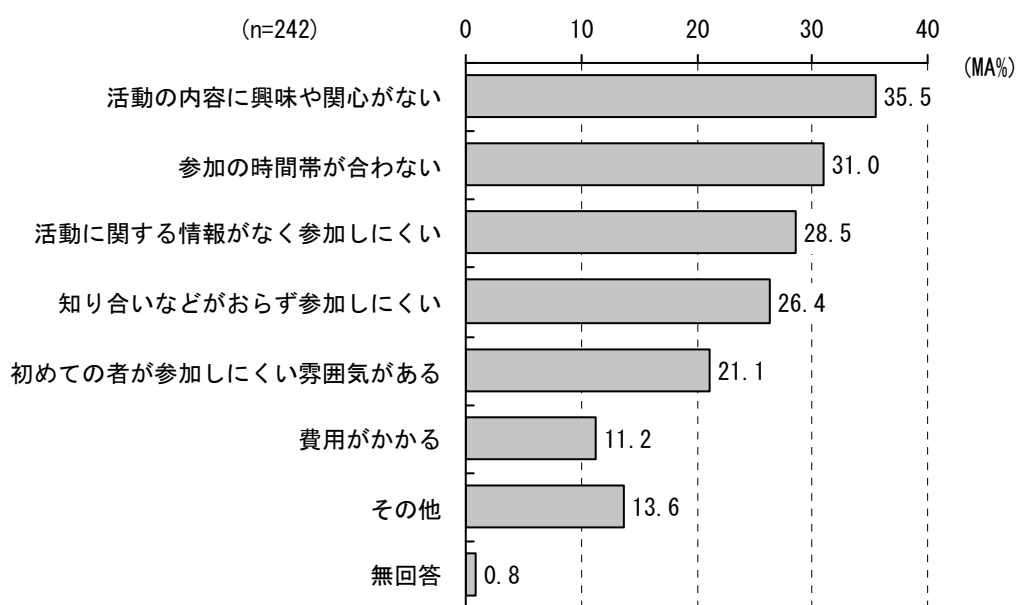
																	(MA%)
	n	スポーツ活動	文化芸術活動	ボランティア活動	体験学習活動（ものづくりなど）	野外活動（キャンプなど）	社会福祉活動（高齢者訪問など）	国際交流活動（ホームステイなど）	青少年団体活動（こども会活動など）	環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など）	環境教育活動（自然観察など）	地域の活動（地域のお祭りや運動会など）	その他	参加したことがない	無回答		
伏尾台小学校区	44	52.3	15.9	6.8	31.8	4.5	2.3	2.3	38.6	2.3	13.6	79.5	-	13.6	-		
細河小学校区	25	40.0	12.0	16.0	40.0	4.0	8.0	-	40.0	-	24.0	60.0	-	20.0	8.0		
池田小学校区	159	29.6	10.1	10.7	24.5	8.8	1.9	0.6	27.0	2.5	10.7	59.1	-	23.3	-		
呉服小学校区	99	31.3	10.1	8.1	21.2	7.1	-	2.0	43.4	1.0	10.1	60.6	2.0	19.2	1.0		
神田小学校区	106	23.6	6.6	3.8	16.0	5.7	3.8	-	21.7	2.8	7.5	56.6	-	28.3	1.9		
北豊島小学校区	110	22.7	10.9	7.3	23.6	10.0	1.8	-	23.6	1.8	6.4	52.7	0.9	31.8	1.8		
石橋南小学校区	75	29.3	10.7	5.3	21.3	16.0	-	1.3	4.0	1.3	10.7	65.3	-	18.7	2.7		
石橋小学校区	96	31.3	13.5	5.2	33.3	11.5	3.1	-	21.9	4.2	10.4	69.8	2.1	19.8	-		
緑丘小学校区	99	31.3	15.2	4.0	27.3	9.1	1.0	1.0	25.3	6.1	16.2	66.7	-	20.2	-		
五月丘小学校区	117	35.9	16.2	4.3	36.8	9.4	3.4	-	30.8	2.6	14.5	71.8	1.7	12.8	1.7		
秦野小学校区	172	34.3	14.5	2.3	28.5	9.3	2.3	0.6	32.0	2.9	11.0	53.5	1.2	22.7	1.2		

■地域の活動に参加したことがない理由

問26-1 問26で「13. 参加したことがない」を選ばれた方におうかがいします。それ以外の方は問27へお進みください。お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

地域の活動に参加したことがないと回答した人に、参加していない理由についてたずねると、「活動の内容に興味や関心がない」が35.5%で最も多く、次いで「参加の時間帯が合わない」が31.0%、「活動に関する情報がなく参加しにくい」が28.5%となっている。

【地域の活動に参加したことがない理由】



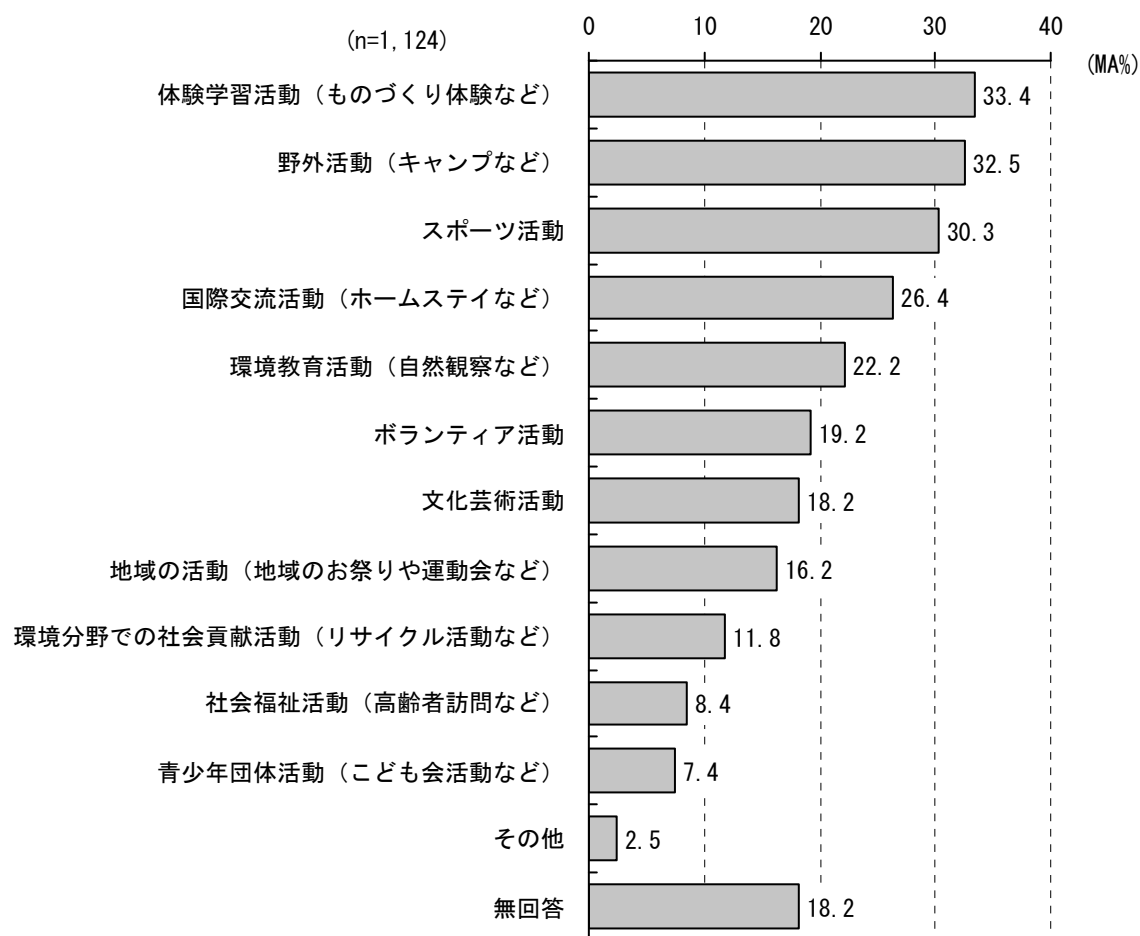
【就学児童】

〔3〕 今後参加させたい地域の活動

問27 お子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

参加したことはないが、今後参加させたい地域の活動については、「体験学習活動（ものづくり体験など）」が33.4%で最も多く、次いで「野外活動（キャンプなど）」が32.5%、「スポーツ活動」が30.3%となっている。

【今後参加させたい地域の活動】



【就学児童】

居住地域別では、「体験学習活動（ものづくり体験など）」の割合は、石橋南小学校区が45.3%で最も高い。「野外活動（キャンプなど）」は伏尾台小学校区が38.6%、「スポーツ活動」は、石橋南小学校区が37.3%となっている。

【今後参加させたい地域の活動（居住地域別）】

(MA%)

	n	スポーツ活動	文化芸術活動	ボランティア活動	体験学習活動（ものづくり体験など）	野外活動（キャンプなど）	社会福祉活動（高齢者訪問など）	国際交流活動（ホームステイなど）	青少年団体活動（こども会活動など）	環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など）	環境教育活動（自然観察など）	地域の活動（地域のお祭りや運動会など）	その他	無回答
伏尾台小学校区	44	27.3	20.5	25.0	34.1	38.6	9.1	34.1	4.5	20.5	36.4	18.2	9.1	11.4
細河小学校区	25	16.0	16.0	12.0	28.0	24.0	-	16.0	4.0	8.0	20.0	12.0	4.0	32.0
池田小学校区	159	35.8	17.6	20.8	34.0	32.7	10.7	22.6	6.3	13.2	27.0	16.4	1.3	12.6
呉服小学校区	99	33.3	17.2	12.1	31.3	38.4	7.1	33.3	10.1	8.1	19.2	13.1	4.0	15.2
神田小学校区	106	24.5	12.3	11.3	26.4	26.4	2.8	22.6	6.6	6.6	22.6	11.3	1.9	26.4
北豊島小学校区	110	31.8	12.7	15.5	38.2	28.2	5.5	20.0	8.2	6.4	11.8	18.2	1.8	17.3
石橋南小学校区	75	37.3	22.7	25.3	45.3	34.7	12.0	30.7	21.3	16.0	29.3	36.0	2.7	13.3
石橋小学校区	96	28.1	19.8	14.6	29.2	36.5	5.2	25.0	4.2	10.4	21.9	18.8	1.0	21.9
緑丘小学校区	99	28.3	23.2	21.2	35.4	30.3	13.1	28.3	4.0	16.2	15.2	11.1	3.0	23.2
五月丘小学校区	117	31.6	23.1	25.6	29.1	36.8	10.3	27.4	7.7	16.2	24.8	18.8	1.7	13.7
秦野小学校区	172	25.6	18.6	20.3	34.9	30.8	7.0	28.5	5.8	9.9	20.9	10.5	2.9	20.3

【就学児童】

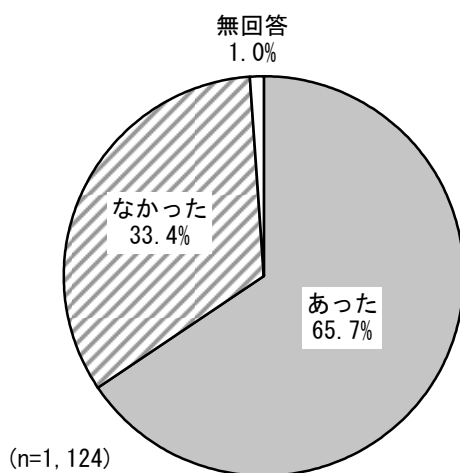
6. 病児・病後児保育について

〔1〕子どもが病気等で学校を休まなければならなかった経験

問16 封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。

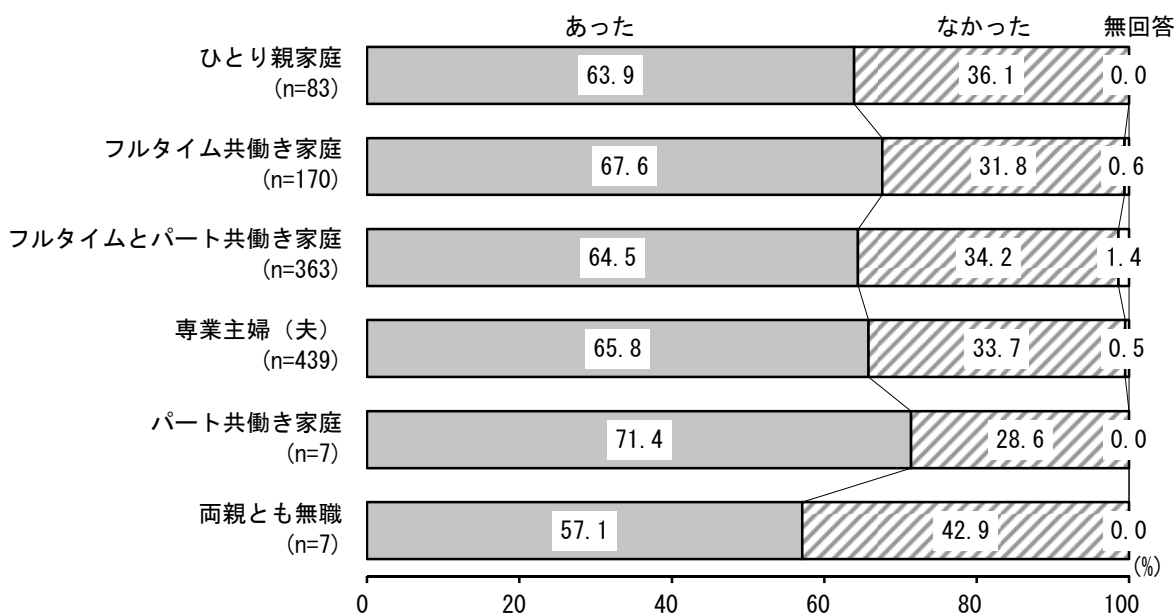
子どもが病気等で学校を休まなければならなかった経験については、「あった」が65.7%、「なかった」が33.4%となっている。

【子どもが病気等で学校を休まなければならなかった経験】



子どもが病気等で学校を休まなければならなかった経験について家庭類型別でみると、「あった」の割合は、パート共働き家庭が71.4%で最も高く、次いでフルタイム共働き家庭が67.6%となっている。

【子どもが病気等で学校を休まなければならなかった経験（家庭類型別）】



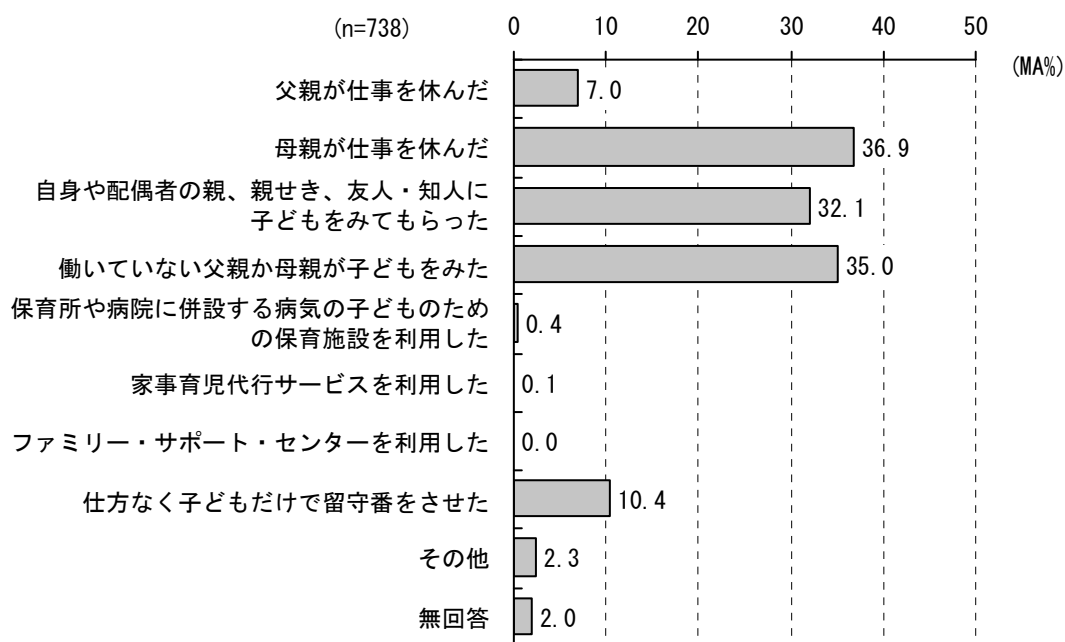
■病気で小学校を休まなければならなかった時の対処方法

問16-1 問16で「1. あった」を選ばれた方におうかがいします。この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について（ ）内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

子どもが病気等で学校を休まなければならなかった経験があったと回答した人に、小学校を休まなければならなかった場合の対処方法についてたずねると、「母親が仕事を休んだ」が36.9%で最も多く、次いで「働いていない父親か母親が子どもをみた」が35.0%、「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が32.1%となっている。

対処方法別の年間平均日数は、「保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した」場合が14.3日で最も多く、次いで「働いていない父親か母親が子どもをみた」場合が3.6日となっている。

【病気で小学校を休まなければならなかった時の対処方法】



【対処方法別日数（年間）】

対処方法	n	平均年間日数 (日)
父親が仕事を休んだ	52	2.7
母親が仕事を休んだ	272	3.3
自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	237	2.9
働いていない父親か母親が子どもをみた	258	3.6
保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	3	14.3
家事育児代行サービスを利用した	1	1.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	77	2.2
その他	17	3.5

【就学児童】

家庭類型別に、小学校を休まなければならなかった場合の対処方法についてみると、「母親が仕事を休んだ」の割合はフルタイム共働き家庭が70.4%となっている。また、「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」は、ひとり親家庭及びフルタイム共働き家庭で半数を占め、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」がひとり親家庭で高くなっている。

【病気で小学校を休まなければならなかった時の対処方法（家庭類型別）】

(MA%)														
	n	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	みき、自身や配偶者の親、親せきを友人・知人に子どもをみてもらった	子どもをみない父親か母親が働いていない	設を子ども利用した	気の子どものため併設する病	保育所や病院に併設する病	用した	家事育児代行サービスを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
ひとり親家庭	53	3.8	37.7	50.9	9.4	-	-	-	-	-	20.8	5.7	1.9	
フルタイム共働き家庭	115	21.7	70.4	53.0	1.7	-	-	-	-	-	13.0	1.7	0.9	
フルタイムとパート共働き家庭	234	6.4	59.0	32.5	9.4	0.4	0.4	-	-	-	17.1	2.6	2.6	
専業主婦（夫）	289	3.1	4.2	21.5	74.0	0.7	-	-	-	-	2.1	2.1	1.0	
パート共働き家庭	5	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
両親とも無職	4	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	75.0	

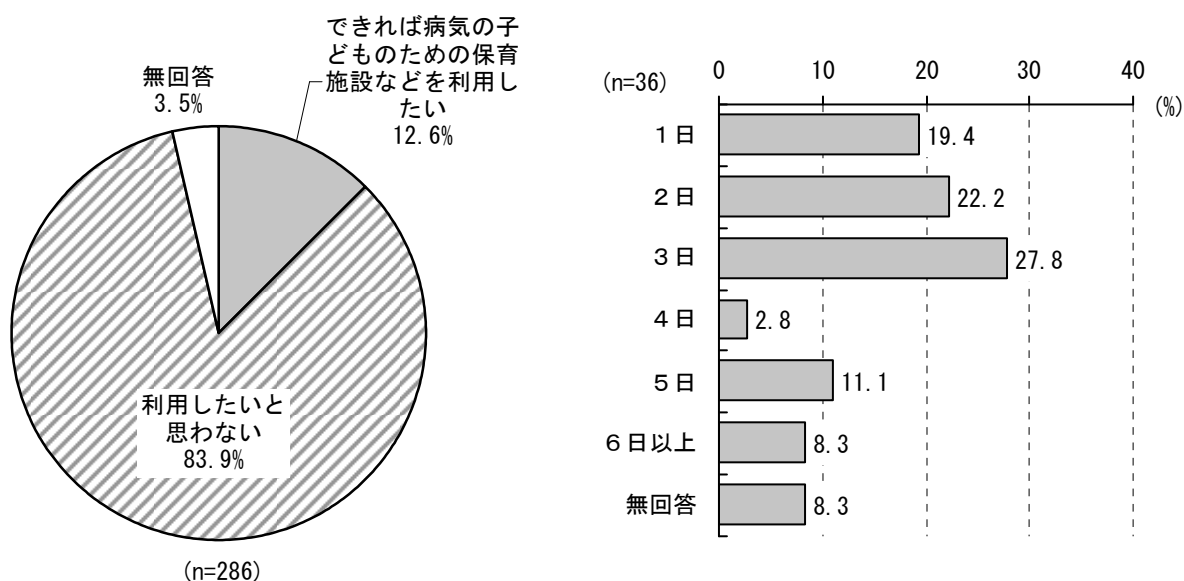
■ 病児・病後児保育施設等の利用意向

問16-2 問16-1で「1. 父親が仕事を休んだ」「2. 母親が仕事を休んだ」を選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は()内に具体的な数字を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要な場合があります。

子どもが病気等で学校を休まなければならなかった場合に、父親または母親が仕事を休んだと回答した人に、病児・病後児保育施設等の利用意向についてたずねると、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」が12.6%に対し、「利用したいと思わない」が83.9%となっている。

「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と回答した人に、その保育施設を利用したい日数についてたずねると、「3日」が27.8%で最も多く、次いで「2日」が22.2%となっている。

【病児・病後児保育施設等の利用意向】 【できれば病気の子どものための保育施設等を利用したい日数】



【就学児童】

7. 一時預かりの利用について

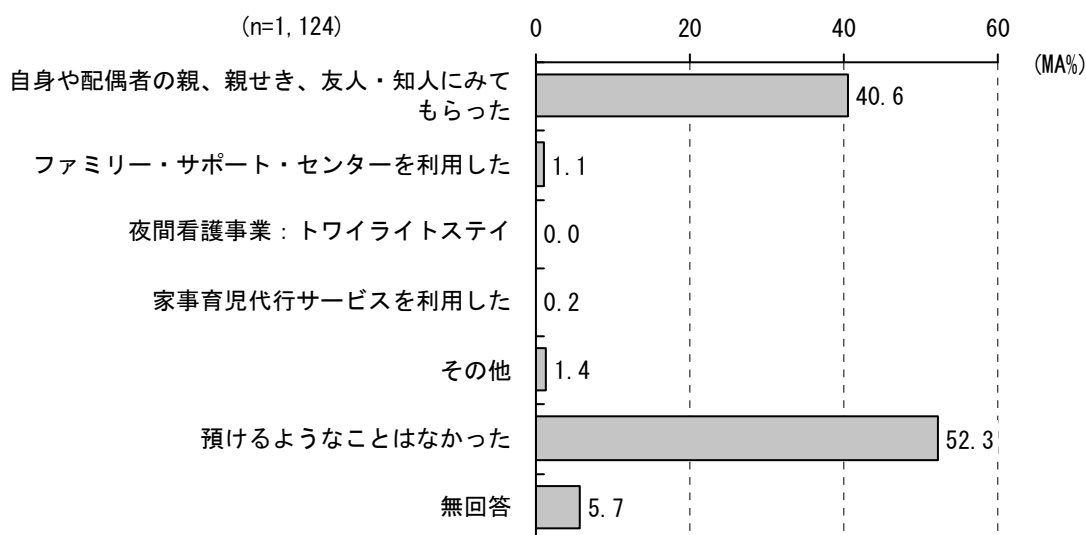
〔1〕 保護者の私用や不規則の就労等を理由とした一時預かり等の利用状況

問17 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。(子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。) あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について () 内に具体的な数字を入れてください。

保護者の私用や不規則の就労等を理由とした一時預かり等の利用については、「預けるようなことはなかった」が52.3%で最も多く、次いで「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が40.6%となっている。

対処方法別の利用日数(年間)をみると、「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が13.4日、「ファミリー・サポート・センターを利用した」が12.4日、「家事育児代行サービスを利用した」が36.0日となっている。

【保護者の私用や不規則の就労等を理由とした一時預かり等の利用状況】



【対処方法別の利用日数(年間)】

	n	平均年間日数(日)
自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	456	13.4
ファミリー・サポート・センターを利用した	12	12.4
夜間看護事業：トワイライトステイ	-	-
家事育児代行サービスを利用した	2	36.0
その他	16	9.9

〔2〕子どもを泊まりがけで家族以外に預けた経験

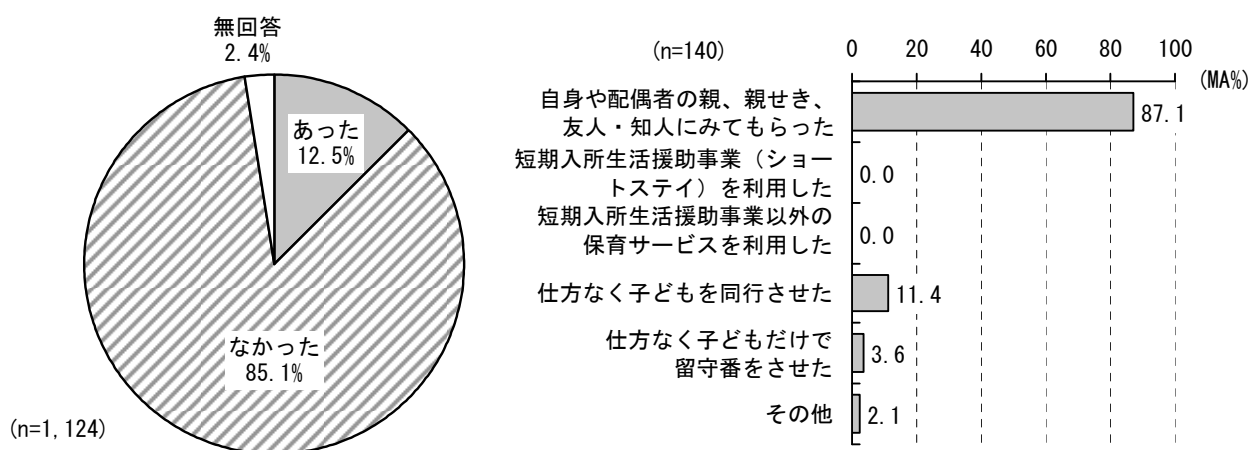
問18 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけで」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。) あったか、なかったかについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。あった場合、その対処方法ごとに()内に日数を記入し、合計の()内についても記入してください。

子どもを泊まりがけで家族以外に預けた経験については、「あった」が12.5%、「なかった」が85.1%となっている。

「あった」と回答した人に、その際の対処方法についてたずねると、「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が87.1%で最も多く、次いで「仕方なく子どもも同行させた」が11.4%となっている。

対処方法別の泊数(年間)は、「自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が9.3泊、「仕方なく子どもも同行させた」が7.8泊となっている。

【子どもを泊まりがけで家族以外に預けた経験】 【子どもを泊まりがけで家族以外に預けた時の対処方法】



【対処方法別泊数(年間)】

対処方法	n	平均泊数(泊)
自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	122	9.3
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	-	-
短期入所生活援助事業以外の保育サービスを利用した	-	-
仕方なく子どもも同行させた	16	7.8
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	5	1.2
その他	3	40.0

【就学児童】

8. 仕事と子育ての両立について

〔1〕子どもと一緒に過ごす時間

問19 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を1つだけ記入してください。

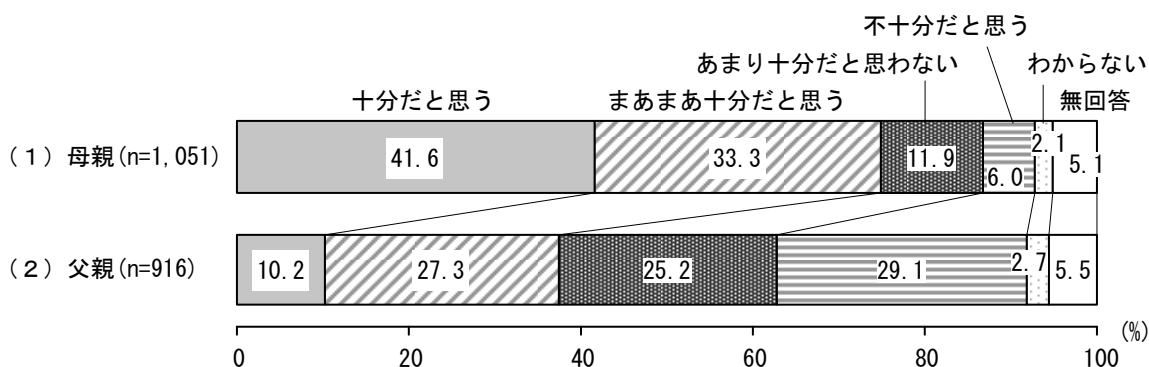
1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間については、母親は、「12時間以上」が20.8%で最も多く、次いで「5時間以上～6時間未満」が15.4%、「6時間以上～7時間未満」が15.3%で、平均時間は10.3時間となっている。父親は、「2時間以上～3時間未満」が19.3%で最も多く、次いで「1時間以上～2時間未満」が16.4%となっており、3時間未満の父親が44.6%で、平均時間は4.8時間となっている。

子どもと一緒に過ごす時間の調整については、母親は、「十分だと思う」が41.6%で最も多く、次いで「まあまあ十分だと思う」が33.3%であり、両者をあわせた『十分である』は74.9%となっている。一方、父親は「不十分だと思う」が29.1%で最も多く、次いで「まあまあ十分だと思う」が27.3%で、『不十分である』（「あまり十分だと思わない」と「不十分だと思う」をあわせた割合）が54.3%を占めている。

【子どもと一緒に過ごす時間】

	n	1時間未満	2時間未満	3時間未満	4時間未満	5時間未満	6時間未満	7時間未満	8時間未満	9時間未満	10時間未満	11時間未満	12時間以上	無回答	平均時間(時間)	
(1) 母親	1,114	0.2	0.6	2.3	6.5	11.4	15.4	15.3	11.9	6.7	1.4	1.6	0.2	20.8	5.7	10.3
(2) 父親	1,051	8.9	16.4	19.3	14.6	7.7	4.9	1.3	1.3	1.1	1.0	2.6	0.7	7.4	12.8	4.8

【子どもと一緒に過ごす時間の調整】



〔2〕家事をする程度

問20 1日あたりの家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を（ ）内に記入してください。

1日あたりの家事をする時間については、母親は、「3時間以上～4時間未満」が19.4%で最も多く、次いで「4時間以上～5時間未満」が15.9%、「5時間以上～6時間未満」が15.3%であり、平均時間は7.0時間となっている。父親は、「1時間未満」が53.6%で最も多く、次いで「1時間以上～2時間未満」が22.5%であり、平均時間は0.9時間となっている。

【家事をする時間／日】

	n	(%)														平均時間 (時間)
		1時間未満	2時間未満	3時間未満	4時間未満	5時間未満	6時間未満	7時間未満	8時間未満	9時間未満	10時間未満	11時間未満	12時間未満	1時間以上	無回答	
(1) 母親	1,114	0.2	3.1	10.6	19.4	15.9	15.3	7.3	3.9	4.3	1.3	2.6	0.2	10.7	5.3	7.0
(2) 父親	1,051	53.6	22.5	6.6	1.5	0.9	0.8	0.2	0.6	0.1	-	0.6	-	0.5	12.3	0.9

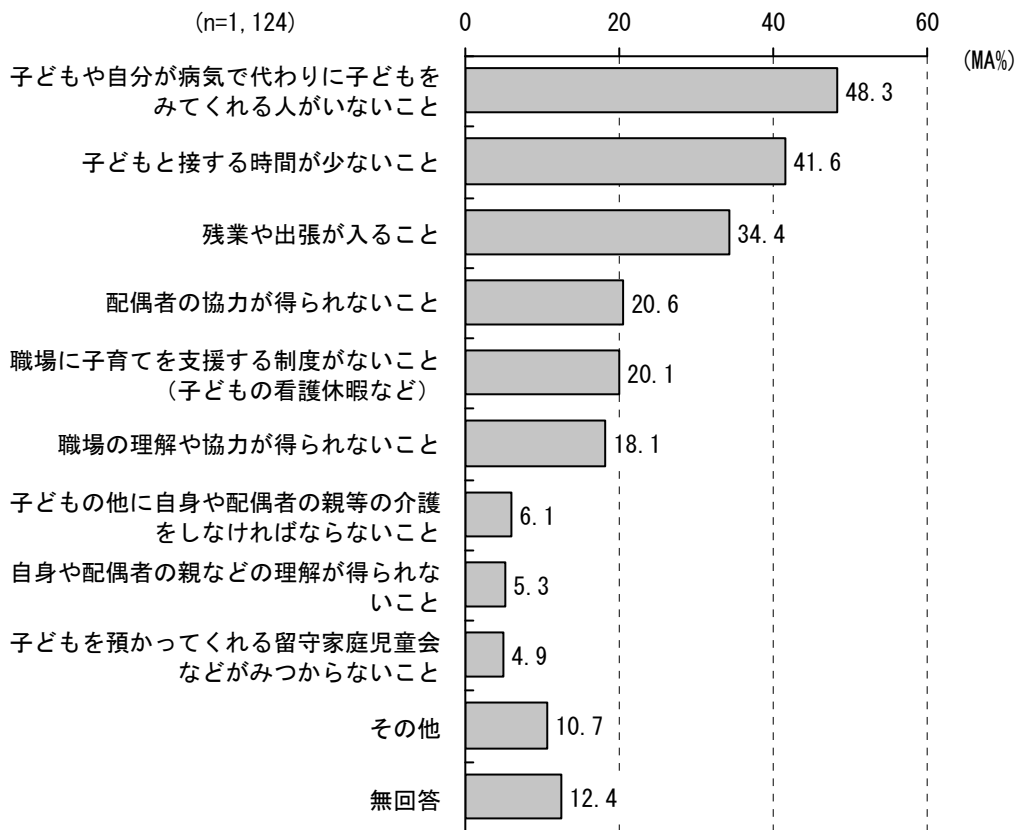
【就学児童】

〔3〕仕事と子育てを両立させるための課題

問21 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

仕事と子育てを両立させるための課題については、「子どもや自分が病気で代わりに子どもをみてる人がいないこと」が48.3%で最も多く、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」が41.6%、「残業や出張が入ること」が34.4%となっている。

【仕事と子育てを両立させるための課題】



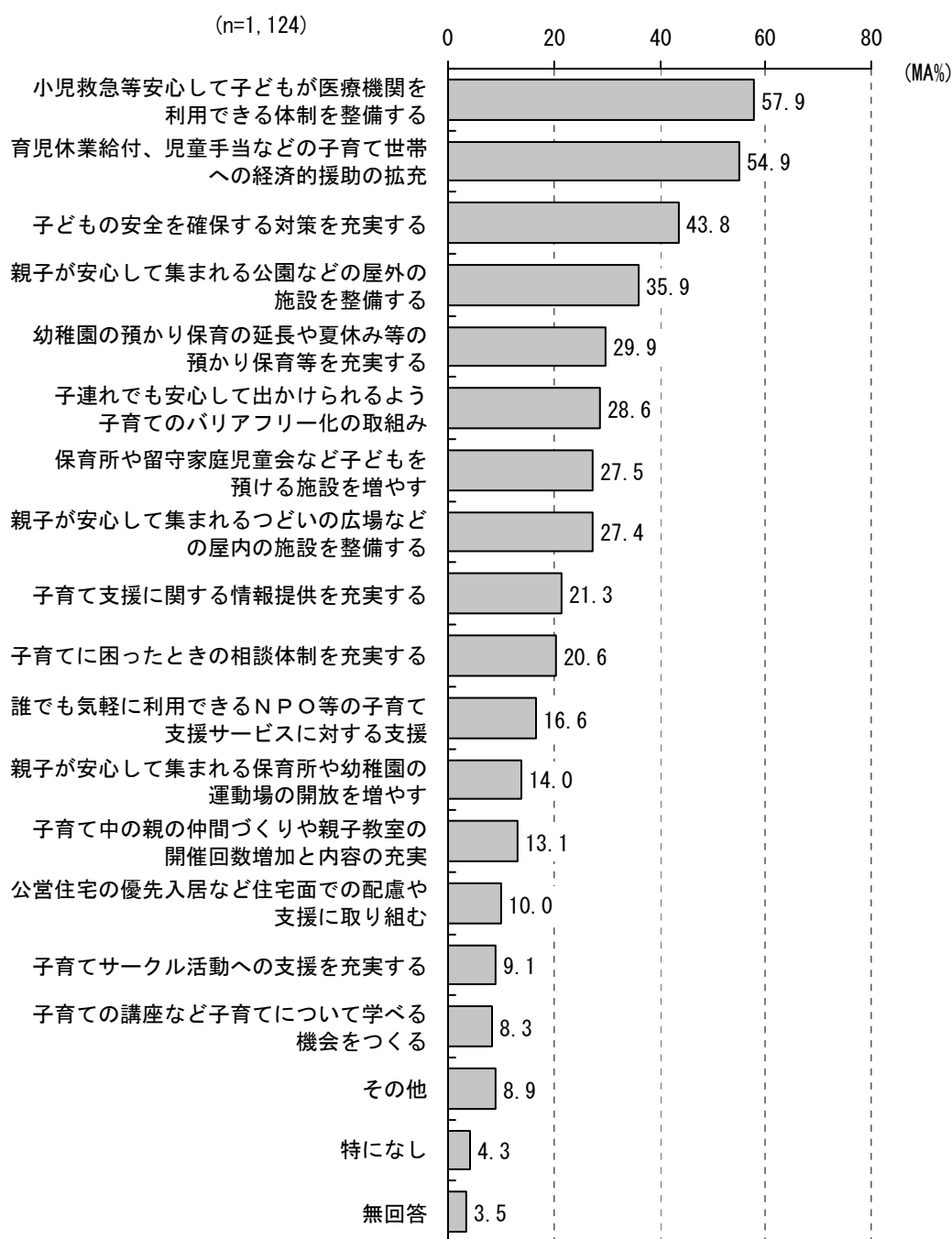
9. 行政等への要望

〔1〕充実してほしい子育て支援サービス

問22 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

充実してほしい子育て支援サービスについては、「小児救急等安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が57.9%で最も多く、次いで「育児休業給付、児童手当などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が54.9%、「子どもの安全を確保する対策を充実する」が43.8%となっている。

【充実してほしい子育て支援サービス】



【就学児童】

10. 子どもの生活習慣について

〔1〕子どもの生活習慣

問23 お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子どもの生活習慣についてたずねた。

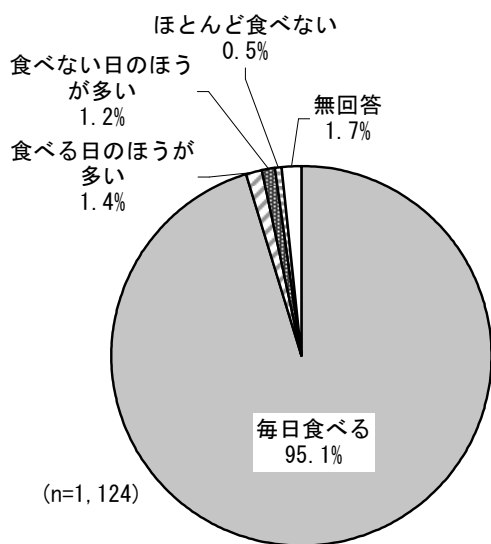
朝食の摂取については、「毎日食べる」が95.1%で最も多い。

1日1回は家族と一緒に食事をするかについては、「する」が96.2%となっている。

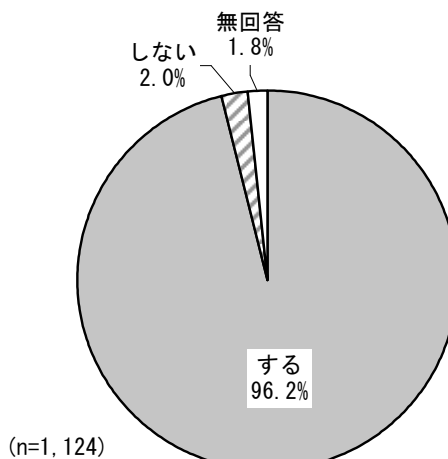
平日のテレビ・ビデオの1日あたりの平均視聴時間については、「2時間以内」が29.0%で最も多く、次いで「2時間以上」が27.9%、「1時間以内」が20.6%となっている。

就寝時刻については、「21時半～22時」が32.2%で最も多く、次いで「21時～21時半」が29.5%であり、22時以降に寝ている子ども（23.9%）は2割強を占める。

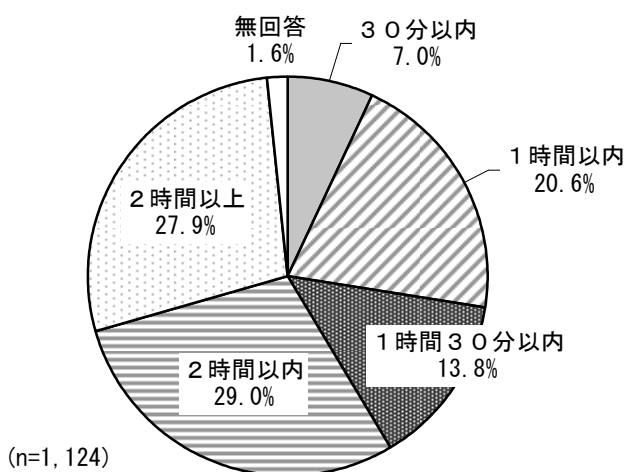
【朝食の摂取状況】



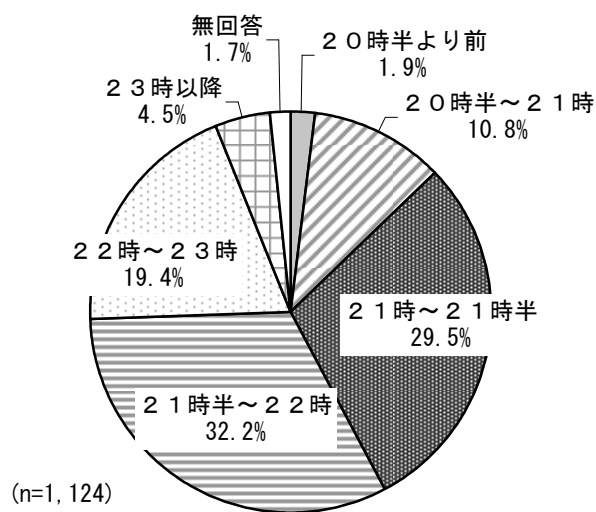
【1日1回以上の家族と一緒に食事】



【平日のテレビ・ビデオの1日あたりの平均視聴時間】



【就寝時刻】



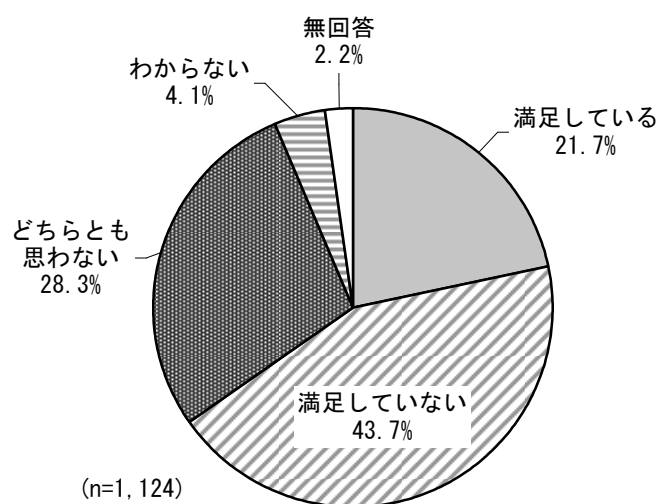
11. 子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全確保について

〔1〕子どもの遊び場の満足度

問28 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子どもの遊び場の満足度については、「満足していない」が43.7%で最も多く、次いで「どちらとも思わない」が28.3%、「満足している」が21.7%となっている。

【子どもの遊び場の満足度】



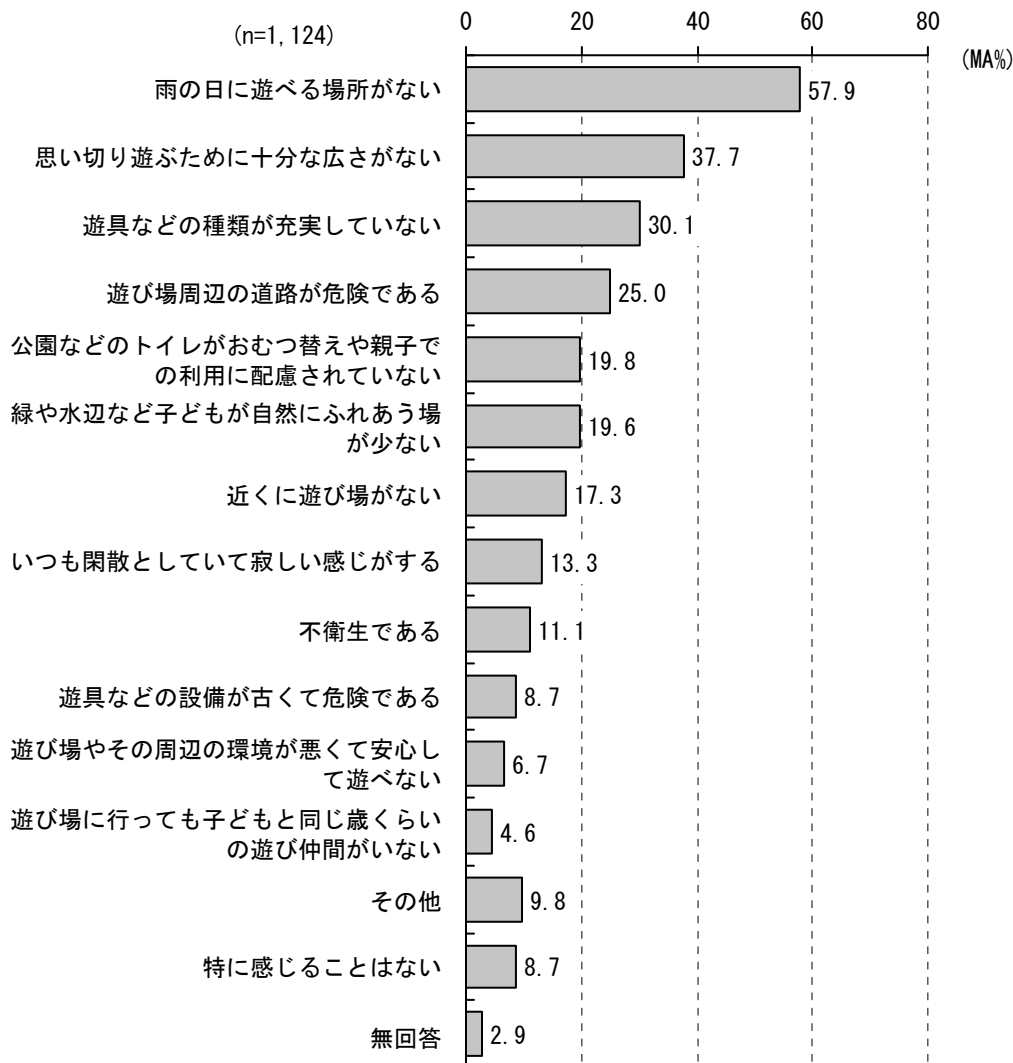
【就学児童】

〔2〕子どもの遊び場で日ごろ感じること

問29 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子どもの遊び場で日ごろ感じることについては、「雨の日に遊べる場所がない」が57.9%で最も多く、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が37.7%、「遊具などの種類が充実していない」が30.1%となっている。

【子どもの遊び場で日ごろ感じること】



【就学児童】

子どもの遊び場で日ごろ感じることにについて居住地域別でみると、「雨の日に遊べる場所がない」は、細河を除く小学校区で最も多い項目となっており、石橋南小学校区の割合が66.7%で最も高い。細河小学校区は、「雨の日に遊べる場所がない」とともに、「近くに遊び場がない」(60.0%)や「思い切り遊ぶために十分な広さがない」(60.0%)が多くなっている。

【子どもの遊び場で日ごろ感じること（居住地域別）】

	n	(MA%)														
		近くに遊び場がない	雨の日に遊べる場所がない	思い切り遊ぶために十分な広さがない	遊具などの種類が充実していない	不衛生である	いつも閑散としていて寂しい感じがする	遊具などの設備が古くて危険である	緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない	遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない	公園などのトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない	遊び場周辺の道路が危険である	遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がない	その他	特に感じることはない	無回答
伏尾台小学校区	44	2.3	63.6	13.6	29.5	11.4	36.4	11.4	6.8	-	9.1	9.1	13.6	9.1	20.5	2.3
細河小学校区	25	60.0	56.0	60.0	40.0	8.0	28.0	4.0	-	8.0	8.0	28.0	4.0	24.0	8.0	8.0
池田小学校区	159	8.8	57.2	25.8	25.8	8.2	2.5	6.3	12.6	6.3	19.5	23.3	6.9	11.3	10.7	3.1
呉服小学校区	99	24.2	55.6	39.4	38.4	18.2	13.1	6.1	23.2	11.1	29.3	24.2	6.1	10.1	10.1	1.0
神田小学校区	106	31.1	59.4	53.8	34.9	16.0	20.8	12.3	31.1	9.4	28.3	28.3	4.7	12.3	1.9	0.9
北豊島小学校区	110	27.3	64.5	44.5	35.5	16.4	15.5	10.9	30.9	10.0	20.0	30.9	2.7	3.6	0.9	2.7
石橋南小学校区	75	6.7	66.7	21.3	21.3	14.7	13.3	6.7	30.7	10.7	30.7	17.3	4.0	10.7	9.3	5.3
石橋小学校区	96	12.5	58.3	32.3	36.5	17.7	11.5	8.3	27.1	5.2	18.8	33.3	5.2	12.5	5.2	2.1
緑丘小学校区	99	13.1	47.5	39.4	23.2	6.1	12.1	6.1	17.2	4.0	16.2	24.2	1.0	17.2	17.2	3.0
五月丘小学校区	117	10.3	53.0	34.2	23.1	2.6	12.8	4.3	9.4	3.4	15.4	25.6	0.9	10.3	12.0	2.6
秦野小学校区	172	18.6	59.3	47.7	29.7	7.0	12.8	15.1	14.5	4.7	14.5	22.7	4.7	3.5	7.6	3.5

【就学児童】

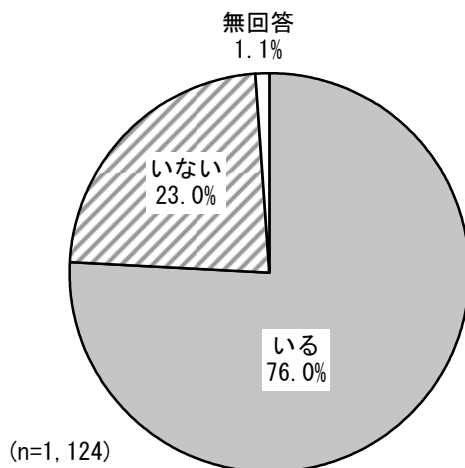
12. 子育てに対する意識について

〔1〕近所で日常的に子どもの話をする人の有無

問30 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。

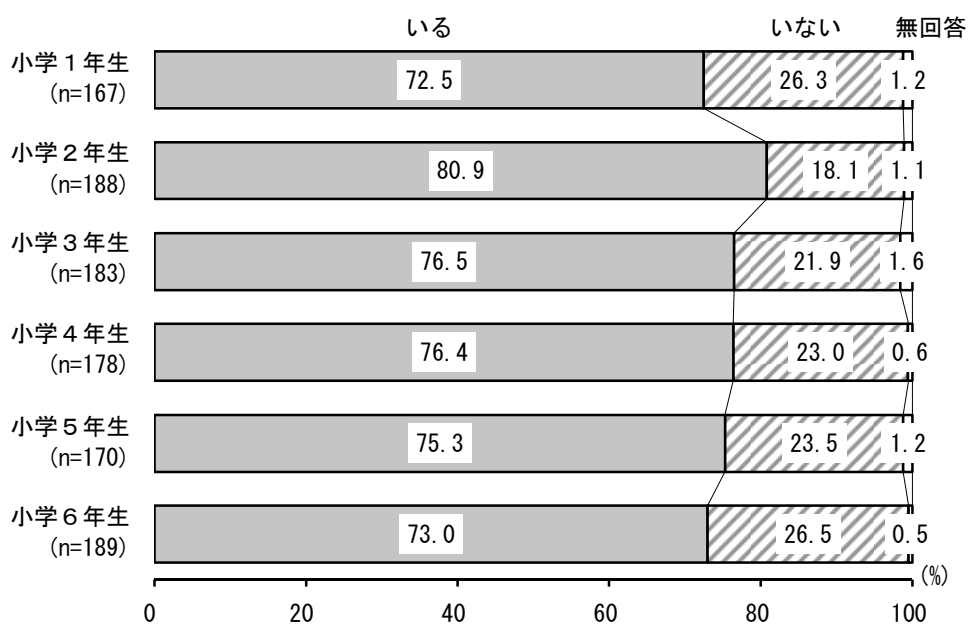
近所で日常的に子どもの話をする人の有無については、「いる」が76.0%に対し、「いない」が23.0%となっている。

【近所で日常的に子どもの話をする人の有無】



子ども学年別でみると、学年に関係なく、近所に日常的に子どもの話をする人が「いる」の割合が7割を超え、特に小学2年生は80.9%で最も高くなっている。

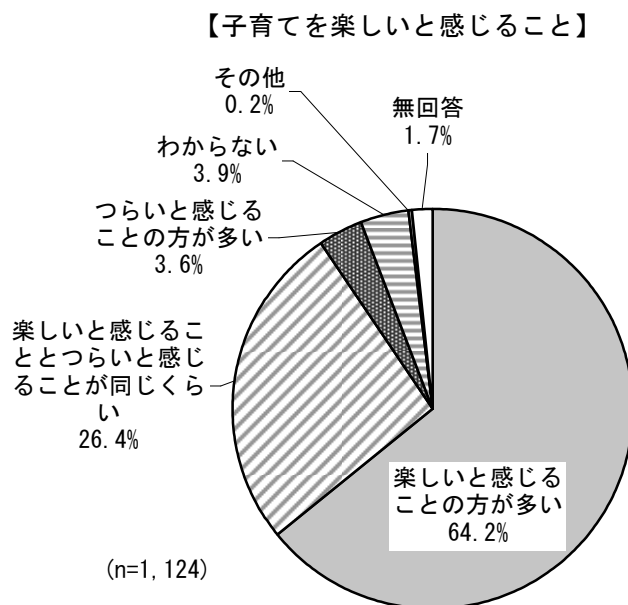
【近所で日常的に子どもの話をする人の有無（子どもの学年別）】



〔2〕子育てを楽しんでいること

問31 ご自身にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

子育てを楽しんでいることについては、「楽しいと感じることが多い」が64.2%で最も多く、次いで「楽しいと感じることがつらいと感じることが同じくらい」が26.4%となっている。



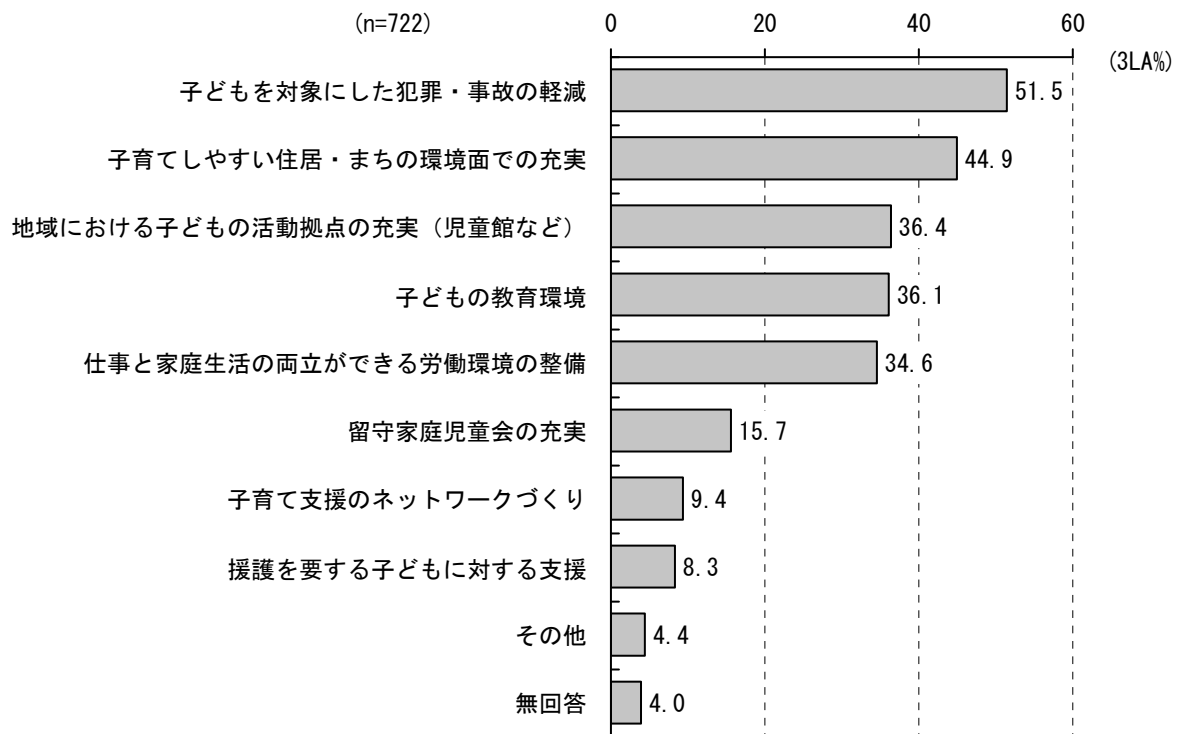
【就学児童】

■子育ての中で有効な支援・対策

問31-1 問30で「1. 楽しいと感じることの方が多い」を選ばれた、子育てを楽しんでいる方におうかがいします。子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

子育てが楽しいと感じることの方が多いと回答した人に、子育ての中で有効な支援・対策についてたずねると、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が51.5%で最も多く、次いで「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が44.9%、「地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）」が36.4%、「子どもの教育環境」が36.1%となっている。

【子育ての中で有効な支援・対策】

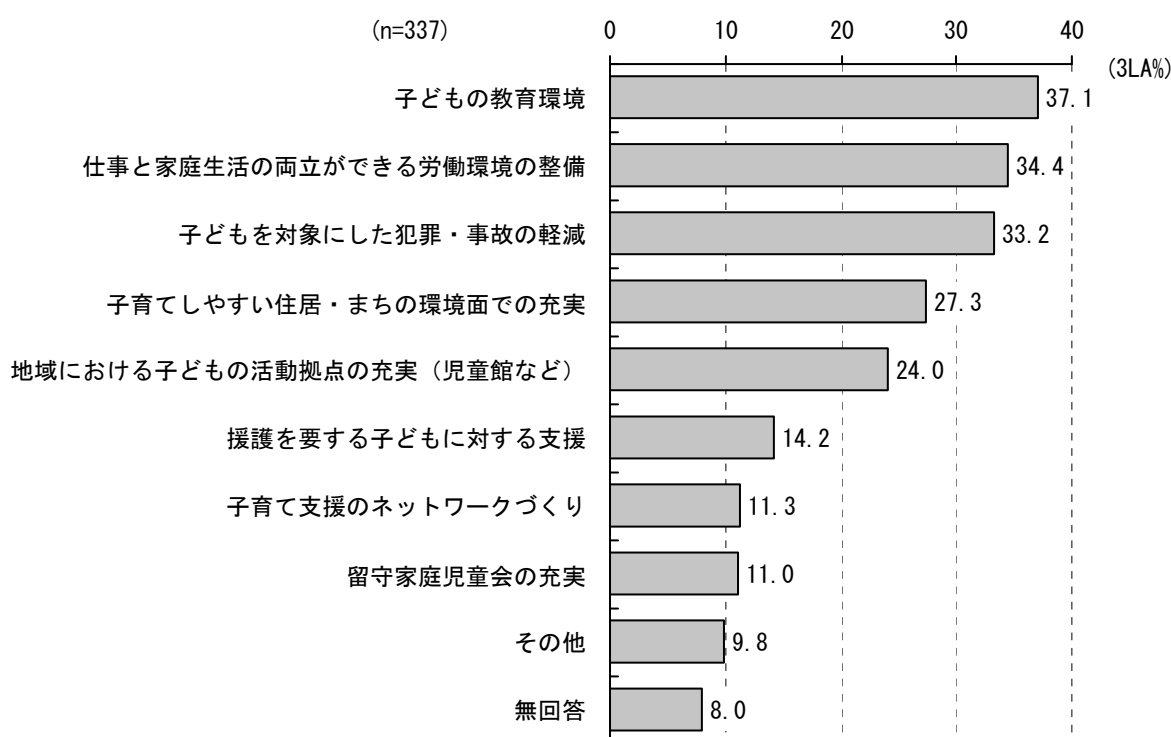


■子育てのつらさを解消するための必要な支援・対策

問31-2 問30で「2. 楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」「3. つらいと感じることの方が多し」を選ばれた方におうかがいします。あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

子育てが楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい、もしくは、つらいと感じることの方が多しと回答した人に、子育てのつらさを解消するための必要な支援・対策についてたずねると、「子どもの教育環境」が37.1%で最も多く、次いで「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が34.4%、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が33.2%となっている。

【子育てのつらさを解消するための必要な支援・対策】



【就学児童】

〔3〕子育てに関して、日常悩んでいること、気になること

問32 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

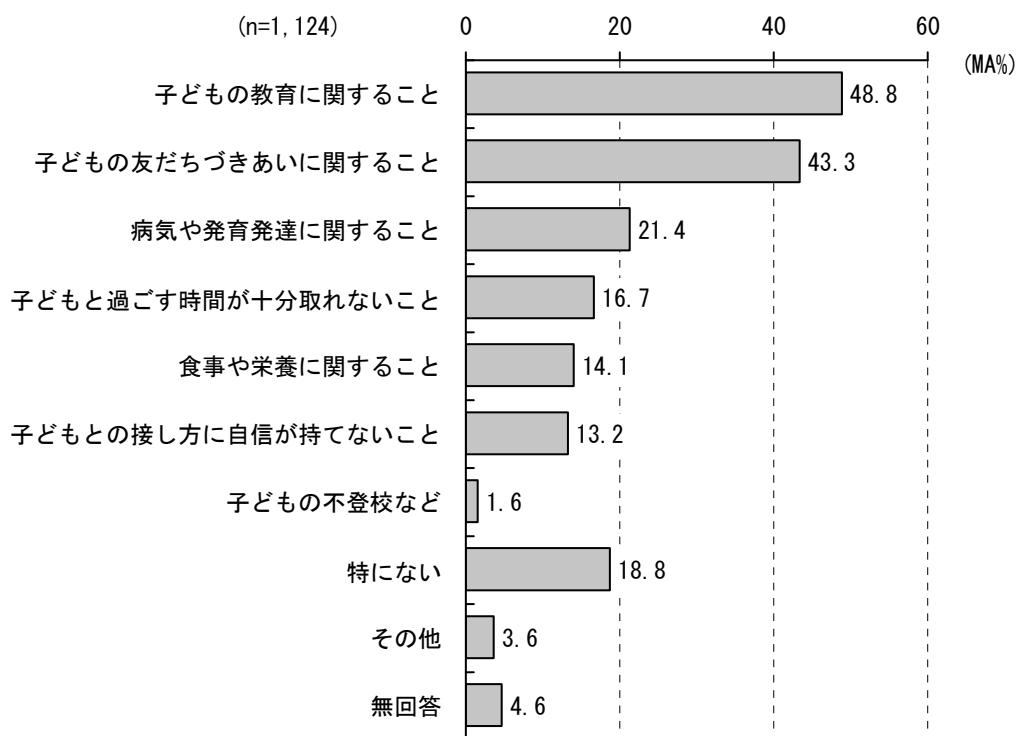
子育てに関して、日常悩んでいること、気になることについてたずねた。

子どもに関することでは、「子どもの教育に関すること」が48.8%で最も多く、次いで「子どもの友だちづきあいに関すること」が43.3%、「病気や発育発達に関すること」が21.4%となっている。

自身に関することについては、「子育てにかかる出費がかさむこと」が41.7%で最も多く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が26.7%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」が23.0%となっている。

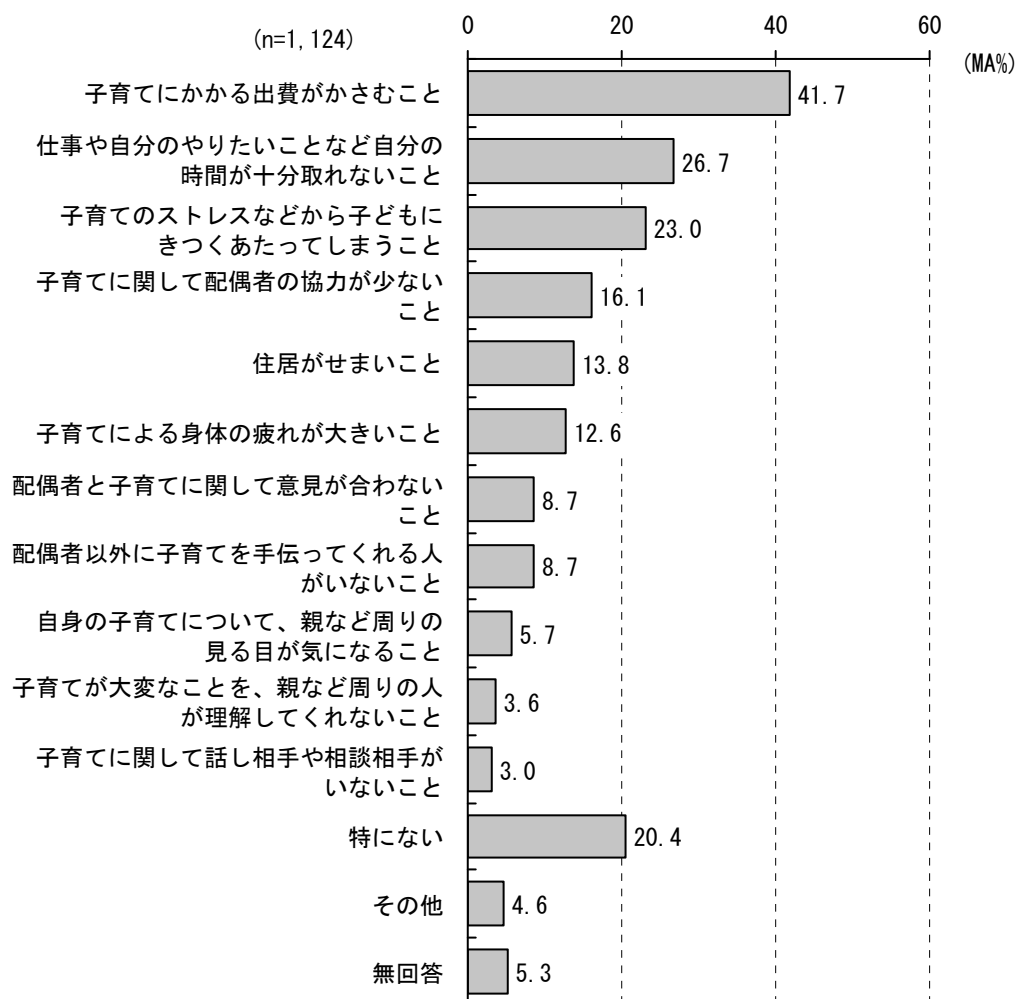
【子育てに関して、日常悩んでいること、気になること】

(1) 子どもに関すること



【子育てに関して、日常悩んでいること、気になること】

(2) 自身に関すること



【就学児童】

〔4〕 地域の人に支えられている感の有無

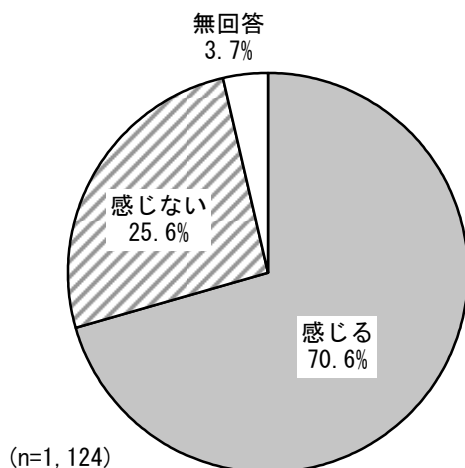
問33 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を（ ）内に記入してください。（複数回答可）

地域の人に支えられていると「感じる」が70.6%に対し、「感じない」が25.6%となっている。

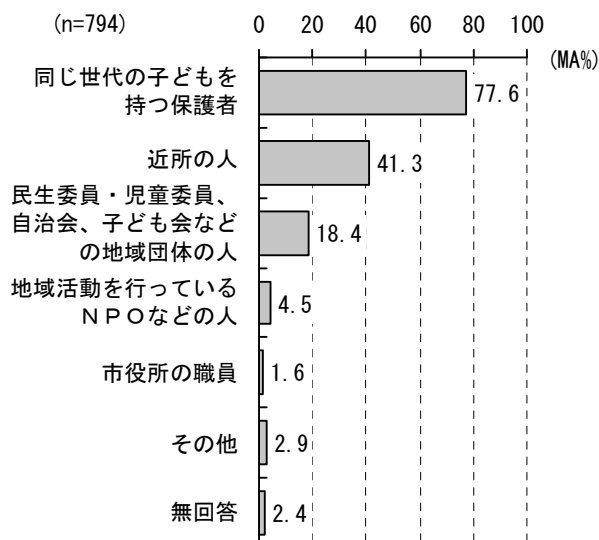
地域の人に支えられていると感じると回答した人に、誰から支えられているかについては、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が77.6%で最も多く、次いで「近所の人」が41.3%、「民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人」が18.4%となっている。

地域の人に支えられていると感じないと回答した人に、誰から支えてほしいかについては、「同じ世代の子どもを持つ保護者」が26.0%で最も多く、次いで「近所の人」が15.3%、「民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人」が11.1%となっている。

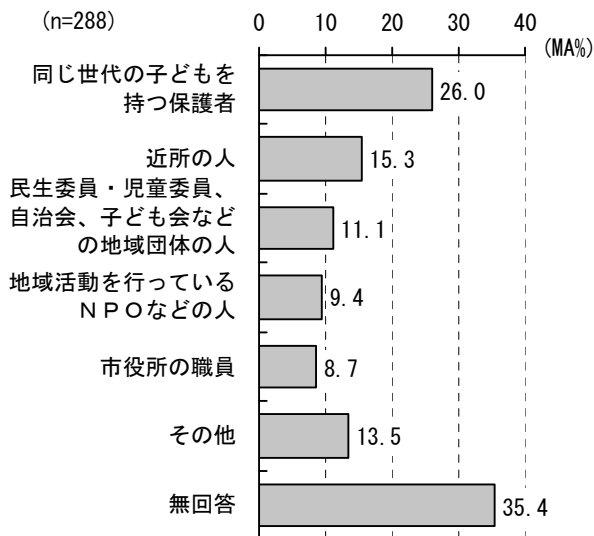
【地域の人に支えられている感の有無】



【支えられている対象】



【支えほしい対象】



IV. 自由意見

IV. 自由意見

【1】子育てを支援する施設・機会の提供について

① 文化・学習・子育て支援施設について

意見内容	就学前児童	就学児童
図書館の充実	4	9
屋内で遊べる場所が少ない、欲しい	8	4
図書館の立地が不便	6	6
児童館や図書館が近くにあるといい	2	7
屋外で思い切り遊べる場所がない	4	2
児童館の充実	4	1
商店街や駅ビル内にプレイルーム・子育て広場をつくらしてほしい	4	
もりもりKIDSなど、駐車場を確保してほしい	3	
保健センターまでが不便。駅前から直通バスがあるといい	3	
子どもたちがのびのび遊べる場所がほしい		3
児童文化センターの内容の充実		3
神戸総合児童センター（こべっこランド）のような施設を増やしてほしい	2	
1歳までの子が安心して遊べる場所が増えるといい	2	
子どもたちだけで行ける安全な遊び場をつくらしてほしい		2
地域の会館などで自由に卓球等できるスペースがあればいい		2
その他	9	8
大きな図書館をつくらしてほしい	1	
気軽に足を運べる場所があればいい	1	
キッズハウスぞうさんの施設が古く、衛生面で心配	1	
近隣市町村の子育て支援施設を利用できるシステムをつくらしてほしい	1	
子育て支援センターの先生の子育ての古さが気になる	1	
児童館や会館を開放して、子育てサロン等を増やしてほしい	1	
児童センターや図書館への巡回バスをつくらしてほしい	1	
児童文化センターには幼児が遊べるスペースが少ない	1	
もりもりKIDSとボンボコ以外の児童館の建物の古さとおもちゃが古くて汚い	1	
学習室利用に関して、他害する児童をなんとかしてほしい		1
会館の中に図書コーナーや遊具を置く等子どもが使いやすくしてほしい		1
高学年の男の子ものびのび遊べるスペースがほしい		1
中学生の居場所づくり		1
子どもの遊び場に地域格差がある		1
1校区に1つ、児童館を設置してほしい		1
山の家が活かされていない		1
五月山体育館の空きスペースを子どものために有効活用してほしい		1
小計	51	47

② スポーツ・レジャー施設について

意見内容	就学前児童	就学児童
五月山プールや体育館の利用料を安くしてほしい		1
気軽に行けるプールや水遊びができる施設をつくらしてほしい	1	
野球ができる場所がほしい	1	
五月山プールや体育館利用のスポーツ関連の教室は働く親も参加できる時間設定にしてほしい	1	
池田体育館前の川の辺りが寂しく暗いので、子どもを安心して遊びに行かせられない		1
小計	3	2

③ 地域での交流・学習・イベントについて

意見内容	就学前児童	就学児童
ママ友の出会いのきっかけとなる機会が増えるといい	4	2
同学年の子どもの集まる機会を増やしてほしい	2	1
子どもたちの活動の場を増やしてほしい		3
地域で英語に触れられる機会があるといい	2	
母親のための学びの場があるといい	2	
小中高校生との交流の機会を増やしてほしい	1	1
高齢者と子どもが共有できる空間をつくってほしい	1	1
共働きの親が子育ての意識を高められるようなプログラムの実施や講演会などの開催		2
子どもたちの勉強をみてあげたり、悩みや世間話をできる場をつくってほしい		2
その他	14	9
幼稚園に入っていない3歳児がいろいろ体験できる機会がほしい	1	
無料で子どもに勉強や料理、職業体験などがあるといい	1	
福祉センターで無料や気軽に参加できるダンス教室やフラワーアレンジメント等のイベントをしてほしい	1	
地域の人と知り合えるような機会がほしい	1	
託児付のイベントがあればいい	1	
スターペアレンティングの講習会を開いてほしい	1	
少人数で学べて遊べる機関を増やしてほしい	1	
小学校の行事に声がかかるのがありがたい	1	
公園や体育館等で保育士さんによる遊びのイベントを行ってほしい	1	
近所の方や街で出会う方がとても優しく声をかけてくれて住みやすい	1	
キャンプやスキー合宿、サマースクールなどのイベントを増やしてほしい	1	
同じ月齢の子どもと親が集まれる機会を福祉センター等でやってほしい	1	
大人の話し相手がほしい	1	
家での遊びの幅を広げられる場（手遊びや親子遊びの教室）があればいい	1	
古くからの住人のグループに馴染めないで、もっとオープンで親しみやすい活動を進めてほしい		1
友達と毎日遊べる環境ではないのでコミュニケーション力が心配		1
放課後子ども教室のような活動を近所でしてほしい		1
親が一步踏み出す気になるイベントにすれば子どもも集まる		1
保護者の世代が地域活動への関心が薄れていたり、共働きで活動に参加できない		1
家の近くで参加できるイベントや教室があるといい		1
妊娠中から友達を作れるようなサークル等があるといい		1
地域活動があまりに少なく、費用も削減されている		1
毎年晴れ渡る体育の日を市民レクでつぶさないでほしい		1
小 計	26	21

④ 相談・情報提供の場について

意見内容	就学前児童	就学児童
子育てサービスの情報が入ってこない	7	2
幼稚園や保育園、子育て支援についての情報提供方法の提案（HP、チラシ等）	7	
保育所や幼稚園の情報の収集方法がわからない	3	
積極的に聞きやすい相談体制、気軽に聞きやすい相談体制	2	1
フルタイムで働いていても行ける相談窓口がほしい	2	
子育てサークル等の情報がないので利用しづらい	2	
口頭で保育サービスや支援サービスの案内をしてほしい	2	
相談したが、マニュアル的な返答しかなくてがっかりした	1	1
小学生の普通の子への支援や相談するところがない	1	1

意見内容	就学前児童	就学児童
電話で育児相談をしたら、とても冷たくされた		2
子ども・子育ての情報は市の広報誌を活用している		2
その他	6	2
災害時の避難対策をわかりやすくしてほしい	1	
4ヶ月健診時の相談は、もっと経験豊かな人が育児経験者にしてほしかった	1	
産前産後に子どもを保育所に預ける制度があることをもっと周知してほしい	1	
療育についての情報発信をしてほしい	1	
子育て支援・サービスについて、的確に正しい情報を伝えてほしい	1	
「安心して引っ越ししてこることができる池田市」も一つの子育て支援になる	1	
会館の借り方や料金などの情報がわかるものがほしい		1
子育て訪問相談サービスがあるといい		1
小 計	33	11

【1】子育てを支援する施設・機会の提供について 計	113	81
---------------------------	-----	----

【2】子どもの教育や保育支援について

① 保育所（園）について

意見内容	就学前児童	就学児童
保育園が少なすぎる、増やしてほしい	15	3
保育料が高い	14	3
待機児童の解消	10	
保育士の保育方法、対応に対する批判	9	1
4月しか入所できないことへの不満	7	
土曜日・日曜・祝日も保育園に預けたい	7	
求職中では保育所に入れなくて困る	6	1
保育時間の延長	4	3
保育士へのケアと待遇改善が必要	6	
一時預かり保育料が高い	6	
保育士の増員	5	
保育所が古くて汚い	5	
保育内容の充実	5	
設備の充実、耐震	3	1
保育所の民営化に反対、残念	3	
公立と私立の格差（私立がよい）	3	
希望の保育園に入れるかが心配。入れるようにしてほしい	3	
保育所が狭い	2	1
保育所に空きがあっても遠方であったり、通園バスが定員オーバーだったりする	2	
保育園でも水泳や英語など教育の環境が整うといい	2	
保育園には本当に世話になっている	2	
4月に保育所に入れるかすぐ教えてほしい。2月結果では遅すぎる	2	
保育所に駐車場がない	2	
保育所の慣らし期間の延長	2	
上の子と下の子が別の施設となった場合、不便	2	
市と保育所が連携し、保護者の意見もとってほしい	2	
その他	26	1
市が責任を持って教育・保育を行う市立保育所が必要	1	
認可保育所と思えないひどい状況	1	
2人め出産の際、上の子が優先的に保育所に入れる等の手厚いサポートを望む	1	

意見内容	就学前児童	就学児童
入所申込の際、毎年申し込んでいる者には必要書類を引き継いでくれる等の対応を望む	1	
認定こども園より保育所システムのほうがよい	1	
保育所に通えていることで子育ての悩みや負担が解消されている	1	
保育所が増えても、保育士の質がおちないようにしてほしい	1	
年度内の転所ができないことが不満	1	
定員オーバーしている園があるようだが、設備、施設は足りているか	1	
他市の保育園に行けるようにしてほしい	1	
不規則な勤務の人は保育所に入れにくいことを考えてほしい	1	
休日保育料の軽減	1	
保育所は『母親』が預けるという意識が根強く残っている	1	
保育所の定員を増やしてほしい	1	
保育所の定員が多すぎる	1	
就園前の子が1年間過ごせる場（未就園児のクラス等）がもっとあるといい	1	
入所申込での相談で、発達障害に対する対応、対処に困った	1	
保育時間に柔軟性があればいい	1	
安心して預けられる保育所の整備・充実が最も重要	1	
認可外保育所には対応がよくないところがある	1	
希望の保育園に入所できなかった理由と倍率を公表してほしい	1	
1日の就業時間が4時間以上なのに、拘束時間が7時間以上でないと選考点数にならないのはおかしい	1	
子ども2人を同時に保育所に預けるのは難しい	1	
私立保育園の保育料以外にかなりの金額を納めている	1	
お泊り保育をしてほしい	1	
なかよしこども園の活動着のモデルチェンジを希望	1	
乳児を預けられる認可保育所を増やしてほしい		1
小 計	155	14

② 幼稚園について

意見内容	就学前児童	就学児童
幼稚園の料金の値下げ、私立幼稚園の助成金の増額	15	1
3年保育にしてほしい	8	
夏休み、冬休み等の預かりをお願いしたい	7	
朝と夕方の預かり時間の延長	3	2
一時預かり保育の助成を増やしてほしい	2	
幼稚園でも二人目以降は半額にしてほしい	2	
公立幼稚園の給食をもっと増やしてほしい	2	
公立幼稚園の給食にピーナッツが使われているのはなぜか	2	
その他	14	
市立の幼稚園の教育に、もっと力を入れてほしい	1	
先生に余裕がなさすぎる	1	
延長保育の料金がなくて気軽に利用できない	1	
公立幼稚園入園前に、週2回程度保育があると入園準備にもなり助かる	1	
育成会からの強制参加の講演会があり、負担になる	1	
人気集中して入りたいところに入れたい	1	
ベテランの幼稚園の先生を増やしてほしい	1	
教育費の無料化	1	
2年保育でいいと思っているが、3年の子と比べて不足してしまうのが心配	1	
公立の幼稚園の保育料が私立とあまり変わらないことに不満	1	
市の幼稚園の園庭開放が午前なので使いにくい	1	

意見内容	就学前児童	就学児童
幼稚園をきれいにすることより、子どものことを1番に考えてほしい	1	
幼稚園の合同説明会があると便利	1	
少人数学級の実施	1	
小 計	55	3

③ 学校について

意見内容	就学前児童	就学児童
小中一貫教育に不安、反対	8	6
教師の資質の向上	1	7
小学校の耐震性が不安		7
学校の設備が古い	1	5
小学校のトイレの掃除方法を考えてほしい。トイレが汚い		6
小学校の校庭を小学生に開放してほしい	1	4
公立の学校で十分な教育を行い、塾等に通わせなくていいようにしてほしい		5
土曜日に授業を行ってほしい		4
中学校の給食の充実、実施	1	4
学校で英語教育をしてほしい	2	1
小学校の児童数がバラバラなので平均してほしい	1	2
集団登校の実施	1	2
通う小学校を選びたい	1	2
宿題などを自由にできるスペースの確保もしてほしい		3
教師の仕事が忙しすぎて子どもに接する余裕がなさそうだ		3
小学校、中学校のクーラーの設置		3
通学が遠いのでスクールバスを出してほしい	2	
校区の見直し	2	
中学校のクラブ活動の種類が少ないので増やしてほしい	1	1
発達障害の子どもへのケアについて先生にもっと勉強してもらいたい	1	1
特別支援教育の充実	1	1
塾に行っていない子のアフターケアをしてほしい		2
小学校ごとに独自の特徴を出して良いと思う		2
「ツイタもん」の無料化		2
できる子にはどんどん教え、できない子にはわかるまで教えるということができないだろうか		2
学校の風紀改善		2
その他	11	44
グレイゾーンの子が多いと聞くのでサポート人数を増やしてほしい	1	
参観ではなく、いつ見に行ってもいい日があれば子どもの様子がわかると思う	1	
幼稚園同様、子どもの細かいことを見て教えてほしい	1	
年長児がもっと小学校見学できるようにしてほしい	1	
呉服小学校で、母国語教室と称して韓国語を教えているのが不愉快	1	
神田小学校を建てなおしてほしい	1	
早生まれなので、同級生についていけるよう丁寧にフォローしてほしい	1	
公立小学校の教育環境を整えてほしい	1	
少人数クラス化	1	
複数担任制の導入	1	
放課後に体育をみてる時間があるといい	1	
発達障害の子どもへの理解を深めてほしい		1
学年が上がるにつれ、発達障害の支援が少なくなる		1
スクールガードリーダーの存在は大変ありがたい		1
転校生に対する配慮がほしい		1
保護者の見守りも一年通して続けるべき		1

意見内容	就学前児童	就学児童
軽度知的障害の学校が近くにあるといい		1
支援の先生の増員		1
支援内容をもっと考えてほしい		1
学校からスクールソーシャルワーカーがいなくなってがっかりしている		1
教師の増員		1
小学校の給食のメニューを豊富に		1
学期はじめの給食が始まる時期が遅い		1
子どもの安全、教育を根本から考え直してほしい		1
書写を選択授業にしてほしい		1
学校で買い揃えなければならないものが多すぎる		1
体育館シューズや水着は自由なものでもいいと思う		1
授業の妨害をする生徒には罰則を与えたほうがよい		1
高校・大学の小学生向けの公開授業、実験等が体験できたらいい		1
私立中学の受験に対応できるレベルの勉強を教えてほしい		1
五月丘小学校に吹奏楽、一輪車などを導入してほしい		1
小学校のうちから中学校への参観ができるといい		1
できる子、できない子だけでなく、中間の子に目を向けてほしい		1
勉強の不得手な子へのフォローをしてほしい		1
不登校に対する対応の強化		1
小学校は荒れている子が多い		1
小学校に男の先生を増やしてほしい。児童が女の先生を蹴ったり殴ったりしている		1
校長・教頭が児童や保護者より地域の方々を大切にしている		1
先生により授業の進み具合が異なるのに不安を感じる		1
「ツイタもん」に登録してから本来の目的以外のメールや関係ない案内が来て不愉快		1
小中一貫校に関してオープンな話し合い、進行状況の情報公開等、慎重に進めてほしい		1
小中一貫教育がいつから始まるのか教えてほしい		1
児童数に対して運動場の狭さが問題		1
給食費を無料にしてほしい		1
学校教育の学習レベルが低すぎるのが心配		1
小学校でのクラブ活動及びスポーツ活動を充実させてほしい		1
秦野小学校のいちょうの木が見通しが悪い		1
安心して預けられる小学校をつくってほしい		1
学校のプールを開放してほしい		1
問題のある生徒がいると学年が荒れてしまうので、専門家を配置してほしい		1
学校の委員の負担も大きい		1
小中一貫校になると通学が遠いので、バスの運行をしてほしい		1
小・中学校の交流がもっとあるといい		1
細河中学の授業崩壊について危惧している		1
小学校に制服があるといい		1
小 計	35	121

④ 放課後児童クラブ（留守家庭児童会）について

意見内容	就学前児童	就学児童
時間を延長してほしい	27	22
利用学年の延長	9	27
運営方法や内容の充実	3	5
長期休暇の間預かってもらいたい		7
指導員の質の向上	2	4

意見内容	就学前児童	就学児童
給食を提供してほしい	3	
保育料の値下げ	1	2
おやつを提供、又は持参可にしてほしい		3
子どもの安全性や指導も守られていないので不安	1	1
夏休み等は開始時間を早めてほしい	1	1
利用が多く、狭いスペースで過ごすことになりもめ事も多いと聞く	1	1
預かり条件を週3日以上勤務にしてほしい	1	1
習い事や教室と連携して、出張習い事とかしてほしい	1	1
その他	4	8
時間を選択制にしてほしい	1	
学童保育と幼児保育をワンストップ化してほしい	1	
警報発令時に閉鎖しないでほしい	1	
職員を増やしてほしい	1	
保護者が働いていなくても利用できるようにしてほしい		1
前日予約で利用できるようにしてほしい		1
学年が上がるにつれ見てもらう時間が減るのに料金は変わらないのはどうか		1
乱暴な友達がいる、行くのが苦痛らしいので対応してほしい		1
有料であることに驚いた		1
時間延長の拡充は慎重に行うべき。必要でない人もいる		1
緊急時に利用できるようにしてほしい		1
1日単位で預けられたらいい		1
小 計	54	83

⑤ その他保育支援について

意見内容	就学前児童	就学児童
病児保育を行う施設があるといい	15	2
保護者の帰りが遅い時に過ごせる場所（安心して預けられる施設）があるといい	1	8
緊急時に預けられるところがない	4	3
近隣の箕面市等のほうが支援は充実しているので習ってほしい	5	1
一時預かり保育の充実	5	1
他市に比べ、子育て支援が少ない	5	
保育所卒所（園）後のサポートをもっと考えてほしい	4	1
働いていない母親の支援もほしい、働く親への支援ばかり力を入れている	2	3
低料金で利用できる習い事があるといい	4	
つどいの広場が近所にあるといい	4	
認定こども園の充実	3	
障害児への支援、障害児の兄弟への支援	2	1
小学生の夏休みなど長期休暇に預ける所がほしい		3
大阪市の「いきいき」や尼崎市の「子どもクラブ」のような制度がほしい		3
地域子育て支援拠点事業の対象年齢拡大、増設、職員への批判	3	
石橋駅周辺も子育てしやすいまちにしてほしい	2	
日曜祝日に一時預かりしてくれるところが少ない	2	
子どもが体調不良のとき迎えに行ってくれる施設があるといい	2	
幼保一体化は、途中からこども園に行く子にメリットを感じない	2	
家の近くに子育て支援拠点がない	2	
子どもが急病の際、他の子どもをみてくれるところがあるといい	1	1
学級閉鎖、警報が出たとき、預け先がない	1	1
その他	26	9
病児保育の時間帯が短い	1	
子育てサロンを幼稚園や小学校低学年でも参加できる日があればいい	1	
少しの期間、パートの人でも気軽に預けられる制度があればいい	1	
保育所、幼稚園など遊ぶ場が多いので充実している	1	

意見内容	就学前児童	就学児童
地域の子育てサービスに魅力を感じない	1	
ファミサポを利用したいと思っても二人だと高額になる	1	
3～4歳の子育て、つどいの場所がない	1	
ロケットキッズは有料なのでもう少し支援があればいい	1	
いろいろな手続きを踏まなくても気軽に子育て支援が利用できたらいい	1	
個性を大切にもっと寄り添っていただけたらありがたい	1	
働いていてもPTAの役員や子供会の役員ができる体制づくりが必要	1	
双子の育児は何事も不便、不安を感じる	1	
日々の生活のなかで多くの喜びを得られるよう支援してほしい	1	
子どもを21時くらいまで預かってくれる施設がほしい	1	
2歳児の子を1日数時間でも預かってもらえたら助かる	1	
もりもり Kids の利用学年延長	1	
信頼できるベビーシッターを紹介してほしい	1	
外国人への支援が足りない	1	
支援してくれる先生や地域、団体、市職員にとっても充実した支援になってほしい	1	
池田市に今ある保育園、幼稚園に安心して通わせることはできない	1	
なぜ、池田市のファミサポは病児預かり不可なのか	1	
双子、三つ子ののびのびを月2回にしてほしい	1	
双子の家庭への訪問もしてほしい	1	
もりもり KIDS など遊べる時間の拡大	1	
もりもり KIDS のような赤ちゃんタイムの日をたくさん設けてほしい	1	
ロケットキッズのようなつどいの場がもっとほしい	1	
五月山児童館や水月等の活動を市役所や街中でやれないか		1
小4～小6の子どもを預けられるところをつくってほしい		1
子ども会が充実しているが、親の力が入りすぎていて窮屈な思いがする		1
無料、または安価で塾等の教育が受けられるようにしてほしい		1
高齢者や子育てが一段落した人が若い母親を援助できるような仕組みがあるといい		1
市の制度は不親切だと思う		1
夜間保育を実施してほしい		1
子ども会が強制加入なのはおかしい		1
平日、休日と分けずに支援してほしい		1
小 計	95	37

⑥ その他、教育観など

意見内容	就学前児童	就学児童
母親へのサポートをしてほしい	4	2
教育格差がなくなる仕組みをつくってほしい	2	4
経済的な問題で、2人も産めない	4	
まちの高齢者が子育て世代に対して厳しい	2	1
教育に力を入れてほしい	1	1
友達の多くが習い事で忙しくゆったりと過ごせない子が多い		2
その他	14	12
食育の見直し	1	
子どもが欲しくてもお金も仕事もないし、職場の理解があると思えないので産めない	1	
子どもの携帯電話やゲーム機の多用への対策が必要	1	
子育ては、相談できる人、場所、応援されていることを感じればやっていける	1	
子育ては、社会全体で取り組むべき問題だ	1	
虐待が増えないようにしてほしい	1	

意見内容	就学前児童	就学児童
母親が働かなくてもよい環境になればいい	1	
池田は保守的な保育・教育だと思う	1	
子どもがいても働ける世の中になってほしい	1	
義親が育児より自分優先なので、家を出たい	1	
草の根本的な質の高い、子育てしやすい環境をつくってほしい	1	
両親が共に育児をすることが必要	1	
ひとりで頑張らなくていいと思える公的支援がほしい	1	
母親がある程度の時間を一緒に過ごすことがよい		1
放課後学習をやってほしい		1
子育ては大人の人みんなですていくもの		1
しつけのしかた、子どもとのかかわり方、大切さを知ってもらいたい		1
子どもの自由さが少ない		1
大人の、子どもへの視線が厳しすぎる		1
イクメンと呼ばれる父親が増えているが、実際は朝から晩まで仕事をしている父親が多い		1
父親の働く時間が長いので、休みや勤務時間が短くなって子どもといる時間が増えたらいいと思う		1
出費が多く、習い事や体験などさせたいが、できない		1
母親の気持ちに余裕ができると子育ても充実する		1
今の子育て支援は、親を楽にさせることだけだ		1
3歳までにすべきことを親に教えてほしい		1
小 計	26	22

【2】子どもの教育や保育支援について 計	420	280
----------------------	-----	-----

【3】環境について

① 公園について

意見内容	就学前児童	就学児童
公園の砂場・遊具の充実、整備	35	6
ボール遊びができる公園があるといい		17
設備（トイレ等）の整備	10	2
公園が少ない、増やしてほしい	4	8
公園内、公園周辺の安全管理	6	3
薄暗く、雑草やごみ等が落ちている	6	2
自然のなかでアスレチックができる環境がほしい	1	2
夏、噴水が出る公園があれば利用したい。水のある場所をつくってほしい	2	
小さな子どもが遊べる公園が少ない	2	
芝生がある広い公園がほしい	2	
公園に、駐輪場、駐車場をつくってほしい	2	
幼児と小学生が安全に遊べる公園をつくってほしい	1	1
その他	4	4
辻ヶ池公園の半分を占有してサッカー教室をしているが子どもたちが遊ぶ範囲が制限されるのが納得できない	1	
公園内の犬の糞を放置することを取り締まってほしい	1	
桃園公園をリフレッシュ工事をしたが子ども目線で工事してもらいたかった	1	
昔のようにのびのびと想像力を働かせて遊べる環境をつくってほしい	1	
公園管理者が注意ばかりして遊びにくい		1
小学生高学年の子が小さい子の遊具で激しく遊び、危険である		1
禁止事項ばかりが増えて楽しくない		1

意見内容	就学前児童	就学児童
公園で子ども同士が遊んでいる姿を見たことがない		1
小 計	75	45

② 道路、公共施設について

意見内容	就学前児童	就学児童
道・歩道の整備（段差解消、歩道が狭い、危険等）	43	15
駅や商業施設等、子どもと使いやすいトイレや授乳室等を設置してほしい	6	
路線バス、通園バスの充実	5	1
子連れOKの施設を増やしてほしい	3	
人通りの少ないところに街灯を増やしてほしい	3	
子育てバリアフリー化の充実	3	
駅のエレベーターを西側にも設置	2	
その他	8	2
満寿美町の道ばかりきれいにするのはなぜか	1	
福祉バスに子育て世代も乗れるようにしてほしい	1	
歩車分離の信号の整備	1	
駐車スペースが広い駐車場の設置	1	
町の中心ばかり気を使いすぎ	1	
公共施設の駐車場を無料にしてほしい	1	
幼稚園のバス停や道路に犬の糞がよく落ちている	1	
五月山の北側にエレベーターを設置	1	
道等のごみを掃除してほしい（南の方）		1
五月丘保育所とアルビスの間の道路が危険。信号機等の設置を進めてほしい		1
小 計	73	18

③ 防犯・安全対策について

意見内容	就学前児童	就学児童
高齢者の運転が下手で危険	1	2
不審者がいるので見回してほしい	1	1
朝夕のパトロールや横断歩道の見守りを行う人（緑のおじさん）がいるといい		2
小中一貫により校区が広がることで、登下校の安全対策を考えてほしい		2
その他	7	5
妊婦マークをもっと広めてほしい	1	
商店街を自転車通行禁止にしてほしい	1	
習い事の送迎をしてくれるサービスがあるとよい	1	
石橋文化幼稚園側の踏切が危険	1	
安全な環境で子育てをしたい	1	
小さい子どもを狙った犯罪が起こらないよう対策してほしい	1	
空き巣などの犯罪が多い	1	
夕方のチャイムを鳴らしてほしい		1
学校近くに交番を置いてほしい		1
G P S バッジの貸出があるといい		1
下校時のパトロールが負担		1
深夜の騒音が気になる		1
小 計	9	12

④ 街の環境について

意見内容	就学前児童	就学児童
子育てがとてもしにくい環境だ	2	2
市内の飲食店は子連れで入りにくい	2	

意見内容	就学前児童	就学児童
商店街が買い物しにくい、危険	2	
緑が多く、自然と触れ合えるまちで子育てしたい	2	
池田にショッピングモールをつかってほしい	2	
駅前がさびしすぎる	1	1
猪名川を川遊びができるよう整備をしてほしい		2
その他	6	4
駅前からパチンコ店をなくしてほしい	1	
博物館や美術館などの情操教育に役立つ施設をつかってほしい	1	
細河エリアは過疎化が進み子どもの発育に不十分な環境だ	1	
コンビニ、駅が遠い	1	
赤ちゃん用品専門店などの充実	1	
人と人のかかわりが少なく、住みにくい	1	
周囲の環境が老いととも悪化してきている		1
田舎気質に嫌気がさす		1
自転車を停めて店に入った際に自転車指導員に自転車を捨てられた		1
市の中心から離れているところは、開発も教育も遅れている		1
小 計	17	9

【3】環境について 計	174	84
--------------------	-----	----

【4】保健・福祉について

① 保健・医療について

意見内容	就学前児童	就学児童
児童医療費助成の年齢延長・無料化	35	42
産科・小児科が少ない	48	13
インフルエンザの予防接種は小学生まで補助してほしい	4	8
任意の予防接種に対する補助をしてほしい	8	1
妊婦健診助成も他市に比べて少ない	8	1
予防接種のお知らせや実施に対する要望	3	2
急病時にすぐ診てもらえる施設がない	4	
小児科の予約が取りづらい	4	
不妊治療への助成を望む	3	
いい小児科がない	2	1
市役所の健診の担当者が最悪。異常だと決めつけてくる	1	2
子どもの定期健診を増やしてほしい	2	
マタニティクラス等の土日のクラスを増やしてほしい	2	
父親教室の定員数を増やしてほしい	2	
小児科はもっと早く開院してほしい（7時～等）	2	
休日に市内の病院に行けるようにしてほしい	2	
児童医療費助成が助かっている	1	1
その他	11	3
4ヶ月健診後次の健診までの間が長すぎる	1	
産む前も後も他市に比べて支援が少ない	1	
子どもが入院時、もう一人の子どもが病室に入れなくて大変だった	1	
こんにちは赤ちゃん訪問は半年や1歳の頃にも実施してもらいたい	1	
産後のヘルパーを頼む助成があるといい	1	
産婦人科と小児科がつながった病院がほしい	1	
産婦人科を受診しても待ち時間が長く、子どもをみてもらえないので困る	1	
市民病院における救急体制	1	
豊能広域こども急病センターがあるので安心	1	

意見内容	就学前児童	就学児童
皮膚科が少ない	1	
保健師の言動や態度が悪い	1	
乳児医療の期間が短い		1
食物アレルギーがあるが、どの時期にどんな栄養が必要かアドバイスをしてくれる窓口がほしい		1
歯科への助成もあるといい		1
小 計	142	74

② 福祉について

意見内容	就学前児童	就学児童
経済的な援助	4	8
子どもが多い世帯への援助	5	2
手当の種類や金額を増やしてほしい	3	4
ふくまる子ども券の継続	4	2
ふくまる子ども券の充実	6	
児童手当等の増額	3	1
ふくまる子ども券は早生まれの子はすぐに満期になるので、4月にもらえるか有効期限を1年にしてほしい	3	
ふくまる子ども券は不要	3	
児童手当の所得制限の額を上げてほしい（所得制限をなくしてほしい）		3
ふくまる子ども券の増額	2	
ふくまる子ども券が専業主婦だけに支給されているのはおかしい	2	
児童手当の受給年数を増やしてほしい	1	1
子どもがいてラッキーと思えるような政策があるといい	1	1
中学・高校生以上の子どもへの経済的支援		2
その他	10	8
ふくまる子ども券は3年保育の幼稚園に行っていない3歳児にはないのか	1	
第4子からの車の貸出は出産する負担と比較してもメリットがない	1	
ミルクやおむつに費用がかかるので券でいいので支給してほしい	1	
電動自転車に対する助成があればいい	1	
保育所児童エンゼル補助金がなくなるときいた。残念だ	1	
エンゼル給付制度を義務教育の間は給付してほしい	1	
障害児支援の充実	1	
自分が通院中だが補助も相談するところもない	1	
子ども手当の増額	1	
母子家庭の住宅抽選会は何度も行ってる人には配慮してほしい	1	
父子家庭への支援が不足している		1
子ども手当も税金や子どもの病院代でなくなる		1
収入が少し上がったことにより手当が停止になり税金が上がり、生活が苦しい		1
低所得者への就学援助		1
児童手当の振込先を両親どちらでも選択できるようにしてほしい		1
母子家庭への補助をもっとしてほしい		1
今まで何も手当や控除などされてこなかった子に対して、何かもらえてもいいのではないかと		1
母親が病気の家の子どもがちゃんと育っているか、困っていたら助けてあげてほしい		1
小 計	47	32

【4】保健・福祉について 計	189	106
----------------	-----	-----

【5】行政への要望・感想など

① 就労支援

意見内容	就学前児童	就学児童
仕事と子育ての両立ができるようにしてほしい	2	5
働きに行きたくても、配偶者の協力や、保育施設の不足など不安がある	5	
母親が仕事復帰ができるようなサポートを望む	3	
子どもを連れて働ける仕事があれば助かる	3	
共働きできる環境づくり	2	1
職場での休日が取りやすい環境づくり、子育てに対する意識改革をお願いする		3
幼稚園に通わせながら、その時間内で働ける仕事はなかなかない。増やしてほしい	2	
子どもがいる主婦向けの仕事を紹介してほしい	1	1
その他	6	3
他市町に比べ、就労世帯の子どもに対する配慮が足りない	1	
3年育児休暇は会社には許可されない	1	
市で内職をあっせんしてはどうか	1	
働きたいがそのために子どもが犠牲になるのもどうかと思う	1	
男性が当たり前で育休を取れる制度にならないと女性の社会進出は難しい	1	
働いても保育料に消えると思ったら働けない	1	
シングルマザーに対する職場の理解がない		1
就職活動をして、勤務時間等の問題でうまくいかない		1
女性が働くことのむずかしさを実感している		1
小 計	24	13

② 行政への要望・感想

意見内容	就学前児童	就学児童
アンケートに関する意見	20	10
何でも所得制限しないでほしい	3	5
市役所窓口の職員の対応が悪い	7	
ごみ袋はもっと安く、又は無料配布してほしい	4	
子どもが安心して過ごしていける池田市であってほしい	1	2
満足している	1	2
市は保育園・学校ともっと連携をとってほしい	2	
その他	15	3
団塊の世代やその上の世代の大人げない行動に日々呆れているので、指導していただきたい	1	
「子育てしやすい」まちのアピールをし、ソフト・ハード面を整えてほしい	1	
市長をはじめ、職員は実際にベビーカーを押して市内や公共交通機関を利用してほしい	1	
子育て支援拠点事業よりも金銭的に助成してくれたほうがありがたい	1	
財政が厳しいなら広報を白黒にしたりとか、ほかにもできることはある	1	
市には何も期待していない	1	
企業を誘致して充実させてほしい	1	
職員に知り合いがいて、個人的に知られたくないことを知られてしまうのが不満	1	
ひとり親で養育費がない人は優先的に府営や市営に住めるようにしてほしい	1	
生の声を聞くように努力してほしい	1	
子育て世帯の税を軽減してほしい	1	
水道代が高い	1	
市営住宅が不便	1	
子どもが扶養でないので、税金が高く、生活が困難	1	
無駄なもの（ふくまるくんグッズやオブジェ等）にお金をかけすぎている	1	

意見内容	就学前児童	就学児童
高齢者より子どもに税金をつかってほしい		1
観光名所のルート例をつくってほしい		1
課同士の連携が皆無だ		1
小 計	53	22

【5】行政への要望・感想など 計	77	35
-------------------------	-----------	-----------

合計（延べ件数）	973	586
----------	-----	-----

資料（調査票）

池田市次世代育成支援に関する二一ス等調査

(就学前児童用調査票)

皆様には池田市政にご理解とご協力をたまたわり誠にありがとうございます。
池田市では、次代の社会を担う子どもを育成し、その家族を支援するなどを目的とした次世代育成支援対策推進法に基づき、「次世代育成支援行動計画」を策定し、この計画に基づき、子ども・子育て支援などに関するさまざまな施策を実施しています。この計画が平成26年度で終了するため、この計画の目的を引き継ぐ新たな計画の策定に際し取り進んでいます。また、子ども・子育て支援法に基づき子ども・子育て支援に関する新たな制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）が平成27年度から始まること予定されており、この制度に基づき「子ども・子育て支援事業計画」としてもあわせて策定することとしております。
本調査は、新たな計画の策定にあたって、市民のみならず必要とされている子ども・子育て支援などに関する施策の必要量や施策に対する意向を把握するための調査です。本市の施策の向上のため、ご協力いただきますようお願いいたします。

平成25年11月

池田市長 小南 修身

調査内容について

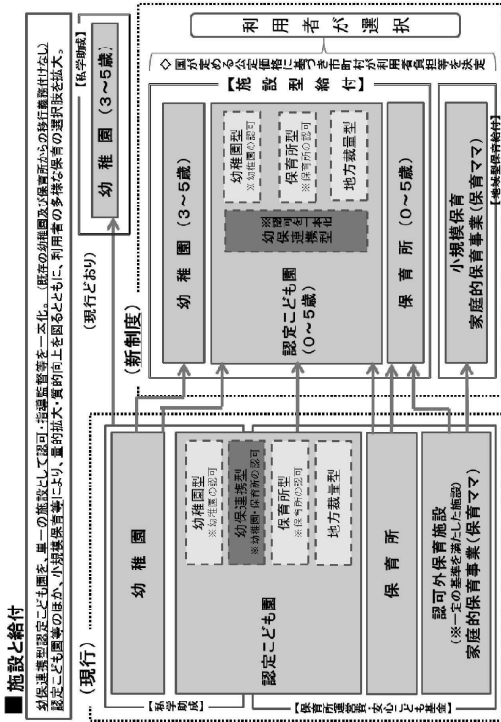
この調査の調査内容は次のとおりです。

1. 家庭の基本情報について（問1～問17）
家族構成や保護者の働いておられる状況など、家庭の基本情報についてお聞きします。ご家庭の状況により必要なサービスは異なってきますので、サービス提供のための前提となる調査です。
2. 幼稚園や保育所など定期的にご利用したい施設やサービスについて（問18～問30）
幼稚園や保育所など定期的にご利用したい施設やサービスについて、どれくらいご利用希望があるのかをお聞きします。また、育児休業の取得状況などについてもあわせてお聞きします。ご希望のサービス内容は、待機児童解消のための保育所の整備などに反映されます。
3. 一時的な頻りや地域子育て支援拠点などの子育て支援サービスについて（問31～問38）
一時的な頻りや地域子育て支援拠点など、子育てを支援するサービスについて、どれくらいご利用希望があるのかをお聞きします。ご希望いただいた内容は、子育て支援サービスの充実などに反映されます。
4. 子どもや子育て支援に関する意識などについて（問39～問46）
子育てについての意識や子育て環境についてお聞きします。子育て支援サービスを展開していくにあたって前提となる保護者のみなさんの意識などについて把握します。
5. 記入後は、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、12月6日（金）までにポストにご投函ください
6. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

池田市 子ども・健康部 子育て支援課 電話：072-754-6525

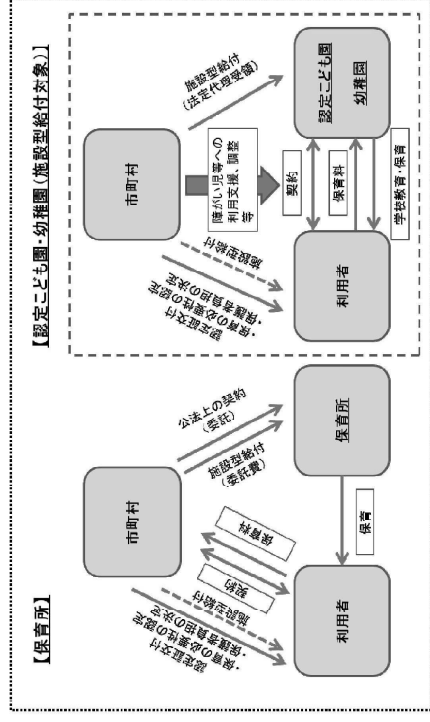
(参考) 平成27年度から実施される「子ども・子育て支援新制度」では、幼稚園と保育所の良さをあわせてつ認定こども園の普及、地域のニーズに応じた多様な子育て支援の充実などの取り組みが実施される予定です。

子ども・子育て支援新制度(概要)



利用手続き

利用者ご自身の施設については、市町村から必要な情報の提供を受け0～5歳の子どものみを選択して利用する以上、子どもが利用する施設については、市町村の認可の下、利用者が自ら施設を選択し、利用者が施設を始める仕組を構築。ただし、市町村が設置の施設を運営し、給付を受けることに基づき措置としては、民間保育所については、現行どおり、市町村が費用負担の確保を行うこと、保育所に委託を要する。



(参考) 子ども・子育て支援新制度の考え方 (内閣府、文部科学省、厚生労働省)

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができると期待することを目指しています。
- 子どもや成長においては、乳幼児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きかしの獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一級の責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることが通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができると期待しています。

(参考) 用語の定義

- 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設 (学校教育法第22条)
- 保育所：児童福祉法に定める、保育に欠ける0～5歳児に対して保育を行う施設 (児童福祉法第39条)
- 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設 (就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
- 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

ご家族の構成や保護者の働いている状況などについておうかがいします。

問1 お住まいの地域の小学校区名を () 内に記入してください。

() 小学校区
*小学校区が分からない場合は、町名を記入してください。
()

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみた関係で、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問3 封筒のあて名のお子さんの生年月月について、「平成」に○をつけ、() 内に数字を入れてください。

平成・西暦 () 年 () 月生まれ

問4 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢 (平成25年4月1日現在の年齢) を記入してください。

() 人 末子の年齢 () 歳

問5 希望として、子どもが何人ほしいですか。

() 人

問6 もう1人以上の子どものをほしいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. ほしいと思う-> 問7へ
2. ほしいとは思わない-> 問6-1へ

問6-1 問6で「2. ほしいとは思わない」を選ばれた方におうかがいします。どのような環境を整えればもう1人以上の子どものをほしいと思いますか。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 保育所など子どもを預かってくれる環境を整えればほしい
2. 収入が増えればほしい
3. 働くところが見つかればほしい
4. 子どもを教育してくれる施設が充実していればほしい
5. 家族の理解が進めばほしい
6. その他 ()

問7 封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

1. 父と母と一緒に住んでいる
2. 父と一緒に住んでいる (父子家庭)
3. 母と一緒に住んでいる (母子家庭)
4. 祖父と一緒に住んでいる
5. 祖母と一緒に住んでいる
6. 祖父が近所に住んでいる
7. 祖母が近所に住んでいる
8. その他 ()

問8 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主にしている方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

1. 父母ともに
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父母
5. その他 ()

問9 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育に日常的に関わっている人や施設として、あてはまる番号すへて○をつけてください。人についての選択肢はお子さんからみられた関係です。

1. 父母ともに	2. 母親	3. 父親	4. 祖父母
5. 幼稚園	6. 保育所	7. 認定こども園	8. その他 ()

※「認定こども園」…施設の中に幼稚園と保育所がある施設

問10 封筒のあて名のお子さんの子育てや教育にもっとも影響すると思われるものとして、あてはまる番号すへて○をつけてください。

1. 家庭	2. 地域	3. 幼稚園	4. 保育所	5. 認定こども園
6. その他 ()				

問11 日頃、封筒のあて名のお子さんの面倒をみてもらえる人はいいますか。あてはまる番号すへて○をつけてください。

1. 日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる ……………→問11-1ハ
2. 緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる …→問11-1ハ
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる ……………→問11-2ハ
4. 緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる ……………→問11-2ハ
5. いずれもない ……………→問12ハ

問11-1 問11で「1.」または「2.」を選ばれた方におうかがいします。お子さんをご自身や配偶者の親、親せきにみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すへて○をつけてください。

1. ご自身や配偶者の親、親せきなので、安心して子どもをみてもらえる
2. ご自身や配偶者の親、親せきの身体的負担が大きく心配である
3. ご自身や配偶者の親、親せきの時間的制約が大きく心配である
4. ご自身や配偶者の親、親せきの精神的な負担が大きく心配である
5. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
6. 子どもの教育や発達にさらわしい環境であるか、少し不安がある
7. その他 ()

→問12ハ

問11-2 問11で「3.」または「4.」を選ばれた方におうかがいします。お子さんを友人や知人にみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すへて○をつけてください。

1. 友人や知人なので、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人や知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人や知人の時間的制約が大きく心配である
4. 友人や知人の精神的な負担が大きく心配である
5. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
6. 子どもの教育や発達にさらわしい環境であるか、少し不安がある
7. その他 ()

→問12ハ

問12 あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. いる/ある ……→問12-1ハ	2. いない/ない ……→問13ハ
--------------------	-------------------

問12-1 問12で「1. いる/ある」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すへて○をつけてください。

1. 配偶者
2. ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族
3. 友人や知人
4. 近所の人
5. 地域子育て支援拠点、児童館などの子育て支援施設やNPOなどの子育て支援団体
6. 子どもの健診などを行ってくれる保健センター (健康増進課)
7. 幼稚園の先生
8. 保育所の先生
9. 民生委員・児童委員、主任児童委員
10. かかりつけの医師
11. 市役所の子育て支援担当の窓口
12. 携帯電話やインターネットの交流サイト
13. キンダー・カウンセラー (子育て相談を行うため私立幼稚園に配置された臨床心理士等)
14. スマイルサポーター (私立保育所における知事認定を受けた地域貢献支援員)
15. その他 ()

問13 お子さんの子育てや教育のために、身近な人、市役所の職員などからどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

--

問14 封筒のあて名のお子さんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
【父子家庭の場合は記入不要です。→問15ハ】

1. フルタイムで働いている	
2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる (産休・育休・介護休業中)	→問14-1ハ
3. パート・アルバイトなどで働いている	
4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる (産休・育休・介護休業中)	
5. 以前は働いていたが、今は働いていない	→問15ハ
6. これまで働いたことがない	

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

問 14-1 問 14 で「1.」から「4.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。1 週間にどのくらいの日数働きますか。また、1 日あたりどのくらいの時間働きますか。（ ）内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間

問 14-2 問 14 で「1.」から「4.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、2 4 時間制でお答えください。

家を出る時間 (:) 帰宅時間 (:)

問 15 封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に 1 つだけ O をつけてください。

【母子家庭の場合は記入不要です。問 14 で「3.」「4.」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事を
をお持ちの方（休業中の方も含む）は問 16 ハ、「5.」「6.」を選ばれた、仕事をお持ちでない方
は問 17 ハ】

1. フルタイムで働いている
2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）
3. パート・アルバイトなどで働いている
4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる
（育休・介護休業中）
5. 以前は働いていたが、今は働いていない
6. これまで働いたことがない

→ 問 15-1 ハ

※「フルタイム」…1 週間に 5 日程度、1 日に 8 時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

問 15-1 問 15 で「1.」から「4.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。1 週間にどのくらいの日数働きますか。また、1 日あたりどのくらいの時間働きますか。（ ）内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間

問 15-2 問 15 で「1.」から「4.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、2 4 時間制でお答えください。

家を出る時間 (:) 帰宅時間 (:)

→ 問 15 で「3.」「4.」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）は問 16 ハ、それ以外の方は問 18 ハ

問 16 問 14 または問 15 で、「3.」または「4.」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）におうかがいします。フルタイムへの転職希望はありますか。あてはまる番号に 1 つだけ O をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

※「フルタイム」…1 週間に 5 日程度、1 日に 8 時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労
→ 問 18 ハ

問 17 問 14 または問 15 で「5.」または「6.」を選ばれた、仕事をお持ちでない方におうかがいします。働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に 1 つだけ O をつけ、（ ）内に具体的な数字を入れてください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1 年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに働きたい 問 17-1 も回答し
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に働きたい → ください
→ 希望する働き方 (ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイトなど)
→ 1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1 年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに働きたい 問 17-1 も回答し
3. すぐにも、もしくは 1 年以内に働きたい → ください
→ 希望する働き方 (ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイトなど)
→ 1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間

※「フルタイム」…1 週間に 5 日程度、1 日に 8 時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

→ (1) または (2) で「2.」「3.」を選ばれた方は問 17-1 ハ、それ以外の方は問 18 ハ

問 17-1 問 17 の (1) または (2) で「2.」「3.」を選ばれた、今後働きたいと考えておられる方におうかがいします。働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに O をつけてください。

1. 働かないと、暮らしていけなくなるため
2. 将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）
3. 仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
4. 人間関係を広げたいため
5. その他 ()

→ 問 18 ハ

封筒のあて名のお子さんが、平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所などについておうかがいします。

問 18 平日（月曜日から金曜日）に、幼稚園や保育所などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的に」利用されていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 利用している ……→ 問 18-2へ 2. 利用していない ……→ 問 18-1へ

問 18-1 問 18で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない
 2. 自身や配偶者の親、親せきがみている
 3. 近所の人や友人・知人がみている
 4. 利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない
 5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
 6. 利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
 7. 利用したいが、サービスの質や場所などで納得できる幼稚園や保育所がない
 8. 子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている
 9. その他（ ）

→問 20へ

問 18-2 問 18で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。封筒のあて名のお子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用されている施設やサービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【教育・保育】

- 幼稚園（通常の就園時間だけ利用している）
- 幼稚園＋幼稚園の預かり保育（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている）
- 認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育園）
- 認定こども園（施設の中に幼稚園と保育所がある施設）
- 多家庭的保育（保育士などがその自宅などで子どもを預かるサービス）
- 事業所内保育施設（会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設）
- 市役所が認証・認定した保育施設（認可外だが、市役所が定める基準を満たした施設）
- その他の認可外の保育施設
- 匿名訪問型保育（ベビシッターなどが自宅を訪問して子どもをみてくれるサービス）

【子育て支援】

- 地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場
- ファミリー・サポーター・センチナ（市役所の委託を受けた社会福祉協議会に登録している近所の人が子どもをみてくれるサービス）

【その他】

12. その他（ ）

→問 18-3へ

問 18-3 問 18で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在利用している幼稚園や保育所などの施設やサービスを1週間について、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日あたり何時間（何時から何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように24時間制で記入してください。

(1) 現在

1週当たり（ ）日
 1日当たり（ ）時間（ ）～（ ）

(2) 希望

1週当たり（ ）日
 1日当たり（ ）時間（ ）～（ ）

問 18-4 問 18で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。現在、利用されている施設などはどこにありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。「2.」を選択された方は、その市町村名についても（ ）内に記入してください。

1. 住んでいる池田市内（自宅を訪問するサービスも含む）
 2. 他の市町村（ ）

問 18-5 問 18で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用されている理由について、もっともあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
 2. 保護者が働いている
 3. 保護者が働く予定である、または、仕事を探している
 4. 保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
 5. 保護者に病気や障がいがある
 6. 保護者が学生である
 7. その他（ ）

封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。（平日に定期的に幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用している方のみ）

問 19 平日に定期的に幼稚園や保育所などを利用していると答えた保護者の方（問 18で1に○をつけた方に）、封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用できなかったことはありませんか。

1. あった ……→ 問 19-1へ 2. なかった ……→ 問 20へ

問 19-1 問 19-2 で「1. あった」「2. なかった」を選ばれた方におうかがいします。この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用できなかった場合の対応方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について()内に具体的な数字を入れてください。(半日程度についても1日としてカウントしてください)

対応方法	日数(年間)
1. 父親が仕事を休んだ	() 日
2. 母親が仕事を休んだ	() 日
3. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)	() 日
4. 働いていない父親が母親が子どもをみた	() 日
5. 保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を 利用した	() 日
6. ハビニューターを利用した	() 日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	() 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日
9. その他()	() 日

問 19-5へ

問 19-2 問 19-1 で「1.」「2.」を選ばれた、子どもの病気のため仕事をした方におうかがいします。そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は()内に具体的な数字を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかります。また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

1. できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい → () 日 …… 問 19-3へ

2. 利用したいと思わない …… 問 19-4へ

問 19-3 問 19-2 で「1. 利用したい」と思われた方におうかがいします。利用する場合、下記いずれのサービスが望ましいと思われましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・保育所などに併設した施設で子どもをみてくれるサービス

2. 小児科に併設した施設で子どもをみてくれるサービス

3. ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人がその自宅などで子どもをみてくれるサービス

4. 民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス

5. その他()

→問 20へ

問 19-4 問 19-2 で「2. 利用したいと思わない」を選ばれた方におうかがいします。その理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病気の子どもを家族以外の人がみてもらうのは不安である

2. 病気の子どもは家族がみるべきである

3. サービスの質に不安がある

4. 施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない

5. 利用料がかかる、高い

6. 利用料がわからない

7. 父母が仕事を休んで対応できるため

8. その他()

9. 特に理由はない

→問 20へ

問 19-5 問 19-1 で「3.」から「9.」を選ばれた、仕事を休まずに対応された方におうかがいします。「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみてほしい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、選ばれた「3.」から「9.」で記入された日数のうち、仕事を休んでお子さんの看病をしたと思われた日数について、()内に具体的な数字を入れてください。

1. できれば仕事を休んで子どもをみてほしい → () 日 …… 問 20へ

2. 仕事を休んで子どもをみることは非常にむずかしい …… 問 19-6へ

問 19-6 問 19-5 で「2.」を選ばれた、仕事を休まないで対応される方におうかがいします。そう思われる理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由にして休みがとれない

2. 自営業なので休めない

3. 子どもの看護休暇の日数が足りないので休めない

4. その他()

平日(月曜日から金曜日)に、封筒のあて名のお子さん定期的に利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについておうかがいします。

問 20 幼稚園や保育所などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日(月曜日から金曜日)に封筒のあて名のお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの施設やサービスを利用するためには、一定の利用料を支払う必要があります。

【教育・保育】

1. 幼稚園(通常の就園時間だけ利用)

2. 幼稚園+幼稚園の預かり保育(通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている)

3. 認可保育所(市役所に申し込んで入る公立保育所や私立保育園)

4. 認定こども園(施設の中に幼稚園と保育所がある施設)

5. 小規模な保育施設(主に3歳未満の子どもをおおむね6~9人預かる施設で、市役所が認可したもの)

6. 家庭的保育(保育士などがその自宅などで子どもを預かるサービス)

7. 事業所内保育施設(会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設)

8. 市役所が認証・認定した保育施設(認可外だが、市役所が定める基準を満たした施設)

9. その他の認可外の保育施設

10. 居宅訪問型保育(パピーシッターなどが自宅を訪問して子どもをみてくれるサービス)

【子育て支援】

11. 地域子育て支援拠点など子育ての仲間が集まる場

12. アミリー・サポート・センター(市役所の委託を受けた社会福祉協議会に登録している近所の人が子どもをみてくれるサービス)

【その他】

13. 特になし

14. その他()

問 20-1 利用を希望している施設やサービスはどこにありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。「2.」を選択された方は、その市町村名についても()内に記入してください。

1. 住んでいる池田市内	2. 他の市町村 ()
--------------	--------------

幼稚園のあて名のお子さんについて、幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望についておうかがいします。

問 21 幼稚園のあて名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日に、幼稚園や保育所などの利用希望がありますか。(仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。)あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。希望がある場合は、()内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず(9:00~18:00)のように24時間制で記入してください。なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	→利用したい時間帯 (:) ~ (:)
2. ほぼ毎週利用したい	→利用したい時間帯 (:) ~ (:)
3. 月に1~2回は利用したい	→利用したい時間帯 (:) ~ (:)

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない	→利用したい時間帯 (:) ~ (:)
2. ほぼ毎週利用したい	→利用したい時間帯 (:) ~ (:)
3. 月に1~2回は利用したい	→利用したい時間帯 (:) ~ (:)

問 21-1 問 21 の(1)または(2)で、「3. 月に1~2回は利用したい」を選ばれた方におうかがいします。それ以外の方は問 22へお進みください。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日にすませられない用事をまとめてすませるため
3. ご自身や配偶者の病、親せきの介護や手伝いが必要のため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

問 22 幼稚園のあて名のお子さんが「幼稚園」を利用されている方におうかがいします。利用していない方は問 23へお進みください。夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。希望がある場合は、()内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず(9:00~18:00)のうちに24時間制で記入してください。なお、これらの施設などを利用するためには、一定の利用料が必要です。

1. 利用する必要はない	→利用したい時間帯 (:) ~ (:)
2. 休みの期間中、ほぼ毎日使いたい	→利用したい時間帯 (:) ~ (:)
3. 休みの期間中、週に数日利用したい	→利用したい時間帯 (:) ~ (:)

問 22-1 問 22 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方におうかがいします。それ以外の方は問 23へお進みください。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物などの用事をまとめてすませるため
3. ご自身や配偶者の病、親せきの介護や手伝いが必要のため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

育児休業など、仕事と子育ての両立についておうかがいします。

問 23 幼稚園のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。父親について、「2.」を選ばれた場合は、育児休業を取得された、あるいは、取得予定の日数について()内に数字を入れてください。また、「3.」「4.」選ばれた場合は、その理由を枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選択し、その番号を記入してください。

(1) 母親

1. 働いていなかった	
2. 育児休業を取った、あるいは、今取っている	
3. 育児休業を取らずに働いた	→ その理由 (番号を選択) () ←
4. 育児休業を取らずに離職した	→ その理由 (番号を選択) () ←

(2) 父親

1. 働いていなかった	
2. 育児休業を取った、あるいは、今取っている () 日	
3. 育児休業を取らずに働いた	→ その理由 (番号を選択) () ←
4. 育児休業を取らずに離職した	→ その理由 (番号を選択) () ←

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	番号を選択し、カッコ内に記入
2. 仕事が忙しかった	
3. 出産後すぐに仕事に復帰したかった	
4. 仕事に戻るのが難しかった	
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	
7. 保育所などに預けることができた	
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	
9. 配偶者が無職である、ご自身や配偶者の親などにみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	
10. 子育てや家事に専念するため	
11. 職場に育児休業の制度がなかった	番号を選択し、カッコ内に記入
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	
13. 育児休業を取れることを知らなかった	
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らなかった	
15. その他 ()	

問 23-1 子どもが1歳（一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが3歳になるまでの育児休業などの期間について健康保険や厚生年金の保険料が免除になる仕組みがありますが、知っていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |
|--|

→問 23 の (1)、(2) で1つでも「2.」を選んだ方は問 23-2△、それ以外の方は問 24△

問 23-2 問 23 の (1)、(2) で1つでも「2.」を選ばれた、育児休業を取られた方におうかがいします。育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号1つだけを選び、その番号を記入してください。(問 23 で、片方が「2.」を選び、もう片方が「2.」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。)

- | | | |
|------------|---|-----------------------|
| (1) 母親 () | ↓ | 1. 育児休業を取ったあと、職場に復帰した |
| (2) 父親 () | ↓ | 2. 現在も育児休業中である |
| | | 3. 育児休業中に仕事をやめた |

→ (1)、(2) で1つでも「1.」を選ばれた方は問 23-3を、また (1)、(2) で1つでも「2.」を選ばれた方は問 23-9を、それぞれ合わせてお答えください。(1)、(2) とも「3.」を選ばれた方は、問 24△お進みください。

問 23-3 問 23-2 の (1)、(2) で1つでも「1.」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。育児休業から職場に復帰されたのは、4月の保育所の一斉入所するときでしたか。あるいはそれ以外のことでしたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号1つだけを選び、その番号を記入してください。4月からの保育所入所の申し込みをしたうえで、1月～2月ごろに職場に復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合は「1.」を選択してください。また、この場合で、実際には保育所に入らなかったという場合も「1.」を選択してください。(問 23-2 で、片方が「1.」を選び、もう片方が「1.」以外を選んでいる場合、もう片方については () 内を空白にしてください。)

- | | | |
|------------|---|------------------|
| (1) 母親 () | ↓ | 1. 4月の一斉入所のときだった |
| (2) 父親 () | ↓ | 2. それ以外だった |

問 23-4 問 23-2 の (1)、(2) で1つでも「1.」を選ばれた、職場復帰を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内でのことになりましたか。「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたいですか。() 内に具体的な数字を入れ、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。(問 23-2 で、片方が「1.」を選び、もう片方が「1.」以外を選んでいる場合、もう片方については () 内を空白にしてください。)

- (1) 母親
- | | |
|----------------------|---|
| 実際の取得期間 () 歳 () ヶ月 | 希望の取得期間 () 歳 () ヶ月 |
| 該当する番号1つに○ | 1. 満1歳まで
2. 出生後最初の4月の一斉入所時
3. 出生後2度目の4月の一斉入所時
4. その他 () |

- (2) 父親
- | | |
|----------------------|---|
| 実際の取得期間 () 歳 () ヶ月 | 希望の取得期間 () 歳 () ヶ月 |
| 該当する番号1つに○ | 1. 満1歳まで
2. 出生後最初の4月の一斉入所時
3. 出生後2度目の4月の一斉入所時
4. その他 () |

問 23-5 問 23-2 の (1)、(2) で1つでも「1.」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。() 内に具体的な数字を入れてください。(問 23-2 で、片方が「1.」を選び、もう片方が「1.」以外を選んでいる場合、もう片方については枠内を空白にしてください。)

- (1) 母親 () 歳 () ヶ月
- (2) 父親 () 歳 () ヶ月

問 23-6 問 23-4 で実際の復帰と希望が異なる方におうかがいします。希望の時期に職場復帰しなかった理由について、枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。(問 23-4 で、片方が実際の復帰と希望が異なり、もう片方が実際の復帰と希望が同じの場合、もう片方については () 内を空白にしてください。)

【母親、父親とも実際の復帰と希望が同じ方は、問 23-7△】

(1) 「希望」より早く復帰した方

- | | | |
|----------|---|-------------------------|
| ア 母親 () | ↓ | 1. 希望する保育所に入るため |
| イ 父親 () | ↓ | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| | | 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため |
| | | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| | | 5. その他 () |

(2) 「希望」より遅く復帰した方

- | | | |
|----------|---|--------------------------|
| ア 母親 () | ↓ | 1. 希望する保育所に入るため |
| イ 父親 () | ↓ | 2. 自分や子どもなどの体調が悪くなくなったため |
| | | 3. 配偶者や家族の希望があったため |
| | | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| | | 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| | | 6. その他 () |

問 23-7 問 23-2の(1)、(2)で1つでも「1.」を選ばれた、育児休業を取ったあと、職場復帰された方におうかがいします。育児休業を終え、職場復帰するときに、短時間勤務制度を利用しましたか。枠内の選択肢の中からあてはまる番号1つだけを選び、その番号を記入してください。(問 23-2で、片方が「1.」を選び、もう片方が「1.」以外を選んでいる場合、もう片方については()内を空白にしてください。)

(1) 母親 ()
 (2) 父親 ()

1. 利用する必要がなかった
 (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
 2. 利用した
 3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)

→ (1)、(2)のいずれか1つでも「3.」を選ばれた方は問 23-8△、それ以外の方は問 24△

問 23-8 問 23-7の(1)、(2)で1つでも「3.」利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)「3.」を選ばれた方におうかがいします。利用しなかった理由について、枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を()内に記入してください。(問 23-7で、片方が「2.」を選び、もう片方が「2.」以外を選んでいる場合、もう片方については()内を空白にしてください。)

(1) 母親 ()
 (2) 父親 ()

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が忙しかった
 3. 短時間勤務にすると給与が減額される
 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
 6. 配偶者が無職である、祖父母などにみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
 7. 子育てや家事に専念するため退職した
 8. 職場に短時間勤務制度がなかった
 9. 短時間勤務制度を利用できなくなった
 10. その他()

問 23-9 問 23-2の(1)、(2)で1つでも「2.」現在も育児休業中である」を選ばれた方におうかがいします。れ以外の方は問 24△お進みください。封筒のあて名のお子さんが1歳になつたときに必ず保育所などに預けることができれば、1歳になるまで育児休業を取りまつか。または、保育所などに預けられたとしても1歳になる前に復帰しますか。あてはまる番号の番号に1つだけ○をつけてください。(問 23-2で、片方が「2.」を選び、もう片方が「2.」以外を選んでいる場合、もう片方については○をつけずください。)

(1) 母親
 1. 1歳になるまで育児休業を取りたい 2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親
 1. 1歳になるまで育児休業を取りたい 2. 1歳になる前に復帰したい

問 24 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思えますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を1つだけ記入してください。

(1) 母親
 ア. 平日 子どもと一緒に過ごす時間 () 時間
 番号を選択 () <-----
 イ. 休日 子どもと一緒に過ごす時間 () 時間
 番号を選択 () <-----

(2) 父親
 ア. 平日 子どもと一緒に過ごす時間 () 時間
 番号を選択 () <-----
 イ. 休日 子どもと一緒に過ごす時間 () 時間
 番号を選択 () <-----

番号を1つ選択し、カッコ内に記入

1. 十分だと思う
 2. まあまあ十分だと思う
 3. あまり十分だと思わない
 4. 不十分だと思う
 5. わからない

問 25 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を()内に記入してください。

(1) 母親 () 時間
 () 時間

(2) 父親 () 時間
 () 時間

問 26 仕事と子育てを両立させる上での課題と思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 残業や出張が入ること
 2. 子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと
 3. 配偶者の協力が得られないこと
 4. ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと
 5. 職場に子育てを支援する制度がないこと
 (育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など)
 6. 職場の理解や協力が得られないこと
 7. 子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならぬこと
 8. 子どもを預かってくれる保育所などがみつからないこと
 9. 子どもと接する時間が少ないこと
 10. その他()

→封筒のあて名のお子さんが、5歳未満の方は問 31△、5歳以上の方は問 27△

封筒のあて名をお子さんがら書以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についておうかがいします。

問 27 小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で開催したいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、()内に具体的な数字を入れてください。

「留守家庭児童会」を選択された場合には、利用を希望する時間についても()内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。

1. 自宅	週 () 日<5い
2. ご自身や配偶者の親、親せきの家、友人・知人の家	週 () 日<5い
3. 留守家庭児童会	週 () 日<5い → 下校時から (:) まで
4. 放課後子ども教室（キッズクラブなど）	週 () 日<5い
5. 児童館	週 () 日<5い
6. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週 () 日<5い
7. ファミリー・サポート・センター	週 () 日<5い
8. その他（公民館、公園など）	週 () 日<5い

※「留守家庭児童会」…保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

※「放課後子ども教室」(キッズクラブなど)…地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校や公民館で、学習、スポーツ、文化芸術活動などを体験するものです。すべての小学生が利用できます。

※選択肢「5.」の児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「3.」に○をつけてください。

問 28 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのように場所で開催したいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、()内に具体的な数字を入れてください。

「留守家庭児童会」を選択された場合には、利用を希望する時間についても()内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。

※たいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 () 日<5い
2. ご自身や配偶者の親、親せきの家、友人・知人の家	週 () 日<5い
3. 留守家庭児童会	週 () 日<5い → 下校時から (:) まで
4. 放課後子ども教室（キッズクラブなど）	週 () 日<5い
5. 児童館	週 () 日<5い
6. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	週 () 日<5い
7. ファミリー・サポート・センター	週 () 日<5い
8. その他（公民館、公園など）	週 () 日<5い

※選択肢「5.」の児童館で行う留守家庭児童会を利用している場合は「3.」に○をつけてください。問 27 または問 28 で「3.」を選ばれた方は問 29 △、それ以外の方は問 31 △

問 29 問 27 または問 28 で「3. 留守家庭児童会」を選ばれた方におうかがいします。土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童会の利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号に「1」だけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、()内に（9:00～18:00）のように24時間制で入れてください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯 (:) ～ (:)
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	利用したい時間帯 (:) ～ (:)
3. 利用する必要はない	

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯 (:) ～ (:)
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	利用したい時間帯 (:) ～ (:)
3. 利用する必要はない	

問 30 問 27 または問 28 で「3. 留守家庭児童会」を選ばれた方におうかがいします。お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の留守家庭児童会の利用希望はありますか。あてはまる番号に「1」だけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、()内に（9:00～18:00）のように24時間制で入れてください。なお、サービスの利用にあたっては、利用料が発生します。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	利用したい時間帯 (:) ～ (:)
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	利用したい時間帯 (:) ～ (:)
3. 利用する必要はない	

封筒のあて名をお子さんの幼稚園や保育所などの不定期な利用や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についておろがいがいいです。

問 31 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。(幼稚園や保育所などの定期的な利用や子どもが病気などのときの保育施設などの利用は除きます。) あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について()内に具体的な数字を入れてください。

利用したサービス	日数(年間)
1. 一時預かり(私用などの理由で、保育所などで一時的に子どもを保育するサービス)	()日
2. 幼稚園の預かり保育(幼稚園に通う子どもを対象にして、通常の就園時問を延長して預かるサービスを不定期に利用している場合)	()日
3. ファミリー・サポート・センター(市役所の委託を受けた社会福祉協議会に登録している近所の人が子どもをみてくれるサービス)	()日
4. 夜間看護事業：トワイライストデイ(仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの)	()日
5. ハビーター	()日
6. その他()	()日
7. 利用していない	()日

→「1.」から「6.」を選ばれた方は問32△、「7.」を選ばれた方は問31-1△

問 31-1 問 31で「7. 利用していない」を選ばれた方におろがいがいいです。現在利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	()
2. 利用したいサービスが近くにない	()
3. サービスの質に不安がある	()
4. 施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない	()
5. 利用料がかかる、高い	()
6. 利用料がわからない	()
7. ご自身がサービスの対象になるのかがわからない	()
8. 手続きなどサービスの利用方法がわからない	()
9. その他()	()

問 32 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、1年間に何日くらい保育所などで実施されている「一時預かり」を利用したいと思えますか。利用したいか、する必要がないかについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。利用したい場合、利用したい目的ごとに()内に日数を記入し、合計の枠内についても記入してください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

利用したい	合計()日
ア. 買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ	()日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	()日
ウ. 不定期な仕事	()日
エ. その他()	()日
2. 利用する必要はない	()日

→「1.」を選ばれた方は問32-1△、「2.」を選ばれた方は問33△

問 32-1 問 32で「1. 利用したい」を選ばれた方におろがいがいいです。問 32の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと聞われますか。あてはまる番号の番号すべてに○をつけてください。なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

1. 幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてくれるサービス
2. 地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてくれるサービス
3. ファミリー・サポート・センターに登録している近所の人などがその自宅などで子どもをみてくれるサービス
4. 民間事業者などが自宅を訪問し、子どもをみてくれるサービス
5. その他()

問 33 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけで」家族以外にみてもらわなさいといかないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。) あったか、なかったかについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。あった場合、その対処方法ごとに枠内に日数を記入し、合計の枠内についても記入してください。

対処方法	泊数(年間)
1. あった	()泊
ア. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む)	()泊
イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設などで一定期間子どもを預かるの)	()泊
ウ. イ以外の保育サービス(認可外保育施設、ハビーターなど)を利用した	()泊
エ. 仕方なく子どもを同行させた	()泊
オ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	()泊
カ. その他	()泊
2. なかった	()泊

→「1.」の「ア.」を選ばれた方は問33-1△、それ以外の方は問34△

問 33-1 問 33で「1.」で「ア.」を選ばれた、ご自身や配偶者の親などにみてもらった方におろがいがいいです。その場合の困難度ほどの程度でしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかという困難
3. 特に困難ではない

封筒のあて名の皆さんの地域の子育て支援サービスの利用状況についてお聞きいたします。

問 34 地域子育て支援拠点事業についてお聞きいたします。現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数について、() 内に具体的な数字を入れてください。

1. 地域子育て支援拠点事業	
1 週間あたり () 回 または 1 ヶ月あたり () 回程度	
2. その他市(町/村)が実施している類似の事業 (具体名:)	
1 週間あたり () 回 または 1 ヶ月あたり () 回程度	
3. 利用していない	

※地域子育て支援拠点事業…親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」「わだばうし」「ホップくん」「もりもりKIDS」「ポンポコクラブ」です。

問 35 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は() 内に具体的な数字を入れてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい	
1 週間あたり () 回 または 1 ヶ月あたり () 回程度	
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	
1 週間あたり () 回 または 1 ヶ月あたり、さらに () 回程度	
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたりしたいとは思わない……> 問 36 へ	

→ 問 35-1 問 35 で「1.」「2.」を選ばれた、地域子育て支援拠点事業を利用している方にお聞きいたします。地域子育て支援拠点事業を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。利用したいサービスを3つまで○をつけてください。なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

1. 常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供	
2. 子育てに関する相談・援助	
3. 地域の子育て関連情報の提供	
4. 子育てに関する講習	
5. 地域に出向いての交流の場の提供(出張ひろば)	
6. 保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談	
7. さまざまな世代との交流の場の提供	
8. 家庭への訪問支援	
9. その他 ()	

問 36 子育て支援サービスの認知度・利用度についてお聞きいたします。下記のサービスで知っているものや、これまでに利用したことがありますか。また、今後、利用したいと思うものはありますか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

	知っている	利用したことがある	今後利用したい
①ファミリーワン、父親準備教室、親子教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健わかー(健康増進課)の育児相談会	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④保育所や幼稚園の園庭などの開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤児童館・青少年会館(センター)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥子育ての相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦自治体が発行する子育て支援情報誌	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧養育支援家庭訪問事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

※「養育支援家庭訪問事業」…さまざまな原因で子育ての支援が必要な家庭に子育て経験者による家事や子育ての援助、保健師による訪問指導などを実施する。

市役所などへの要望についてお聞きいたします。

問 37 池田市における子育て環境や子育て支援への満足度について当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

満足度が低い ←	1	2	3	4	5 → 満足度が高い
----------	---	---	---	---	------------

問 38 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する	
2. 親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす	
3. 親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を整備する	
4. 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組み	
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する	
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する	
7. 子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る	
8. 子育てサークル活動への支援を充実する	
9. 保育所や留守家庭児童会など子どもを預ける施設を増やす	
10. 幼稚園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する	
11. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPOなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う	
12. 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する	
13. 子どもの安全を確保する対策を充実する	
14. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる	
15. 育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充	
16. 公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組み	
17. その他 ()	
18. 特になし	

封筒のあて名のお子さんの生活習慣についておうかがいします。

問 39 お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 朝ごはんを食べますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 毎日食べる | 2. 食べる日のほうが多い |
| 3. 食べない日のほうが多い | 4. ほとんど食べない |

(2) 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. する | 2. しない |
|-------|--------|

(3) 平日のテレビ・ビデオ（ゲームを含む）の1日あたり平均視聴時間は何時間ですか。

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 30分以内 | 2. 1時間以内 |
| 3. 1時間30分以内 | 4. 2時間以内 |
| 5. 2時間以上 | |

(4) 就寝時刻は何時ですか。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 20時半より前 | 2. 20時半～21時 |
| 3. 21時～21時半 | 4. 21時半～22時 |
| 5. 22時～23時 | 6. 23時以降 |

子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保についておうかがいします。

問 40 封筒のあて名のお子さんさんと外出されるときに、困ること、困ったことはありませんか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配 |
| 2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている |
| 3. 交通機関や建物かベビーカーでの移動に配慮されていない |
| 4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない |
| 5. 授乳する場所や必要な設備がない |
| 6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない |
| 7. 買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない |
| 8. 緑や広い歩道が少ないなど街並みにゆとりととうるおかない |
| 9. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見る |
| 10. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ない |
| 11. 特になし |
| 12. その他（ ） |

問 41 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 満足している | 2. 満足していない |
| 3. どちらとも思わない | 4. わからない |

問 42 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 近くに遊び場がない |
| 2. 雨の日に遊べる場所がない |
| 3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない |
| 4. 遊具などの種類が充実していない |
| 5. 不衛生である |
| 6. いつも閑散としていて寂しい感じがする |
| 7. 遊具などの設備が古くて危険である |
| 8. 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない |
| 9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない |
| 10. 公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない |
| 11. 遊び場周辺の道路が危険である |
| 12. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がない |
| 13. その他（ ） |
| 14. 特に感じることはない |

子育てに対する意識についておうかがいします。

問 43 近所（お住まいの近く）で日常的にちよっとした子どもたちの話や世間話をする人はいいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 44 ご自身にとっても子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 楽しいと感じることの方が多い | → 問 44-1 △ |
| 2. 楽しいと感じることつらいと感じることが同じくらい | → 問 44-2 △ |
| 3. つらいと感じることの方が多い | → 問 45 △ |
| 4. わからない | |
| 5. その他（ ） | |

問 44-1 問 44 で「1.」を選ばれた、子育てを楽しんでいる方におうかがいします。子育てをすすめる中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など） |
| 2. 保育サービスの充実 |
| 3. 子育て支援のネットワークづくり |
| 4. 地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など） |
| 5. 訪問型の支援サービスの充実 |
| 6. 健やかな妊娠・出産に対する支援 |
| 7. 子どもの教育環境 |
| 8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実 |
| 9. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備 |
| 10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 |
| 11. 支援を要する子どもに対する支援 |
| 12. その他（ ） |
- 問 45 △

(参考) 平成27年度から実施される「子ども・子育て支援新制度」では、放課後児童クラブなど、地域のニーズに応じた多様な子育て支援の充実などの取り組みが実施される予定です。

池田市次世代育成支援に関する二一ズ等調査

(就学児童用調査票)

皆様には池田市政にご理解とご協力とご協力をたまたわり誠にありがとうございます。

池田市では、次代の社会を担う子どもを育成し、その家族を支援するなどを目的とした次世代育成支援対策推進法に基づく「次世代育成支援行動計画」を策定し、この計画に基づき、子ども・子育て支援などに関するさまざまな施策を実施しています。この計画が平成26年度で終了するため、この計画の目的を引き継ぐ新たな計画の策定に現在取り組んでいます。また、子ども・子育て支援法に基づく子ども・子育て支援に関する新たな制度(以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。)が平成27年度から始まることから予定されており、この制度に基づく「子ども・子育て支援事業計画」としてもあわせて策定することとしております。

本調査は、新たな計画の策定にあたって、市民のみなさんが必要とされている子ども・子育て支援などに関する施策の必要量や施策に対する意向を把握するための調査です。本市の施策の向上のため、ご協力をいただきますようお願いいたします。

平成25年11月

池田市長 小南 修身

調査内容について

この調査の調査内容は次のとおりです。

1. 家庭の基本情報について(問1~問12)
家族構成や保護者の働いておられる状況など、家庭の基本情報についてお聞きします。ご家庭の状況により必要なサービスは異なってきますので、サービス提供のための前提となる調査です。
2. 留守家庭児童会などの子育て支援サービスについて(問13~問22)
留守家庭児童会など、子育てを支援するサービスについて、どれくらい利用希望があるのかなどをお聞きします。また、仕事と子育ての両立についてもあわせてお聞きします。ご回答いただいた内容は、子育て支援サービスの充実などに反映されます。
3. 子どもや子育て支援に関する意識などについて(問23~問33)
子育てについての意識や子育て環境についてお聞きします。子育て支援サービスを展開していくにあたって前提となる保護者のみなさんの意識などについて把握します。
4. 記入後は、お手数ですが、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、12月6日(金)までにポストにご投函ください
5. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

池田市 子ども・健康部 子育て支援課 電話：072-754-6525

子ども・子育て支援新制度の考え方(内閣府、文部科学省、厚生労働省)

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができることを実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした養育形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性のある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要で、子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通して、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるようなことができるような支援を目指しています。

ご家族の構成や保護者の働いている状況などについておうかがいします。

問1 お住まいの地域の小学校校区名を()内に記入してください。

()小学校区

*小学校区が分からない場合は、町名を記入してください。

()

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さんからみただけで、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問3 封筒のあて名のお子さんの生年月月について、「平成」か「西暦」に○をつけ、()内に数字を入れてください。

平成・西暦()年()月生まれ

問4 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢(平成25年4月1日現在の年齢)を()内に記入してください。

()人 末子の年齢()歳

問5 封筒のあて名のおおさんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のおおさんからみただけです。

1. 父と一緒に住んでいる	2. 父と一緒に住んでいる (父子家庭)
3. 母と一緒に住んでいる (母子家庭)	4. 祖父と一緒に住んでいる
5. 祖母と一緒に住んでいる	6. 祖父が近所に住んでいる
7. 祖母が近所に住んでいる	8. その他 ()

問6 封筒のあて名のおおさんの子育てや教育を主にやっている方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のおおさんからみただけです。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父母
5. その他 ()			

問7 日頃、おおさんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる	→問7-1ハ
2. 緊急時もしくは用事のときにはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる	→問7-1ハ
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる	→問7-2ハ
4. 緊急のときや用事があるときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる	→問7-2ハ
5. いずれもない	→問8ハ

問7-1 問7で「1.」または「2.」を選ばれた、おおさんをご自身や配偶者の親、親せきにみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ご自身や配偶者の親、親せきなので、安心して子どもをみてもらえる	
2. ご自身や配偶者の親、親せきの身体的負担が大きく心配である	
3. ご自身や配偶者の親、親せきの時間的制約が大きく心配である	
4. ご自身や配偶者の親、親せきの精神的な負担が大きく心配である	
5. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	
6. 子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか、少し不安がある	
7. その他 ()	

→問8ハ

問7-2 問7で「3.」または「4.」を選ばれた、おおさんを友人や知人にみてもらっている方におうかがいします。子どもをみてもらっていることに対する気持ちとして、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人や知人なので、安心して子どもをみてもらえる	
2. 友人や知人の身体的負担が大きく心配である	
3. 友人や知人の時間的制約が大きく心配である	
4. 友人や知人の精神的な負担が大きく心配である	
5. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい	
6. 子どもの教育や発達にふさわしい環境であるか、少し不安がある	
7. その他 ()	

問8 あて名のおおさんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. いる/ある	→問8-1ハ	2. いない/ない	→問9ハ
----------	--------	-----------	------

問8-1 問8で「1.」いる/ある」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者	
2. ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している) 家族	
3. 友人や知人	
4. 近所の人	
5. 小学校の先生	
6. 留守家庭児童会の指導員	
7. 児童館などの子育て支援施設やNPOなどの子育て支援団体	
8. ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの習い事の先生	
9. 民生委員・児童委員、主任児童委員	
10. かかりつけの医師	
11. 市役所 (町/村役場) の教育相談の窓口	
12. 携帯電話やインターネットの交流サイト	
13. その他 ()	

※「留守家庭児童会」…保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

問9 封筒のあて名のおおさんの「母親」の働いている状況についておうかがいします。自営業や自営業を手広げている場合も含みます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
【父子家庭の場合は記入不要です。→問10ハ】

1. フルタイムで働いている	
2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる (産休・育休・介護休業中)	→問9-1ハ
3. パート・アルバイトなどで働いている	
4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる (産休・育休・介護休業中)	
5. 以前は働いていたが、今は働いていない	→問10ハ
6. これまで働いたことがない	

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

問9-1 問9で「1.」から「4.」を選ばれた、仕事をお持ちの方 (休業中の方も含む) におうかがいします。1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりどのくらいの時間働きますか。() 内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1週当たり () 日	1日当たり () 時間
-------------	--------------

問9-2 問9で「1.」から「4.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）に引き続きお答えをお願いします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間（ ） 帰宅時間（ ）

問10 封筒のあて名のお子さんの「父親」の働いている状況についてお答えをお願いします。自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
【母子家庭の場合は記入不要です。問9で「3.」「4.」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）は問11△、「5.」「6.」を選ばれた、仕事をお持ちでない方は問12△】

1. フルタイムで働いている
2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる（育児・介護休業中）
3. パート・アルバイトなどで働いている
4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育児・介護休業中）
5. 以前は働いていたが、今は働いていない
6. これまで働いたことがない

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

→問10-1△

→問12△

問10-1 問10で「1.」から「4.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）にお答えをお願いします。1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日あたりのどのくらいの時間働きますか。（ ）内に具体的な数字を入れてください。不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

問10-2 問10で「1.」から「4.」を選ばれた、仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）に引き続きお答えをお願いします。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（18：00）のように、24時間制でお答えください。

家を出る時間（ ） 帰宅時間（ ）

→問10で「3.」「4.」を選ばれた、パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）は問11△、それ以外の方は問13△

問11 問9または問10で、「3.」または「4.」を選ばれた、「パート・アルバイトで仕事をお持ちの方（休業中の方も含む）にお答えをお願いします。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどで働き続けることを希望
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労
「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

→問13△

問12 問9または問10で「5.」または「6.」を選ばれた、仕事をお持ちでない方にお答えをお願いします。働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、（ ）内に具体的な数字を入れてください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに働きたい → 問12-1も回答してください
3. すぐにも、もしくは1年以内に働きたい
→希望する働き方（ ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイトなど ）
→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに働きたい → 問12-1も回答してください
3. すぐにも、もしくは1年以内に働きたい
→希望する働き方（ ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイトなど ）
→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

※「フルタイム」…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労

「パート・アルバイトなど」…「フルタイム」以外の就労

→(1)または(2)で「2.」「3.」を選ばれた方は問12-1△、それ以外の方は問13△

問12-1 問12の(1)または(2)で「2.」「3.」を選ばれた、今後働きたいと考えておられる方にお答えをお願いします。働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 働かないと、暮らしていけなくなるため
2. 将来への備えのため（子どもの教育費、老後の備えなど）
3. 仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため
4. 人間関係を広げたいため
5. その他（ ）

封筒のあて名のお子さんの留守家庭児童会の利用についておうえんいたします。

問 13 平日（月曜日から金曜日）に、現在、留守家庭児童会を利用されていますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 利用している ……→ 問 14 ^ 2. 利用していない ……→ 問 15 ^

問 14 問 13 で「1. 利用している」を選ばれた方におうえんいたします。現在利用している留守家庭児童会について、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日あたり何時間（何時まで）利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように24時間制で記入してください。

(1) 現在

1週あたり () 日
1日あたり () 時間 (:) まで

(2) 希望

1週あたり () 日
1日あたり () 時間 (:) まで

問 14-1 問 13 で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きおうえんいたします。留守家庭児童会を利用されている理由について、もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 保護者が働いている
2. 保護者が働く予定である、または、仕事を探している
3. 保護者が自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
4. 保護者に病気や障がいがある
5. 保護者が学生である
6. その他 ()

問 14-2 問 13 で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きおうえんいたします。土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童会の利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。希望がある場合は、（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（18:00）のように24時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほほ毎週利用したい → 利用したい時間帯 (:) ~ (:)
3. 月に1~2回は利用したい → 利用したい時間帯 (:) ~ (:)

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほほ毎週利用したい → 利用したい時間帯 (:) ~ (:)
3. 月に1~2回は利用したい → 利用したい時間帯 (:) ~ (:)

問 14-3 問 14-2 の(1)または(2)で、「3. 月に1~2回は利用したい」を選ばれた方におうえんいたします。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日にすませられない用事をまとめてすませるため
3. ご自身や配偶者の親、親せきの介護や手伝いが必要なため
4. 息抜きのため
5. その他 ()

問 14-4 問 13 で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きおうえんいたします。現在通っている留守家庭児童会にどのようなことを希望しますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 朝の利用時間を延長する 2. 夕方の利用時間を延長する
3. 施設や設備を改善する 4. 指導内容を工夫する
5. その他 ()
6. 特になし

問 14-5 問 13 で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きおうえんいたします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。「1.」を選択した場合は、（ ）内に具体的な数字を入れてください。

1. 留守家庭児童会を利用したい → 小学 () 年生まで利用したい
2. 放課後子ども教室を利用したい
3. スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい
4. 子どもに自宅の留守番をしてもらう
5. その他 ()

※「放課後子ども教室」…キッズクラブなど地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校や公民館で、学習、スポーツ、文化芸術活動などを体験するものです。すべての小学生が利用できません。→問 16 ^

問 15 問 13 で「2. 利用していない」を選ばれた方におうえんいたします。留守家庭児童会を利用していない理由は何ですか。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない
2. ご自身や配偶者の親、親せきがみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 父母とも働いていて利用したいが、留守家庭児童会に空きがない
5. 父母とも働いていて利用したいが、延長・夜間などの時間帯の条件が合わない
6. 父母とも働いていて利用したいが、利用料がかかるため、経済的な理由で利用できない
7. 父母とも働いているが、子どもは放課後に習い事をしているため、利用する必要がない
8. 父母とも働いているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから
9. その他 ()

問 15-1 問 13 で「2. 利用していない」を選ばれた方に引き続きおうえんがいかいします。封筒のあて名のお子さんに、今後、父母とも働く予定があるなどの理由で、留守家庭児童会を利用したいとお考えですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。希望がある場合は、() 内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず(1800)のように24時間制でご記入ください。なお、利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

1. 利用したい	→ 1 週当たり () 日 1 日当たり () 時間 (:) まで
「1.」を 選ばれた 方 →	土曜日の利用希望 1. ある → 1 日当たり () 時間 (:) まで 2. ない
	日曜日・祝日の利用希望 1. ある → 1 日当たり () 時間 (:) まで 2. ない
2. 今後も利用しない	

封筒のあて名のお子さんが病気になることとあての対応や、不定期な一時預かりについておうえんがいかいします。

問 16 封筒のあて名のお子さんが病気になることとあての対応についておうえんがいかいします。この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気がけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった	→ 問 16-1	2. なかった	→ 問 17
--------	----------	---------	--------

問 16-1 問 16 で「1. あった」を選ばれた方におうえんがいかいします。この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について() 内に具体的な数字を入れてください。(半日程度についても1日としてカウントしてください)

対処方法	日数 (年間)
1. 父親が仕事を休んだ	() 日
2. 母親が仕事を休んだ	() 日
3. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)	() 日
4. 働いていない父親か母親が子どもをみた	() 日
5. 保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した	() 日
6. 家事育児代行サービスを利用した	() 日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	() 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番させた	() 日
9. その他 ()	() 日

※ファミリー・サポート・センター……市役所の委託を受けた社会福祉協議会に登録している近所の人が子どもをみてくれるサービス

問 16-2 問 16-1 で「1.」「2.」を選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方におうえんがいかいします。そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は() 内に具体的な数字を入れてください。なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかります。また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要な場合があります。

1. できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい	→ () 日
2. 利用したいと思わない	

問 17 利用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありますか。(子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。) あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数について() 内に具体的な数字を入れてください。

対処方法	日数 (年間)
1. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)	() 日
2. ファミリー・サポート・センターを利用した (市役所の委託を受けた社会福祉協議会に登録している近所の人や子どもをみてくれるサービス)	() 日
3. 夜間看護事業：トワイライストデイ (仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの)	() 日
4. 家事育児代行サービスを利用した	() 日
5. その他 ()	() 日
6. 預けるようなことはなかった	

問 18 この1年間で、冠婚葬祭、家族の病気のなどの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけで」家族以外にみてもらわなければならないことはないか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。) あったか、なかったかについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。あった場合、その対処方法ごとに() 内に日数を記入し、合計の() 内についても記入してください。

対処方法	泊数 (年間)
1. あった	
ア. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)	() 泊
1. 短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した (児童養護施設などで一定期間子どもを預かるもの)	() 泊
ウ. イ以外のサービス (家事育児代行サービスなど) を利用した	() 泊
エ. 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
オ. 仕方なく子どもだけで留守番させた	() 泊
カ. その他 ()	() 泊
2. なかった	

仕事と子育ての両立についておうかがいします。

問 19 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を1つだけ記入してください。

(1) 母親
 子どもと一緒に過ごす時間 () 時間
 番号を選択 () ←

(2) 父親
 子どもと一緒に過ごす時間 () 時間
 番号を選択 () ←

番号を1つ選択し、カッコ内に記入

1. 十分だと思う
2. まあまあ十分だと思う
3. あまり十分だと思わない
4. 不十分だと思う
5. わからない

問 20 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を () 内に記入してください。

(1) 母親 () 時間
 () 時間

(2) 父親 () 時間
 () 時間

問 21 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 残業や出張が入ること
2. 子どもや自分が病氣やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと
3. 配偶者の協力が得られないこと
4. ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと
5. 職場に子育てを支援する制度がないこと (子どもの看護休暇、短時間勤務など)
6. 職場の理解や協力が得られないこと
7. 子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならぬこと
8. 子どもを預かってくれる留守家庭児童会などがみつからないこと
9. 子どもと接する時間が少ないこと
10. その他 ()

市役所などへの要望についておうかがいします。

問 22 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
2. 親子が安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす
3. 親子が安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を整備する
4. 子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくりや、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
5. 子育てに困ったときの相談体制を充実する
6. 子育て支援に関する情報提供を充実する
7. 子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数の増加と内容の充実を図る
8. 子育てサークル活動への支援を充実する
9. 保育所や留守家庭児童会など子どもを預ける施設を増やす
10. 幼稚園における早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育などを充実する
11. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPOなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う
12. 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
13. 子どもの安全を確保する対策を充実する
14. 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
15. 育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充
16. 公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
17. その他 ()
18. 特になし

封筒のあて名のお子さんの生活習慣についておうかがいします。

問 23 お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

(1) 朝ごはんを食べますか。

1. 毎日食べる	2. 食べる日のほうが多い
3. 食べない日のほうが多い	4. ほとんど食べない

(2) 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。

1. する	2. しない
-------	--------

(3) 平日のテレビ・ビデオ (ゲームも含む) の1日あたり平均視聴時間は何時間ですか。

1. 30分以内	2. 1時間以内	3. 1時間30分以内
4. 2時間以内	5. 2時間以上	

(4) 就寝時刻は何時ですか。

1. 20時半より前	2. 20時半～21時
3. 21時～21時半	4. 21時半～22時
5. 22時～23時	6. 23時以降

封筒のあて名のお子さんの普段の過ごし方についておうかがいします。

問 24 平日の放課後および休日のお子さんの普段の過ごし方で1番多いものについて、時間帯ごとに、枠内の選択肢の中からあてはまる番号を1つだけ選んで()内に記入してください。

1. 平日14～16時 ()	それそれ番号を1つずつ選択し、カッコ内に記入
2. 平日16～18時 ()	
3. 平日18～20時 ()	
4. 平日20時以降 ()	
5. 休日 ()	

1. 授業などで学校にいる
2. 留守家庭児童会で過ごす
3. 放課後子ども教室（キッズクラブなど）に参加する
4. 保護者や兄弟姉妹などの家族と過ごす
5. 家事育児代行サービスなどを利用する
6. 家や公園などで友達と過ごす
7. 児童館など公共の施設にいる
8. 地域活動に参加する（子ども会活動、スポーツ活動）
9. 学習塾や習い事へ行く
10. 家で、ひとりで勉強などをする
11. その他 ()

封筒のあて名のお子さんの地域での自然体験などへの参加などについておうかがいします。

問 25 お住まいの地域が、自然に囲まれている、文化施設が充実しているなど、子どもにとって自然、社会、文化などの体験をしやすい環境であると考えますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 体験をしやすいと思う	2. 体験をしやすいとは思わない
3. どちらでもない	4. わからない

問 26 参加したことがある地域での自然体験、社会参加、文化活動はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スポーツ活動)
2. 文化芸術活動	
3. ボランティア活動	
4. 体験学習活動（ものづくり体験など）	
5. 野外活動（キャンプなど）	
6. 社会福祉活動（高齢者訪問など）	
7. 国際交流活動（ホームステイなど）	
8. 青少年団体活動（こども会活動など）	
9. 環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など）	
10. 環境教育活動（自然観察など）	
11. 地域の活動（地域のお祭りや運動会など）	
12. その他 ()	
13. 参加したことがない……→問 26-1へ	

問 26-1 問 26 で「13. 参加したことがない」を選ばれた方におうかがいします。それ以外の方は問 27へお進みください。お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 活動に関する情報がなく参加しにくい)
2. 知り合いなどがおらず参加しにくい	
3. 初めての者が参加しにくい雰囲気がある	
4. 参加の時間帯が合わない	
5. 費用がかかる	
6. 活動の内容に興味や関心がない	
7. その他 ()	

問 27 お子さんが参加したことはないが、今後参加させたいと思っている地域における自然体験、社会参加、文化活動は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スポーツ活動)
2. 文化芸術活動	
3. ボランティア活動	
4. 体験学習活動（ものづくり体験など）	
5. 野外活動（キャンプなど）	
6. 社会福祉活動（高齢者訪問など）	
7. 国際交流活動（ホームステイなど）	
8. 青少年団体活動（こども会活動など）	
9. 環境分野での社会貢献活動（リサイクル活動など）	
10. 環境教育活動（自然観察など）	
11. 地域の活動（地域のお祭りや運動会など）	
12. その他 ()	

子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保についておうかがいします。

問 28 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 満足している | 2. 満足していない |
| 3. どちらとも思わない | 4. わからない |

問 29 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 近くに遊び場がない
2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 遊具などの種類が充実していない
5. 不衛生である
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない
10. 公園など遊び場のトイレやおむつ替えや精子での利用に配慮されていない
11. 遊び場周辺の道路が危険である
12. 遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間が少ない
13. その他 ()
14. 特に感じることはない |
|--|

子育てに対する意識についておうかがいします。

問 30 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもとの話や世間話をする人はいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 31 ご自身にとって子育てを楽しんでいることが多いと感じますか。それともつらいと感じることが多いと感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. 楽しいと感じることが多い | → 問 31-1 △ |
| 2. 楽しいと感じることがつらいと感じることが同じくらい | → 問 31-2 △ |
| 3. つらいと感じることが多い | → 問 32 △ |
| 4. わからない | |
| 5. その他 () | |

問 31-1 問 30 で「1.」を選ばれた、子育てを楽しんでいる方におうかがいします。子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 留守家庭児童会の充実 | 2. 子育て支援のネットワークづくり |
| 3. 地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など） | 4. 子どもの教育環境 |
| 5. 子育てしやすい住居・まちな環境面の充実 | |
| 6. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備 | |
| 7. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 | |
| 8. 保護を要する子どもに対する支援 | |
| 9. その他 () | |

問 31-2 問 30 で「2.」「3.」を選ばれた方におうかがいします。あなだにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. 留守家庭児童会の充実 | |
| 2. 子育て支援のネットワークづくり | |
| 3. 地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など） | |
| 4. 子どもの教育環境 | |
| 5. 子育てしやすい住居・まちな環境面の充実 | |
| 6. 仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備 | |
| 7. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 | |
| 8. 保護を要する子どもに対する支援 | |
| 9. その他 () | |

問 32 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| (1) 子どもに関すること |
| 1. 病気や発育発達に関すること |
| 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 子どもとの接し方に自信が持てないこと |
| 4. 子どもと過ごす時間が十分取れないこと |
| 5. 子どもの教育に関すること |
| 6. 子どもの友だちづきあいにに関すること |
| 7. 子どもの不登校など |
| 8. 特にない |
| 9. その他 () |

(2) ご自身に関すること

- | |
|---|
| 1. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと |
| 2. 配偶者と子育てに関して意見が合わないこと |
| 3. 子育てが大変なことを、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人が理解してくれないこと |
| 4. ご自身の子育てについて、ご自身や配偶者の親、親せき、近隣の人、職場など周りの人に見る目が気になること |
| 5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいらないこと |
| 6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと |
| 7. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと |
| 8. 子育てのストレスなどから子どもにぎつこくあたってしまうこと |
| 9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと |
| 10. 子育てにかかる出費がかさむこと |
| 11. 住居がせまいこと |
| 12. 特にない |
| 13. その他 () |

問 33 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰から支えてほしいと感じますか。枠内の選択肢の中から選び、その番号を()内に記入してください。(複数回答可)

1. 感じる	番号を選択 ()	←
2. 感じない	番号を選択 ()	←

番号を選択し、カッコ内に記入 1. 近所の人 2. 同じ子どもを持つ保護者 3. 民生委員・児童委員、自治会、子ども会などの地域団体の人 4. 地域活動を行っているNPOなどの人 5. 市役所の職員 6. その他 ()
--

その他についておうえがいたします。

問 34 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

次世代育成支援に関するニーズ等調査報告書

平成26年3月

発行 池田市 子ども・健康部 子育て支援課

〒563-8666

大阪府池田市城南1丁目1番1号 池田市役所4階

電話：072-754-6525
